

Arcserve® Unified Data Protection

エラーメッセージガイド

arcserve®

リーガル ノーティス

組み込みのヘルプシステムおよび電子的に配布される資料も含めたこのドキュメント(以下「本書」)はお客様への情報提供のみを目的としたもので、Arcserve により随時、変更または撤回されることがあります。このドキュメントは、Arcserve の専有情報であり、Arcserve の事前の書面による承諾なしに、全部または一部をコピー、譲渡、複製、開示、変更、複写することを禁止します。

本ドキュメントで言及されているソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし、Arcserve のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本書を印刷するかまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、そのライセンスが終了した場合には、ユーザは Arcserve に本書の全部または一部を複製したコピーを Arcserve に返却したか、または破棄したことを文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、ARCSERVE は本書を現状有姿のまま提供し、商品性、お客様の使用目的に対する適合性、他者の権利に対する不侵害についての黙示の保証を含むいかなる保証もしません。また、本システムの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の損失等、いかなる損害(直接損害か間接損害かを問いません)が発生しても、ARCSERVE はお客様または第三者に対し責任を負いません。ARCSERVE がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本書に記載されたソフトウェア製品は、該当するライセンス契約書に従い使用されるものであり、当該ライセンス契約書はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本書の制作者は Arcserve です。

「制限された権利」のもとでの提供: アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212, 52.227-14 及び 52.227-19(c)(1) 及び (2)、及び、DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

© 2014-2023 Arcserve (その関連会社および子会社を含む)。All rights reserved. サードパーティの商標または著作権は各所有者に帰属します。

Arcserve 製品リファレンス

このマニュアルが参照している Arcserve 製品は以下のとおりです。

- Arcserve® Unified Data Protection
- Arcserve® Unified Data Protection Agent for Windows
- Arcserve® Unified Data Protection Agent for Linux
- Arcserve® Backup
- Arcserve® Continuous Availability

Arcserve サポートへのお問い合わせ

Arcserve サポート チームは、技術的な問題を解決する際に役立つ豊富なリソースセットを提供し、重要な製品情報にも容易にアクセスできます。

サポートへのお問い合わせ

Arcserve サポートをご利用いただくと次のことができます。

- Arcserve サポート の専門家が社内で共有しているのと同じ情報ライブラリに直接アクセスできます。このサイトから、弊社のナレッジ ベース(KB)ドキュメントにアクセスできます。ここから、重要な問題 やよくあるトラブルについて、製品関連 KB 技術情報を簡単に検索し、検証済みのソリューションを見つけることができます。
- ライブ チャット リンクを使用して、Arcserve サポート チームと瞬時にリアルタイムで会話を始めることができます。ライブ チャットでは、製品にアクセスしたまま、懸念事項 や質問に対する回答を即座に得ることができます。
- Arcserve グローバル ユーザ コミュニティでは、質疑応答、ヒントの共有、ベストプラクティスに関する議論、他のユーザとの対話に参加できます。
- サポート チケットを開くことができます。オンラインでサポート チケットを開くと、質問の対象製品を専門とする担当者から直接、コールバックを受けられます。
- また、使用している Arcserve 製品に適したその他の有用なリソースにアクセスできます。

目次

第1章: エラー メッセージ	51
エラー メッセージ 10000 ~ 10100	51
エラー メッセージ 10000	51
エラー メッセージ 10001	51
エラー メッセージ 10002	51
エラー メッセージ 10003	52
エラー メッセージ 10004	52
エラー メッセージ 10005	52
エラー メッセージ 10006	52
エラー メッセージ 10007	53
エラー メッセージ 10008	53
エラー メッセージ 10009	53
エラー メッセージ 10010	54
エラー メッセージ 10011	54
エラー メッセージ 10012	54
エラー メッセージ 10013	54
エラー メッセージ 10015	55
エラー メッセージ 10016	55
エラー メッセージ 10017	55
エラー メッセージ 10018	55
エラー メッセージ 10019	56
エラー メッセージ 10020	56
エラー メッセージ 10021	56
エラー メッセージ 10022	56
エラー メッセージ 10023	57
エラー メッセージ 10024	57
エラー メッセージ 10025	57
エラー メッセージ 10026	58
エラー メッセージ 10027	58
エラー メッセージ 10028	58
エラー メッセージ 10029	59
エラー メッセージ 10030	59
エラー メッセージ 10031	59
エラー メッセージ 10032	59

エラー メッセージ 10033	60
エラー メッセージ 10034	60
エラー メッセージ 10035	60
エラー メッセージ 10036	60
エラー メッセージ 10037	61
エラー メッセージ 10038	61
エラー メッセージ 10039	61
エラー メッセージ 10040	61
エラー メッセージ 10041	62
エラー メッセージ 10042	62
エラー メッセージ 10043	62
エラー メッセージ 10044	62
エラー メッセージ 10045	63
エラー メッセージ 10046	63
エラー メッセージ 10047	63
エラー メッセージ 10048	64
エラー メッセージ 10049	64
エラー メッセージ 10050	64
エラー メッセージ 10051	64
エラー メッセージ 10052	65
エラー メッセージ 10053	65
エラー メッセージ 10054	65
エラー メッセージ 10055	65
エラー メッセージ 10056	66
エラー メッセージ 10057	66
エラー メッセージ 10058	66
エラー メッセージ 10059	66
エラー メッセージ 10060	67
エラー メッセージ 10061	67
エラー メッセージ 10062	67
エラー メッセージ 10063	68
エラー メッセージ 10064	68
エラー メッセージ 10065	68
エラー メッセージ 10066	68
エラー メッセージ 10067	69
エラー メッセージ 10068	69

エラーメッセージ 10069	69
エラーメッセージ 10070	70
エラーメッセージ 10071	70
エラーメッセージ 10072	70
エラーメッセージ 10073	70
エラーメッセージ 10074	71
エラーメッセージ 10075	71
エラーメッセージ 10076	71
エラーメッセージ 10077	71
エラーメッセージ 10078	72
エラーメッセージ 10079	72
エラーメッセージ 10080	72
エラーメッセージ 10081	72
エラーメッセージ 10082	73
エラーメッセージ 10083	73
エラーメッセージ 10084	73
エラーメッセージ 10085	73
エラーメッセージ 10086	74
エラーメッセージ 10087	74
エラーメッセージ 10088	74
エラーメッセージ 10089	75
エラーメッセージ 10090	75
エラーメッセージ 10092	75
エラーメッセージ 10093	76
エラーメッセージ 10094	76
エラーメッセージ 10095	76
エラーメッセージ 10096	76
エラーメッセージ 10097	77
エラーメッセージ 10098	77
エラーメッセージ 10099	77
エラーメッセージ 10100	78
エラーメッセージ 10101 ~ 10200	78
エラーメッセージ 10101	78
エラーメッセージ 10102	78
エラーメッセージ 10103	79
エラーメッセージ 10104	79

エラー メッセージ 10105	79
エラー メッセージ 10106	80
エラー メッセージ 10107	80
エラー メッセージ 10108	80
エラー メッセージ 10109	80
エラー メッセージ 10110	81
エラー メッセージ 10111	81
エラー メッセージ 10112	81
エラー メッセージ 10113	82
エラー メッセージ 10114	82
エラー メッセージ 10115	82
エラー メッセージ 10116	82
エラー メッセージ 10117	83
エラー メッセージ 10118	83
エラー メッセージ 10119	83
エラー メッセージ 10120	83
エラー メッセージ 10121	84
エラー メッセージ 10122	84
エラー メッセージ 10123	84
エラー メッセージ 10124	84
エラー メッセージ 10125	85
エラー メッセージ 10126	85
エラー メッセージ 10127	85
エラー メッセージ 10128	85
エラー メッセージ 10129	86
エラー メッセージ 10131	86
エラー メッセージ 10132	86
エラー メッセージ 10133	86
エラー メッセージ 10134	87
エラー メッセージ 10135	87
エラー メッセージ 10136	87
エラー メッセージ 10137	87
エラー メッセージ 10138	88
エラー メッセージ 10139	88
エラー メッセージ 10140	88
エラー メッセージ 10141	89

エラー メッセージ 10142	89
エラー メッセージ 10143	89
エラー メッセージ 10144	89
エラー メッセージ 10145	90
エラー メッセージ 10146	90
エラー メッセージ 10147	90
エラー メッセージ 10148	90
エラー メッセージ 10149	91
エラー メッセージ 10150	91
エラー メッセージ 10151	91
エラー メッセージ 10152	92
エラー メッセージ 10153	92
エラー メッセージ 10154	92
エラー メッセージ 10155	92
エラー メッセージ 10156	93
エラー メッセージ 10157	93
エラー メッセージ 10158	94
エラー メッセージ 10159	94
エラー メッセージ 10160	94
エラー メッセージ 10161	94
エラー メッセージ 10162	95
エラー メッセージ 10163	95
エラー メッセージ 10164	95
エラー メッセージ 10165	95
エラー メッセージ 10166	96
エラー メッセージ 10167	96
エラー メッセージ 10168	96
エラー メッセージ 10169	97
エラー メッセージ 10170	97
エラー メッセージ 10171	97
エラー メッセージ 10172	98
エラー メッセージ 10173	98
エラー メッセージ 10174	98
エラー メッセージ 10175	98
エラー メッセージ 10176	99
エラー メッセージ 10177	99

エラー メッセージ 10178	99
エラー メッセージ 10179	99
エラー メッセージ 10180	100
エラー メッセージ 10181	100
エラー メッセージ 10182	100
エラー メッセージ 10183	101
エラー メッセージ 10184	101
エラー メッセージ 10185	101
エラー メッセージ 10186	102
エラー メッセージ 10187	102
エラー メッセージ 10190	102
エラー メッセージ 10191	103
エラー メッセージ 10192	103
エラー メッセージ 10193	103
エラー メッセージ 10194	103
エラー メッセージ 10195	104
エラー メッセージ 10196	104
エラー メッセージ 10197	104
エラー メッセージ 10198	105
エラー メッセージ 10199	105
エラー メッセージ 10200	106
エラー メッセージ 10201 ~ 10300	106
エラー メッセージ 10201	106
エラー メッセージ 10202	106
エラー メッセージ 10203	107
エラー メッセージ 10204	107
エラー メッセージ 10205	107
エラー メッセージ 10206	107
エラー メッセージ 10207	108
エラー メッセージ 10208	108
エラー メッセージ 10209	108
エラー メッセージ 10210	108
エラー メッセージ 10211	109
エラー メッセージ 10212	109
エラー メッセージ 10213	109
エラー メッセージ 10214	109

エラーメッセージ 10215	109
エラーメッセージ 10216	110
エラーメッセージ 10217	110
エラーメッセージ 10218	110
エラーメッセージ 10219	110
エラーメッセージ 10220	111
エラーメッセージ 10221	111
エラーメッセージ 10222	111
エラーメッセージ 10223	111
エラーメッセージ 10224	111
エラーメッセージ 10225	112
エラーメッセージ 10226	112
エラーメッセージ 10227	112
エラーメッセージ 10228	112
エラーメッセージ 10229	113
エラーメッセージ 10230	113
エラーメッセージ 10231	113
エラーメッセージ 10232	113
エラーメッセージ 10233	114
エラーメッセージ 10234	114
エラーメッセージ 10235	114
エラーメッセージ 10236	114
エラーメッセージ 10237	115
エラーメッセージ 10238	115
エラーメッセージ 10239	115
エラーメッセージ 10240	115
エラーメッセージ 10241	116
エラーメッセージ 10242	116
エラーメッセージ 10243	116
エラーメッセージ 10244	116
エラーメッセージ 10257	117
エラーメッセージ 10258	117
エラーメッセージ 10259	117
エラーメッセージ 10260	117
エラーメッセージ 10261	118
エラーメッセージ 10262	118

エラー メッセージ 10263	118
エラー メッセージ 10264	118
エラー メッセージ 10265	119
エラー メッセージ 10266	119
エラー メッセージ 10267	119
エラー メッセージ 10268	119
エラー メッセージ 10269	120
エラー メッセージ 10270	120
エラー メッセージ 10293	120
エラー メッセージ 10294	120
エラー メッセージ 10295	121
エラー メッセージ 10296	121
エラー メッセージ 10297	121
エラー メッセージ 10298	121
エラー メッセージ 10299	122
エラー メッセージ 10300	122
エラー メッセージ 10301 ~ 10400	122
エラー メッセージ 10301	123
エラー メッセージ 10302	123
エラー メッセージ 10303	123
エラー メッセージ 10304	124
エラー メッセージ 10305	124
エラー メッセージ 10306	124
エラー メッセージ 10307	124
エラー メッセージ 10308	125
エラー メッセージ 10309	125
エラー メッセージ 10310	125
エラー メッセージ 10311	126
エラー メッセージ 10312	126
エラー メッセージ 10314	126
エラー メッセージ 10315	126
エラー メッセージ 10316	127
エラー メッセージ 10317	127
エラー メッセージ 10318	127
エラー メッセージ 10319	127
エラー メッセージ 10320	128

エラーメッセージ 10321	128
エラーメッセージ 10322	128
エラーメッセージ 10323	129
エラーメッセージ 10324	129
エラーメッセージ 10325	129
エラーメッセージ 10326	130
エラーメッセージ 10327	130
エラーメッセージ 10328	130
エラーメッセージ 10329	130
エラーメッセージ 10330	131
エラーメッセージ 10331	131
エラーメッセージ 10332	131
エラーメッセージ 10333	131
エラーメッセージ 10334	132
エラーメッセージ 10335	132
エラーメッセージ 10336	132
エラーメッセージ 10337	132
エラーメッセージ 10338	133
エラーメッセージ 10339	133
エラーメッセージ 10340	133
エラーメッセージ 10341	133
エラーメッセージ 10342	134
エラーメッセージ 10343	134
エラーメッセージ 10344	134
エラーメッセージ 10345	134
エラーメッセージ 10346	135
エラーメッセージ 10347	135
エラーメッセージ 10348	135
エラーメッセージ 10349	136
エラーメッセージ 10350	136
エラーメッセージ 10351	136
エラーメッセージ 10352	136
エラーメッセージ 10353	137
エラーメッセージ 10354	137
エラーメッセージ 10355	137
エラーメッセージ 10356	138

エラー メッセージ 10357	138
エラー メッセージ 10358	138
エラー メッセージ 10359	138
エラー メッセージ 10360	139
エラー メッセージ 10361	139
エラー メッセージ 10362	139
エラー メッセージ 10363	140
エラー メッセージ 10364	140
エラー メッセージ 10365	140
エラー メッセージ 10366	140
エラー メッセージ 10367	141
エラー メッセージ 10368	141
エラー メッセージ 10369	141
エラー メッセージ 10370	141
エラー メッセージ 10371	142
エラー メッセージ 10372	142
エラー メッセージ 10373	142
エラー メッセージ 10374	143
エラー メッセージ 10375	143
エラー メッセージ 10376	143
エラー メッセージ 10377	144
エラー メッセージ 10378	144
エラー メッセージ 10379	144
エラー メッセージ 10380	144
エラー メッセージ 10381	145
エラー メッセージ 10382	145
エラー メッセージ 10383	145
エラー メッセージ 10384	145
エラー メッセージ 10385	146
エラー メッセージ 10386	146
エラー メッセージ 10387	146
エラー メッセージ 10388	147
エラー メッセージ 10389	147
エラー メッセージ 10390	147
エラー メッセージ 10391	147
エラー メッセージ 10392	148

エラーメッセージ 10393	148
エラーメッセージ 10394	148
エラーメッセージ 10395	148
エラーメッセージ 10396	149
エラーメッセージ 10397	149
エラーメッセージ 10398	149
エラーメッセージ 10399	149
エラーメッセージ 10400	150
エラーメッセージ 10401 ~ 10500	150
エラーメッセージ 10401	150
エラーメッセージ 10402	150
エラーメッセージ 10403	150
エラーメッセージ 10404	151
エラーメッセージ 10405	151
エラーメッセージ 10406	151
エラーメッセージ 10407	152
エラーメッセージ 10408	152
エラーメッセージ 10419	152
エラーメッセージ 10420	153
エラーメッセージ 10421	153
エラーメッセージ 10422	153
エラーメッセージ 10423	153
エラーメッセージ 10424	154
エラーメッセージ 10425	154
エラーメッセージ 10426	154
エラーメッセージ 10427	154
エラーメッセージ 10428	155
エラーメッセージ 10429	155
エラーメッセージ 10430	155
エラーメッセージ 10431	156
エラーメッセージ 10432	156
エラーメッセージ 10433	156
エラーメッセージ 10434	156
エラーメッセージ 10435	157
エラーメッセージ 10436	157
エラーメッセージ 10437	157

エラー メッセージ 10438	157
エラー メッセージ 10439	158
エラー メッセージ 10440	158
エラー メッセージ 10441	158
エラー メッセージ 10442	158
エラー メッセージ 10443	159
エラー メッセージ 10444	159
エラー メッセージ 10445	159
エラー メッセージ 10446	159
エラー メッセージ 10447	160
エラー メッセージ 10448	160
エラー メッセージ 10449	160
エラー メッセージ 10450	160
エラー メッセージ 10451	161
エラー メッセージ 10452	161
エラー メッセージ 10453	161
エラー メッセージ 10454	161
エラー メッセージ 10455	162
エラー メッセージ 10456	162
エラー メッセージ 10457	162
エラー メッセージ 10458	162
エラー メッセージ 10459	163
エラー メッセージ 10460	163
エラー メッセージ 10462	163
エラー メッセージ 10463	163
エラー メッセージ 10464	164
エラー メッセージ 10465	164
エラー メッセージ 10466	164
エラー メッセージ 10485	164
エラー メッセージ 10486	165
エラー メッセージ 10487	165
エラー メッセージ 10488	165
エラー メッセージ 10489	166
エラー メッセージ 10490	166
エラー メッセージ 10491	166
エラー メッセージ 10492	167

エラーメッセージ 10493	167
エラーメッセージ 10494	167
エラーメッセージ 10495	168
エラーメッセージ 10496	168
エラーメッセージ 10497	168
エラーメッセージ 10498	168
エラーメッセージ 10499	169
エラーメッセージ 10500	169
エラーメッセージ 10501 ~ 10600	169
エラーメッセージ 10501	169
エラーメッセージ 10502	170
エラーメッセージ 10503	170
エラーメッセージ 10504	170
エラーメッセージ 10505	170
エラーメッセージ 10506	171
エラーメッセージ 10507	171
エラーメッセージ 10508	171
エラーメッセージ 10509	172
エラーメッセージ 10510	172
エラーメッセージ 10511	172
エラーメッセージ 10512	172
エラーメッセージ 10513	173
エラーメッセージ 10514	173
エラーメッセージ 10515	173
エラーメッセージ 10516	174
エラーメッセージ 10517	174
エラーメッセージ 10518	174
エラーメッセージ 10519	174
エラーメッセージ 10520	175
エラーメッセージ 10521	175
エラーメッセージ 10522	175
エラーメッセージ 10523	176
エラーメッセージ 10524	176
エラーメッセージ 10525	176
エラーメッセージ 10526	176
エラーメッセージ 10527	177

エラー メッセージ 10528	177
エラー メッセージ 10529	177
エラー メッセージ 10530	178
エラー メッセージ 10531	178
エラー メッセージ 10532	178
エラー メッセージ 10533	179
エラー メッセージ 10534	179
エラー メッセージ 10535	179
エラー メッセージ 10536	179
エラー メッセージ 10537	180
エラー メッセージ 10538	180
エラー メッセージ 10539	180
エラー メッセージ 10540	181
エラー メッセージ 10541	181
エラー メッセージ 10542	181
エラー メッセージ 10543	181
エラー メッセージ 10544	182
エラー メッセージ 10545	182
エラー メッセージ 10546	182
エラー メッセージ 10547	183
エラー メッセージ 10548	183
エラー メッセージ 10549	183
エラー メッセージ 10550	183
エラー メッセージ 10551	184
エラー メッセージ 10552	184
エラー メッセージ 10553	184
エラー メッセージ 10555	185
エラー メッセージ 10556	185
エラー メッセージ 10557	185
エラー メッセージ 10558	185
エラー メッセージ 10559	186
エラー メッセージ 10560	186
エラー メッセージ 10561	186
エラー メッセージ 10562	186
エラー メッセージ 10563	187
エラー メッセージ 10564	187

エラーメッセージ 10565	187
エラーメッセージ 10566	188
エラーメッセージ 10567	188
エラーメッセージ 10568	188
エラーメッセージ 10569	188
エラーメッセージ 10570	189
エラーメッセージ 10571	189
エラーメッセージ 10572	189
エラーメッセージ 10573	190
エラーメッセージ 10574	190
エラーメッセージ 10575	190
エラーメッセージ 10576	191
エラーメッセージ 10577	191
エラーメッセージ 10578	191
エラーメッセージ 10579	191
エラーメッセージ 10580	192
エラーメッセージ 10581	192
エラーメッセージ 10582	192
エラーメッセージ 10583	193
エラーメッセージ 10584	193
エラーメッセージ 10585	193
エラーメッセージ 10586	194
エラーメッセージ 10587	194
エラーメッセージ 10588	194
エラーメッセージ 10589	194
エラーメッセージ 10590	195
エラーメッセージ 10591	195
エラーメッセージ 10592	195
エラーメッセージ 10601 ~ 10700	196
エラーメッセージ 10617	196
エラーメッセージ 10618	196
エラーメッセージ 10619	197
エラーメッセージ 10620	197
エラーメッセージ 10621	197
エラーメッセージ 10622	197
エラーメッセージ 10623	198

エラー メッセージ 10624	198
エラー メッセージ 10625	198
エラー メッセージ 10626	199
エラー メッセージ 10627	199
エラー メッセージ 10628	199
エラー メッセージ 10629	199
エラー メッセージ 10630	200
エラー メッセージ 10631	200
エラー メッセージ 10632	200
エラー メッセージ 10633	200
エラー メッセージ 10634	201
エラー メッセージ 10635	201
エラー メッセージ 10636	201
エラー メッセージ 10637	201
エラー メッセージ 10638	202
エラー メッセージ 10639	202
エラー メッセージ 10640	202
エラー メッセージ 10641	202
エラー メッセージ 10642	203
エラー メッセージ 10643	203
エラー メッセージ 10644	203
エラー メッセージ 10645	203
エラー メッセージ 10646	204
エラー メッセージ 10647	204
エラー メッセージ 10648	204
エラー メッセージ 10649	205
エラー メッセージ 10650	205
エラー メッセージ 10651	205
エラー メッセージ 10652	206
エラー メッセージ 10653	206
エラー メッセージ 10654	206
エラー メッセージ 10655	206
エラー メッセージ 10656	207
エラー メッセージ 10657	207
エラー メッセージ 10658	207
エラー メッセージ 10659	207

エラーメッセージ 10660	208
エラーメッセージ 10661	208
エラーメッセージ 10662	208
エラーメッセージ 10663	208
エラーメッセージ 10664	209
エラーメッセージ 10666	209
エラーメッセージ 10667	209
エラーメッセージ 10668	209
エラーメッセージ 10669	210
エラーメッセージ 10670	210
エラーメッセージ 10671	210
エラーメッセージ 10672	210
エラーメッセージ 10674	211
エラーメッセージ 10679	211
エラーメッセージ 10680	211
エラーメッセージ 10682	211
エラーメッセージ 10683	212
エラーメッセージ 10685	212
エラーメッセージ 10689	212
エラーメッセージ 10690	212
エラーメッセージ 10694	213
エラーメッセージ 10695	213
エラーメッセージ 10699	213
エラーメッセージ 10700	213
エラーメッセージ 10701 ~ 10800	214
エラーメッセージ 10701	214
エラーメッセージ 10702	214
エラーメッセージ 10703	214
エラーメッセージ 10704	215
エラーメッセージ 10705	215
エラーメッセージ 10706	215
エラーメッセージ 10707	215
エラーメッセージ 10708	216
エラーメッセージ 10709	216
エラーメッセージ 10710	216
エラーメッセージ 10711	216

エラー メッセージ 10712	217
エラー メッセージ 10713	217
エラー メッセージ 10714	217
エラー メッセージ 10715	218
エラー メッセージ 10716	218
エラー メッセージ 10717	218
エラー メッセージ 10718	218
エラー メッセージ 10719	219
エラー メッセージ 10720	219
エラー メッセージ 10721	219
エラー メッセージ 10722	219
エラー メッセージ 10723	220
エラー メッセージ 10724	220
エラー メッセージ 10725	220
エラー メッセージ 10726	220
エラー メッセージ 10727	221
エラー メッセージ 10728	221
エラー メッセージ 10729	221
エラー メッセージ 10730	222
エラー メッセージ 10731	222
エラー メッセージ 10732	222
エラー メッセージ 10733	222
エラー メッセージ 10734	223
エラー メッセージ 10735	223
エラー メッセージ 10736	223
エラー メッセージ 10737	223
エラー メッセージ 10738	224
エラー メッセージ 10739	224
エラー メッセージ 10740	224
エラー メッセージ 10741	225
エラー メッセージ 10742	225
エラー メッセージ 10743	225
エラー メッセージ 10744	225
エラー メッセージ 10745	226
エラー メッセージ 10746	226
エラー メッセージ 10747	226

エラーメッセージ 10748	226
エラーメッセージ 10749	227
エラーメッセージ 10750	227
エラーメッセージ 10751	227
エラーメッセージ 10752	228
エラーメッセージ 10753	228
エラーメッセージ 10754	228
エラーメッセージ 10755	228
エラーメッセージ 10756	229
エラーメッセージ 10757	229
エラーメッセージ 10758	229
エラーメッセージ 10759	229
エラーメッセージ 10760	230
エラーメッセージ 10761	230
エラーメッセージ 10762	230
エラーメッセージ 10763	230
エラーメッセージ 10764	231
エラーメッセージ 10765	231
エラーメッセージ 10766	231
エラーメッセージ 10767	232
エラーメッセージ 10768	232
エラーメッセージ 10769	232
エラーメッセージ 10770	232
エラーメッセージ 10771	233
エラーメッセージ 10772	233
エラーメッセージ 10774	233
エラーメッセージ 10775	233
エラーメッセージ 10776	234
エラーメッセージ 10777	234
エラーメッセージ 10778	234
エラーメッセージ 10779	235
エラーメッセージ 10780	235
エラーメッセージ 10781	235
エラーメッセージ 10782	235
エラーメッセージ 10783	236
エラーメッセージ 10784	236

エラーメッセージ 10785	236
エラーメッセージ 10786	237
エラーメッセージ 10787	237
エラーメッセージ 10788	237
エラーメッセージ 10789	237
エラーメッセージ 10790	238
エラーメッセージ 10791	238
エラーメッセージ 10792	238
エラーメッセージ 10793	239
エラーメッセージ 10794	239
エラーメッセージ 10795	239
エラーメッセージ 10796	239
エラーメッセージ 10797	240
エラーメッセージ 10798	240
エラーメッセージ 10799	240
エラーメッセージ 10800	241
エラーメッセージ 10801 ~ 10900	241
エラーメッセージ 10801	241
エラーメッセージ 10802	241
エラーメッセージ 10803	242
エラーメッセージ 10804	242
エラーメッセージ 10805	242
エラーメッセージ 10806	243
エラーメッセージ 10807	243
エラーメッセージ 10808	243
エラーメッセージ 10809	243
エラーメッセージ 10810	244
エラーメッセージ 10811	244
エラーメッセージ 10812	244
エラーメッセージ 10813	244
エラーメッセージ 10814	245
エラーメッセージ 10815	245
エラーメッセージ 10816	245
エラーメッセージ 10817	245
エラーメッセージ 10818	246
エラーメッセージ 10819	246

エラーメッセージ 10821	246
エラーメッセージ 10822	246
エラーメッセージ 10823	247
エラーメッセージ 10824	247
エラーメッセージ 10825	247
エラーメッセージ 10826	247
エラーメッセージ 10827	248
エラーメッセージ 10828	248
エラーメッセージ 10829	248
エラーメッセージ 10830	249
エラーメッセージ 10831	249
エラーメッセージ 10832	249
エラーメッセージ 10833	250
エラーメッセージ 10834	250
エラーメッセージ 10835	250
エラーメッセージ 10836	251
エラーメッセージ 10837	251
エラーメッセージ 10838	251
エラーメッセージ 10839	252
エラーメッセージ 10840	252
エラーメッセージ 10841	252
エラーメッセージ 10842	253
エラーメッセージ 10843	253
エラーメッセージ 10844	253
エラーメッセージ 10845	253
エラーメッセージ 10846	254
エラーメッセージ 10847	254
エラーメッセージ 10848	254
エラーメッセージ 10849	254
エラーメッセージ 10850	255
エラーメッセージ 10851	255
エラーメッセージ 10852	255
エラーメッセージ 10853	256
エラーメッセージ 10854	256
エラーメッセージ 10855	256
エラーメッセージ 10856	257

エラーメッセージ 10857	257
エラーメッセージ 10890	257
エラーメッセージ 10896	257
エラーメッセージ 10901 ~ 11000	258
エラーメッセージ 10914	258
エラーメッセージ 10915	258
エラーメッセージ 10916	258
エラーメッセージ 10917	259
エラーメッセージ 10918	259
エラーメッセージ 10919	259
エラーメッセージ 10920	259
エラーメッセージ 10921	260
エラーメッセージ 10922	260
エラーメッセージ 10923	260
エラーメッセージ 10924	260
エラーメッセージ 10925	261
エラーメッセージ 10926	261
エラーメッセージ 10927	261
エラーメッセージ 10928	262
エラーメッセージ 10929	262
エラーメッセージ 10930	262
エラーメッセージ 10931	262
エラーメッセージ 10932	263
エラーメッセージ 10933	263
エラーメッセージ 10935	263
エラーメッセージ 10936	264
エラーメッセージ 10937	264
エラーメッセージ 10938	264
エラーメッセージ 10939	265
エラーメッセージ 10940	265
エラーメッセージ 10941	265
エラーメッセージ 10942	266
エラーメッセージ 10943	266
エラーメッセージ 10944	266
エラーメッセージ 10945	266
エラーメッセージ 10946	267

エラーメッセージ 10947	267
エラーメッセージ 10948	267
エラーメッセージ 10949	268
エラーメッセージ 10950	268
エラーメッセージ 10951	268
エラーメッセージ 10952	268
エラーメッセージ 10954	269
エラーメッセージ 10955	269
エラーメッセージ 10956	269
エラーメッセージ 10957	269
エラーメッセージ 10958	270
エラーメッセージ 10959	270
エラーメッセージ 10960	270
エラーメッセージ 10961	270
エラーメッセージ 10962	271
エラーメッセージ 10963	271
エラーメッセージ 10964	271
エラーメッセージ 10965	272
エラーメッセージ 10966	272
エラーメッセージ 10967	272
エラーメッセージ 10968	272
エラーメッセージ 10969	273
エラーメッセージ 10970	273
エラーメッセージ 10971	273
エラーメッセージ 10972	273
エラーメッセージ 10973	273
エラーメッセージ 10974	274
エラーメッセージ 10975	274
エラーメッセージ 10976	274
エラーメッセージ 10977	275
エラーメッセージ 10978	275
エラーメッセージ 10979	275
エラーメッセージ 10980	276
エラーメッセージ 10981	276
エラーメッセージ 10982	276
エラーメッセージ 10983	277

エラーメッセージ 10984	277
エラーメッセージ 10985	277
エラーメッセージ 10986	278
エラーメッセージ 10987	278
エラーメッセージ 10988	278
エラーメッセージ 10989	279
エラーメッセージ 10990	279
エラーメッセージ 10991	279
エラーメッセージ 10992	279
エラーメッセージ 10994	280
エラーメッセージ 10996	280
エラーメッセージ 10997	280
エラーメッセージ 10998	280
エラーメッセージ 10999	281
エラーメッセージ 11000	281
エラーメッセージ 11001 ~ 11100	281
エラーメッセージ 11001	281
エラーメッセージ 11002	282
エラーメッセージ 11003	282
エラーメッセージ 11004	282
エラーメッセージ 11005	282
エラーメッセージ 11006	283
エラーメッセージ 11007	283
エラーメッセージ 11008	283
エラーメッセージ 11009	284
エラーメッセージ 11011	284
エラーメッセージ 11012	284
エラーメッセージ 11013	284
エラーメッセージ 11014	285
エラーメッセージ 11015	285
エラーメッセージ 11017	285
エラーメッセージ 11018	285
エラーメッセージ 11019	286
エラーメッセージ 11020	286
エラーメッセージ 11021	286
エラーメッセージ 11022	286

エラーメッセージ 11023	287
エラーメッセージ 11024	287
エラーメッセージ 11025	287
エラーメッセージ 15000 ~ 15100	288
エラーメッセージ 15000	288
エラーメッセージ 15001	288
エラーメッセージ 15002	288
エラーメッセージ 15003	288
エラーメッセージ 15004	289
エラーメッセージ 15005	289
エラーメッセージ 15006	289
エラーメッセージ 15007	289
エラーメッセージ 15008	289
エラーメッセージ 15009	289
エラーメッセージ 15010	290
エラーメッセージ 15011	290
エラーメッセージ 15012	290
エラーメッセージ 15013	290
エラーメッセージ 15014	290
エラーメッセージ 15015	291
エラーメッセージ 15016	291
エラーメッセージ 15017	291
エラーメッセージ 15018	291
エラーメッセージ 15019	291
エラーメッセージ 15020	292
エラーメッセージ 15021	292
エラーメッセージ 15023	292
エラーメッセージ 15024	292
エラーメッセージ 15025	292
エラーメッセージ 15026	293
エラーメッセージ 15027	293
エラーメッセージ 15028	293
エラーメッセージ 15029	293
エラーメッセージ 15030	293
エラーメッセージ 15031	293
エラーメッセージ 15032	293

エラー メッセージ 15033	294
エラー メッセージ 15034	294
エラー メッセージ 15035	294
エラー メッセージ 15036	294
エラー メッセージ 15037	295
エラー メッセージ 15038	295
エラー メッセージ 15039	295
エラー メッセージ 15040	295
エラー メッセージ 15041	296
エラー メッセージ 15042	296
エラー メッセージ 15043	296
エラー メッセージ 15044	297
エラー メッセージ 15045	297
エラー メッセージ 15047	297
エラー メッセージ 15048	297
エラー メッセージ 15049	298
エラー メッセージ 15050	298
エラー メッセージ 15051	298
エラー メッセージ 15052	298
エラー メッセージ 15053	299
エラー メッセージ 15054	299
エラー メッセージ 15055	299
エラー メッセージ 15056	299
エラー メッセージ 15060	300
エラー メッセージ 15062	300
エラー メッセージ 15063	300
エラー メッセージ 15064	300
エラー メッセージ 15066	301
エラー メッセージ 15067	301
エラー メッセージ 15068	301
エラー メッセージ 15071	301
エラー メッセージ 15072	302
エラー メッセージ 15073	302
エラー メッセージ 15074	302
エラー メッセージ 15075	302
エラー メッセージ 15076	303

エラーメッセージ 15077	303
エラーメッセージ 15078	303
エラーメッセージ 15079	303
エラーメッセージ 15081	304
エラーメッセージ 15082	304
エラーメッセージ 15083	304
エラーメッセージ 15084	305
エラーメッセージ 15085	305
エラーメッセージ 15086	305
エラーメッセージ 15087	305
エラーメッセージ 15088	306
エラーメッセージ 15089	306
エラーメッセージ 15090	306
エラーメッセージ 15091	306
エラーメッセージ 15092	307
エラーメッセージ 15093	307
エラーメッセージ 15094	307
エラーメッセージ 15097	308
エラーメッセージ 15099	308
エラーメッセージ 15100	308
エラーメッセージ 15101 ~ 15200	308
エラーメッセージ 15101	309
エラーメッセージ 15102	309
エラーメッセージ 15103	309
エラーメッセージ 15104	309
エラーメッセージ 15105	310
エラーメッセージ 15106	310
エラーメッセージ 15107	310
エラーメッセージ 15108	311
エラーメッセージ 15110	311
エラーメッセージ 15111	311
エラーメッセージ 15112	312
エラーメッセージ 15113	312
エラーメッセージ 15114	313
エラーメッセージ 15115	313
エラーメッセージ 15116	313

エラー メッセージ 15117	314
エラー メッセージ 15118	314
エラー メッセージ 15119	314
エラー メッセージ 15120	315
エラー メッセージ 15121	315
エラー メッセージ 15122	315
エラー メッセージ 15123	315
エラー メッセージ 15124	316
エラー メッセージ 15125	316
エラー メッセージ 15126	317
エラー メッセージ 15127	317
エラー メッセージ 15128	317
エラー メッセージ 15129	317
エラー メッセージ 15130	318
エラー メッセージ 15131	318
エラー メッセージ 15132	318
エラー メッセージ 15133	319
エラー メッセージ 15134	319
エラー メッセージ 15135	319
エラー メッセージ 15136	320
エラー メッセージ 15137	320
エラー メッセージ 15138	320
エラー メッセージ 15140	321
エラー メッセージ 15140	321
エラー メッセージ 15141	321
エラー メッセージ 15142	321
エラー メッセージ 15143	322
エラー メッセージ 15144	322
エラー メッセージ 15145	322
エラー メッセージ 15146	323
エラー メッセージ 15147	323
エラー メッセージ 15148	323
エラー メッセージ 15149	323
エラー メッセージ 15150	324
エラー メッセージ 15151	324
エラー メッセージ 15152	324

エラーメッセージ 15153	325
エラーメッセージ 15154	325
エラーメッセージ 15155	325
エラーメッセージ 15156	325
エラーメッセージ 15157	326
エラーメッセージ 15158	326
エラーメッセージ 15159	326
エラーメッセージ 15160	326
エラーメッセージ 15161	327
エラーメッセージ 15162	327
エラーメッセージ 15163	327
エラーメッセージ 15165	327
エラーメッセージ 15166	328
エラーメッセージ 15167	328
エラーメッセージ 15168	328
エラーメッセージ 15169	328
エラーメッセージ 15170	329
エラーメッセージ 15172	329
エラーメッセージ 15174	329
エラーメッセージ 15175	329
エラーメッセージ 15176	330
エラーメッセージ 15177	330
エラーメッセージ 15178	330
エラーメッセージ 15179	330
エラーメッセージ 15180	331
エラーメッセージ 15181	331
エラーメッセージ 15182	331
エラーメッセージ 15283	332
エラーメッセージ 15401 ~ 15500	332
エラーメッセージ 15446	332
エラーメッセージ 15447	332
エラーメッセージ 15448	332
エラーメッセージ 15449	333
エラーメッセージ 15450	333
エラーメッセージ 15451	333
エラーメッセージ 15452	333

エラー メッセージ 15453	334
エラー メッセージ 15454	334
エラー メッセージ 15455	334
エラー メッセージ 15456	334
エラー メッセージ 15457	335
エラー メッセージ 15458	335
エラー メッセージ 15459	335
エラー メッセージ 15460	335
エラー メッセージ 15461	335
エラー メッセージ 15462	336
エラー メッセージ 15463	336
エラー メッセージ 15464	336
エラー メッセージ 15465	336
エラー メッセージ 15466	337
エラー メッセージ 15467	337
エラー メッセージ 15468	337
エラー メッセージ 15469	338
エラー メッセージ 15470	338
エラー メッセージ 15471	338
エラー メッセージ 15472	338
エラー メッセージ 15473	339
エラー メッセージ 15474	339
エラー メッセージ 15475	339
エラー メッセージ 15476	339
エラー メッセージ 15477	340
エラー メッセージ 15478	340
エラー メッセージ 15479	340
エラー メッセージ 15480	340
エラー メッセージ 15481	341
エラー メッセージ 15482	341
エラー メッセージ 15483	341
エラー メッセージ 15484	341
エラー メッセージ 15485	342
エラー メッセージ 15486	342
エラー メッセージ 15487	343
エラー メッセージ 15488	343

エラーメッセージ 15489	343
エラーメッセージ 15490	343
エラーメッセージ 15491	344
エラーメッセージ 15492	344
エラーメッセージ 15493	344
エラーメッセージ 15494	345
エラーメッセージ 15495	345
エラーメッセージ 15496	345
エラーメッセージ 15497	345
エラーメッセージ 15498	346
エラーメッセージ 15499	346
エラーメッセージ 15560	346
エラーメッセージ 15601 ~ 15700	346
エラーメッセージ 15619	346
エラーメッセージ 15620	347
エラーメッセージ 15621	347
エラーメッセージ 15622	347
エラーメッセージ 15623	348
エラーメッセージ 15624	348
エラーメッセージ 15625	348
エラーメッセージ 15626	348
エラーメッセージ 15627	349
エラーメッセージ 15628	349
エラーメッセージ 15629	349
エラーメッセージ 15630	349
エラーメッセージ 15631	350
エラーメッセージ 15632	350
エラーメッセージ 15633	350
エラーメッセージ 15634	351
エラーメッセージ 15635	351
エラーメッセージ 15636	351
エラーメッセージ 15637	351
エラーメッセージ 15638	352
エラーメッセージ 15639	352
エラーメッセージ 15640	352
エラーメッセージ 15641	352

エラー メッセージ 15642	353
エラー メッセージ 15643	353
エラー メッセージ 15644	353
エラー メッセージ 15645	353
エラー メッセージ 15646	354
エラー メッセージ 15647	354
エラー メッセージ 15648	354
エラー メッセージ 15649	354
エラー メッセージ 15650	355
エラー メッセージ 15651	355
エラー メッセージ 15652	355
エラー メッセージ 15653	355
エラー メッセージ 15654	356
エラー メッセージ 15655	356
エラー メッセージ 15656	356
エラー メッセージ 15657	356
エラー メッセージ 15658	357
エラー メッセージ 15659	357
エラー メッセージ 15660	357
エラー メッセージ 15661	358
エラー メッセージ 15662	358
エラー メッセージ 15663	358
エラー メッセージ 15664	358
エラー メッセージ 15665	359
エラー メッセージ 15666	359
エラー メッセージ 15667	359
エラー メッセージ 15668	359
エラー メッセージ 15669	360
エラー メッセージ 15670	360
エラー メッセージ 15671	360
エラー メッセージ 15672	360
エラー メッセージ 15673	361
エラー メッセージ 15674	361
エラー メッセージ 15675	361
エラー メッセージ 15676	361
エラー メッセージ 15677	361

エラーメッセージ 15678	362
エラーメッセージ 15679	362
エラーメッセージ 15680	362
エラーメッセージ 15681	362
エラーメッセージ 15682	363
エラーメッセージ 15683	363
エラーメッセージ 15684	364
エラーメッセージ 15685	364
エラーメッセージ 15801 ~ 15900	364
エラーメッセージ 15889	364
エラーメッセージ 15890	365
エラーメッセージ 15891	365
エラーメッセージ 15892	365
エラーメッセージ 15901 ~ 16000	365
エラーメッセージ 15901	365
エラーメッセージ 15902	366
エラーメッセージ 15904	366
エラーメッセージ 15905	366
エラーメッセージ 15906	367
エラーメッセージ 15907	367
エラーメッセージ 15908	367
エラーメッセージ 15918	367
エラーメッセージ 15921	368
エラーメッセージ 20000 ~ 20100	368
エラーメッセージ 20000	368
エラーメッセージ 20001	369
エラーメッセージ 20002	369
エラーメッセージ 20003	369
エラーメッセージ 20004	369
エラーメッセージ 20005	370
エラーメッセージ 20006	370
エラーメッセージ 20007	370
エラーメッセージ 20008	371
エラーメッセージ 20009	371
エラーメッセージ 20010	371
エラーメッセージ 20011	371

エラー メッセージ 20012	371
エラー メッセージ 20013	372
エラー メッセージ 20014	372
エラー メッセージ 20015	372
エラー メッセージ 20016	372
エラー メッセージ 20017	373
エラー メッセージ 20018	373
エラー メッセージ 20019	373
エラー メッセージ 20020	374
エラー メッセージ 20021	374
エラー メッセージ 20022	374
エラー メッセージ 20023	374
エラー メッセージ 20024	375
エラー メッセージ 20025	375
エラー メッセージ 20026	375
エラー メッセージ 20027	376
エラー メッセージ 20028	376
エラー メッセージ 20029	376
エラー メッセージ 20030	376
エラー メッセージ 20031	377
エラー メッセージ 20032	377
エラー メッセージ 20033	377
エラー メッセージ 20034	378
エラー メッセージ 20035	378
エラー メッセージ 20036	378
エラー メッセージ 20037	379
エラー メッセージ 20038	379
エラー メッセージ 20039	379
エラー メッセージ 20040	380
エラー メッセージ 20041	380
エラー メッセージ 20042	380
エラー メッセージ 20043	380
エラー メッセージ 20044	381
エラー メッセージ 20045	381
エラー メッセージ 20046	381
エラー メッセージ 20047	382

エラーメッセージ 20048	382
エラーメッセージ 20049	382
エラーメッセージ 20050	382
エラーメッセージ 20051	383
エラーメッセージ 20052	383
エラーメッセージ 20053	383
エラーメッセージ 20054	383
エラーメッセージ 20055	384
エラーメッセージ 20056	384
エラーメッセージ 20057	384
エラーメッセージ 20058	384
エラーメッセージ 20059	385
エラーメッセージ 20060	385
エラーメッセージ 20061	385
エラーメッセージ 20062	386
エラーメッセージ 20063	386
エラーメッセージ 20064	386
エラーメッセージ 20065	387
エラーメッセージ 20066	387
エラーメッセージ 20067	387
エラーメッセージ 20068	388
エラーメッセージ 20069	388
エラーメッセージ 20070	388
エラーメッセージ 20071	389
エラーメッセージ 20072	389
エラーメッセージ 20073	389
エラーメッセージ 20074	390
エラーメッセージ 20075	390
エラーメッセージ 20076	390
エラーメッセージ 20077	391
エラーメッセージ 20078	391
エラーメッセージ 20079	391
エラーメッセージ 20080	392
エラーメッセージ 20081	392
エラーメッセージ 20082	392
エラーメッセージ 20083	392

エラー メッセージ 20084	393
エラー メッセージ 20085	393
エラー メッセージ 20086	393
エラー メッセージ 20087	393
エラー メッセージ 20088	394
エラー メッセージ 20089	394
エラー メッセージ 20090	394
エラー メッセージ 20091	395
エラー メッセージ 20092	395
エラー メッセージ 20093	396
エラー メッセージ 20094	396
エラー メッセージ 20095	396
エラー メッセージ 20096	396
エラー メッセージ 20097	397
エラー メッセージ 20098	397
エラー メッセージ 20099	397
エラー メッセージ 20100	397
エラー メッセージ 20101 ~ 20200	398
エラー メッセージ 20101	398
エラー メッセージ 20102	398
エラー メッセージ 20103	398
エラー メッセージ 20104	399
エラー メッセージ 20105	399
エラー メッセージ 20106	399
エラー メッセージ 20107	399
エラー メッセージ 20108	400
エラー メッセージ 20109	400
エラー メッセージ 20110	400
エラー メッセージ 20111	401
エラー メッセージ 20112	401
エラー メッセージ 20113	401
エラー メッセージ 20114	401
エラー メッセージ 20115	402
エラー メッセージ 20116	402
エラー メッセージ 20117	402
エラー メッセージ 20118	403

エラーメッセージ 20119	403
エラーメッセージ 20120	403
エラーメッセージ 20121	403
エラーメッセージ 20122	404
エラーメッセージ 20123	404
エラーメッセージ 20124	404
エラーメッセージ 20126	404
エラーメッセージ 20127	405
エラーメッセージ 20128	405
エラーメッセージ 20129	405
エラーメッセージ 20130	406
エラーメッセージ 20131	406
エラーメッセージ 20132	406
エラーメッセージ 20133	406
エラーメッセージ 20134	407
エラーメッセージ 20135	407
エラーメッセージ 20136	407
エラーメッセージ 20137	407
エラーメッセージ 20138	408
エラーメッセージ 20139	408
エラーメッセージ 20140	408
エラーメッセージ 20141	409
エラーメッセージ 20142	409
エラーメッセージ 20143	409
エラーメッセージ 20144	409
エラーメッセージ 20145	410
エラーメッセージ 20146	410
エラーメッセージ 20147	411
エラーメッセージ 20148	411
エラーメッセージ 20149	411
エラーメッセージ 20150	411
エラーメッセージ 20151	412
エラーメッセージ 20152	412
エラーメッセージ 20153	413
エラーメッセージ 20154	413
エラーメッセージ 20155	413

エラー メッセージ 20156	414
エラー メッセージ 20157	414
エラー メッセージ 20158	414
エラー メッセージ 20159	415
エラー メッセージ 20160	415
エラー メッセージ 20161	415
エラー メッセージ 20162	415
エラー メッセージ 20163	416
エラー メッセージ 20164	416
エラー メッセージ 20165	416
エラー メッセージ 20166	417
エラー メッセージ 20167	417
エラー メッセージ 20168	417
エラー メッセージ 20169	418
エラー メッセージ 20170	418
エラー メッセージ 20171	418
エラー メッセージ 20172	419
エラー メッセージ 20173	419
エラー メッセージ 20174	419
エラー メッセージ 20175	419
エラー メッセージ 20176	420
エラー メッセージ 20177	420
エラー メッセージ 20178	420
エラー メッセージ 20179	420
エラー メッセージ 20180	421
エラー メッセージ 20181	421
エラー メッセージ 20182	421
エラー メッセージ 20183	421
エラー メッセージ 20184	422
エラー メッセージ 20186	422
エラー メッセージ 20187	422
エラー メッセージ 20190	423
エラー メッセージ 20191	423
エラー メッセージ 20196	423
エラー メッセージ 20197	423
エラー メッセージ 20198	424

エラーメッセージ 20199	424
エラーメッセージ 20200	424
エラーメッセージ 20201 ~ 20300	424
エラーメッセージ 20201	425
エラーメッセージ 20214	425
エラーメッセージ 20215	425
エラーメッセージ 20216	425
エラーメッセージ 20217	426
エラーメッセージ 20218	426
エラーメッセージ 20219	426
エラーメッセージ 20220	426
エラーメッセージ 20221	427
エラーメッセージ 20222	427
エラーメッセージ 20223	427
エラーメッセージ 20224	427
エラーメッセージ 20225	428
エラーメッセージ 20226	428
エラーメッセージ 20227	428
エラーメッセージ 20228	428
エラーメッセージ 20229	429
エラーメッセージ 20230	429
エラーメッセージ 20231	429
エラーメッセージ 20232	430
エラーメッセージ 20233	430
エラーメッセージ 20234	430
エラーメッセージ 20235	430
エラーメッセージ 20236	431
エラーメッセージ 20237	431
エラーメッセージ 20238	431
エラーメッセージ 20239	432
エラーメッセージ 20240	432
エラーメッセージ 20241	432
エラーメッセージ 20242	432
エラーメッセージ 20243	433
エラーメッセージ 20244	433
エラーメッセージ 20245	433

エラー メッセージ 20246	433
エラー メッセージ 20247	434
エラー メッセージ 20248	434
エラー メッセージ 20249	434
エラー メッセージ 20250	434
エラー メッセージ 20251	435
エラー メッセージ 20252	435
エラー メッセージ 20253	435
エラー メッセージ 20254	435
エラー メッセージ 20270	436
エラー メッセージ 20271	436
エラー メッセージ 20272	436
エラー メッセージ 20273	436
エラー メッセージ 20274	437
エラー メッセージ 20275	437
エラー メッセージ 20276	437
エラー メッセージ 20277	437
エラー メッセージ 20278	438
エラー メッセージ 20279	438
エラー メッセージ 20280	438
エラー メッセージ 20281	438
エラー メッセージ 20282	439
エラー メッセージ 20283	439
エラー メッセージ 20284	439
エラー メッセージ 20285	439
エラー メッセージ 20286	440
エラー メッセージ 20287	440
エラー メッセージ 20288	440
エラー メッセージ 20289	441
エラー メッセージ 20290	441
エラー メッセージ 20291	441
エラー メッセージ 20294	441
エラー メッセージ 20295	442
エラー メッセージ 20296	442
エラー メッセージ 20297	442
エラー メッセージ 20298	443

エラーメッセージ 20299	443
エラーメッセージ 20300	443
エラーメッセージ 20301 ~ 20400	444
エラーメッセージ 20301	444
エラーメッセージ 20302	444
エラーメッセージ 20307	444
エラーメッセージ 20308	445
エラーメッセージ 20309	445
エラーメッセージ 20310	445
エラーメッセージ 20311	446
エラーメッセージ 20312	446
エラーメッセージ 20313	447
エラーメッセージ 20314	447
エラーメッセージ 20315	447
エラーメッセージ 20316	447
エラーメッセージ 20317	448
エラーメッセージ 20318	448
エラーメッセージ 20319	448
エラーメッセージ 20320	449
エラーメッセージ 20321	449
エラーメッセージ 20322	449
エラーメッセージ 20323	449
エラーメッセージ 20324	450
エラーメッセージ 20325	450
エラーメッセージ 20326	450
エラーメッセージ 20327	451
エラーメッセージ 20328	451
エラーメッセージ 20329	451
エラーメッセージ 20330	452
エラーメッセージ 20331	452
エラーメッセージ 20332	452
エラーメッセージ 20333	452
エラーメッセージ 20334	453
エラーメッセージ 20335	453
エラーメッセージ 20336	453
エラーメッセージ 20337	454

エラー メッセージ 20338	454
エラー メッセージ 20339	454
エラー メッセージ 20340	455
エラー メッセージ 20351	455
エラー メッセージ 20352	455
エラー メッセージ 20353	456
エラー メッセージ 20358	456
エラー メッセージ 20359	456
エラー メッセージ 20360	457
エラー メッセージ 20361	457
エラー メッセージ 20362	457
エラー メッセージ 20363	458
エラー メッセージ 20364	458
エラー メッセージ 20365	458
エラー メッセージ 20366	458
エラー メッセージ 20367	459
エラー メッセージ 20368	459
エラー メッセージ 20369	459
エラー メッセージ 20371	460
エラー メッセージ 20372	460
エラー メッセージ 20373	460
エラー メッセージ 20374	460
エラー メッセージ 20375	460
エラー メッセージ 20376	461
エラー メッセージ 20377	461
エラー メッセージ 20378	461
エラー メッセージ 20379	462
エラー メッセージ 20380	462
エラー メッセージ 20401 ~ 20500	462
エラー メッセージ 20401	462
エラー メッセージ 20403	463
エラー メッセージ 20404	463
エラー メッセージ 20405	463
エラー メッセージ 20406	464
エラー メッセージ 20407	464
エラー メッセージ 20408	464

エラーメッセージ 20501 ~ 20600	465
エラーメッセージ 20501	465
エラーメッセージ 20502	465
エラーメッセージ 20503	465
エラーメッセージ 20504	465
エラーメッセージ 20505	466
エラーメッセージ 20506	466
エラーメッセージ 20507	466
エラーメッセージ 20508	466
エラーメッセージ 20509	467
エラーメッセージ 20510	467
エラーメッセージ 20511	467
エラーメッセージ 20512	468
エラーメッセージ 20513	468
エラーメッセージ 20514	468
エラーメッセージ 20515	469
エラーメッセージ 20516	469
エラーメッセージ 20700	469
エラーメッセージ 20701 ~ 20800	470
エラーメッセージ 20701	470
エラーメッセージ 20702	470
エラーメッセージ 20703	470
エラーメッセージ 20704	471
エラーメッセージ 20705	471
エラーメッセージ 20706	471
エラーメッセージ 20707	472
エラーメッセージ 20708	472
エラーメッセージ 20709	472
エラーメッセージ 20710	473
エラーメッセージ 20711	473
エラーメッセージ 20712	473
エラーメッセージ 20713	473
エラーメッセージ 20714	473
エラーメッセージ 20715	474
エラーメッセージ 20716	474
エラーメッセージ 20717	474

エラーメッセージ 20718	474
エラーメッセージ 25000 ~ 25100	475
エラーメッセージ 25000	475
エラーメッセージ 25001	475
エラーメッセージ 25002	475
エラーメッセージ 25003	475
エラーメッセージ 25004	476
エラーメッセージ 25005	476
エラーメッセージ 25006	476
エラーメッセージ 25007	476
エラーメッセージ 25008	477
エラーメッセージ 25009	477
エラーメッセージ 25010	477
エラーメッセージ 25011	478
エラーメッセージ 25012	478
エラーメッセージ 25014	478
エラーメッセージ 25015	478
エラーメッセージ 25016	479
エラーメッセージ 25017	479
エラーメッセージ 25018	479
エラーメッセージ 25021	479
エラーメッセージ 25022	479
エラーメッセージ 25023	480
エラーメッセージ 25027	480
エラーメッセージ 25028	480
エラーメッセージ 25030	480
エラーメッセージ 25031	481
エラーメッセージ 25032	481
エラーメッセージ 25033	481
エラーメッセージ 25038	481
エラーメッセージ 25039	482
エラーメッセージ 25040	482
エラーメッセージ 25041	482
エラーメッセージ 25042	482
エラーメッセージ 25043	483
エラーメッセージ 25044	483

エラーメッセージ 25045	483
エラーメッセージ 25046	483
エラーメッセージ 25047	483
エラーメッセージ 25048	484
エラーメッセージ 25049	484
エラーメッセージ 25050	484
エラーメッセージ 25051	485
エラーメッセージ 25052	485
エラーメッセージ 25053	485
エラーメッセージ 25054	485
エラーメッセージ 25055	486
エラーメッセージ 25056	486
エラーメッセージ 25057	486
エラーメッセージ 25058	486
エラーメッセージ 25059	487
エラーメッセージ 25060	487
エラーメッセージ 25061	487
エラーメッセージ 25062	487
エラーメッセージ 25063	488
エラーメッセージ 25064	488
エラーメッセージ 25065	488
エラーメッセージ 25066	488
エラーメッセージ 25067	489
エラーメッセージ 25068	489
エラーメッセージ 25069	489
エラーメッセージ 25070	489
エラーメッセージ 25071	489
エラーメッセージ 25072	490
エラーメッセージ 25073	490
エラーメッセージ 25074	490
エラーメッセージ 25075	490
エラーメッセージ 25076	491
エラーメッセージ 25077	491
エラーメッセージ 25078	491
エラーメッセージ 25080	491
エラーメッセージ 25081	492

エラー メッセージ 25082	492
エラー メッセージ 25083	492
エラー メッセージ 25084	492
エラー メッセージ 25085	493
エラー メッセージ 25086	493
エラー メッセージ 25087	493
エラー メッセージ 25089	493
エラー メッセージ 25090	494
エラー メッセージ 25091	494
エラー メッセージ 25092	494
エラー メッセージ 25093	494
エラー メッセージ 25094	495
エラー メッセージ 25095	495
エラー メッセージ 25097	495
エラー メッセージ 25098	495
エラー メッセージ 25099	496
エラー メッセージ 30916	496
エラー メッセージ 25101	496
エラー メッセージ 25107	496
エラー メッセージ 25111	497
エラー メッセージ 30781	497
エラー メッセージ 30843	498
エラー メッセージ 30910 ~ 31000	498
エラー メッセージ 30916	498
エラー メッセージ 30921	498
エラー メッセージ 30922	499
エラー メッセージ 30923	499
エラー メッセージ 35115	499
エラー メッセージ 35116	499
第1章: 一般的なメッセージ	501

第1章: エラーメッセージ

このセクションには、すべてのUDP エラーメッセージが含まれます。

エラーメッセージ 10000 ~ 10100

このセクションには、以下のエラーメッセージが含まれます。

エラーメッセージ 10000

マウントドライバが正しく動作していません。このサーバを再起動してください。

現象

マウントドライバが正しく動作していません。

解決策

マウントドライバを再インストールする方法については、製品ドキュメントを参照してください。

エラーメッセージ 10001

マウント ボリュームに認識可能なファイルシステムが含まれていません。復旧ポイントの可用性またはデータの整合性を確認します。

現象

マウント ボリュームにアクセスできません。

解決策

マウントされたボリュームで `chkdsk.exe` を実行し、エラーを確認します。

エラーメッセージ 10002

ボリュームのマウントに予想以上の時間がかかります(<parameter> 分)。サーバに予想しない負荷がかかっている可能性があります。サーバの負荷が少ないときにもう一度試すか、オンラインドキュメントのトラブルシューティングを参照してタイムアウト値を増やします。

現象

マウント ボリュームのタイムアウト。ボリュームのマウントに予想以上の時間がかかります

解決策

ネットワークのスループットとサーバの負荷を確認します。

エラー メッセージ 10003

ボリューム [<parameter>] はエラー <parameter> [<parameter>] でマウント解除に失敗しました。

現象

ボリュームのマウント解除に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、ジョブログを参照してください。

エラー メッセージ 10004

ボリューム <parameter> は復旧ポイント <parameter> から <parameter> に、エラー <parameter> でマウントに失敗しました。

現象

ボリュームのマウントに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、ジョブログを参照してください。

エラー メッセージ 10005

ボリューム [<parameter>] は Arcserve UDP 復旧ポイント サーバ [<parameter>]、データストア [<parameter>]、セッション [<parameter>] からドライブ [<parameter>] に、エラー <parameter> [<parameter>] でマウントに失敗しました。

現象

ボリュームのマウントに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、ジョブログを参照してください。

エラー メッセージ 10006

復旧ポイントをボリュームにマウントするために使用するドライブが機能していません。正しくインストールされていることを確認します。

現象

マウントドライバが正しく動作していません。

解決策

マウントドライバを再インストールする方法については、製品ドキュメントを参照してください。

エラーメッセージ 10007

選択した復旧ポイントが無効です。有効な完全復旧ポイントにアクセスできることを確認します。

現象

選択した復旧ポイントが無効です。

解決策

デスティネーションが使用可能かどうか、アカウントが有効かどうかを確認します。

エラーメッセージ 10008

別の(バックアップ/カタログ/マージ/パージ)処理が進行中のため、特定の復旧ポイントのマウントに失敗しました。

現象

ボリュームのマウントに失敗しました。

解決策

別のジョブ(バックアップ/カタログ/マージ/パージ)が進行中かどうかを確認します。

エラーメッセージ 10009

認証エラー。指定したユーザ認証情報は、リクエストしたサービスの検証に失敗しました。

現象

必要な権限がユーザに与えられていないため、アーカイブジョブが失敗しました。

解決策

ユーザが操作を実行するための次の権限を持っていることを確認します。ファイルコピー: ソースボリューム/フォルダの読み取り権限、デスティネーションフォルダの読み取り/書き込み/削除権限。ファイルアーカイブ: ソースボリューム/フォルダの読み取り/書き込み/削除権限。デスティネーションフォルダの読み取り/書き込み/削除権限。権限が割り当てられていない場合は、割り当てます。

エラー メッセージ 10010

別の場所のファイルコピーのカタログ再同期ジョブが失敗しました。

現象

別の場所のカタログ再同期ジョブが失敗しました。

解決策

別の場所のカタログ再同期を再実行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10011

マシンでクロック スキューが検出されました。システム時刻またはタイムゾーンを調整してください。

現象

マシンでクロック スキューが検出されたため、アーカイブ ジョブが失敗しました。

解決策

ローカル マシンの時刻がデスティネーション マシンの時刻と同期していない場合は、ローカル マシンの時刻をデスティネーション マシンの時刻に同期して問題を解決します。

エラー メッセージ 10012

<parameter> ジョブが失敗しました。

現象

アーカイブジョブが失敗しました

解決策

次のメークアップジョブが実行されるのを待つと、ネットワーク接続がしばらく使用できないなどのタイミングの問題が解決されます。後続のアーカイブ メークアップジョブで問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10013

暗号化パスワードがノード [<parameter>] の元のデスティネーション パスワードと一致しません。元のパスワードを取得するか、新しいデスティネーションを使用します。

現象

デスティネーションの暗号化パスワードが一致しないため、アーカイブジョブが失敗しました。

解決策

デスティネーションが暗号化で初期化されていますが、ユーザが暗号化を有効にしても、環境設定で指定した暗号化パスワードがデスティネーションの暗号化パスワードと一致しないことが原因である可能性があります。デスティネーションの暗号化パスワードを確認します。元のパスワードを取得できない場合は、アーカイブ先を変更します。それ以外の場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10015

<parameter> ポリシーエラー = <parameter> の作成に失敗しました。

エラーメッセージ 10016

ファイルコピー デスティネーション暗号化設定の検証が CCI エラー [<parameter>] で失敗しました
>

エラーメッセージ 10017

正しくない <parameter> デスティネーション暗号化パスワード。

現象

デスティネーションの暗号化パスワードが一致しないため、アーカイブジョブが失敗しました。

解決策

デスティネーションの暗号化パスワードを確認し、デスティネーションの正しいパスワードを入力します。元のパスワードを取得できない場合は、アーカイブ先を変更します。パスワードが正しく、アーカイブジョブがこのエラーで失敗した場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10018

デスティネーションの <parameter> 暗号化設定とリストアジョブの暗号化設定が一致しません。

現象

暗号化の詳細が一致しないため、リストアジョブが失敗しました。

解決策

デスティネーションの暗号化設定でリストアの詳細を確認してください。正しくない場合、リストアジョブ設定の正しい詳細を入力してください。パスワードが正しいけれど失敗した場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10019

暗号化機能のライセンスが使用できないため、ファイルコピージョブがスキップしました。

エラー メッセージ 10020

D2D2D (ローカルまたはネットワークドライブへのファイルコピー) 機能のライセンスは、現在設定しているデスティネーションでは使用できず、ファイルコピージョブはスキップします。

現象

ファイルコピージョブは、この機能のライセンスが使用できないためスキップしました

解決策

ファイルコピー/ファイルアーカイブ機能のライセンスを確認し、Arcserve ライセンスチームにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10021

暗号化が <parameter> デスティネーションと一致しません。暗号化設定を無効にするには、ノード [<parameter>] の新しいデスティネーションを指定します。

現象

アーカイブジョブのアーカイブ先の暗号化設定の検証に失敗しました。

解決策

デスティネーションが暗号化で初期化されていますが、ユーザがタスクの設定中に暗号化を無効にしていることが原因である可能性があります。環境設定でデスティネーションの正しい暗号化設定を指定します。それ以外の場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください

エラー メッセージ 10022

ファイル <parameter> のコピーに失敗しました。指定した <parameter> デスティネーションに十分な空き容量がありません。

現象

デスティネーション デバイスに十分な容量がないため、アーカイブ ジョブが失敗しました。

解決策

アーカイブ先の空き容量を確認してください。空き容量が不足している場合はデスティネーションを変更するか、必要なストレージ容量をデスティネーションに追加してください。

エラーメッセージ 10023

暗号化が <parameter> デスティネーションと一致しません。暗号化設定を有効にするには、ノード [<parameter>] の新しいデスティネーションを指定します。

現象

ユーザが暗号化されていないデスティネーションに暗号化設定を指定したため、アーカイブ ジョブが失敗しました。

解決策

アーカイブ先が暗号化で初期化していないけれど、ユーザが環境でデスティネーションの暗号化の詳細を指定していることが原因である可能性があります。環境を確認し、暗号化設定を無効にします。それ以外の場合は、Arcserve サポートチームにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10024

ファイルコピーの削除ジョブが失敗しました。

現象

ファイルコピーの削除ジョブが失敗しました。

解決策

アーカイブ先にアクセスできるかどうかを確認してください。注：バックアップ先がローカルまたはネットワーク共有の場合は、エージェントのネットワーク接続を確認します。バックアップ先がデータストアの場合は、RPS ノードを確認します。ユーザには、ソースの場所に対する削除/読み取り/書き込み権限が必要です。

エラーメッセージ 10025

内部エラーが発生し、<parameter> 処理を続行することができません。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

アーカイブ ジョブが CCI エラーで失敗しました。これは 2 つのケースで発生する可能性があります。ケース 1、デスティネーションで暗号化パスワードの検証に失敗しました。ケース 2、内部エラーが発生しました。

解決策

ケース 1 の場合、デスティネーションで暗号化パスワードを確認してください。ケース 2 の場合、アーカイブ先への接続を確認してください。ソース内の一部のファイル(ファイル名に特殊文字が含まれる)がアーカイブ先に手動で作成できるかどうかを確認します。作成できない場合は、ファイルコピー/ファイルアーカイブ用のフィルタを追加して、これらのファイルをスキップしてください。

エラー メッセージ 10026

クラウド接続で内部エラーが発生し、<parameter> 処理を続行することができません。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

内部エラーが発生したため、アーカイブ ジョブが失敗しました

解決策

クラウド アカウントの詳細を確認し、クラウド接続をテストしてください。ソース内の一部のファイル(ファイル名に特殊文字が含まれる)がアーカイブ先に手動で作成できるかどうかを確認します。手動で作成できない場合は、ファイルコピー/ファイルアーカイブ用のフィルタを追加して、これらのファイルをスキップしてください。それ以外の場合は、Arcserve サポート チームにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10027

<parameter> デスティネーションに到達できません。

現象

クラウド デスティネーションの初期化に失敗したため、アーカイブ ジョブが失敗しました

解決策

クラウド環境設定の詳細を確認し、そのクラウド アカウントの接続をテストしてください。

エラー メッセージ 10028

無効な <parameter> 名。<parameter> の命名についてクラウド ベンダのルールを確認してください。

現象

バケット/コンテナ名が無効なため、アーカイブジョブが失敗しました。

解決策

クラウドプロバイダのバケット/コンテナ名の命名規則に従い、正しいバケット/コンテナ名を指定して再試行します。ベンダが提供するバケット名の命名規則に従っても問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください

エラーメッセージ 10029

無効なファイルコピー デスティネーションパスを指定しました。

現象

デスティネーションに到達できないため、アーカイブジョブが失敗しました。

解決策

デスティネーションの詳細を確認し、アーカイブ先の接続を確認します。環境設定で指定したパス、ユーザ名、またはパスワードが無効か、ネットワークまたはドメインが使用できないことが原因である可能性があります。

エラーメッセージ 10030

ファイル<parameter>のコピーに失敗しました。ネットワークに正しく接続されていることを確認して再試行します。

現象

ファイルコピージョブがネットワークエラーなしで失敗しました。

解決策

ネットワーク接続を確認してください。ネットワーク名と接続を確認してください。環境設定で指定したパス、ユーザ名、またはパスワードが無効か、ネットワーク/ドメインが使用できないことが原因である可能性があります。

エラーメッセージ 10031

デスティネーション デバイスに十分な空き容量がありません。

エラーメッセージ 10032

<parameter> バックアップに新しいファイルまたは変更されたファイルがありません。

現象

ファイルコピージョブは成功したが、新しいファイルはコピーされていません

解決策

アーカイブソースパスリストの最後のバックアップから変更されたファイルがないか、ファイルコピージョブがその復旧ポイントの変更済みファイルをすでにコピーしていません。

エラー メッセージ 10033

異なる認証情報を持つ同じネットワークリソースへの接続がアクティブです。

現象

ログオンセッションが存在しないため、アーカイブジョブに失敗しました。

解決策

ユーザアカウント制御が有効になっているかどうかを確認します。有効になっていない場合は、ユーザのアクセス制御を有効にします。

エラー メッセージ 10034

指定したネットワークリソースパスワードが無効です。

現象

ネットワーク共有のパスワードが無効なため、アーカイブジョブが失敗しました。

解決策

ネットワーク共有の正しいパスワードを指定してください。

エラー メッセージ 10035

指定したネットワークリソースユーザ名が無効です。

現象

ネットワーク共有のユーザ名が無効なため、アーカイブジョブが失敗しました。

解決策

ネットワーク共有の正しいユーザ名を指定してください。

エラー メッセージ 10036

ネットワークが利用できません。

現象

現在のユーザにファイルコピー デスティネーションへの書き込み権限がないため、アーカイブジョブが失敗しました。

解決策

現在のユーザには、ネットワークパスへの書き込み権限がありません。ユーザに読み取り/書き込み/削除の権限を与えます。

エラーメッセージ 10037

<parameter> デスティネーションは書き込みできません。

現象

現在のユーザにファイルコピー デスティネーションへの書き込み権限がないため、アーカイブジョブが失敗しました

解決策

そのユーザに書き込み権限を与えてください。

エラーメッセージ 10038

ファイルコピーのパージ ジョブが失敗しました。

現象

パージジョブが失敗しました

解決策

エージェント(バックアップ先がローカルまたはネットワーク共有の場合)/RPS ノード(バックアップ先がデータストアの場合)からアーカイブ先の接続を確認してください。ユーザはアーカイブ先の読み取り/書き込み/削除権限が必要です。

エラーメッセージ 10039

ファイル<parameter> のデータの読み取りに失敗しました(エラーコード = <parameter>)。詳細については、ログファイルを確認してください。

現象

ファイルのブロックのレプリケートに失敗したため、ファイルコピージョブが失敗しました。

解決策

エージェント(バックアップ先がローカルまたはネットワーク共有の場合)/RPS ノード(バックアップ先がデータストアの場合)からアーカイブ先の接続を確認してください。ユーザはアーカイブ先の読み取り/書き込み/削除権限が必要です。

エラーメッセージ 10040

ネットワークまたはサービスプロバイダに問題があるため、指定したデバイスから読み取れません。

現象

アーカイブ ジョブが、ファイルコピー デスティネーションからファイルの読み取りに失敗しました。

解決策

エージェント(バックアップ先がローカルまたはネットワーク共有の場合)/RPS ノード(バックアップ先がデータストアの場合)からアーカイブ先の接続を確認してください。ユーザはアーカイブ先とソースパスの読み取り/書き込み/削除権限が必要です。

エラー メッセージ 10041

ドライブ [<parameter>] が存在しません。

現象

ボリューム ディレクトリが存在しないため、リストア ジョブに失敗しました。

解決策

デスティネーション デバイスへのリストアに、リストア環境設定 ウィンドウで指定したボリュームが含まれていることを確認してください。

エラー メッセージ 10042

<parameter> デスティネーションが破損または初期化されていないため、<parameter> ジョブが失敗します。

エラー メッセージ 10043

新しいバケットの作成に失敗しました。理由: クラウド内のバケットが多すぎます。詳細については、Amazon プラグイン ログを参照してください。

現象

クラウド内のバケットが多すぎるため、バケットを作成できません。

解決策

現在の Amazon アカウントからバケットを1つ削除して再試行します。アカウントに100を超えるバケットが必要な場合は、バケット制限の増加リクエストをサブミットできます。バケット制限を増やす方法については、「AWS 全般のリファレンス」の「AWS サービス制限」を参照してください。

エラー メッセージ 10044

仮想ディスクのマウントに失敗しました。エラー <parameter>。

現象

ボリュームのマウントに失敗したため、アーカイブ ジョブが失敗しました。

解決策

マウントされたボリュームのタイムアウト 値を確認します。環境設定で指定したネットワークパス、ユーザ名、またはパスワードを確認するか、ネットワーク/ドメインの接続を確認します。

エラーメッセージ 10045

ネットワークまたはサービスプロバイダに問題があるため、指定したデバイスに書き込めません。

現象

ファイルコピー デスティネーションへのファイルの書き込みに失敗しました。

解決策

ネットワーク接続を確認してください。クラウド アカウントの場合は、クラウド接続をテストしてください。エージェント(バックアップ先がローカルまたはネットワーク共有の場合)/RPS ノード(バックアップ先がデータストアの場合)からアーカイブ先の接続を確認してください。ユーザはアーカイブ ジョブのアーカイブ先とソースパスのファイルの読み取り/書き込み/削除権限が必要です。

エラーメッセージ 10046

仮想マシン ESX サーバ <parameter> でライセンスの確認エラーが発生しました。

現象

ライセンスの確認に失敗しました。

解決策

関連する種類のライセンスを適用します

エラーメッセージ 10047

ライセンスの確認に失敗しました。<parameter> ライセンスはこのマシンでは無効です。

現象

ライセンスの確認に失敗しました。

解決策

関連する種類のライセンスを適用します。

エラー メッセージ 10048

クラウド デスティネーションでは、ボリューム単位のコピーはサポートされていません。

現象

復旧ポイントのコピージョブがクラッシュしました。ボリューム単位のコピーはサポートされていません。

解決策

クラウド デスティネーションでボリューム単位のコピーを実行しないでください。詳細については、ユーザマニュアルを参照してください。

エラー メッセージ 10049

ファイル <parameter> から <parameter> へのコピーが失敗しました。理由：
<parameter>。

現象

復旧ポイントのコピージョブがクラッシュしました。ソースからデスティネーションへのファイルのコピーに失敗しました。

解決策

このメッセージのエラーメッセージで詳細を確認し、修正してみてください。問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10050

復旧ポイントのコピージョブがクラッシュしました。次回 のスケジュールでもう一度試します。

現象

復旧ポイントのコピージョブがクラッシュしました。

解決策

同じバックアップセッションの復旧ポイントのコピージョブは、次回 のスケジュールで再度実行されます。ジョブクラッシュの詳細については、復旧ポイントのコピージョブログを確認してください。

エラー メッセージ 10051

暗号化パスワードは空のままにできません。パスワードを入力します。

現象

復旧ポイントのコピージョブが失敗しました。

解決策

有効な暗号化パスワードを入力して、ジョブをもう一度試してください。

エラーメッセージ 10052

暗号化パスワードが無効です。有効なパスワードを入力してください。

現象

復旧ポイントのコピージョブが失敗しました。暗号化パスワードが無効です。

解決策

有効な暗号化パスワードを入力して、ジョブをもう一度試してください。

エラーメッセージ 10053

復旧ポイントのダウンロードに失敗しました。

現象

復旧ポイントのコピージョブが失敗しました。

解決策

現在の復旧ポイントのコピージョブのアクティビティログ、およびログフォルダ内の復旧ポイントのコピージョブログファイルを参照してください。

エラーメッセージ 10054

セッションブロックファイルのコピーが失敗しました。

現象

復旧ポイントのコピージョブが失敗しました。

解決策

ブロックファイルをコピーできません。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピージョブログを提供してください。

エラーメッセージ 10055

カタログファイルのコピーが失敗しました。

現象

復旧ポイントのコピージョブが失敗しました。

解決策

復旧ポイントのコピージョブは、カタログファイルをコピーできません。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピージョブログを提供してください。

エラーメッセージ 10056

復旧ポイントのコピーが失敗しました。エラー: <parameter>。

現象

復旧ポイントのコピージョブが失敗しました。

解決策

ディスク/ファイルの読み取り/書き込み中に、復旧ポイントのコピージョブが失敗する可能性があります。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピージョブログを提供してください。

エラーメッセージ 10057

<parameter> (ボリューム <parameter>) が失敗しました。

現象

復旧ポイントのコピージョブが失敗しました。

解決策

ディスクの読み取り/書き込み/ディスクへのシーク/ディスクからのシーク中に、復旧ポイント コピージョブが失敗する可能性があります。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピージョブログを提供してください。

エラーメッセージ 10058

復旧ポイントのデスティネーションのコピーが見つかりませんでした。(パス=[<parameter>]、ユーザ名=[<parameter>]、EC=[<parameter>])

現象

復旧ポイントのコピージョブが失敗しました。

解決策

復旧ポイントのソース/デスティネーションの検出中に、復旧ポイントのコピージョブが失敗する可能性があります。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピージョブログを提供してください。

エラーメッセージ 10059

メタブロックを開けませんでした。

現象

復旧ポイントのコピージョブが失敗しました。

解決策

メタブロックを開いているときに復旧ポイントのコピージョブが失敗する可能性があります。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピージョブログを提供してください。

エラーメッセージ 10060

仮想ディスク <parameter> を開けませんでした。

現象

復旧ポイントのコピージョブが失敗しました。

解決策

VHD ファイルを開いているときに復旧ポイントのコピージョブが失敗する可能性があります。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピージョブログを提供してください。

エラーメッセージ 10061

メタブロックの読み取りに失敗しました。

現象

復旧ポイントのコピージョブが失敗しました。

解決策

メタブロックの読み取り中に復旧ポイントのコピージョブが失敗する可能性があります。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピージョブログを提供してください。

エラーメッセージ 10062

データを読み取れませんでした。

現象

復旧ポイントのコピージョブが失敗しました。

解決策

VHD ディスクの読み取り中に復旧ポイントのコピージョブが失敗する可能性があります。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピージョブログを提供してください。

エラー メッセージ 10063

<parameter> ジョブが失敗しました。次回 のスケジュールでもう一度 試します。

現象

復旧 ポイントのコピー ジョブが失敗しました。

解決策

同じバックアップ セッションの復旧 ポイントのコピー ジョブは、次回 のスケジュールで再度実行されます。詳細については、サポートに連絡して復旧 ポイントのコピー ジョブ ログを提供してください。

エラー メッセージ 10064

ファイル ポインタのシークに失敗しました。

現象

復旧 ポイントのコピー ジョブが失敗しました。

解決策

VHD ディスクのシーク中に復旧 ポイントのコピー ジョブが失敗する可能性があります。詳細については、サポートに連絡して復旧 ポイントのコピー ジョブ ログを提供してください。

エラー メッセージ 10065

バックアップ セッション [<parameter>] がパス [<parameter>] にありません。

現象

復旧 ポイントのコピー ジョブが失敗しました。

解決策

バックアップ先にリクエストされたセッションがありません。詳細については、サポートに連絡して復旧 ポイントのコピー ジョブ ログを提供してください。

エラー メッセージ 10066

<parameter> に十分な空き容量がありません。<parameter> 空き容量を確保してください。

現象

復旧 ポイントのコピー ジョブが失敗しました。

解決策

十分な容量を割り当てて、ジョブを再実行します。問題が解決しない場合は、サポートに連絡して詳細について復旧ポイントのコピージョブログを提供してください。

エラーメッセージ 10067

データの書き込みに失敗しました。<parameter>

現象

VHD ファイルへのデータの書き込みに失敗しました。

解決策

VHD ディスクに書き込み中に復旧ポイントのコピージョブが失敗する可能性があります。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピージョブログを提供してください。

エラーメッセージ 10068

バックアップ先のロックに失敗しました。バックアップ先がアクセス可能かどうか、または別のジョブが同じバックアップ先にデータを書き込んでいるかどうかを確認してください。

現象

バックアップ先のロックに失敗しました。

解決策

バックアップ先がアクセス可能かどうか、または別のジョブが同じバックアップ先にデータを書き込んでいるかどうかを確認してください。

エラーメッセージ 10069

別の<parameter>ジョブ(プロセス<parameter>)がノード<parameter>から同じデスティネーションにデータを書き込んでいるため、バックアップ先のロックに失敗しました。

現象

別のノードからの別のジョブが同じデスティネーションにデータを書き込んでいるため、バックアップ先のロックに失敗しました。

解決策

別のジョブが終了するのを待ってから、ジョブを再サブミットします

エラー メッセージ 10070

クラウドから復旧ポイント ファイルのダウンロードに失敗しました。エラー メッセージのログを確認してください。

現象

クラウド ジョブから復旧ポイント ファイルのダウンロードに失敗しました。

解決策

復旧ポイント ファイルのダウンロードは、パスが正しくないか、復旧ポイントに有効なデータが含まれていないため失敗する可能性があります。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピー ジョブ ログを提供してください。

エラー メッセージ 10071

Host-Based VM Backup が、<parameter> コントローラで仮想ディスクの除外に失敗しました [<parameter> : <parameter>]。

現象

仮想ディスクの除外に失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10072

バックアップ先 <parameter> で新しいセッションの作成に失敗しました。バックアップ先が利用可能かどうかを確認します。

現象

バックアップ先で新しいセッションの作成に失敗しました。

解決策

バックアップ先が利用可能かどうかを確認します。

エラー メッセージ 10073

ボリューム [<parameter>] のスナップショットが見つかりません。詳細については、ボリューム シャドウコピー サービス (VSS) 関連の Windows イベント ログを確認してください。

現象

ボリュームのスナップショットが見つかりません。

解決策

詳細については、ボリュームシャドウコピー サービス (VSS) 関連の Windows イベント ログを確認してください。

エラーメッセージ 10074

仮想ディスクからのデータの読み取りに失敗しました。内部エラー=
[<parameter>]。

現象

仮想ディスクからのデータの読み取りに失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップジョブ ログを確認してください。

エラーメッセージ 10075

仮想ディスクからのデータの読み取りに失敗しました。内部エラー=
[<parameter>]。バックアップ先ボリュームのディスク容量、またはリモート バックアップ
先フォルダへのネットワーク接続を確認してください。

現象

仮想ディスクからのデータの読み取りに失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップジョブ ログを確認してください。

エラーメッセージ 10076

仮想ディスクからのデータの読み取りに失敗しました。システムエラー=
[<parameter>]。

現象

仮想ディスクからのデータの読み取りに失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップジョブ ログを確認してください。

エラーメッセージ 10077

カタログジョブスクリプトの保存に失敗しました。(このエラーはバックアップジョブに
は影響しません)。

現象

カタログ ジョブ スクリプトの保存に失敗しました。(このエラーはバックアップ ジョブには影響しません)。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10078

セッション キー ファイルの保存に失敗しました。(EC=[<parameter>])

現象

セッション キー ファイルの保存に失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10079

仮想 ディスク <parameter> の作成に失敗しました。システム エラー=[<parameter>]。

現象

仮想 ディスクの作成に失敗しました。

解決策

システムから関連するメッセージ情報が提供されます。

エラー メッセージ 10080

仮想 ディスク <parameter> の作成に失敗しました。内部 エラー=[<parameter>]。

現象

仮想 ディスクの作成に失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10081

バックアップ セッションのメタデータの作成に失敗しました。

現象

バックアップ セッションのメタデータの作成に失敗しました。

解決策

デスティネーションにアクセスできないことが原因である可能性があります。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10082

バックアップ先が見つかりませんでした。(パス=[<parameter>]、ユーザ名=[<parameter>]、EC=[<parameter>:<parameter>])

現象

バックアップ先のロックに失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10083

バックアップ先が見つかりませんでした。(パス=[<parameter>]、EC=<parameter>:<parameter>)]。

現象

バックアップ先のロックに失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10084

ボリューム <parameter> のシャドウコピーの読み取りに失敗しました。システムエラーは [<parameter>] です。ボリュームのシャドウコピーの読み取りに失敗しました。

現象

バックアップジョブが失敗しました。

解決策

イベントログとバックアップジョブログを確認する必要があります。

エラーメッセージ 10085

ボリューム <parameter> のサブセッションメタデータをバックアップできません。システムエラー=[<parameter>]。

現象

関連するボリュームのサブセッションメタデータをバックアップできません。

解決策

システムからアクティブ ログに関連するメッセージ情報が提供されます。詳細については、関連するバックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10086

セッションのマージに失敗しました。保存数の設定 =<parameter>、システム エラー = [<parameter>]。

現象

セッションのマージに失敗しました。

解決策

システムからアクティブ ログに関連するメッセージ情報が提供されます。詳細については、関連するバックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10087

セッションのマージに失敗しました。保存数の設定 =<parameter>、内部エラー = [<parameter>]。

現象

セッションのマージに失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10088

デスティネーションへの書き込みに失敗しました。システム エラー = [<parameter>]。

現象

デスティネーションへの書き込みに失敗しました。

解決策

システムからアクティブ ログに関連するメッセージ情報が提供されます。詳細については、関連するバックアップ ジョブ ログを確認してください。

OneDrive バックアップの場合、「警告: Sibat から親フルビット マップの生成を開始します。 <Filename>」メッセージが、バックアップ プロキシ マシン/VM の <installation folder>\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\Logs\OneDrv-<date>-job<JobId>-pid<uniquenumber>.log ファイルで見つかった場合、バックアップを成功させるために以下を実行します。

- `<backup destination folder>\Nodename`
`[<uniqueid>]\VStore\S000000000<backupsessionnumber>\disk<uniqueid>.D2-D.fbt` ファイルがデータストアから誤って削除または移動されたときに、場所がわかっている場合、このファイルを移動した場所からリストアしてから OneDrive ノードの増分バックアップをトリガします。
- `<backup destination folder>\ Nodename`
`[<uniqueid>]\VStore\S000000000<backupsessionnumber>\disk<uniqueid>.D2-D.fbt` ファイルと増分バックアップをリストアできない場合、フルバックアップを実行します。

注: `Backupsessionnumber` は、最後に成功したバックアップセッションを示します。

エラーメッセージ 10089

仮想ディスクへの書き込みに失敗しました。内部エラー=[<parameter>]。

現象

仮想ディスクへの書き込みに失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10090

仮想ディスクへの書き込みに失敗しました。内部エラー=[<parameter>]。バックアップ先ボリュームのディスク容量、またはリモートバックアップ先フォルダへのネットワーク接続を確認してください。

現象

仮想ディスクへの書き込みに失敗しました。

解決策

バックアップ先ボリュームのディスク容量、またはリモートバックアップ先フォルダへのネットワーク接続を確認してください。

エラーメッセージ 10092

仮想マシン [<parameter>] 用 VMware Tools がインストールされていないか、古すぎます。その結果、後続の Exchange カタログジョブが起動しません。

現象

VMware Tools がインストールされていないか、古すぎます。その結果、後続の Exchange カタログ ジョブが起動しません。

解決策

VMware Tools を再インストールするか、アップグレードします。

エラー メッセージ 10093

仮想マシン [<parameter>] が実行していません。その結果、後続の Exchange カタログ ジョブが起動しません。

現象

仮想マシンが実行されていません。その結果、後続の Exchange カタログ ジョブは起動しません

解決策

VM の電源をオンにします

エラー メッセージ 10094

VM 環境設定ファイル<parameter> のバックアップが失敗しました。システム エラー=[<parameter>]。

現象

VM 環境設定ファイルのバックアップが失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10095

Hyper-V ホスト <parameter> に接続できませんでした。

現象

Hyper-V ホストに接続できませんでした。

解決策

ネットワーク接続または Hyper-V ホストのファイアウォール設定を確認します。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10096

仮想マシンの環境設定ファイルと仮想ディスクファイルの一部はクラスタ共有ボリューム(CSV)にあり、その他の部分はローカルディスクにあります。この状況は、

Hyper-V VSS ライタではサポートされていません。

現象

このような設定の仮想マシンは Hyper-V VSS ライタでサポートされていないため、UDP ではサポートされません。

解決策

仮想マシンの環境設定を修正します。

エラーメッセージ 10097

仮想ディスク <parameter> のバックアップの実行に失敗しました。システムエラー= [<parameter>]。

現象

仮想ディスクファイルのバックアップ中にシステムエラーが発生しました。

解決策

詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10098

バックアップジョブがキャンセルされました。VSS スナップショットの場合、Hyper-V VSS ライタは仮想マシンを保存する必要があり、これは現在のプランに適用されません。バックアップジョブを再開するには、プランの [Hyper-V スナップショット方式] の設定を変更します。プランの [Hyper-V スナップショット方式] を設定する方法の詳細については、製品ドキュメントを参照してください。

現象

バックアッププランで許可されていないけれども仮想マシンを [保存済み] ステータスにする必要があるため、バックアップジョブは自動的にキャンセルされました。

解決策

バックアッププランの [Hyper-V スナップショット方式] の設定を変更します。プランの [Hyper-V スナップショット方式] を設定する方法の詳細については、製品ドキュメントを参照してください。

エラーメッセージ 10099

仮想ディスクファイル [<parameter>] を開けませんでした。システムエラー= [<parameter>]。

現象

バックアップ用仮想ディスクファイルを開くときにシステムエラーが発生しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10100

仮想 マシンのバックアップの準備に失敗しました。

現象

Hyper-V ホストにバックアップ スタブを展開するとき、または Hyper-V ホストでバックアップ スタブに接続するときにエラーが発生しました。

解決策

バックアップ プロキシと Hyper-V ホスト間のネットワーク接続、または Hyper-V ホストのファイアウォール設定を確認します。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10101 ~ 10200

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 10101

Hyper-V バックアップ ユーティリティに接続できませんでした。

現象

Hyper-V ホストにバックアップ スタブを展開するとき、または Hyper-V ホストでバックアップ スタブに接続するときにエラーが発生しました。

解決策

バックアップ プロキシと Hyper-V ホスト間のネットワーク接続、または Hyper-V ホストのファイアウォール設定を確認します。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10102

Hyper-V バックアップ ユーティリティが応答しません。

現象

Hyper-V ホストにバックアップ スタブを展開するとき、または Hyper-V ホストでバックアップ スタブに接続するときにエラーが発生しました。

解決策

バックアッププロキシとHyper-V ホスト間のネットワーク接続、またはHyper-V ホストのファイアウォール設定を確認します。または、詳細については、バックアップジョブログを確認してください

エラーメッセージ 10103

VSS スナップショットを作成できませんでした。システムエラー=[<parameter>]。

現象

バックアップ用 VSS スナップショットの作成中にシステムエラーが発生しました。

解決策

Hyper-V ホストとゲスト OS の両方で、[Microsoft] -> [Windows] -> [Hyper-V-VMMS] -> [管理者] で Windows イベント メッセージのエラーを確認します。または、詳細については、バックアップジョブログとスタブログを確認してください。このメッセージの原因の1つは、ソースボリューム(64 TB 以上)である可能性があります。このサイズは、VSS スナップショット機能の Microsoft の制限を超えています。ボリューム上のデータで可能な場合、Microsoft Disk Management から 63.9 TB 未満のパーティションサイズにボリュームを縮小すると VSS スナップショットが機能します。

エラーメッセージ 10104

VM バックアップチェックポイントの取得に失敗しました。エラーメッセージ [<parameter>]。

現象

バックアップのチェックポイント取得中にシステムエラーが発生しました。

解決策

詳細については、Hyper-V ホストとゲスト OS の両方で [Microsoft]> [Windows]> [Hyper-V-VMMS]> [管理] の Windows イベント メッセージのエラーを参照するか、バックアップジョブログとスタブログを参照してください。

エラーメッセージ 10105

Host-Based VM Backup は、Windows 2008 Hyper-V 仮想マシンの保護をサポートしません。Hyper-V ホストを Windows 2008 R2 オペレーティングシステム以降にアップグレードする必要があります。

現象

Hyper-V 2008 は、UDP のエージェントレスバックアップではサポートされていません。

解決策

Hyper-V 2008 R2 以降にアップグレードします。

エラー メッセージ 10106

Host-Based VM Backup は、Windows 2008 R2 Hyper-V クラスタ仮想マシンの保護をサポートしません。Hyper-V ホストを Windows 2012 オペレーティング システム以降にアップグレードする必要があります。

現象

Hyper-V 2008 R2 クラスタは、UDP のエージェントレス バックアップではサポートされていません。

解決策

Hyper-V 2012 以降にアップグレードします。

エラー メッセージ 10107

変更ブロックのトラッキング(CBT) 機能のアップグレードに失敗しました。システム エラー=[<parameter>]。

現象

Hyper-V ホストの変更ブロックトラッキング機能のアップグレード中にシステムエラーが発生しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10108

仮想マシンの1つ以上の環境設定ファイルまたは仮想ディスクファイルがSMB共有フォルダに存在するこれは、Host-Based VM Backup ではサポートされていません。

現象

廃止メッセージ

解決策

廃止メッセージ

エラー メッセージ 10109

仮想マシンの1つ以上の環境設定ファイルまたは仮想ディスクファイルを検出できません。VM が Hyper-V および Hyper-V VSS ライタに登録されていることを確認します。

現象

バックアップジョブは、仮想マシンの1つ以上の環境設定ファイルまたは仮想ディスクファイルを検出できません。

解決策

VM が Hyper-V および Hyper-V VSS ライタに登録されていることを確認します。または、詳細については、バックアップジョブログとスタブログを確認してください。

エラーメッセージ 10110

この仮想マシンを処理しているときに、Hyper-V VSS ライタでエラーが発生しました。(Hyper-V VSS ライタエラーの詳細については、製品ドキュメントを参照してください)。

現象

Hyper-V VSS ライタがバックアップ用仮想マシンを処理しているときにエラーが発生しました。

解決策

詳細については、Hyper-V ホストとゲスト OS の両方で [Microsoft]> [Windows]> [Hyper-V-VMMS]> [管理] の Windows イベントメッセージのエラーを参照するか、バックアップジョブログとスタブログを参照してください。

エラーメッセージ 10111

VM が現在別のアプリケーションによってバックアップされているため、Hyper-V VSS ライタはこの VM の処理に失敗しました。

現象

この仮想マシンは、別の UDP バックアップジョブまたは別のバックアップアプリケーションによってバックアップされています。

解決策

UDP または他のアプリケーションのバックアップジョブを終了し、バックアップをもう一度試します。

エラーメッセージ 10112

Hyper-V 環境の初期化に失敗しました。

現象

Hyper-V ホストで仮想マシンのバックアップを準備中にエラーが発生しました。

解決策

詳細については、バックアップジョブログとスタブログを参照してください。

エラー メッセージ 10113

無効なセッションが見つかりました。(セッションパス=[<parameter>])

現象

無効なセッションが見つかりました。

解決策

無効なセッションをマージする必要があります。次のバックアップジョブはフルバックアップジョブである必要があります。

エラー メッセージ 10114

バックアップジョブが失敗しました。

現象

バックアップジョブが失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 10115

バックアップジョブ <parameter> (仮想マシン <parameter> (<parameter>)) に失敗しました。

現象

バックアップジョブが失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 10116

バックアップ先が削除中のため、バックアップジョブが失敗しました。

現象

バックアップ先が削除中のため、バックアップジョブが失敗しました。

解決策

バックアップジョブを再サブミットします。

エラーメッセージ 10117

バックアップジョブ <parameter> (仮想マシン <parameter> (<parameter>)) のサブミットに失敗しました。

現象

仮想マシンのバックアップジョブをサブミットできませんでした。

解決策

詳細については、バックアップジョブ ログとスタブ ログを確認してください。

エラーメッセージ 10118

セッション <parameter> をロックできません。

現象

セッションをロックできません。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブ ログを確認してください。

エラーメッセージ 10119

セッション <parameter> をロックできません。セッションがマージまたは削除された可能性があります。

現象

セッションをロックできません。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブ ログを確認してください。

エラーメッセージ 10120

エージェントがインストールされている VM バックアップ プロキシ マシンの容量が不足しています。

現象

バックアップ プロキシ マシンに十分な空きストレージ容量がありません。

解決策

UDP エージェントがインストールされているボリュームのストレージ容量を確認し、空き容量を増やします。

エラー メッセージ 10121

以前のマージ処理が完了していないため、バックアップの準備ができていません。

現象

マージ処理がまだ進行中のため、バックアップ ジョブを続行できません。

解決策

マージが完了するのを待って、バックアップ ジョブをもう一度試します。

エラー メッセージ 10122

64 ビット バイナリが VMware Virtual Disk Development Kit で見つかりません。正しくインストールされているか確認してください。

現象

VMware Virtual Disk Development Kit がバックアップ プロキシ マシンに正しくインストールされていません。

解決策

VMware Virtual Disk Development Kit のインストールを確認します。必要に応じて UDP エージェントを再インストールします。

エラー メッセージ 10123

現在のライセンスでは、ブロックレベルの増分 (BLI) バックアップのみが最小間隔 1 時間に 1 回でサポートされています。より頻繁に BLI バックアップを実行するには (15 分ごと)、ライセンスをアップグレードしてください。

現象

このライセンスでは、1 時間未満のバックアップ間隔は許可されていません。

解決策

新しいライセンスを取得します。

エラー メッセージ 10124

バックアップに使用できるソース ボリュームがありません。

現象

バックアップ プランで選択したボリュームは使用できません。

解決策

ボリュームの存在を確認するか、プランを変更して他のボリュームを選択します。

エラーメッセージ 10125

VMware Virtual Disk Development Kit が見つかりません。正しくインストールされているか確認してください。

現象

VMware Virtual Disk Development Kit がバックアップ プロキシ マシンに正しくインストールされていません。

解決策

VMware Virtual Disk Development Kit のインストールを確認します。必要に応じて UDP エージェントを再インストールします。

エラーメッセージ 10126

VMware VIX が見つかりません。正しくインストールされているか確認してください。

現象

VMware VIX がバックアップ プロキシ マシンに正しくインストールされていません。

解決策

VMware VIX のインストールを確認し、必要に応じて再インストールします。

エラーメッセージ 10127

VMware VIX がインストールされていません。アプリケーションは、VMware VIX なしではアプリケーション ログの切り捨ておよび実行前/後コマンドを実行できません。

現象

VMware VIX がバックアップ プロキシ マシンに正しくインストールされていません。

解決策

VMware VIX のインストールを確認し、必要に応じて再インストールします。

エラーメッセージ 10128

このバックアップ ジョブでボリュームが選択されていません。

現象

このバックアップ ジョブでボリュームが選択されていません。

解決策

プランを変更してボリュームまたはマシン全体を選択します。

エラー メッセージ 10129

バックアップジョブは、最後の段階で重要なメタデータの更新またはリソースの解放に失敗しました。

現象

バックアップジョブが失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップジョブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 10131

コマンドを実行できません。(EC=<parameter>)

現象

コマンドを実行できません。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10132

ゲスト OS でコマンドを実行できません。(EC=<parameter>)

現象

ゲスト OS でコマンドを実行できません。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10133

ジョブが中止されました。ジョブ スケジューラ タスク処理を停止できませんでした。(EC=<parameter>) ジョブが中止されました。ジョブ スケジューラ タスク処理を停止できませんでした。

現象

警告メッセージ。

解決策

一般的な警告情報です。これ以上操作する必要はありません。

エラーメッセージ 10134

無効なセッションのページに失敗しました。(セッションパス=[<parameter>])

現象

無効なセッションのページに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10135

ディスクモードを変更するように仮想マシンを再設定できませんでした。仮想マシンにスナップショットがある場合は、削除してください。

現象

ディスクモードを変更するように仮想マシンを再設定できませんでした。

解決策

仮想マシンにスナップショットがある場合は、削除してバックアップをもう一度試してみてください。

エラーメッセージ 10136

VMware Virtual Disk Development Kit 1.2 以降のバージョンのみがサポートされています。

現象

バージョン 1.2 より前の VMware Virtual Disk Development Kit はサポートされていません。

解決策

VMware Virtual Disk Development Kit のインストールを確認します。必要に応じて UDP エージェントを再インストールします。

エラーメッセージ 10137

仮想マシン ESX サーバ<parameter> はライセンスがありません。

現象

ESX サーバに適切なライセンスがないため、エージェントレス バックアップに必要な機能がありません。

解決策

ESX に適切なライセンスが適用されていることを確認します。詳細については、「UDP ソリューション ガイド」を確認してください。

エラー メッセージ 10138

ESX サーバのバージョンは <parameter> です。アプリケーションには ESX サーババージョン 4.0 以降が必要です。

現象

UDP エージェントレス バックアップは、ESX サーババージョン 4.0 以降のみをサポートします。

解決策

ESX サーバをアップグレードします。

エラー メッセージ 10139

ハードウェア スナップショットは、HW アプライアンス ボリュームに存在する 1 つ以上の VMDK ファイルではサポートされません。そのため、バックアップ ジョブが失敗します。

現象

1 つ以上の VMDK ファイルが HW アプライアンス ボリューム上に存在するため、ハードウェア スナップショットはサポートされません。

解決策

VMDK ファイルを他のボリュームに移動します。

エラー メッセージ 10140

仮想 ディスク <parameter> のバックアップに失敗しました。

現象

仮想 ディスクのバックアップ中にエラーが発生しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラーメッセージ 10141

ハードウェア スナップショットを使用した仮想 ディスク <parameter> のバックアップに失敗しました。

現象

仮想 ディスクのバックアップ中にエラーが発生しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラーメッセージ 10142

chkdsk コマンドは、予想時間内にプロセスを完了できませんでした。システム負荷が高いことが原因である可能性があります。詳細については、「Arcserve UDP ソリューションガイド」を参照してください。

現象

chkdsk コマンドは、予想時間内にプロセスを完了できませんでした。

解決策

システム負荷が高いことが原因である可能性があります。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラーメッセージ 10143

復旧ポイントのチェック結果：ボリューム： [<parameter>]、ファイルシステム： [<parameter>]、ボリュームの種類： [<parameter>]、ディスク [<parameter>] のチェックエラー。

現象

ディスクの確認中にエラーが発生しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラーメッセージ 10144

復旧ポイントのチェック結果：ボリューム： [<parameter>]、ファイルシステム： [<parameter>]、ボリュームの種類： [<parameter>]、ディスク [<parameter>] のマウント解除エラー。

現象

復旧ポイントのチェック後、ディスクをマウント解除するときエラーが発生しました。

解決策

詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 10145

復旧ポイントのチェック結果：ボリューム: [<parameter>]、ファイルシステム: [<parameter>]、ボリュームの種類: [<parameter>]、ディスク [<parameter>] のマウントエラー。

現象

復旧ポイントのチェックのためのディスクをマウントするときエラーが発生しました。

解決策

詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 10146

復旧ポイントのチェック結果：ボリューム: [<parameter>]、ファイルシステム: [<parameter>]、ボリュームの種類: [<parameter>]、エラー [<parameter>]。

現象

ディスクの確認中にエラーが発生しました。

解決策

詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 10147

ノード [<parameter>]、セッション番号 [<parameter>] の復旧ポイントのチェックが失敗しました。

現象

復旧ポイントのチェックが失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 10148

ノード [<parameter>]、セッション番号 [<parameter>] の復旧ポイントのチェックがエラー [<parameter>] で失敗しました。

現象

復旧ポイントのチェックが失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10149

ESX サーバまたは vCenter サーバに接続できません。ESX サーバに接続している場合、VMware Management Service がそのサーバ上で実行されていることを確認します。vCenter サーバに接続している場合、vCenter サービスがそのサーバ上で実行されていることを確認します。

現象

vCenter サーバまたは ESX サーバに接続できませんでした。

解決策

vSphere クライアントで vCenter/ESX に接続できることを確認します。または、詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10150

ESX サーバまたは vCenter サーバに接続できません。認証情報が無効または正しくありません。

現象

vCenter サーバまたは ESX サーバに接続できませんでした。

解決策

vSphere クライアントで vCenter/ESX に接続できることを確認します。または、詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10151

ESX サーバまたは vCenter サーバに接続できません。サーバにアクセスできません。VMware Management Service または vCenter Service が実行されていること、サーバがネットワークに接続されていること、および認証情報が有効であることを確認します。

現象

vCenter サーバまたは ESX サーバに接続できませんでした。

解決策

vSphere クライアントで vCenter/ESX に接続できることを確認します。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10152

仮想マシン スナップショットの作成に失敗しました。

現象

バックアップ用仮想マシンのスナップショットの作成に失敗しました。

解決策

vSphere クライアントでスナップショットを手動で作成できることを確認します。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10153

仮想マシンにスナップショットがあるため、アプリケーションは仮想マシンで変更ブロックのトラッキングを有効にできません。この問題を修正するには、スナップショットを削除してからバックアップを再サブミットします。

現象

スナップショットのある仮想マシンでは、変更ブロックのトラッキングを有効にできません。

解決策

スナップショットを削除してからバックアップを再サブミットします。

エラー メッセージ 10154

指定した仮想マシンで変更ブロックのトラッキングを有効にできないため、バックアップが失敗しました。

現象

仮想マシンの変更ブロックのトラッキングを有効にできませんでした。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10155

現在、バックアップを続行できません。バックアップ先が利用できないため、前回失敗したバックアップ セッションに関連するデータを削除できません。システムエラーは <parameter> です。バックアップ ジョブを後で実行すると、アプリケーションが問題を修正します。

現象

システムエラーで前回の失敗しましたバックアップジョブで残ったデータをクリーニングできないため、バックアップジョブを続行できなかった。

解決策

詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10156

バックアップジョブが「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式を使用するように設定されているため、バックアップを中止します。ただし、Host-Based VM Backup は必要なツールを VM に展開できなかったため、「VMware Tools」スナップショット方式のみが適用されます。

現象

バックアッププランが「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式を使用するように設定されているが、バックアップジョブがこのスナップショット方式を適用するように VM を設定できなかったため、バックアップジョブは中止しました。

解決策

VM ノードを適切な管理者認証情報で更新していることを確認します。組み込み以外の管理者を使用している場合は、VM 内の UAC を無効にします。UAC を無効にする方法の詳細については、「UDP ソリューションガイド」を参照してください。

エラーメッセージ 10157

バックアップジョブが「VMware Tools」スナップショット方式を使用するように設定されているため、バックアップを中止します。ただし、Host-Based VM Backup が VM 内からツールを展開解除できなかったため、「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式のみが適用されます。

現象

バックアッププランが「VMware Tools」スナップショット方式を使用するように設定されているが、VM が「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式で設定されており、バックアップジョブはそのスナップショット方式を適用解除するように VM を設定できなかったためバックアップジョブは中止しました。

解決策

VM ノードを適切な管理者認証情報で更新していることを確認します。組み込み以外の管理者を使用している場合は、VM 内の UAC を無効にします。UAC を無効にする方法の詳細については、「UDP ソリューションガイド」を参照してください。

エラー メッセージ 10158

VMDK ファイルを開けません。

現象

バックアップ用 VMDK ファイルを開けないため、バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10159

アプリケーションは仮想 マシンのスナップショットを削除できません。ESX サーバ /vCenter サーバが次のエラーを報告しています: <parameter>。

現象

バックアップ ジョブは VM のスナップショットを削除できませんでした。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10160

仮想 マシン スナップショットからアプリケーション関連情報を取得できませんでした。バックアップに、アプリケーション固有のセッション(Microsoft SQL Server や Exchange Server など) が含まれていない可能性があります。ゲスト オペレーティング システムで Microsoft ボリューム シャドウコピー サービスのステータスを確認します。

現象

アプリケーションが VM 内にインストールされているのに、バックアップ ジョブがアプリケーションの情報を取得できませんでした

解決策

これは、アプリケーション整合性バックアップでないときに発生する可能性があります。アプリケーション整合性バックアップの前提条件については、「UDP ソリューションガイド」を参照してください。

エラー メッセージ 10161

仮想 マシンの環境設定を取得できません。

現象

バックアップ ジョブで VM の環境設定を取得できませんでした。

解決策

Hyper-V がまだアクセス可能で、VM がまだ存在するかどうかを確認します。

エラーメッセージ 10162

アプリケーションは仮想マシン <parameter> に関する情報を取得できませんでした。

現象

バックアップジョブで VM の環境設定を取得できませんでした。

解決策

vCenter/ESX がまだアクセス可能で、VM がまだ存在することを確認します。

エラーメッセージ 10163

仮想マシンのゲスト OS からボリューム情報を取得できませんでした。

現象

バックアップジョブがデータを解析できず、ボリューム情報を取得できませんでした。

解決策

これは、VM に Linux ゲスト OS がある場合、またはゲスト OS がない場合に発生することがあります。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10164

VM が現在別のアプリケーションによってバックアップされているため、ジョブはこの VM の処理に失敗しました。

現象

この仮想マシンは、別の UDP バックアップジョブまたは別のバックアップアプリケーションによってバックアップされています。

解決策

UDP または他のアプリケーションのバックアップジョブを終了し、バックアップをもう一度試します。

エラーメッセージ 10165

仮想マシン上のゲストオペレーティングシステムにログインできません。ESX/vCenter がエラーを報告しています: <parameter>。これは、VMware Tools が古い場合にも発生する可能性があります。

現象

バックアップジョブがVMのゲストOSにログインできず、スナップショット方式の設定、実行前/後コマンドのトリガなどのタスクを処理できませんでした。

解決策

スナップショット方式を変更せず、バックアッププランでアプリケーションログのパーズまたは実行前/後コマンドのいずれかを設定していない場合、このメッセージは無視できます。メッセージを削除するには、組み込みの管理者認証情報でVMノードを更新します(または組み込み以外の管理者を使用している場合は、VM内のUACを無効にします。UACを無効にする方法の詳細については、「UDPソリューションガイド」を参照してください)。

エラー メッセージ 10166

仮想マシンの電源状態を特定できません。

現象

仮想マシンの電源ステータスの検出に失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 10167

仮想マシンからMicrosoft Exchange Serverログをパーズできませんでした。

現象

Microsoft Exchange Serverのトランザクションログの切り捨てに失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 10168

仮想マシンからMicrosoft SQL Serverログをパーズできませんでした。

現象

Microsoft SQL Serverのトランザクションログの切り捨てに失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10169

「disk.EnableUUID」パラメータを有効化するように仮想マシンを再設定する際に、エラーが報告されました(これはアプリケーションの整合性を保つバックアップに必要)。これは、仮想環境がエラー(VM 実行中の ESX サーバの予期しない電源サイクルなど)から回復した際に発生する可能性があります。このエラーは、VM をシャットダウンして新しいバックアップジョブを実行すると解決できます。(VM のダウンタイムを短縮するために、新しいバックアップジョブの「スナップショットの作成」フェーズ中またはその後に VM の電源をオンにすることができます)。

現象

アプリケーションの整合性を保つバックアップに必要な「disk.EnableUUID」パラメータを有効化するように仮想マシンを再設定するときに、エラーが発生します。

解決策

VM をシャットダウンして、新しいバックアップジョブを実行してみてください。

エラーメッセージ 10170

仮想マシン上の仮想ディスク <parameter> で使用または変更されたブロックを識別できません。詳細については、VMware ログを確認してください。すべてのブロックのバックアップを実行しています。

現象

VM の使用/変更ブロックの情報の取得に失敗しました。すべてのデータブロックがバックアップされます。

解決策

詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10171

最初のバックアップジョブの変更ブロックのトラッキング機能をリセットできませんでした。

現象

VM の変更ブロックのトラッキング機能をリセットできませんでした。

解決策

詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 10172

アプリケーションは、仮想マシンのスナップショットを作成できないため、変更ブロックのトラッキングをリセットできません。

現象

スナップショットの作成に失敗したため、VM の変更ブロックのトラッキング機能をリセットできませんでした。

解決策

vSphere クライアントでスナップショットを手動で作成/削除し、エラーを確認します。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10173

アプリケーションは、仮想マシンのスナップショットを削除できないため、変更ブロックのトラッキングをリセットできません。

現象

スナップショットの削除に失敗したため、VM の変更ブロックのトラッキング機能をリセットできませんでした。

解決策

vSphere クライアントでスナップショットを手動で作成/削除し、エラーを確認します。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10174

変更ブロックのトラッキングをリセットします。使用されているすべてのブロックのバックアップを実行しています。

現象

VM の変更ブロックのトラッキング機能がリセットされました。すべてのデータブロックがバックアップされます。

解決策

CBT リセットを予期している場合、このメッセージは無視できます。

エラー メッセージ 10175

スナップショットが存在するため、アプリケーションは変更ブロックのトラッキングをリセットできません。変更ブロックのトラッキングをリセットするには、スナップショットを削除してからバックアップ ジョブを再サブミットします。

現象

VM にスナップショットがあるため、VM の変更ブロックのトラッキング機能をリセットできませんでした。

解決策

スナップショットを削除してからバックアップを再サブミットします。

エラーメッセージ 10176

仮想マシンのスナップショットを作成できませんでした。ESX サーバ/vCenter サーバが次のエラーを報告しました: <parameter>。

現象

バックアップ用スナップショットの作成に失敗しました。

解決策

vSphere クライアントでスナップショットを手動で作成/削除してエラーメッセージを確認するか、バックアップジョブログを参照して詳細を確認してください。

エラーメッセージ 10177

VMware Tools がインストールされていません。

現象

VM のゲスト OS に VMware Tools がインストールされていません。

解決策

VM のゲスト OS に VMware Tools をインストールします。

エラーメッセージ 10178

VMware Tools のバージョンが古いいため、アップグレードする必要があります。

現象

VM のゲスト OS で VMware Tools が最新ではありません。

解決策

VM のゲスト OS で VMware Tools をアップグレードします。

エラーメッセージ 10179

VMware Tools のステータスを確認できません。

現象

VM のゲスト OS で VMware Tools ステータスを検出できませんでした。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10180

仮想マシン <parameter> のバックアップに失敗しました。

現象

VM のバックアップに失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10181

仮想マシンのバージョンは <parameter> です。アプリケーションで仮想マシンをバックアップするには、バージョン 7 以降の仮想マシンが必要です。

現象

ソース VM のバージョンがサポートされていないため、バックアップ ジョブを続行できませんでした。

解決策

VM をバージョン 7 以降にアップグレードします。

エラー メッセージ 10182

VMDK の読み取りに失敗しました。プロキシと ESX サーバまたは vCenter サーバ間のネットワーク接続を確認します。SAN を使用している場合は、プロキシと SAN 間のネットワーク接続を確認します。バックアップ ジョブを再サブミットします。

現象

VMDK ファイルの読み取りに失敗したため、バックアップ ジョブを続行できませんでした。

解決策

プロキシと ESX サーバまたは vCenter サーバ間のネットワーク接続を確認します。SAN を使用している場合は、プロキシと SAN 間のネットワーク接続を確認します。バックアップ ジョブを再サブミットします。

エラーメッセージ 10183

仮想ディスク <parameter> は独立型ディスクであるため、バックアップできません。VMware は、独立型ディスクのバックアップはサポートしていません。

現象

独立型仮想ディスクはサポートされていないため、バックアップジョブでスキップされました。

解決策

仮想ディスクをバックアップする場合は、依存型ディスクに変換します。

エラーメッセージ 10184

アプリケーションは FAT ボリューム <parameter> のメタデータをバックアップしませんでした。

現象

バックアップジョブは VM のゲスト OS 内の FAT ボリュームのメタデータをスキップしました。

解決策

FAT ファイルシステムは整合性のある VSS スナップショットをサポートしないため、UDP はメタデータのバックアップをスキップします。したがって、FAT ボリュームのファイルレベルリストアは使用できません。ただし、VM 全体をリストアすることで、元に戻すことができます。

エラーメッセージ 10185

アプリケーションは FAT32 ボリューム <parameter> のメタデータをバックアップしませんでした。

現象

バックアップジョブは VM のゲスト OS 内の FAT32 ボリュームのメタデータをスキップしました。

解決策

FAT32 ファイルシステムは整合性のある VSS スナップショットをサポートしないため、Arcserve UDP はメタデータのバックアップをスキップします。したがって、FAT32 ボリュームのファイルレベルリストアは使用できません。ただし、VM 全体をリストアすることで、ボリューム内のファイルを元に戻すことができます。

エラー メッセージ 10186

アプリケーションは iSCSI ディスク ボリューム <parameter> をバックアップしませんでした。

現象

バックアップ ジョブは、VM のゲスト OS に iSCSI で直接接続されているディスクのボリュームをスキップしました。

解決策

UDP は、iSCSI で VM のゲスト OS に直接接続されているディスクのバックアップはサポートしていません。

エラー メッセージ 10187

アプリケーションはボリューム <parameter> をバックアップしませんでした。ボリュームが存在する仮想ディスクがバックアップされなかったためです。

現象

ボリュームが存在する仮想ディスクが何らかの理由でバックアップからスキップされたため、バックアップ ジョブはボリュームをスキップしました。

解決策

他のメッセージをチェックして、仮想ディスクがバックアップ ジョブによってスキップされた理由を確認します。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10190

ソース ボリューム <parameter> が、2TB を超えるディスクに存在します。圧縮および暗号化が有効になっていない標準形式は、VHD ファイルサイズの上限である 2TB に制限されます。圧縮または暗号化を有効にするか、拡張フォーマットの使用を検討してください。

現象

ソース ボリュームが、2TB を超えるディスクに存在します。

解決策

圧縮および暗号化が有効になっていない標準形式は、VHD ファイルサイズの上限である 2TB に制限されます。圧縮または暗号化を有効にするか、拡張フォーマットの使用を検討してください。

エラーメッセージ 10191

<parameter> は、BitLocker ドライブ暗号化で暗号化されています。バックアップジョブをサブミットする前にロックを解除してください。

現象

ボリュームは、BitLocker ドライブ暗号化で暗号化されています。バックアップジョブをサブミットする前にロックを解除してください。

解決策

ボリュームは、BitLocker ドライブ暗号化で暗号化されています。バックアップジョブをサブミットする前にロックを解除してください。

エラーメッセージ 10192

ボリューム [<parameter>] はハード ディスクでホストされていないため、バックアップを中止します。

現象

ボリュームはハード ディスクでホストされていないため、バックアップを中止します。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10193

ボリューム <parameter> (<parameter>) のビットマップの取得に失敗しました。詳細については、アプリケーション/システム イベント ログを確認してください。

現象

ボリュームのビットマップの取得に失敗しました。詳細については、アプリケーション/システム イベント ログを確認してください。

解決策

ボリュームのビットマップの取得に失敗しました。詳細については、アプリケーション/システム イベント ログを確認してください。

エラーメッセージ 10194

ボリュームのサイズ <parameter> (<parameter>) が、バックアップジョブの実行中に <parameter> から <parameter> に変更されました。

現象

バックアップ ジョブの実行中にボリュームのサイズが変更されました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10195

ボリューム <parameter> (<parameter>) のスナップショット ビット マップの取得に失敗しました。これは、スナップショットのストレージ領域に十分な容量がないことが原因である可能性があります。詳細については、アプリケーション/システム イベント ログを確認してください。

現象

ボリュームのスナップショット ビット マップの取得に失敗しました。

解決策

これは、スナップショットのストレージ領域に十分な容量がないことが原因である可能性があります。詳細については、アプリケーション/システム イベント ログを確認してください。

エラー メッセージ 10196

ネットワーク [<parameter>] に接続できませんでした。エラー=[<parameter>]。

現象

ネットワークに接続できませんでした。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10197

ネットワーク [<parameter>] に接続できませんでした。エラー=[<parameter>]。

現象

ネットワークに接続できませんでした。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラーメッセージ 10198

書き込み可能復旧ポイントのマウント解除に失敗しました。

現象

書き込み可能復旧ポイントのマウント解除に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

OneDrive バックアップで、「WriteBitmapToFile が失敗しました。EC=59」メッセージがバックアッププロキシマシン/VM の <installation folder>\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\Logs\ArcMount_Job_<JobId>.log にある場合、正常にバックアップするには以下のいずれかを実行します。

- ネットワークエラーまたはファイルエラーが原因でバックアップが失敗した可能性があるため、OneDrive ノードのバックアップを再実行します。
- 以下のレジストリ値キーを設定し、バックアップをもう一度実行します。

注：セッションタイムアウトを増やすには、レジストリ値キー「sesstimeout」を HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\LanmanWorkstation\Parameters に追加できます。

- ◆ **データの種類**：DWORD
- ◆ **値**：90。デフォルト値は 45 秒です。計算して値を増やすことをお勧めします。<current value/default value> + 45 秒。それでもエラーが発生する場合は、バックアッププロキシのマシンまたは VM に基づいて、<current value > + 45 秒を計算します。ほとんどの場合 135 秒です。

重要：このレジストリ値キーを有効にするには、再起動する必要があります。このキーは、他のモジュールや共有フォルダにアクセスするシステムに影響を与える可能性があるため、慎重に使用してください。

エラーメッセージ 10199

書き込み可能復旧ポイントのマウントに失敗しました。

現象

書き込み可能復旧ポイントのマウントに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 10200

書き込み可能復旧ポイントへのデータの書き込みに失敗しました。エラー=[<parameter>]。

現象

書き込み可能復旧ポイントへのデータの書き込みに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 10201 ~ 10300

このセクションには、以下のエラーメッセージが含まれます。

エラー メッセージ 10201

書き込み可能復旧ポイントへのデータの書き込みに失敗しました。エラー=[<parameter>]。

現象

書き込み可能復旧ポイントへのデータの書き込みに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 10202

アカウントは、バックアップ メールボックスを偽装しません。

現象

アカウントは、バックアップ メールボックスを偽装しません。

解決策

アカウントの権限の制限を変更してください。

エラーメッセージ 10203

ユーザ名またはパスワードが正しくありません。

現象

ユーザ名またはパスワードが正しくありません。

解決策

ユーザ名とパスワードを確認してください。

エラーメッセージ 10204

リクエストを完了できません。.Net Framework 4.5 をインストールしてください。

現象

リクエストを完了できません。.Net Framework 4.5 をインストールしてください。

解決策

.Net Framework 4.5 をインストールしてください。

エラーメッセージ 10205

管理者アカウントが存在しません。

現象

管理者アカウントが存在しません。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10206

マウントされたボリューム [<parameter>] からのデータの読み取りに失敗しました。エラー=[<parameter>]。

現象

マウントされたボリュームからのデータの読み取りに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 10207

マウントされたボリューム [<parameter>] へのデータの書き込みに失敗しました。エラー=[<parameter>]。

現象

マウントされたボリュームへのデータの書き込みに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 10208

同じ種類の別のジョブが実行中のため、現在のジョブはキャンセルされます。

現象

同じ種類の別のジョブが実行中のため、現在のジョブはキャンセルされます。

解決策

他のジョブが完了するまでお待ちください。

エラー メッセージ 10209

ジョブがクラッシュしました。

現象

ジョブがクラッシュしました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 10210

ジョブ <parameter> (仮想マシン <parameter> (<parameter>)) がクラッシュしました。

現象

ジョブがクラッシュしました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10211

ソフトウェア スナップショットが失敗しました。

現象

ソフトウェア スナップショットが失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10212

バックアップ先はすでにバックアップチェーンにあります。このデスティネーションにデータをバックアップできません。

エラーメッセージ 10213

[<parameter>] の古いバックアップデータの移動に失敗しました。

現象

古いバックアップデータを単一のフォルダに移動できませんでした。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、ジョブログを参照してください。

エラーメッセージ 10214

キー マネージメント データベースにセッション パスワードが見つかりません。(セッション GUID=[<parameter>])

現象

キー マネージメント データベースにセッション パスワードが見つかりません。

解決策

セッション パスワードを手動で入力します。

エラーメッセージ 10215

キー マネージメント モジュールを初期化できません。

現象

キー マネージメント モジュールを初期化できません。

解決策

セッション パスワードを手動で入力します。

エラー メッセージ 10216

キー マネージメント データベース ファイルを圧縮できず、「削除済み」とマークされたすべてのパスワードを削除できません。

現象

キー マネージメント データベース ファイルを圧縮できず、「削除済み」とマークされたすべてのパスワードを削除できません。

解決策

セッション パスワードを手動で入力します。

エラー メッセージ 10217

キー マネージメント データベースの管理 アカウントを更新できません。(ユーザ名 = [<parameter>])

現象

キー マネージメント データベースの管理 アカウントを更新できません。

解決策

セッション パスワードを手動で入力します。

エラー メッセージ 10218

指定したバックアップ先は現在使用中です。別のバックアップ先を入力してください。

現象

バックアップ設定の保存に失敗しました。

解決策

バックアップ先として空のフォルダを選択します。

エラー メッセージ 10219

データストア ハッシュ キーが正しくありません。(データストア名 = [<parameter>]、データストア GUID = [<parameter>]) 。

現象

データストア ハッシュ キーが正しくありません。

解決策

正しいデータストアパスワードを入力します。

エラーメッセージ 10220

暗号化パスワードの長さが長すぎます。最大長は<parameter>文字です。

現象

暗号化パスワードの長さが長すぎます。

解決策

パスワードは23文字以下にする必要があります。

エラーメッセージ 10221

セッションリソースがプロセス<parameter>(コンピュータ<parameter>)で使用されています。

現象

セッションリソースは他のプロセスで使用されています。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、ジョブログを参照してください。

エラーメッセージ 10222

セッションリソースは [<parameter>] にロックされています。

エラーメッセージ 10223

セッションパスワードが正しくありません。(セッション番号=[<parameter>])。

現象

セッションパスワードが正しくありません。

解決策

正しいセッションパスワードを入力します。

エラーメッセージ 10224

ライセンスエラー。フルバックアップジョブのスケジュール間隔が<parameter>日に調整されました。

現象

ライセンスエラー。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10225

ライセンスエラー。フルバックアップ ジョブのスケジュール間隔が <parameter> 時間に調整されました。

現象

ライセンスエラー。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10226

ライセンスエラー。フルバックアップ ジョブのスケジュール間隔が <parameter> 分に調整されました。

現象

ライセンスエラー。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10227

ライセンスエラー。増分バックアップ ジョブのスケジュール間隔が <parameter> 時間に調整されました。

現象

ライセンスエラー。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10228

ライセンスエラー。増分バックアップ ジョブのスケジュール間隔が <parameter> 分に調整されました。

現象

ライセンスエラー。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10229

ジョブは現在実行中です。「<parameter>」という名前の新しいジョブ (<parameter>) を実行できません。

現象

ジョブはすでに実行中のため、新しいジョブを実行できません。

解決策

実行中のジョブが終了するまで待つか、キャンセルします。

エラーメッセージ 10230

サーバ<parameter>と通信できません。

現象

サーバと通信できません。

解決策

サーバに ping して修正します。ping できない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10231

ライセンスエラー。このノードに必要なライセンスは、<parameter> です。詳細については、[ヘルプ] -> [アクティベーションとライセンス]を参照してください。

現象

ライセンスエラー。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10232

<parameter> に接続してライセンスを確認できませんでした。<parameter> に接続できることを確認してください。

現象

ライセンスエラー。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10233

Host-Based VM コピー ジョブは、ライセンス エラーのため失敗しました。新しいライセンスの取得については、お客様の担当者までご連絡ください。

現象

ライセンス エラー。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10234

VMware VIX がインストールされていません。アプリケーションは、VMware VIX なしではアプリケーション ログの切り捨ておよび実行前/後コマンドを実行できません。

現象

VMware VIX がインストールされていません。

解決策

VMware VIX をインストールしてください。

エラー メッセージ 10235

VMware VIX バージョンが 1.1.0 未満です。アプリケーションは、アプリケーション ログの切り捨てと実行前/後のコマンドを実行できません。

現象

VMware VIX のバージョンが低すぎます。

解決策

VMware VIX を 1.1.0 以降のバージョンにアップグレードします。

エラー メッセージ 10236

VMware Tools の状態を確認できませんでした。

現象

VMware Tools のステータスを確認できません。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10237

VMware Tools がインストールされていません。

現象

VMware Tools がインストールされていません。

解決策

VMware Tools をインストールします。

エラーメッセージ 10238

VMware Tools が古くなっています。

現象

VMware Tools が古くなっています。

解決策

VMware Tools をアップグレードします。

エラーメッセージ 10239

マウントされた DB パスが長すぎます。レジストリ HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\CARCserve Unified Data Protection\Engine\ExGRT\MountPoint を作成し、MountPoint に短い長さのフォルダパスを割り当ててください。

現象

推奨されないメッセージ。

解決策

推奨されないメッセージ。

エラーメッセージ 10240

ボリューム <parameter> の拡張に失敗しました。

現象

ボリュームの拡張に失敗しました。

解決策

詳細については、システム イベント ログを参照してください。

エラー メッセージ 10241

リストア デスティネーションが見つかりませんでした。(パス=[<parameter>]、ユーザー名=[<parameter>]、EC=[<parameter>])

現象

リストア デスティネーション パスが見つかりませんでした。

解決策

デスティネーションへの接続にアカウント 認証情報が有効かどうかを確認します。

エラー メッセージ 10242

リストア ソースが見つかりませんでした。(パス=[<parameter>]、ユーザー名=[<parameter>]、EC=[<parameter>])。

現象

リストア ソース パスが見つかりませんでした。

解決策

ソースへの接続にアカウント 認証情報が有効かどうかを確認します。

エラー メッセージ 10243

セッションのマージに失敗しました。

現象

リストア ジョブは、以前失敗しましたマージ ジョブの続行に失敗しました。

解決策

リストア ジョブ ログを確認して、マージ ジョブが失敗した理由を確認してください。

エラー メッセージ 10244

ボリューム <parameter> のフォーマットに失敗しました。

現象

ボリュームのフォーマットに失敗しました。

解決策

詳細については、システム イベント ログを参照してください。

エラー メッセージ 10257

リストア ジョブに失敗しました。

現象

リストア ジョブに失敗しました。

解決策

詳細については、リストア ジョブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 10258

セッション <parameter> をリストアのためにロックできません。セッションがマージまたは削除された可能性があります。

現象

リストア プロセスでセッションをロックできませんでした。

解決策

マージ ジョブまたはパージ ジョブが実行されているかどうかを確認してください。

エラー メッセージ 10259

リモート デスティネーション <parameter> のマウントに使用できるドライブ文字がありませんになりました。

現象

リストア ジョブに失敗しました。

解決策

少なくとも 1 つの使用可能なドライブ文字を予約します。

エラー メッセージ 10260

RAM ディスクにビット マップ ファイルを保存するための十分な容量がありません。
X:\windows\system32\DR\BmrCfg.ini で共有フォルダを指定し、BMR を再試行します。

現象

リストア ジョブに失敗しました。

解決策

リストア ボリュームのビット マップを保持するのに十分な大きさの追加 パスを設定します。

エラー メッセージ 10261

フォルダ [<parameter>] にアクセスできないか、ユーザに書き込み権限がありません。

現象

リストアジョブに失敗しました。

解決策

このアカウントには、デスティネーションの書き込み権限がありません。

エラー メッセージ 10262

データを読み取れませんでした。エラーコード：<parameter>。

現象

リストアジョブに失敗しました。

解決策

詳細については、エラーコードを参照してください。

エラー メッセージ 10263

ReFS ボリュームは、ソース ボリュームと容量が異なる非シンプル/スパン ボリュームへのリストアをサポートしていません。

現象

ReFS ボリュームは、ソースボリュームと容量が類似していない非シンプル/スパン ボリュームへのリストアをサポートしていません。

解決策

ReFS デスティネーション ボリュームのサイズをソース ボリュームのサイズと同じにします。

エラー メッセージ 10264

ReFS ボリュームは、より小さいボリュームへのリストアはサポートされていません。

現象

リストアジョブに失敗しました。

解決策

ReFS ボリュームは、より小さいボリュームへのリストアはサポートされていません。

エラーメッセージ 10265

ボリュームデータのリストアは完了しましたが、ターゲット ボリュームのブート セクタを修復できませんでした。エラーコード: <parameter>。

現象

リストアジョブに失敗しました。

解決策

ボリュームデータのリストアは完了しましたが、ターゲット ボリュームのブート セクタを修復できませんでした。

エラーメッセージ 10266

ディスク容量不足のため、アイテムをディスクにリストアできませんでした。リストアのデスティネーション ボリューム(<parameter>) に十分なディスク容量があることを確認してください。

現象

リストアジョブに失敗しました。

解決策

リストアアイテムを保存するのに十分な大きさのデスティネーション ボリュームを作成します。

エラーメッセージ 10267

セッションを開けませんでした。(EC=[<parameter>]、セッション番号=[<parameter>]、セッションフォルダ=[<parameter>]) 。

現象

リストアジョブに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを参照してください。

エラーメッセージ 10268

このファイルのサブセッションが見つからないため、ファイルのリストアに失敗しました。(ファイルパス=[<parameter>])

現象

リストアジョブに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを参照してください。

エラー メッセージ 10269

ターゲット ボリューム <parameter> に、リストアジョブを実行するのに十分な容量がありません。

現象

リストアジョブに失敗しました。

解決策

ターゲット ボリュームに十分な容量があるかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10270

リストアジョブ <parameter> (仮想マシン <parameter>) に失敗しました。

現象

リストアジョブに失敗しました。

解決策

詳細については、リストアジョブログを参照してください。

エラー メッセージ 10293

<parameter> の認証情報は無効です。

現象

無効な管理者アカウントです。

解決策

デフォルトの管理者アカウントを更新します。

エラー メッセージ 10294

フォルダ(<parameter>) にユーザグループのアクセス権があることを確認してください。

現象

ボリュームのマウントに失敗しました。

解決策

UDP インストールフォルダにユーザグループのアクセス権があるかどうかを確認します。

エラーメッセージ 10295

セッション <parameter> をバックアップ先 <parameter> でロックできませんでした。

現象

ボリュームのマウントに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、ジョブログを参照してください。

エラーメッセージ 10296

無効な親ディスク [<parameter>] が検出されました。

現象

現在の復旧ポイントの親ディスクが無効または見つからないことが検出されました。

解決策

指定したパスに移動して、以前の復旧ポイントフォルダの1つに無効なファイルまたは見つからないファイルがあるかどうか、およびその理由を確認します。手動で修復できない場合は、新しいフルバックアップを起動してこのエラーを回避します。

エラーメッセージ 10297

ファイル<parameter>の削除に失敗しました。エラーコード：<parameter>、 [<parameter>]。

現象

特定のエラーのため、指定したファイルを削除できませんでした。

解決策

指定したファイルを手動で削除してみてください。

エラーメッセージ 10298

ファイル<parameter>を開くことができませんでした。別のプロセス(Arcserve Replication および High Availability など)が現在このファイルを使用している可能性があります。

現象

指定したファイルは別のプロセスによって使用されているため、開けません。

解決策

実行中のジョブがほかにはないかどうかを確認し、終了後に再試行します。

エラー メッセージ 10299

ファイル<parameter>の処理(作成、クローズ、読み取り、書き込み)に失敗しました。エラーコード: <parameter>,[<parameter>]。

現象

指定したファイルの操作中にファイルシステムがエラーを報告しました。多くの場合、これはシステムまたはハードウェアの問題を示しています。

解決策

多くの場合、この状況はシステムまたはハードウェアの問題を示しています。以下の手順を実行します。

1. 指定したファイルが有効な状態であることを確認します。
2. ファイルがリモート共有の場所にある場合は、ネットワーク接続を確認します。
3. システムから提供された情報を参照するには、システム イベント ログを表示します。

エラー メッセージ 10300

無効なデータブロックが検出されました。

現象

これは、指定したファイルの一部が無効であることを検出したことを示します。

解決策

指定したファイルが正常な状態かどうかを確認します。システムによって提供されるシステム イベント ログで詳細情報を確認してください。

エラー メッセージ 10301 ~ 10400

このセクションには、以下のエラーメッセージが含まれます。

エラーメッセージ 10301

仮想ディスクのマージに失敗しました。システムエラー=[<parameter>]。

現象

これは、特定のシステムエラーによるマージの失敗を示しています。

解決策

システムによって提供されるシステム イベント ログで詳細情報を確認してください。

エラーメッセージ 10302

仮想ディスクのマージに失敗しました。内部エラー=[<parameter>]。

現象

仮想ディスクのマージは、特定の内部エラーにより失敗しました。

解決策

マージ ジョブのデバッグ ログで詳細を確認します。

- バックアップ先が RPS のデータストアの場合
ログの場所：復旧ポイント サーバの「\Engine\Logs」ディレクトリ。
ファイル名の形式：Merge(<Node Name>-<RPS Server Name>-"Data Store Name")-<yyyyMMdd>-<HHmmss>-<SSS>-<Job ID>.Log
- バックアップ先がデータストアでない場合
ログの場所：エージェント マシンの「\Engine\Logs」ディレクトリ。
ファイル名の形式：Merge-<yyyyMMdd>-<HHmmss>-<SSS>-<Job ID>.Log
注：さらに詳しいテクニカルサポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10303

データのマージに失敗しました。

現象

これは、マージの失敗を示しています。

解決策

詳細については、マージ ジョブのデバッグ ログを確認してください。

エラーメッセージ 10304

マージ処理中に、<parameter> から <parameter> にファイルを移動できませんでした。エラーコード：<parameter>、 [<parameter>]。

現象

これは、ファイルを移動する際のエラーが原因でマージが失敗したことを示しています。

解決策

指定したファイルが正常な状態かどうかを確認します。示されたシステムエラーメッセージに従って問題の解決を試みてください。

エラーメッセージ 10305

マージ処理中に、<parameter> から <parameter> へのフォルダ名の変更に失敗しました。エラーコード：<parameter>、 [<parameter>]。

現象

これは、フォルダの名前を変更する際のエラーが原因でマージが失敗したことを示しています。

解決策

指定したファイルが正常な状態かどうかを確認します。示されたシステムエラーメッセージに従って問題の解決を試みてください。

エラーメッセージ 10306

マージ処理中に、<parameter> から <parameter> にファイルの名前を変更できませんでした。エラーコード：<parameter>、 [<parameter>]。

現象

これは、ファイルの名前を変更する際のエラーが原因でマージが失敗したことを示しています。

解決策

指定したフォルダが正常な状態かどうかを確認します。示されたシステムエラーメッセージに従って問題の解決を試みてください。

エラーメッセージ 10307

仮想ディスクを開けませんでした。内部エラー=[<parameter>]。

現象

これは、仮想ディスクを開く際の内部エラーによるジョブの失敗を示しています。

解決策

詳細情報は、ジョブのデバッグ ログを確認してください。テクニカルサポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10308

仮想ディスクを開けませんでした。システム エラー=[<parameter>]。

現象

これは、仮想ディスクを開く際のシステムエラーによるジョブの失敗を示しています。

解決策

システムによって提供されるシステム イベント ログで詳細情報を確認してください。

エラーメッセージ 10309

データの読み取りに失敗しました。内部エラー=[<parameter>]。

現象

これは、仮想ディスクの読み取り時の内部エラーによるジョブの失敗を示しています。

解決策

詳細情報は、ジョブのデバッグ ログを確認してください。テクニカルサポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10310

データの読み取りに失敗しました。システム エラー=[<parameter>]。

現象

これは、仮想ディスクの読み取り時のシステムエラーによるジョブの失敗を示しています。

解決策

システムによって提供されるシステム イベント ログで詳細情報を確認してください。

エラー メッセージ 10311

データの書き込みに失敗しました。内部エラー=[<parameter>]。

現象

これは、仮想ディスクの書き込み時の内部エラーによるジョブの失敗を示しています。

解決策

詳細情報は、ジョブのデバッグ ログを確認してください。テクニカルサポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10312

データの書き込みに失敗しました。システムエラー=[<parameter>]。

現象

これは、仮想ディスクの書き込み時のシステムエラーによるジョブの失敗を示しています。

解決策

システムによって提供されるシステム イベント ログで詳細情報を確認してください。

エラー メッセージ 10314

ボリュームが存在しないため、スナップショット セットに追加できません。

現象

指定したボリュームはスナップショットに追加されないため、データの整合性が保たれません。

解決策

バックアップ プランで指定したボリュームが存在しない可能性があります。ボリュームが存在するかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10315

アプリケーションのリストアに失敗しました。

現象

アプリケーションのリストアに失敗しました。(EC=[<parameter>])。

解決策

詳細については、前のエラーメッセージを確認してください。

エラーメッセージ 10316

現在のシステムの Microsoft VSS は元のバックアップシステムの Microsoft VSS と互換性がないため、VSS メタデータをロードできません。

現象

リストアに失敗しました。

解決策

バックアップされたリストアセッションのシステムに互換性がありません。ソースシステムとリストアシステム間の Windows バージョンを確認します。

エラーメッセージ 10317

アプリケーションのリストア オプションがライセンスされていません。(オプション名 = [<parameter>])

現象

リストアに失敗しました。

解決策

アプリケーション リストアのライセンスがありません。ライセンスを取得すると、この問題が解決します

エラーメッセージ 10318

適切なアカウント権限の確認に失敗しました。Microsoft Exchange データにアクセスできません。

現象

リストアに失敗しました。

解決策

リストアに使用したアカウントには、Exchange をリストアするための十分な権限がありません。UDP のアカウントを変更するか、現在のアカウントに権限を付与すると、この問題を解決できます。

エラーメッセージ 10319

アプリケーションのリストアは、Windows XP ではサポートされていません。

現象

リストアに失敗しました。

解決策

仕様では、Windows XP のアプリケーションのリストアはサポートされていません。

エラー メッセージ 10320

選択したボリュームのスナップショットの作成に失敗します。

現象

バックアップは失敗しました。

解決策

スナップショットを取得できません。詳細については、イベント ログを参照してください。このメッセージの原因の 1 つは、ソースボリューム(64 TB 以上) である可能性があります。このサイズは、VSS スナップショット機能の Microsoft の制限を超えています。ボリューム上のデータで可能な場合、Microsoft Disk Management から 63.9 TB 未満のパーティション サイズにボリュームを縮小すると VSS スナップショットが機能します。

エラー メッセージ 10321

データベースのマウント解除に失敗しました。(EC=[<parameter>]、データベース名=[<parameter>])

現象

リストアに失敗した可能性があります。

解決策

該当するデータベースがすでにマウント解除されている場合、リストアは成功する可能性があります。それ以外の場合、リストアは失敗します。詳細については、イベント ログを確認してください。

エラー メッセージ 10322

現在のアカウント: <parameter> には、Exchange データにアクセスするための十分な権限がありません。このアカウントに適切な権限を付与するか、別のアカウントに切り替えてください。

現象

リストアに失敗しました。

解決策

リストアに使用したアカウントには、Exchange をリストアするための十分な権限がありません。UDP のアカウントを変更するか、現在のアカウントに権限を付与すると、この問題を解決できます。

エラーメッセージ 10323

Microsoft Exchange データベースのマウントに失敗しました: [<parameter>]。

現象

リストアは未完了でした。

解決策

Exchange データベースは正しくリストアされない可能性があります。esetl /p で回復できます。詳細な調査については、サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10324

バックアップマネージャの初期化に失敗しました。詳細については、Windows イベントログを参照してください。(EC=[0x<parameter>])。

現象

リストアは未完了でした。

解決策

バックアップコンポーネントドキュメントが破損している可能性があります。詳細については、イベントログを参照してください。

エラーメッセージ 10325

システムまたはプロバイダに十分なストレージ空き容量がありません。古いまたは不要な永続的シャドウコピーを削除するか、スナップショットストレージ領域を調整してから再試行します。

現象

バックアップは失敗しました。

解決策

バックアップは失敗します。ボリュームプロパティの [シャドウコピー] タブでスナップショット領域を拡大します。または、システム内の古いスナップショットを削除します。

エラー メッセージ 10326

前回の非同期操作中にエラーが発生しました。詳細については、Windows イベント ログを参照してください。(EC=[0x<parameter>]、MSG=[<parameter>])。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

VSS フレームワークでエラーが発生しました。詳細については、イベント ログを参照してください。

エラー メッセージ 10327

システムで実行されているアプリケーション ライタが見つかりません。この問題を解決するには、ライタ サービスを開始するか、COM コンポーネントを再登録します。

現象

ライタレスモードでのバックアップまたはリストアが失敗しました。

解決策

COM 環境が破損しています。コンピュータを再起動するか、COM コンポーネントを登録すると、この問題が解決する場合があります。リンク

<https://support.microsoft.com/en-us/help/940032/various-issues-may-occur-on-a-windows-server-2003-based-computer-that>

エラー メッセージ 10328

データベースのマウントに失敗しました。(EC=[<parameter>]、データベース名 = [<parameter>])。

現象

リストアは未完了でした。

解決策

Exchange データベースは正しくリストアされない可能性があります。esetl /p で回復できます。詳細な調査については、サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10329

ボリューム [<parameter>] のストレージ領域を保持するのに十分な空き容量のある利用可能なボリュームが見つかりません。

現象

バックアップは失敗しました。

解決策

スナップショット用の十分な空き容量がありません。ボリュームの空き容量を増やします。

エラーメッセージ 10330

アプリケーション保護機能がライセンスされていないため、アプリケーションのリストアを実行できません。

現象

リストアに失敗しました。

解決策

アプリケーション リストアのライセンスがありません。ライセンスを取得すると、この問題が解決します。

エラーメッセージ 10331

Caller のメモリまたは他のシステム リソースが不足しています。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

十分な空きメモリまたはシステム リソースがあるかどうかを確認します。

エラーメッセージ 10332

バックアップの準備に失敗しました。

現象

バックアップは失敗しました。

解決策

詳細については、イベント ログを参照してください。

エラーメッセージ 10333

復旧データベースが見つかりません。(名前=[<parameter>])。

現象

リストアに失敗しました。

解決策

リストアの前に、復旧 データベースまたは復旧 ストレージ グループを作成する必要があります。

エラー メッセージ 10334

プロバイダでコンピュータの再起動が必要なエラーが発生しました。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

コンピュータをリストアすると、この問題が解決する場合があります。

エラー メッセージ 10335

Exchange ストレージ グループ/データベース [<parameter>] が元の場所にリストアされましたが、マウントできませんでした。

現象

リストアは未完了でした。

解決策

Exchange データベースは正しくリストアされない可能性があります。esetl /p で回復できます。詳細な調査については、サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10336

マスタ データベースのリストアに失敗しました。(EC=[<parameter>]、インスタンス名 = [<parameter>]) 。

現象

リストアに失敗しました。

解決策

詳細については、イベント ログを確認してください。

エラー メッセージ 10337

メタデータの保存に失敗しました。(ライタ名 = [<parameter>]) 。

現象

バックアップは未完了でした。

解決策

詳細については、イベント ログを確認してください。

エラー メッセージ 10338

指定したボリュームシャドウコピープロバイダは登録されていません。VSS 関連コンポーネントがすべて登録されていることを確認してください。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

COM 環境が破損しています。コンピュータを再起動するか、COM コンポーネントを登録すると、この問題が解決する場合があります。リンク

<https://support.microsoft.com/en-us/help/940032/various-issues-may-occur-on-a-windows-server-2003-based-computer-that>

エラー メッセージ 10339

ターゲット SQL サーバ インスタンスが存在しないため、データベースのリストアをスキップします。(データベース名 = [<parameter>]、インスタンス名 = [<parameter>])

現象

リストアは未完了でした。

解決策

リストアの前に SQL インスタンスをインストールする必要があります。

エラー メッセージ 10340

スナップショット セットの開始に失敗しました。

現象

バックアップは失敗しました。

解決策

詳細については、イベント ログを確認してください。

エラー メッセージ 10341

サービスを停止できませんでした。(EC = [<parameter>]、サービス名 = [<parameter>]) 。

現象

リストアに失敗しました。

解決策

詳細については、イベント ログを確認してください。

エラー メッセージ 10342

ボリューム シャドウコピー サービスのスナップショット 取得タイムアウト、
[<parameter>] ミリ秒。

現象

バックアップは失敗しました。

解決策

<https://blogs.technet.microsoft.com/asiasupp/2011/08/01/windows-server-backup-failed-to-backup-with-error-0x81000101/> に従います。

エラー メッセージ 10343

システムは、分散トランザクション コーディネータ(DTC) またはカーネルトランザクション マネージャ(KTM) のフリーズに失敗しました。<parameter> 秒後に再試行してください。

現象

バックアップは失敗しました。

解決策

DTC と KTM の設定を確認します。詳細については、イベント ログを確認してください。

エラー メッセージ 10344

システムは、分散トランザクション コーディネータ(DTC) またはカーネルトランザクション マネージャ(KTM) の解凍に失敗しました。<parameter> 秒後に再試行してください。

現象

バックアップは失敗しました。

解決策

DTC と KTM の設定を確認します。詳細については、イベント ログを確認してください。

エラー メッセージ 10345

Active Directory から情報を照会できません。ユーザ名 =<parameter>。

現象

リストアに失敗した可能性があります。

解決策

現在のアカウントでは AD を照会できない可能性があります。SC の設定とアカウントを確認してください。

エラーメッセージ 10346

データベースを照会できません。ドメインコントローラ(DC) がアクセス可能かどうか、および現在のアカウント「<parameter>」に Active Directory (AD) を照会する権限があるかどうかを確認してください。(EC=[0x<parameter>]) 。

現象

リストアに失敗した可能性があります。

解決策

現在のアカウントでは AD を照会できない可能性があります。SC の設定とアカウントを確認してください。

エラーメッセージ 10347

データベースを照会できません。ドメインコントローラ(DC) がアクセス可能かどうか、および現在のアカウントに Active Directory (AD) を照会する権限があるかどうかを確認してください。(EC=[0x<parameter>]) 。

現象

リストアに失敗した可能性があります。

解決策

現在のアカウントでは AD を照会できない可能性があります。SC の設定とアカウントを確認してください。

エラーメッセージ 10348

この Exchange リストア操作は、アクティブ ノードでのみ実行できます。

現象

リストアがスキップされました。

解決策

現在のノードはアクティブ ノードではありません。アクティブ ノードでリストアします。

エラー メッセージ 10349

アプリケーション保護機能がライセンスされていないため、ライタをリストアできません。(ライタ名=[<parameter>])。

現象

リストアは未完了でした。

解決策

アプリケーションのリストアのライセンスがありません。ライセンスを取得すると、この問題が解決します。

エラー メッセージ 10350

ライタ(名前=[<parameter>]、ID=[<parameter>])が存在しないか、実行されていません。

現象

リストアは未完了でした。

解決策

そのライタが実行されているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10351

ライタ(名前=[<parameter>]、ID=[<parameter>])のステータスが不正です。詳細については、Windows イベント ログを参照してください。(ステータス=[0x<parameter>])。

現象

リストアに失敗した可能性があります。

解決策

コマンド「vssadmin list writers」でライタの状態を確認し、イベント ログで詳細を確認します。

エラー メッセージ 10352

セッション ロック ファイル<parameter>の作成に失敗しました。エラーコード:<parameter> (<parameter>)。

現象

セッションのロックに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、ジョブログを参照してください。

エラーメッセージ 10353

<parameter> でセッション ロックの作成に失敗しました。エラーコード：
<parameter> (<parameter>) 。

現象

セッションのロックに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、ジョブログを参照してください。

エラーメッセージ 10354

セッション ロック ファイル <parameter> からのデータの読み取りに失敗しました。エラーコード： <parameter> (<parameter>) 。

現象

セッションのロックに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、ジョブログを参照してください。

エラーメッセージ 10355

セッション ロック ファイル <parameter> へのデータの書き込みに失敗しました。エラーコード： <parameter> (<parameter>) 。

現象

セッションのロックに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、ジョブログを参照してください。

エラー メッセージ 10356

アカウント <parameter> にファイル<parameter> の書き込み権限がありません。このファイルにこのアカウントへの完全なアクセス権を追加して、再試行する必要があります。

現象

ファイルへの書き込みに失敗しました。

解決策

指定したアカウントに、指定したファイルへの書き込み権限があるかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10357

SQLite データベース(アクティビティ ログの保存に使用) が破損しているため、アクセスできません。Arcserve サポートに連絡して、データベースを修復してください。

現象

SQLite データベース(アクティビティ ログの保存に使用) が破損しているため、アクセスできません。

解決策

アクティビティ ログの SQLite データベースが破損している可能性があります。Arcserve サポートに連絡して、データベースを修復してください。

エラー メッセージ 10358

SQLite データベース(ジョブ履歴の保存に使用) が破損しているため、アクセスできません。Arcserve サポートに連絡して、データベースを修復してください。

現象

SQLite データベース(ジョブ履歴の保存に使用) が破損しているため、アクセスできません。

解決策

ジョブ履歴の SQLite データベースが破損している可能性があります。Arcserve サポートに連絡して、データベースを修復してください。

エラー メッセージ 10359

同期プロセスで、コンソールノード <parameter> のバックアップ ジョブ データを同期できませんでした。

現象

同期に失敗しました。

解決策

しばらく待って、それでも失敗する場合は、デバッグログを収集して Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10360

Arcserve UDP エージェント サービスは、ノード <parameter> で実行されているコンソール サービスと通信できません。この問題は、コンソール サービスが実行されていない場合、または Arcserve UDP エージェント ノードがコンソールノードのホスト名を使用してコンソールノードと通信できない場合に発生する可能性があります。

現象

サーバと通信できません。

解決策

サーバに ping して修正します。ping できない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10361

Arcserve UDP エージェント サービスは、ノード <parameter> で実行されているコンソール サービスと通信できません。Arcserve UDP エージェントのバージョンは、コンソールのバージョンと互換性がありません。

現象

サーバと通信できません。

解決策

サーバに ping して修正します。ping できない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10362

同期プロセスで、コンソールノード <parameter> のファイルコピー ジョブ データを同期できませんでした。

現象

同期に失敗しました。

解決策

しばらく待って、それでも失敗する場合は、デバッグ ログを収集して Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10363

同期プロセスで、バックアップ ジョブのデータを取得できませんでした。

現象

同期に失敗しました。

解決策

しばらく待って、それでも失敗する場合は、デバッグ ログを収集して Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10364

同期プロセスで、ファイルコピー ジョブのデータを取得できませんでした。

現象

同期に失敗しました。

解決策

しばらく待って、それでも失敗する場合は、デバッグ ログを収集して Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10365

同期プロセスで、アクティビティ ログ データを取得できませんでした。

現象

同期に失敗しました。

解決策

しばらく待って、それでも失敗する場合は、デバッグ ログを収集して Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10366

同期プロセスで、仮想スタンバイ データを取得できませんでした。

現象

同期に失敗しました。

解決策

しばらく待って、それでも失敗する場合は、デバッグ ログを収集して Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10367

同期プロセスで、Host-Based VM Backup ジョブのデータを取得できませんでした。

現象

同期に失敗しました。

解決策

しばらく待って、それでも失敗する場合は、デバッグ ログを収集して Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10368

ノード <parameter> のコンソール サービスにログインできません。コンソールを再インストールすると問題が発生する可能性があります。この問題を修正するには、コンソールを開き、Arcserve UDP エージェント ノードを削除してから、Arcserve UDP エージェント ノードを追加します。

現象

エージェント ノードにログインできません。

解決策

コンソールにノードを再度追加してください。

エラーメッセージ 10369

同期プロセスで、コンソールノード <parameter> のアクティビティ ログ データを同期できませんでした。

現象

同期に失敗しました。

解決策

しばらく待って、それでも失敗する場合は、デバッグ ログを収集して Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10370

同期プロセスで、コンソールとデータを同期できません。ノードがコンソール製品によって管理されていません。

現象

同期に失敗しました。

解決策

しばらく待って、それでも失敗する場合は、デバッグ ログを収集して Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10371

同期プロセスで、ノード <parameter> のコンソールでデータを同期できませんでした。

現象

同期に失敗しました。

解決策

しばらく待って、それでも失敗する場合は、デバッグ ログを収集して Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10372

同期プロセスで、コンソールノード <parameter> の仮想スタンバイ データを同期できませんでした。

現象

同期に失敗しました。

解決策

しばらく待って、それでも失敗する場合は、デバッグ ログを収集して Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10373

同期プロセスで、コンソールノード <parameter> の Host-Based VM Backup ジョブデータを同期できませんでした。

現象

同期に失敗しました。

解決策

しばらく待って、それでも失敗する場合は、デバッグ ログを収集して Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10374

NTFS デデュプリケーション ボリュームからバックアップされたデータを、Windows 8 データ重複除去 サーバの役割がインストールされておらず有効になっていないシステム (<parameter> ドライブ) にリストアしようとしています。そのため、リストア先でこの役割が有効になるまで、リストアされたデデュプリケーション ファイルにアクセスできません。データ デデュプリケーションの役割を有効にすると、リストアされたファイルが自動的に表示され、追加のリストアジョブは必要ありません。

現象

リストアジョブが失敗する場合があります。

解決策

Windows データ デデュプリケーション サーバの役割がインストールされ、有効になっていることを確認します。

エラーメッセージ 10375

Arcserve UDP Web サーバの種類が不明です。

現象

不明な製品の種類です。

解決策

Arcserve Unified Data Protection を再インストールします。

エラーメッセージ 10376

サービスが無効です。Microsoft Exchange Information Store サービスが実行状態であるかどうか、および現在のユーザ (<parameter>) が属するデータベースがマウント状態であるかどうかを確認してください。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

サービスが無効です。Microsoft Exchange Information Store サービスが実行状態であるかどうか、および現在の使用状況にリンクされているデータベースがマウント状態であるかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10377

Exchange データベースを開く前にデフラグを行う必要がありますが、デフラグの一時フォルダ(ボリューム:<parameter>:) に十分な空き容量がないため、処理を実行できません。その結果、デフラグ処理が失敗する可能性があります。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

ディスク容量を増やします。

エラー メッセージ 10378

仮想マシンの Exchange Server データベース ボリューム(<parameter>:) で、NTFS データ デデュープリケーションが有効になっています。ただし、プロキシシステムは Windows データ デデュープリケーション機能をサポートしません。その結果、Exchange 情報を解析できず、カタログ ジョブは失敗します。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

NTFS データ デデュープリケーションが有効になっているプロキシを変更します。

エラー メッセージ 10379

仮想マシンの Exchange Server データベース ボリューム(<parameter>:) で、NTFS データ デデュープリケーションが有効になっています。ただし、プロキシシステムは Windows データ デデュープリケーション機能をサポートしません。その結果、Exchange 情報を識別できず、リストア ジョブは失敗します。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

NTFS データ デデュープリケーションが有効になっているプロキシを変更します。

エラー メッセージ 10380

仮想マシンの Exchange Server データベース ボリューム(<parameter>:) は、REFS ファイルシステムです。ただし、バックアップ プロキシ ホストは REFS をサポートしません。その結果、Exchange 情報を解析できず、カタログ ジョブは失敗します。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

REFS をサポートするプロキシを変更します。

エラーメッセージ 10381

仮想マシンの Exchange Server データベース ボリューム(<parameter>) は、REFS ファイルシステムです。ただし、バックアッププロキシホストは REFS をサポートしません。その結果、Exchange 情報を識別できず、リストアジョブは失敗します。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

REFS をサポートするプロキシを変更します。

エラーメッセージ 10382

EDB ファイル<parameter> の Exchange 詳細リストアカタログの生成に失敗しました。セッション=<parameter>、サブセッション=<parameter>

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

詳細については、ジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10383

セッション <parameter> の仮想ディスクのマウント(フォルダ <parameter>) に失敗しました。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

詳細については、ジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10384

EDB ファイル(<parameter>) の復旧に失敗しました。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

詳細については、ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10385

Exchange Server と通信できませんでした。証明書がプロキシ サーバにインストールされていない可能性があります。管理者に確認するよう依頼してください。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

管理者にお問い合わせください。

エラー メッセージ 10386

仮想 マシンの Exchange Server インストール ボリューム(<parameter>:) で、NTFS データ デデュプリケーションが有効になっています。ただし、プロキシ システムは Windows データ デデュプリケーション機能をサポートしません。その結果、Exchange Server バイナリを解析できず、カタログ ジョブは失敗します。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

NTFS データ デデュプリケーションが有効になっているプロキシを変更します。

エラー メッセージ 10387

仮想 マシンの Exchange Server インストール ボリューム(<parameter>:) は、REFS ファイルシステムです。ただし、バックアップ プロキシ ホストは REFS をサポートしません。その結果、Exchange Server バイナリを処理できず、カタログ ジョブは失敗します。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

REFS をサポートするプロキシを変更します。

エラーメッセージ 10388

Exchange DB 復旧のライセンスをチェックして、有効で期限切れになっていないことを確認してください。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

ライセンスステータスを確認します。

エラーメッセージ 10389

Exchange 詳細復旧のライセンスをチェックして、有効で期限切れになっていないことを確認してください。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

ライセンスステータスを確認します。

エラーメッセージ 10390

リストア失敗：メールボックス <parameter> が見つかりません。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

詳細については、リストアジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10391

MAPI パッケージが正しくインストールされていません。MAPI パッケージをアンインストールしてから、再インストールしてください。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

新しいバージョンの MAPI をインストールします。

エラー メッセージ 10392

Microsoft Exchange Server MAPI クライアントがインストールされていないため、Exchange 詳細 リストアを実行できません。Microsoft から MAPI をダウンロードしてインストールし、再試行してください。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

新しいバージョンの MAPI をインストールします。

エラー メッセージ 10393

ディスクへのメッセージ <parameter> のリストア エラー: <parameter>

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

詳細については、リストア ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10394

メッセージ <parameter> のリストアに失敗しました。名前が長すぎます。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

詳細については、リストア ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10395

リストア プロセスでボリュームのマウントに失敗しました。(ボリューム [<parameter>]、エラー [<parameter>])。

現象

リストア プロセスで選択したボリュームのマウントに失敗しました。

解決策

詳細については、マウント ドライバ ログ ArcMountDriver.log を参照してください。

エラーメッセージ 10396

リストアプロセスでボリュームのマウント解除に失敗しました。(ボリューム [<parameter>]、エラー [<parameter>])。

現象

リストアプロセスで選択したボリュームのマウント解除に失敗しました。

解決策

詳細については、マウントドライバログ ArcMountDriver.log を参照してください。

エラーメッセージ 10397

ファイル/ディレクトリの圧縮レベルの設定に失敗しました。(ファイル/ディレクトリ [<parameter>]、エラー [<parameter>])。

現象

ファイル/ディレクトリの圧縮レベルの設定に失敗しました。

解決策

Windows エラーコードを参照します。

エラーメッセージ 10398

GRTMntBrowser.dll で予期しない例外エラーが発生しました。

現象

予期しない例外エラーが発生しました。

解決策

<UDP_HOME>\Engine\BIN\ の下のダンプファイルを確認します。

エラーメッセージ 10399

ファイルのリストアに失敗しました。(ファイル [<parameter>]、エラー [<parameter>])。

現象

ファイルのリストアに失敗しました。

解決策

Windows エラーコードを参照します。

エラー メッセージ 10400

ファイルからの読み取りに失敗しました。(ファイル [<parameter>]、エラー [<parameter>])。

現象

ファイルからの読み取りに失敗しました。

解決策

Windows エラーコードを参照します。

エラー メッセージ 10401 ~ 10500

このセクションには、以下のエラーメッセージが含まれます。

エラー メッセージ 10401

ファイルへの書き込みに失敗しました。(ファイル [<parameter>]、エラー [<parameter>])。

現象

ファイルへの書き込みに失敗しました。

解決策

Windows エラーコードを参照します。

エラー メッセージ 10402

ファイルを開けませんでした。(ファイル [<parameter>]、エラー [<parameter>])。

現象

ファイルへの書き込みに失敗しました。

解決策

Windows エラーコードを参照します。

エラー メッセージ 10403

ファイルを作成できませんでした。(ファイル [<parameter>]、エラー [<parameter>])。

現象

ファイルを作成できませんでした。

解決策

Windows エラーコードを参照します。

エラーメッセージ 10404

ファイル/ディレクトリのスパース属性の設定に失敗しました。(ファイル/ディレクトリ [<parameter>]、エラー [<parameter>])。

現象

ファイル/ディレクトリのスパース属性の設定に失敗しました。

解決策

Windows エラーコードを参照します。

エラーメッセージ 10405

これはサポートされていません。データ デデュプリケーション機能がインストールされていないか、デスティネーション ボリュームが空ではありません。ソース ボリューム <parameter>、デスティネーション ボリューム <parameter>。

現象

リストアソース ボリュームがデデュプリケートされましたが、デスティネーション システムでデデュプリケーションが有効になっていません。

解決策

デスティネーション システムでデデュプリケーション機能を有効にしてから、再度リストアを試行します。

エラーメッセージ 10406

これはサポートされていません。データ デデュプリケーション機能がインストールされていません。ソース ボリューム <parameter>、デスティネーション ボリューム <parameter>。

現象

リストアソース ボリュームがデデュプリケートされましたが、デスティネーション システムでデデュプリケーションが有効になっていません。

解決策

デスティネーション システムでデデュプリケーション機能を有効にしてから、再度リストアを試行します。

エラー メッセージ 10407

Arcserve UDP は、Server 2012 以降のデデュプリケーションが有効なボリューム <parameter> からバックアップされたデータを、Server 2012 より前のオペレーティングシステムを実行しているシステムのターゲット ボリューム <parameter> へのリストアをサポートしません。

現象

システムは、Server 2012 以降のデデュプリケーションが有効なボリュームからバックアップされたデータを、Server 2012 より前のバージョンでオペレーティングシステムを実行しているシステムのターゲット ボリュームへのリストアをサポートしません。

解決策

デデュプリケーションが有効になっているソース ボリュームからファイルをリストアするには、リストアのターゲット システムが Windows Server 2012 以降である必要があります。リストアを実行するには、Windows Server 2012 以降でデデュプリケーションが有効なシステムを選択します。

エラー メッセージ 10408

リストアプロセスでボリューム [<parameter>] のマウントに失敗しました。セッション [<parameter>] をロックできなかったためです。このセッションで他のジョブが実行されていないことを確認してください。

現象

セッションは他のジョブにより書き込みがロックされています。マウントできません。

解決策

別のジョブが実行中かどうかを確認します。たとえば、マージ、ページ ジョブなどです。

エラー メッセージ 10419

システムの制限として、ファイル [<parameter>] は、スパース ファイルをサポートしないボリュームにはリストアできません。

現象

デスティネーション ボリュームはスパース ファイルをサポートしません。スパース ファイルをリストアできません。

解決策

デスティネーション ボリュームがスパース ファイルをサポートしているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10420

ディレクトリへのボリュームのマウントに失敗しました。ディレクトリは NTFS ボリュームまたは ReFS ボリュームである必要があります。

現象

ボリュームのマウントに失敗しました。

解決策

マウント ポイントが NTFS/ReFS ボリューム上にあることを確認します。

エラー メッセージ 10421

選択したドライブ文字は、すでに別のユーザが使用しています。別のドライブ文字を選択します。

現象

ボリュームのマウントに失敗しました。

解決策

利用可能なドライバ文字を選択します。

エラー メッセージ 10422

32 ビット プロキシはサポートされなくなりました。

現象

これは、現在のプロキシが 32 ビットで、現在サポートされていないことを示しています。

解決策

64 ビット プロキシを設定して切り替えます。

エラー メッセージ 10423

バックアップ先がパーシジョブで削除中のため、カタログジョブが失敗しました。

現象

バックアップ先がパーシジョブで削除中のため、カタログジョブが失敗しました。

解決策

パーシジョブを確認します。

エラー メッセージ 10424

カタログの生成に失敗しました。

現象

カタログの生成に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 10425

内部エラーのため、カタログファイルの生成に失敗しました。バックアップログをチェックして、データの整合性が保たれていることを確認してください。(ボリューム=[<parameter>]、バックアップジョブID=[<parameter>])

現象

内部エラーのため、カタログファイルの生成に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 10426

ボリューム <parameter> のインデックスファイルの生成に失敗しました。

現象

ボリュームのインデックスファイルの生成に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 10427

バックアップ先の初期化に失敗しました。(デスティネーション=[<parameter>])

現象

バックアップ先の初期化に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10428

バックアップ先の初期化に失敗しました。(デスティネーション=[<parameter>]、ユーザ名=[<parameter>])。

現象

バックアップ先の初期化に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10429

データに問題があるため、ボリューム <parameter> のカタログファイルの生成に失敗しました。この問題を解決するには、chkdsk コマンドの実行後にフルバックアップをサブミットしてください。

現象

データに問題があるため、ボリュームのカタログファイルの生成に失敗しました。

解決策

この問題を解決するには、chkdsk コマンドの実行後にフルバックアップをサブミットしてください。

エラーメッセージ 10430

インデックスファイルの生成に失敗しました。使用可能なメモリが不足しています。現在使用中のメモリは [<parameter>MB] です。この操作には [<parameter>MB] の空きメモリが必要です。

現象

インデックスファイルの生成に失敗しました。使用可能なメモリが不足しています。

解決策

メモリサイズを確認してください。

エラー メッセージ 10431

インデックスファイルの生成に失敗しました。物理メモリが小さすぎます。現在使用中のメモリは [<parameter>MB] です。メモリを少なくとも [<parameter>MB] に増設することを推奨します。

現象

インデックスファイルの生成に失敗しました。使用可能なメモリが不足しています。

解決策

メモリサイズを確認してください。

エラー メッセージ 10432

セッションのマージに失敗しました。

現象

セッションのマージに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 10433

セッション <parameter> と <parameter> のマージに失敗しました。

現象

セッションのマージに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 10434

カタログファイルをセッションフォルダに移動できませんでした。

現象

カタログファイルをセッションフォルダに移動できませんでした。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10435

ジョブキューにジョブスクリプトがないため、カタログ生成のジョブスクリプトの実行に失敗しました。

現象

ジョブキューにジョブスクリプトがないため、カタログ生成のジョブスクリプトの実行に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10436

ジョブスクリプトの解析に失敗しました。

現象

ジョブスクリプトの解析に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10437

失敗したセッションのマージに失敗しました。

現象

失敗したセッションのマージに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10438

カタログジョブスクリプトを <parameter> に保存できませんでした。(<parameter>)

現象

カタログジョブスクリプトの保存に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10439

クラスタ マップ情報の更新に失敗しました。

現象

クラスタ マップ情報の更新に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10440

セッション情報の更新に失敗しました。

現象

セッション情報の更新に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10441

仮想ディスクを開けませんでした。(ボリューム=[<parameter>]、EC=[<parameter>])

現象

仮想ディスクを開けませんでした。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10442

仮想ディスクからのデータの読み取りに失敗しました。(ボリューム=[<parameter>]、EC=[<parameter>])。

現象

仮想ディスクからのデータの読み取りに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10443

仮想ディスクのデータのシークに失敗しました。(ボリューム=[<parameter>]、EC=[<parameter>])

現象

仮想ディスクのデータのシークに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 10444

CIFS ノード: [<parameter>] のパージに失敗しました

現象

指定したノードのパージに失敗しました。

解決策

失敗の詳細については、他のアクティビティログまたはジョブデバッグログを確認してください。

エラーメッセージ 10445

ノードデータのパージジョブがクラッシュしました

現象

これは、クラッシュの問題によりジョブが完了できないことを示しています。

解決策

詳細情報は、ジョブのデバッグログを確認してください。テクニカルサポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10446

ファイル: [<parameter>] の削除に失敗しました。

現象

特定のエラーのため、指定したファイルの削除に失敗しました。

解決策

指定したファイルが正常な状態かどうかを確認します。示されたシステム エラー メッセージに従って問題の解決を試みてください。

エラー メッセージ 10447

ノード データのパーシ ジョブが失敗しました。

現象

これは、ジョブ全体が失敗したことを示しています。

解決策

失敗の詳細については、他のアクティビティ ログまたはジョブ デバッグ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10448

パーシに失敗した CIFS ノードの総数: [<parameter>]

現象

これは、失敗した CIFS ノードの総数です。

解決策

これらのノードのエラーの詳細については、他のアクティビティ ログまたはジョブ デバッグ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10449

現在使用中か、バックアップ先のパスにアクセスできないため、CIFS ノード: [<parameter>] を削除できません。

現象

指定したノードは、特定のエラーのため削除に失敗しました。

解決策

指定したノード下のファイルをチェックして、正常な状態にあるか、他のプロセスで占有されているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10450

エージェント ノード: [<parameter>] のパーシに失敗しました

現象

指定したノードのパーシに失敗しました。

解決策

失敗の詳細については、他のアクティビティログまたはジョブデバッグログを確認してください。

エラーメッセージ 10451

ページに失敗した Office 365 Exchange Online ノードの総数: [<parameter>]

現象

これは、失敗した Office 365 Exchange Online ノードの総数です。

解決策

これらのノードのエラーの詳細については、他のアクティビティログまたはジョブデバッグログを確認してください。

エラーメッセージ 10452

現在使用中か、バックアップ先のパスにアクセスできないため、Office 365 Exchange Online ノード: [<parameter>] を削除できません。

現象

指定したノードは、特定のエラーのため削除に失敗しました。

解決策

指定したノード下のファイルをチェックして、正常な状態にあるか、他のプロセスで占有されているかどうかを確認します。

エラーメッセージ 10453

現在使用中か、バックアップ先のパスにアクセスできないため、エージェント ノード: [<parameter>] を削除できません。

現象

指定したノードは、特定のエラーのため削除に失敗しました。

解決策

指定したノード下のファイルをチェックして、正常な状態にあるか、他のプロセスで占有されているかどうかを確認します。

エラーメッセージ 10454

ページに失敗した SharePoint Online ノードの総数: [<parameter>]

現象

これは、失敗した SharePoint Online ノードの総数です。

解決策

これらのノードのエラーの詳細については、他のアクティビティ ログまたはジョブ デバッグ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10455

SharePoint Online ノード: [<parameter>] を削除できません。ノードが現在使用中か、バックアップ先のパスにアクセスできません。

現象

指定したノードは、特定のエラーのため削除に失敗しました。

解決策

指定したノード下のファイルをチェックして、正常な状態にあるか、他のプロセスで占有されているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10456

ページに失敗した Host-Based VM ノードの総数: [<parameter>]

現象

これは、失敗した Host-Based VM ノードの総数です。

解決策

これらのノードのエラーの詳細については、他のアクティビティ ログまたはジョブ デバッグ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10457

現在使用中か、バックアップ先のパスにアクセスできないため、Host-Based VM ノード: [<parameter>] を削除できません。

現象

指定したノードは、特定のエラーのため削除に失敗しました。

解決策

指定したノード下のファイルをチェックして、正常な状態にあるか、他のプロセスで占有されているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10458

CIFS ノード [<parameter>] は存在しません。

現象

これは、指定したノードが存在しないことを示しています。

解決策

指定したノードの存在を確認します。存在しない場合は、この警告を無視してください。

エラーメッセージ 10459

エージェント ノード [<parameter>] は存在しません。

現象

これは、指定したノードが存在しないことを示しています。

解決策

指定したノードの存在を確認します。存在しない場合は、この警告を無視してください。

エラーメッセージ 10460

Office 365 Exchange Online ノード [<parameter>] は存在しません。

現象

これは、指定したノードが存在しないことを示しています。

解決策

指定したノードの存在を確認します。存在しない場合は、この警告を無視してください。

エラーメッセージ 10462

Host-Based VM ノード [<parameter>] は存在しません。

現象

これは、指定したノードが存在しないことを示しています。

解決策

指定したノードの存在を確認します。存在しない場合は、この警告を無視してください。

エラーメッセージ 10463

Office 365 Exchange ノード: [<parameter>] のページに失敗しました

現象

指定したノードのページに失敗しました。

解決策

失敗の詳細については、他のアクティビティ ログまたはジョブ デバッグ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10464

ノード [<parameter>]、セッション番号 [<parameter>] のデータストアからデータをページできませんでした。

現象

ノードの指定したセッションのページに失敗しました。

解決策

失敗の詳細については、他のアクティビティ ログまたはジョブ デバッグ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10465

SharePoint Online ノード: [<parameter>] のページに失敗しました。

現象

指定したノードのページに失敗しました。

解決策

失敗の詳細については、他のアクティビティ ログまたはジョブ デバッグ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10466

Host-Based VM ノード: [<parameter>] のページに失敗しました。

現象

指定したノードのページに失敗しました。

解決策

失敗の詳細については、他のアクティビティ ログまたはジョブ デバッグ ログを確認してください。

エラー メッセージ 10485

Azure コンテナ [<parameter>] の作成に失敗しました。例外が発生しました: [<parameter>]。

現象

VSJ ジョブで Azure コンテナの作成に失敗します。

解決策

RPS サーバと Azure サーバ間でインターネット接続が利用可能かどうかを確認します。Azure がメンテナンスでシャットダウンされないことを確認します。後で VSJ ジョブを再起動します。

エラーメッセージ 10486

ページ BLOB [<parameter>] の作成に失敗しました。例外が発生しました: [<parameter>]。

現象

VSJ ジョブで Azure ページ BLOB の作成に失敗します。

解決策

RPS サーバと Azure サーバ間でインターネット接続が利用可能かどうかを確認します。Azure がメンテナンスでシャットダウンされないことを確認します。後で VSJ ジョブを再起動します。

エラーメッセージ 10487

ノード [<parameter>] に接続できませんでした。エラー=[<parameter>]。エラーコード=[<parameter>]。サーバが稼働しており、アクセス可能であることを確認します。

現象

VSJ ジョブがソケット経由でプロキシサーバに接続できません。

解決策

プロキシサーバが実行されているかどうかを確認します。HATransServer.exe プロセスが実行されているかどうかを確認します。ネットワークファイアウォールが正しく設定されていることを確認します。次に、VSJ ジョブを再起動します。

エラーメッセージ 10488

RPS サーバのデータストアに接続できません。

現象

VSJ ジョブが RPS データストアに接続できません。

解決策

RPS サーバが実行されているかどうかを確認します。データストアが存在するかどうかを確認します。次に、VSJ ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10489

ページ BLOB [<parameter>] が存在しないため、ドライバを挿入できません。

現象

ページ BLOB が存在しないため、VSB ジョブは指定した Azure ページ BLOB にドライバを挿入できません。

解決策

ページ BLOB が誤って削除された可能性があります。新しい VSB ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10490

増分 VHD ファイル [<parameter>] を開けませんでした。エラーコード [<parameter>]。

現象

増分 VHD ファイルを開けませんでした。

解決策

VSB は、インスタント VM プロセスで作成された増分 VHD ファイルを開いてドライバを挿入する必要があります。増分 VHD ファイルが存在するかどうかを確認します。Windows から返されたエラーコードを参照します。新しい VSB ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10491

バックアップ ディスク イメージ [<parameter>] を開けませんでした。エラーコード [<parameter>]。

現象

VSB がバックアップ セッションまたはセッションのバックアップ ディスクを開くことができません。

解決策

RPS サーバおよびデータストアが正常な状態で実行されているかどうかを確認します。指定したセッションが誤って削除されていないかどうかを確認します。AR ジョブを実行し、指定したセッションのデータが有効な状態であることを確認します。

エラーメッセージ 10492

バックアップ ディスク イメージからのデータの読み取りに失敗しました。エラーコード [<parameter>]。現在のジョブの終了を開始します。

現象

VSB がセッションからのバックアップ データの読み取りに失敗しました。

解決策

RPS サーバおよびデータストアが有効な状態で実行されているかどうかを確認します。指定したセッションが誤って削除されていないかどうかを確認します。AR ジョブを実行し、指定したセッションのデータが整合性のとれた状態であることを確認します。

エラーメッセージ 10493

ページ BLOB のセッションが現在のセッションと一致しないため、ドライバを挿入できません。

現象

現在の VSB ジョブのセッション GUID は、Azure のページ BLOB のメタデータに保存されているものと一致する必要があります。そうでない場合、データ破損が発生する可能性があります。ページ BLOB が手動または他のツールによって変更された場合、エラーが発生する可能性があります。

解決策

フルバックアップ ジョブをサブミットします。この問題を修正するために、バックアップ ジョブの完了後に新しい VSB ジョブがトリガされます。

エラーメッセージ 10494

VMware VDDK エラーが発生しました。エラーメッセージ [<parameter>]。エラーコード [<parameter>]。

現象

VMware VDDK は、VSB が呼び出して .vmdk ファイルを書き込むと、エラーを報告します。

解決策

VMware サーバが有効な状態で実行されているかどうかを確認します。ネットワーク接続が確立されているかどうかを確認します。レジストリで VDDK NBD モードを強制してみてください。次に、VSB ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10495

[<parameter>] を開けませんでした。エラーコード [<parameter>]。

現象

USB ジョブが、データストアに保存されている BackupInfo.xml を開けません。

解決策

RPS サーバおよびデータストアが実行されているかどうかを確認します。指定した XML ファイルが存在するかどうかを確認します。指定したセッションが使用可能で、削除されていないことを確認します。USB ジョブを再開します。

エラー メッセージ 10496

セッションパスワードの検証に失敗しました。

現象

セッションパスワードが正しくありません。

解決策

UDP コンソールで正しいセッションパスワードを設定します。次に、USB ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10497

変換中に多くのエラーが発生しました。ネットワークステータスを確認してください。

現象

複数のネットワークエラーが検出されました。USB ジョブは再試行を停止し、現在のジョブを終了します。

解決策

RPS サーバと Azure サーバ間でインターネット接続が利用可能かどうかを確認します。Azure がメンテナンスでシャットダウンしないことを確認します。後で USB ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10498

不明なエラーが発生しました。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10499

メモリの割り当てに失敗しました: メモリ不足です。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

メモリの割り当てに失敗しました。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10500

パラメータの1つが無効です。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

パラメータの1つが無効です。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10501 ~ 10600

このセクションには、以下のエラーメッセージが含まれます。

エラーメッセージ 10501

ファイル <parameter> が見つかりませんでした。新しい仮想マシン復旧ジョブをトリガしてください。

現象

ファイルが見つかりませんでした。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10502

ハンドルが別の関数を実行しているため、この関数は実行できません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

関数を実行できません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10503

操作がサポートされていません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

ジョブはサポートされていません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10504

ホストまたはゲスト オペレーティング システム、<parameter> でファイル アクセス エラーが発生しました。新しい仮想マシン復旧ジョブを開始します。

現象

ホストまたはゲスト オペレーティング システムのファイルにアクセスできません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10505

ファイル<parameter> の書き込み中にエラーが発生しました。ディスクがいっぱいです。データは保存されませんでした。データストアに十分な容量がありません。この問題を解決するには、ディスクの空き容量を確保します。

現象

データは保存されませんでした。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10506

ファイル<parameter> は書き込み保護されています。新しい仮想マシン復旧ジョブを開始します。

現象

ファイルは書き込み保護されています。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10507

このファイル<parameter> へのアクセス権がありません。プロキシマシンで SAN が正しく設定されていることを確認します。その後、新しい仮想マシン復旧ジョブを開始します。

現象

ファイルへのアクセス権が拒否されました。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10508

VMFS ファイルシステムは、十分に大きなファイルをサポートしていません。ディスクファイルが 2TB を超えています。

現象

VMFS ファイルシステムは、非常に大きなファイルをサポートしません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10509

システムがエラーを返しました。仮想マシンとの通信が中断された可能性があります。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10510

ファイル<parameter> はファイルシステムには大きすぎます。VMFS のバージョンでサポートされている最大ファイルサイズを確認します。ディスクファイルが 2TB を超えています。

現象

ファイルはファイルシステムには大きすぎます。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10511

リクエストは、存在しないか存在しなかったオブジェクトを参照しています。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

リクエストは、存在しないオブジェクトを参照しています。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10512

ホスト<parameter> に接続できません。vSphere プロキシ マシンおよび ESX/vCenter サーバがネットワークに接続されていることを確認します。

現象

ホストに接続できません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10513

この操作は、現在のライセンスではサポートされていません。ライセンスがインストールされていることを確認します。

現象

操作は、現在のライセンスではサポートされていません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10514

仮想マシンのホストと通信できません。切断されているようです。vSphere プロキシマシンおよび ESX/vCenter サーバがネットワークに接続されていることを確認します。

現象

仮想マシンのホストと通信できません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10515

ハンドルは有効な VIX オブジェクトではありません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

ハンドルは有効な VIX オブジェクトではありません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10516

この操作は、この種類のハンドルではサポートされていません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

この操作は、この種類のハンドルではサポートされていません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10517

開いているハンドルが多すぎます。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

開いているハンドルが多すぎます。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10518

無効なファイル - ファイルの必要なセクションがありません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

無効なファイルです。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10519

タイムアウト エラーが発生しました。vSphere プロキシ マシンおよび ESX/vCenter サーバがネットワークに接続されていることを確認します。

現象

VMware VDDK がタイムアウト エラーを報告しました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10520

ホスト <parameter> のオペレーティングシステムに対する十分な権限がありません。ユーザ名とパスワードが正しいことを確認します。

現象

ホストのオペレーティングシステムに対する十分な権限がありません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10521

仮想マシンは、ユーザ操作待ちでブロックされます。保留中の仮想マシンユーザ操作が VI クライアントにポップアップ表示されることを確認します。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

仮想マシンは、ユーザ操作待ちでブロックされます。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10522

このログインの種類では、コマンドは使用できません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

このコマンドは使用できません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10523

仮想マシンが見つかりません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

仮想マシンが見つかりません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10524

この操作は、この仮想マシンバージョンではサポートされていません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

操作は、この仮想マシンバージョンではサポートされていません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10525

仮想マシンは以前にロードされました。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

仮想マシンは以前にロードされました。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10526

ディスクセクタサイズのチェックに失敗しました。フルバックアップを実行します。

現象

ディスク セクタ サイズのチェックに失敗しました。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10527

プロトコルエラーです。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

VMware VDDK がプロトコルエラーを報告しました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10528

ソケットを作成できません。プロキシとホストがネットワーク経由で互いに通信できることを確認します。vSphere プロキシ マシンおよび ESX/vCenter サーバがネットワークに接続されていることを確認します。

現象

ソケットを作成できません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10529

指定したサーバ <parameter> に接続できません。ESX または vCenter サーバのネットワーク接続およびポート設定が正しく設定されていることを確認します。

現象

サーバに接続できません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10530

サーバ<parameter> が接続を拒否しました。ESX または vCenter サーバのネットワーク接続およびポート設定が正しく設定されていることを確認します。vSphere プロキシ マシンおよび ESX/vCenter サーバがネットワークに接続されていることを確認します。

現象

サーバに接続できません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10531

通信エラーが発生しました。プロキシとホストがネットワーク経由で互いに通信できることを確認します。vSphere プロキシ マシンおよび ESX/vCenter サーバがネットワークに接続されていることを確認します。

現象

プロキシとホスト間で通信できません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10532

接続が切断されました。ESX/vCenter サーバがネットワーク経由で通信できることを確認します。再接続してください。vSphere プロキシ マシンおよび ESX/vCenter サーバがネットワークに接続されていることを確認します。

現象

接続が切断しました。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10533

VDDK 書き込みがエラー NBD_ERR_HASHFILE_VOLUME で失敗しました。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

VDDK 書き込みに失敗しました。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10534

VDDK 書き込みがエラー NBD_ERR_HASHFILE_INIT で失敗しました。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

VDDK 書き込みに失敗しました。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10535

指定したパラメータの1つが無効です。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

無効なパラメータです。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10536

ディスクライブラリが初期化されていません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

ディスクライブラリの初期化に失敗しました。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10537

呼び出された関数は、仮想ディスクを I/O 用を開く必要があります。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

仮想ディスクが I/O 用に開かれていません。VMware VDDK がエラーを報告しました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10538

呼び出された関数は、部分チェーンでは実行できません。親仮想ディスクを開きます。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

部分チェーンで関数を実行できません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10539

指定した仮想ディスクは修復が必要です。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

仮想ディスクを修復する必要があります。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10540

仮想ディスクの範囲外の領域へのアクセスがリクエストされました。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

仮想ディスクの領域が範囲外です。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10541

親仮想ディスクが子の作成後に変更されました。親ディスクが別の操作で破損していないことを確認します。

現象

VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10542

指定した仮想ディスクは親ディスクではないため、縮小できません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

仮想ディスクを圧縮できません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10543

このプログラムでサポートされているバージョンです。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10544

この仮想ディスクの親を開けませんでした。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

仮想ディスクの親フォルダを開けません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10545

指定した機能は、このバージョンではサポートされていません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

現在のバージョンではこの機能はサポートされていません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10546

1 つ以上の必要なキーが指定されていません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

必要なキーがありません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10547

暗号化されたディスクの暗号化されていない子は、明示的なリクエストがない限り作成されません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

暗号化されたディスクの暗号化されていない子を作成できません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10548

暗号化されたディスクではありません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

暗号化されていないディスクです。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10549

ディスクを暗号化するキーが指定されていません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

ディスクを暗号化するキーが指定されていません。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10550

パーティションテーブルが無効です。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

無効なパーティション テーブルです。VMware VDDK によってエラーが報告されました。

解決策

ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10551

記述子が埋め込まれたスパーズ エクステントのみ暗号化できません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

記述子が埋め込まれたすべてのエクステントは暗号化されない可能性があります。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10552

暗号化された記述子ファイルではありません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

暗号化された記述子ファイルではありません。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10553

ファイルシステムが VMFS ではありません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

ファイルシステムが VMFS ではありません。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10555

ホストで開いているファイルの制限を超えました。ディスクファイルが 2TB を超えています。

現象

ホストで開いているファイルの制限を超えています。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10556

REDO ログのレベルが多すぎます。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

REDO ログのレベルが多すぎます。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10557

物理ディスクが小さすぎます。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

物理ディスクが小さすぎます。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10558

ディスクチェーンが無効です。同じチェーンにホスト型と管理対象型ディスクを混在させることはできません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

無効なディスクチェーンです。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10559

指定したキーがディスク データ ベースで見つかりません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

指定したキーがディスク データ ベースで見つかりません。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10560

1 つ以上の必要なサブシステムの初期化に失敗しました。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

1 つ以上の必要なサブシステムの初期化に失敗しました。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10561

無効な接続 ハンドル エラーが発生しました。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

無効な接続 ハンドル エラーです。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10562

ディスク エンコーディング エラーが発生しました。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

ディスクエンコーディングエラーです。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10563

ディスクが破損していて修復できません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

ディスクが破損していて修復できません。

解決策

VMware VDDK がエラーを報告します。ジョブを再度試します。エラーが解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10564

指定したファイルは仮想ディスクではありません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

指定したファイルは仮想ディスクではありません。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10565

ホストにはこの機能のライセンスがありません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

ホストにはこの機能のライセンスがありません。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10566

デバイスが存在しません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

デバイスが存在しません。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10567

この操作は、この種類のデバイスではサポートされていません。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

この操作は、この種類のデバイスではサポートされていません。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10568

ホストに接続できません。プロキシと ESX/vCenter サーバがネットワーク経由で互いに通信できることを確認します。vSphere プロキシ マシンおよび ESX/vCenter サーバがネットワークに接続されていることを確認します。

現象

ホストに接続できません。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10569

ファイル <parameter> の名前が長すぎます。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

ファイル名が長すぎます。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10570

VMDK IO 接続に失敗しました。VMware で次のエラーメッセージが表示されます: <parameter>。詳細については、デバッグ ログ <parameter> を参照してください。必要に応じて Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

VMDK IO 接続に失敗しました。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10571

VMDK ファイル <parameter> を開けません。VMware で次のエラーメッセージが表示されます: <parameter>。詳細については、デバッグ ログ <parameter> を参照してください。必要に応じて Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

VMDK ファイルを開けません。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10572

VMDK ファイル <parameter> を開けません。VMware で次のエラーメッセージが表示されます: <parameter>。また、ESX(i) サーバへのネットワーク接続の問題が原因で発生する場合があります。詳細については、デバッグ ログ <parameter> を参照してください。必要に応じて Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

VMDK ファイルを開けません。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10573

VMDK ファイル <parameter> から読み取れません。VMware で次のエラー メッセージが表示されます: <parameter>。詳細については、デバッグ ログ <parameter> を参照してください。必要に応じて Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

VMDK ファイルから読み取れません。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10574

VM 復旧 ジョブは D2D バックアップ セッションを読み取ることができませんでした。セッションにアクセスできないか、破損している可能性があります。この問題を解決するには、新しいバックアップ セッションを使用して新しいバックアップ ジョブをサブミットします。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

VM 復旧 ジョブはバックアップ復旧ポイントを読み取ることができませんでした。

解決策

復旧ポイントはアクセスできないか、破損しています。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10575

ソース セッションの読み取り中にエラーが発生しました。詳細については、<parameter>\Logs にある VM 復旧 ログを参照してください。さらに、「ユーザガイド」の「トラブルシューティング」を参照してください。

現象

ソース復旧ポイントの読み取りエラー

解決策

VM 復旧 ジョブはバックアップ復旧ポイントを読み取ることができませんでした。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10576

仮想マシンのゲストオペレーティングシステムでディレクトリ<parameter>を作成できません。VMware VIX がエラーを報告しています: <parameter>。

現象

仮想マシンのゲストオペレーティングシステムでディレクトリを作成できません。

解決策

VMware vSphere SDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10577

仮想マシンのゲストオペレーティングシステムでディレクトリ<parameter>を削除できません。VMware VIX がエラーを報告しています: <parameter>。

現象

仮想マシンのゲストオペレーティングシステムでディレクトリを削除できません。

解決策

VMware vSphere SDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10578

アプリケーションは VMDK <parameter> のすべてのブロックをバックアップします。仮想マシンで変更ブロックのトラッキングを有効にすると、スナップショットがある場合、VMware は使用済みブロックを取得できないためです。

現象

アプリケーションは VMDK のすべてのブロックをバックアップします。

解決策

このエラーは、VMware CBT の制限です。VM のすべてのスナップショットを削除し、CBT を再度リセットします。

エラーメッセージ 10579

仮想マシンの VMDK ファイルを開くことができません。VMDK ファイルが Storage vMotion を使用してマイグレート中か、メンテナンスタスクが進行中の可能性があります。仮想マシンのバックアップは、現在の処理が完了するまで続行できません。

現象

仮想マシンのVMDK ファイルにアクセスできません。

解決策

仮想マシンがマイグレーションされている場合、マイグレーション後にジョブを再試行します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10580

仮想マシン スナップショットが存在するときに変更ブロックのトラッキングがリセットされた場合、VMware はフルバックアップに使用されたデータブロックを取得できません。

現象

仮想マシン スナップショットが存在するときに変更ブロックのトラッキングがリセットされた場合、VMware はフルバックアップに使用されたデータブロックを取得できません。

解決策

このエラーは、VMware CBT の制限です。VM のすべてのスナップショットを削除し、CBT を再度リセットします。

エラー メッセージ 10581

VMware は、ESX サーバ 4.1 以降で実行されるダイナミック ディスクを備えた Windows 2008 以降の仮想マシンのアプリケーションレベルの静止 (quiescing) をサポートしません。

現象

VMware は、ESX サーバ 4.1 以降で実行されるダイナミック ディスクを備えた Windows 2008 以降の仮想マシンのアプリケーションレベルの静止 (quiescing) をサポートしません。%0

解決策

このエラーは、VMware の制限です。VM 内のダイナミック ディスクを削除します。

エラー メッセージ 10582

ESX サーバ <parameter> はメンテナンス モードです。メンテナンスの完了後にバックアップを再試行してください。

現象

ESX ホストがメンテナンス モードのときは、バックアップを実行できません。

解決策

メンテナンスの完了後にバックアップを再実行します。

エラーメッセージ 10583

ユーザ定義の転送モード <parameter> は使用できません。バックアップ ジョブは、利用可能な最適な転送モードを使用します。

現象

指定した転送モードは使用できず、Arcserve UDP は自動的に別の転送モードを選択します。

解決策

解決策はありません。

エラーメッセージ 10584

この時点では仮想マシンのスナップショットを削除できません。次のバックアップジョブの実行時に削除されます。

現象

バックアップ用に Arcserve UDP によって作成されたスナップショットを削除できません。

解決策

何も行う必要はありません。

エラーメッセージ 10585

VMDK IO クリーンアップ操作が失敗しました。VMware で次のエラーメッセージが表示されます: <parameter>。詳細については、デバッグログ <parameter> を参照してください。必要に応じて Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

VMDK IO クリーンアップジョブが失敗しました。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10586

不明なエラーが発生しました。VDDK デバッグ ログ ファイル: <parameter> を参照してください。

現象

不明なエラーです。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10587

ボリューム [<parameter>] をマウント解除できませんでした。エラー メッセージは [<parameter>] です。

現象

IVHD 方式のアシュアード リカバリは、ダミー仮想ディスクファイルのマウント解除に失敗しました。

解決策

アシュアード リカバリプロセスは、上記の期間中にデータの読み取りに失敗した可能性があります。データストアへのネットワーク接続が正常に動作することを確認します。残りのファイルは、後で UDP エージェント サービスによって自動的に削除されます。

エラー メッセージ 10588

ボリューム [<parameter>] のマウント ポイントを設定できませんでした。エラー メッセージは [<parameter>] です。

現象

アシュアード リカバリジョブのマウントポイントを設定できません。

解決策

エラー メッセージの指示に従ってください。

エラー メッセージ 10589

ノード [<parameter>] の認証情報が指定されていません。コンソールでノードを更新して、このノードの認証情報を入力してください。

現象

ノードに無効な認証情報が入力されました。

解決策

VMware の仮想マシンでは、カスタムスクリプトを実行するために仮想マシンにログオンするためのユーザ認証情報が取得されることになっています。ノードを更新して、有効な認証情報を指定します。

エラーメッセージ 10590

仮想マシン [<parameter>] のユーザ認証情報の検証に失敗しました。コンソールのノード [<parameter>] を更新して正しいユーザ認証情報を指定してください。エラーメッセージ: <parameter>。

現象

仮想マシンのユーザ認証情報の検証に失敗しました。

解決策

VMware の仮想マシンでは、カスタムスクリプトを実行するために仮想マシンにログオンするためのユーザ認証情報が取得されることになっています。ノードを更新して、有効な認証情報を指定します。

エラーメッセージ 10591

ボリューム [<parameter>] ファイルシステムの検証に失敗しました。元のボリュームファイルシステムは [<parameter>] で、現在のボリュームファイルシステムは [<parameter>] です。

現象

オペレーティングシステムがマウントされたボリュームを認識できませんでした。

解決策

以下の手順を実行します。

1. 復旧ポイントをマウントして、データの整合性を確認します。
2. VMware ベースのジョブについては、対応するライタを無効にするよう Arcserve サポートにお問い合わせください。
3. フルセッションバックアップを実行します。

エラーメッセージ 10592

ボリューム [<parameter>] のサイズの検証に失敗しました。元のボリュームサイズは [<parameter>] で、現在のボリュームサイズは [<parameter>]、エラーメッセージは [<parameter>] です。

現象

マウントされたボリューム サイズが、バックアップ ボリューム情報に基づいて予期された値ではありません。

解決策

Adrconfigure.xml で対応するボリューム サイズとマウントされたボリューム サイズを確認します。

エラー メッセージ 10601 ~ 10700

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 10617

NFS 共有フォルダ [<parameter>] を別の既存の NFS 共有フォルダに含めることはできません。

現象

選択したフォルダを NFS 共有フォルダとして設定できませんでした。

解決策

Windows での NFS 実装には制限があります。共有 NFS フォルダとして設定されているフォルダがある場合。その子フォルダまたは親フォルダは、共有 NFS フォルダとして設定できなくなりました。別のフォルダを選択して再試行します。

エラー メッセージ 10618

フォルダ [<parameter>] の NFS 共有が有効になります。別の既存の NFS 共有フォルダ [<parameter>] の一部とすることや、含めることはできません。別のフォルダを選択して再試行します。

現象

選択したフォルダを NFS 共有フォルダとして設定できませんでした。

解決策

Windows での NFS 実装には制限があります。共有 NFS フォルダとして設定されているフォルダがある場合。その子フォルダまたは親フォルダは、共有 NFS フォルダとして設定できなくなりました。別のフォルダを選択して再試行します。

エラーメッセージ 10619

クラスタグループ <parameter> (仮想マシン <parameter>) の作成に失敗しました。

現象

クラスタグループを作成できません。

解決策

Microsoft Failover Cluster のステータスおよびクラスタの所有者を確認します。詳細については、ログファイルを確認してください。

エラーメッセージ 10620

クラスタ [<parameter>] には、仮想マシンを起動する適切な ESX/ESXi ホストが含まれていません。

現象

すべての ESX/ESXi ホストが仮想マシンを起動する権限がありません。

解決策

クラスタ下の ESX/ESXi ホストのステータスを確認します。少なくとも 1 つのホストが実行ステータスである必要があります。

エラーメッセージ 10621

以前のジョブがクラッシュしました。仮想マシン [<parameter>] を削除してみてください。

現象

以前のジョブがクラッシュしました。

解決策

メッセージに示されているように、以前の仮想マシンは削除されます。このメッセージは、単なるメッセージ情報です。

エラーメッセージ 10622

復旧サーバは、64 ビットの Windows サーバオペレーティングシステム(Windows Server 2008 R2 以降) である必要があります。現在の復旧サーバ [<parameter>] は、<parameter> ビットの <parameter> です。

現象

必要な復旧サーバは、少なくとも Windows Server 2008 R2 以降の 64 ビット Windows で実行する必要があります。

解決策

メッセージに従って、復旧サーバとして適切なサーバを使用します。

エラー メッセージ 10623

ボリューム [<parameter>] ファイルシステムが <parameter> です。スパーズファイルを作成するには、NTFS または ReFS ボリュームのフォルダを選択する必要があります。

現象

メッセージに示されているように、ファイルシステムはスパーズファイルをサポートしません。

解決策

NTFS または ReFS ボリュームのフォルダを選択して、再試行してください。

エラー メッセージ 10624

ボリューム [<parameter>] ファイルシステムが <parameter> です。そのため、4GB 以上のファイルの作成はサポートされていません。

現象

4GB 以上のファイルは作成できません。

解決策

メッセージに示されているように、ファイルシステムが FAT32 で、最新ファイルが 4 GB 以下である可能性があります。別のより大きいボリュームを選択して再試行します。

エラー メッセージ 10625

ボリューム [<parameter>] ファイルシステムが <parameter> です。そのため、NFS 共有フォルダの作成はサポートされていません。NTFS ボリュームに NFS 共有フォルダを作成する必要があります。

現象

現在のボリュームでは、NFS 共有フォルダの作成はサポートされていません。NTFS ボリュームに NFS 共有フォルダを作成する必要があります。

解決策

NTFS ボリュームフォーマットを使用してデスティネーション フォルダを作成してください。

エラーメッセージ 10626

ボリューム [<parameter>] ファイルシステムが不明です。ボリュームがフロッピー ディスクかどうかを確認してください。

現象

ボリューム ファイルシステムが不明です。

解決策

ボリュームがフロッピー ディスクかどうかを確認します。

エラーメッセージ 10627

仮想マシン <parameter> のハートビートが <parameter> 秒間検出されません。仮想マシン統合ツールが正しくインストールされていることを確認してください。

現象

指定した秒数の間、仮想マシンのハートビートは検出されません。

解決策

仮想マシン統合ツールが正しくインストールされていることを確認します。

エラーメッセージ 10628

ボリューム [<parameter>] のファイルシステムのチェックに失敗しました。エラーメッセージ: <parameter>。

現象

実行前チェック中に不明なファイルシステムが使用されていました。

解決策

別のボリュームの別のフォルダを使用します。

エラーメッセージ 10629

ホスト <parameter> の管理者アカウントの取得に失敗しました。

現象

ホストの管理者アカウントの取得に失敗しました。

解決策

エラーメッセージを参照します。

エラー メッセージ 10630

クラスタ グループ <parameter> をオンラインにできませんでした。

現象

クラスタのクラスタ グループをオンラインにできません。

解決策

現在のクラスタの所有者が、選択したプロキシ サーバから別のクラスタ ノードに変更されていないことを確認します。

エラー メッセージ 10631

クラスタ グループ <parameter> (仮想 マシン <parameter>) をオフラインにできませんでした。

現象

クラスタのクラスタ グループをオフラインにできません。

解決策

現在のクラスタの所有者が、選択したプロキシ サーバから別のクラスタ ノードに変更されていないことを確認します。

エラー メッセージ 10632

仮想 マシン: <parameter> のカスタム スクリプトの実行 ステータスの更新に失敗しました。

現象

カスタム スクリプトの結果を参照できません。

解決策

仮想 マシンが実行されているかどうかを確認してから、インスタント仮想 マシンを起動してスクリプトを実行し、結果を参照します。

エラー メッセージ 10633

仮想 マシン: <parameter> のハートビート ステータスの更新に失敗しました。

現象

仮想 マシンのハートビート ステータスを取得できません。

解決策

仮想マシンが正常に起動し、統合サービスがインストールされていることを確認します。

エラーメッセージ 10634

ネットワーク経由のデータ転送でデータの不整合が検出されました。

現象

これは、RPS へのネットワークの信頼性が低いことを示します。

解決策

ネットワーク内の障害のあるハードウェアを修正するか、別の信頼性の高いネットワークに切り替えます。

エラーメッセージ 10635

デデュプリケーション <parameter> (サーバ <parameter>) と通信できませんでした。
ネットワークエラー = [<parameter>]。

現象

サーバのデデュプリケーションと通信できませんでした。

解決策

このネットワークエラーはネットワーク障害を示しており、ジョブは RPS に接続できませんでした。エラーメッセージに従ってネットワークの問題を確認および修正します。まだ実行状態ではない場合は、RPS の関連データストアを再起動します。

エラーメッセージ 10636

別のジョブとの競合が原因で、このジョブが許可されていません。

現象

競合ジョブが実行中のため、現在のジョブを起動できません。

解決策

競合ジョブの終了後に再試行してください。

エラーメッセージ 10637

このデータストア設定は無効です。

現象

これは、無効なデータストア設定を示しています。

解決策

新しい設定を生成するには、データストアを再度インポートします。

エラー メッセージ 10638

ディスクがいっぱいです。

現象

これは、いずれかのデータストアパスを保持するディスクがいっぱいであることを示しています。

解決策

ディスク全体をクリーンアップして、データストアに空き容量を増やします。

エラー メッセージ 10639

データを圧縮できませんでした

現象

デデュプリケーション データストアは、データの圧縮に失敗しました。

解決策

詳細情報は、ジョブのデバッグログを確認してください。テクニカルサポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10640

ZIP ライブラリのロードに失敗しました

現象

デデュプリケーション データストアは、圧縮ライブラリのロードに失敗しました。

解決策

ライブラリファイルを修復するには、製品をアップグレードするか、再インストールします。

エラー メッセージ 10641

メモリが足りません。

現象

デデュプリケーション データストアへのバックアップ時にメモリが不足しました。

解決策

物理メモリをクリーンアップし、ジョブに十分なメモリリソースを確保します。

エラーメッセージ 10642

無効なパラメータです。

現象

これは、内部の無効なパラメータによるジョブの失敗を示しています。

解決策

詳細情報は、ジョブのデバッグログを確認してください。テクニカルサポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10643

リクエストされた操作は無効です。

現象

これは、内部の無効なリクエストによるジョブの失敗を示しています。

解決策

詳細情報は、ジョブのデバッグログを確認してください。テクニカルサポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10644

ファイルのロックに失敗しました。ファイルは現在使用中の可能性がります。

現象

これは、マージジョブがデデュープリケーションデータストア内の特定のファイルのロックの作成に失敗したことを示しています。

解決策

実行中のジョブがほかにはないかどうかを確認し、終了後に再試行します。

エラーメッセージ 10645

このバージョンのエージェントはサポートされていません。

現象

これは、エージェントのバージョンが RPS のバージョンと互換性がないことを示しています。

解決策

バックアップエージェントまたはプロキシのバージョンを確認し、RPS のバージョンと一致していることを確認します。

エラー メッセージ 10646

このファイルの操作 (作成、クローズ、読み取り、書き込み) が失敗しました。

現象

デデュプリケーション データ ストア内の特定のファイルを操作しているときに、ファイルシステムによって報告されたエラーです。多くの場合、これはシステムまたはハードウェアの問題を示しています。

解決策

問題のあるファイルの詳細については、RPS のデデュプリケーション データ ストアのログを確認してください。ファイルをチェックして正常な状態であるかどうかを確認し、ネットワークがリモート共有場所にあるかどうかを確認します。システムによって提供されるシステム イベント ログで詳細情報を確認してください。

エラー メッセージ 10647

ハッシュ データベースでの操作 (検索、挿入) に失敗しました。

現象

これは、デデュプリケーション データ ストアのハッシュの役割が一部の操作を処理できないことを示しています。

解決策

詳細については、デデュプリケーション データ ストア ハッシュ役割 ログを参照してください。テクニカル サポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10648

デデュプリケーション <parameter> (サーバ <parameter>) でエラーが発生しました。
エラー メッセージ = [<parameter>]。

現象

デデュプリケーション データ ストアから報告されたエラーです。

解決策

詳細については、特定のエラー メッセージ、およびデデュプリケーション データ ログを参照してください。

ログの場所：復旧ポイント サーバの「\Engine\Logs」ディレクトリ。

ファイル名の形式：

- GDDServer-<Data Store Name>-DataRole.log
- GDDServer-<Data Store Name>-HashRole.log
- GDDServer-<Data Store Name>-IndexRole.log

注：さらに詳しいテクニカルサポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10649

システムコールに失敗しました

現象

エラーがデデプリケーション データストアのシステムから報告されます。多くの場合、これはシステムまたはハードウェアの問題を示しています。

解決策

詳細については、RPS のデデプリケーション データストア ログを確認してください。システムによって提供されるシステム イベント ログで詳細情報を確認してください。

エラーメッセージ 10650

システムコールがエラーを返しました。

現象

エラーがデデプリケーション データストアのシステムから報告されます。多くの場合、これはシステムまたはハードウェアの問題を示しています。

解決策

詳細については、RPS のデデプリケーション データストア ログを確認してください。システムによって提供されるシステム イベント ログで詳細情報を確認してください。

エラーメッセージ 10651

ファイルにアクセスできません。

現象

デデプリケーション データストアは、特定のファイルへのアクセスに失敗しました。

解決策

詳細については、RPS のデデブリケーション データストア ログを確認してください。システムによって提供されるシステム イベント ログで詳細情報を確認してください。

エラー メッセージ 10652

このサーバから予期しないデータ サイズが検出されました。

現象

デデブリケーション データストアは一部の内部データ構造でサイズの不一致を検出しました。

解決策

詳細については、RPS のデデブリケーション データストア ログを確認してください。テクニカルサポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10653

予期しないエラーです。

現象

デデブリケーション データストアで、いくつかの予期しないエラーが発生しました。

解決策

詳細については、RPS のデデブリケーション データストア ログを確認してください。テクニカルサポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10654

不明な内部エラーが発生しました。

現象

デデブリケーション データストアで内部エラーが発生しました。

解決策

詳細については、RPS のデデブリケーション データストア ログを確認してください。テクニカルサポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10655

デデブリケーション <parameter> (サーバ<parameter>) と通信できませんでした。

現象

これはネットワーク障害を示しており、ジョブは RPS に接続できませんでした。

解決策

ネットワークの問題を確認して修正します。RPS の関連するデータストアが実行中状態ではない場合は、再起動します。

エラーメッセージ 10656

予期しないエラー [<parameter>] です。デデュプリケーション <parameter> (サーバ <parameter>)。

現象

デデュプリケーション データストアで、いくつかの予期しないエラーが発生しました。

解決策

詳細については、RPS のデデュプリケーション データストア ログを確認してください。テクニカルサポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10657

非同期送信方式で内部エラーが発生しました。

現象

非同期送信方式で内部エラーが発生しました。

解決策

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engin\logs にあるログ ファイルを参照します

エラーメッセージ 10658

非同期送信は、タイムアウト期間内にサーバから予期される応答が得られませんでした。

現象

非同期送信は、タイムアウト期間内にサーバから予期される応答を受信できませんでした。

解決策

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engin\logs にあるログ ファイルを参照します。

エラーメッセージ 10659

設定ファイルのフォーマットが正しくありません。

現象

設定ファイルのフォーマットが正しくありません。

解決策

通信設定を確認します。

エラー メッセージ 10660

接続を確立せずにサーバへの接続試行がタイムアウトになりました。

現象

接続を確立せずにサーバへの接続試行がタイムアウトになりました。

解決策

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engin\logs にあるログ ファイルを参照します

エラー メッセージ 10661

クライアント コンテキストまたはサーバ コンテキストが正しくありません。

現象

クライアント コンテキストまたはサーバ コンテキストが正しくありません。

解決策

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engin\logs にあるログ ファイルを参照します

エラー メッセージ 10662

無効なファイルコマンドが検出されました。

現象

無効なファイルコマンドです。

解決策

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engin\logs にあるログ ファイルを参照します

エラー メッセージ 10663

ファイル インターフェイスをロードできません。

現象

ファイル インターフェイスをロードできません。

解決策

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engin\logs にあるログ ファイルを参照します

エラー メッセージ 10664

ターゲット ファイルのサイズがソース ファイルのサイズよりも大きいです。

現象

ターゲット ファイルのサイズがソース ファイルのサイズよりも大きいです。

解決策

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engin\logs にあるログ ファイルを参照します

エラー メッセージ 10666

GDD 設定ファイルのサイズが大きすぎます。制限は 4MB です。

現象

データストア設定 ファイルエラーです。

解決策

ネットワーク接続を確認します。

エラー メッセージ 10667

既存の接続がリモートホストによって強制的に閉じられました。

現象

既存の接続がリモートホストによって強制的に閉じられました。

解決策

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engin\logs にあるログ ファイルを参照します

エラー メッセージ 10668

システムは必要なメモリを割り当てるできません。

現象

システムは必要なメモリを割り当てるできません。

解決策

使用可能なシステムメモリを確認します。

エラー メッセージ 10669

受信したパケットの順序が正しくありません。

現象

受信したパケットの順序が正しくありません。

解決策

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engin\logs にあるログ ファイルを参照します

エラー メッセージ 10670

プロキシ サーバでは、認証にユーザ認証情報が必要です。

現象

プロキシ認証が必要です。

解決策

プロキシ設定を確認します。

エラー メッセージ 10671

プロキシ サーバへの接続に失敗しました。プロキシ設定が正しく、デスティネーション サーバに接続できることを確認してください。

現象

プロキシ サーバへの接続に失敗しました。

解決策

プロキシ設定が正しく、デスティネーション サーバに接続できることを確認します。

エラー メッセージ 10672

サーバが停止しているか、使用できません。

現象

サーバが停止しているか、使用できません。

解決策

C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engin\logs にあるログ ファイルを参照します

エラーメッセージ 10674

非同期送信は、タイムアウト期間内にサーバから予期される応答が得られませんでした。

現象

非同期送信は、タイムアウト期間内にサーバから予期される応答を受信できませんでした。

解決策

ネットワーク接続を確認します。

エラーメッセージ 10679

接続が切断されました。

現象

ネットワーク接続が切断されています。

解決策

ネットワーク接続を確認します。

エラーメッセージ 10680

リモートサーバへの接続が閉じられました。

現象

接続ハンドシェイクエラーです。

解決策

ネットワーク接続を確認します。

エラーメッセージ 10682

既存の接続がリモートホストによって強制的に閉じられました。

現象

接続がリセットされました。

解決策

ネットワーク接続を確認します。

エラー メッセージ 10683

データの送受信リクエストは、ソケットが前のシャットダウンコールでその方向にすでにシャットダウンされていたため許可されませんでした。

現象

接続がシャットダウンされました。

解決策

ネットワーク接続を確認します。

エラー メッセージ 10685

接続ハンドシェイクエラーが発生しました。

現象

SSL 接続に失敗しました。

解決策

SSL 接続を確認します。

エラー メッセージ 10689

ソケット操作でネットワークの停止が検出されました。

現象

サーバ接続がダウンしています。

解決策

ネットワーク接続を確認します。

エラー メッセージ 10690

システムに十分なバッファ容量がないか、キューがいっぱいだったため、ソケットの操作を実行できませんでした。

現象

メモリが足りません。

解決策

使用可能なシステムメモリを確認します。

エラーメッセージ 10694

接続先が一定時間応答しないため、接続に失敗しました。

現象

ネットワーク接続がタイムアウトしました。

解決策

ネットワーク接続を確認します。

エラーメッセージ 10695

接続タイムアウトです。

現象

ネットワーク接続がタイムアウトしました。

解決策

ネットワーク接続を確認します。

エラーメッセージ 10699

設定ファイルへのアクセスが拒否されたため、データストアを起動できませんでした。数分後に試してください。

現象

データストアの起動に失敗しました。

解決策

バックアップ先フォルダのアクセスステータスを確認します。

エラーメッセージ 10700

ソースハッシュパス <parameter> からデスティネーションハッシュパス <parameter> へのハッシュファイルのコピーに失敗しました。システムエラー=[<parameter>]。

現象

ハッシュフォルダの変更時に、新しい場所へのハッシュデータベースのコピーに失敗しました。

解決策

古い/新しいハッシュフォルダがアクセスステータスになっているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10701 ~ 10800

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 10701

デスティネーション ハッシュ パス: <parameter> に十分な空き容量がありません。

現象

容量が不足しているため、新しい場所へのハッシュ データベースのコピーに失敗しました。

解決策

新しいハッシュ フォルダから空き容量を確保します。

エラー メッセージ 10702

データ ストア「<parameter>」をロックできませんでした。データ ストアへのネットワーク 接続を確認します。

現象

データ ストア ロッカーが見つからないため、データ ストアの起動またはインポートに失敗しました。

解決策

バックアップ デスティネーション フォルダのアクセス ステータスを確認し、データ ストア マネージャ サービスを再起動します。

エラー メッセージ 10703

データ ストア「<parameter>」をロックできませんでした。別のサーバ「<parameter>」がすでに所有しているためです。データ ストアは自動的に停止します。

現象

データ ストアの所有権がデータ ストアに属していないため、起動できませんでした。

解決策

データ ストアは別の RPS によって取得されます。データ ストアをインポートし、再度変更してみてください。

エラーメッセージ 10704

データストア「<parameter>」を更新できませんでした。別のサーバ「<parameter>」がすでに所有しているためです。

現象

所有権が無効なため、データストアの変更に失敗しました。

解決策

データストアは別のRPSによって取得されます。データストアをインポートし、再度変更してみてください。

エラーメッセージ 10705

デスティネーションパスが別のデータストアに引き継がれているため、データストア「<parameter>」の起動に失敗しました。

現象

フォルダが他のRPSによって使用されているため、データストアの起動に失敗しました。

解決策

データストアをインポートして再起動してみてください。

エラーメッセージ 10706

現在のサーバの物理メモリが十分ではないため、デデュプリケーションデータストア「<parameter>」の起動に失敗しました。データストアを起動するには、少なくとも<parameter> MBの空き物理メモリ容量が必要です。

現象

メモリ不足のため、データストアの起動に失敗しました。

解決策

メモリが使用する物理メモリ、または空き容量を増やします。

エラーメッセージ 10707

データストア「<parameter>」を起動できませんでした。別のサーバ「<parameter>」がすでに所有しているためです。

現象

コンポーネントが別の RPS によって取得されているため、データストアの起動に失敗しました。

解決策

データストアをインポートして再起動してみてください。

エラー メッセージ 10708

無効な Windows ユーザ名または無効なパスワードが入力されたため、データストア「<parameter>」の起動に失敗しました。ノードを更新し、手動で再試行します。

現象

Windows 認証情報が無効なため、データストアの起動に失敗しました。

解決策

新しい正しい Windows 認証情報で RPS ノードを更新します。

エラー メッセージ 10709

無効な Windows ユーザ名または無効なパスワードが入力されたため、データストアの起動に失敗しました。ノードを更新し、手動で再試行します。

現象

Windows 認証情報が無効なため、データストアの起動に失敗しました。

解決策

新しい正しい Windows 認証情報で RPS ノードを更新します。

エラー メッセージ 10710

バックアップ デスティネーション フォルダから有効な設定情報が取得できなかったため、データストアのインポートに失敗しました。

現象

無効な設定のデータストアをインポートできませんでした。

解決策

データストアバックアップフォルダが有効かどうかを確認します。

エラー メッセージ 10711

データストアがサーバ: 「<parameter>」によってロックされているため、インポートに失敗しました。

現象

ロッカーが別の RPS によって取得されているため、データストアのインポートに失敗しました。

解決策

ヒント RPS 名からデータストアを削除し、現在の RPS にデータストアをインポートしてみてください。

エラーメッセージ 10712

パスにアクセスできないため、データストアのインポートに失敗しました。

現象

無効なパスのデータストアをインポートできませんでした。

解決策

データストアバックアップフォルダが有効かどうかを確認します。

エラーメッセージ 10713

指定したパスはすでに別のデータストアによって使用されているため、データストアのインポートに失敗しました。

現象

フォルダが別の RPS によって取得されているため、データストアのインポートに失敗しました。

解決策

ヒント RPS 名からデータストアを削除し、現在の RPS にデータストアをインポートしてみてください。

エラーメッセージ 10714

無効なデータストアパスワードが指定されたため、データストアのインポートに失敗しました。

現象

パスワードが無効なため、暗号化されたデータストアのインポートに失敗しました。

解決策

データストアの正しいパスワードを入力し、インポートを再試行してください。

エラー メッセージ 10715

データストアがロックできなかったため、データストアのインポートに失敗しました。ロックファイル「DSExc.lck」(デスティネーションパスにある) がアクセス可能であることを確認します。

現象

ロッカーが無効なため、データストアのインポートに失敗しました。

解決策

ロックファイル「DSExc.lck」がアクセス可能かどうかを確認します。

エラー メッセージ 10716

割り当てられた物理メモリが実際のメモリよりも大きいため、データストアのインポートに失敗しました。

現象

割り当てられた物理メモリが実際のメモリよりも大きいため、データストアのインポートに失敗しました。

解決策

実際の物理メモリを確認し、有効なメモリを入力してください。

エラー メッセージ 10717

割り当てられた物理メモリ容量が不足しているため、データストアのインポートに失敗しました。

現象

必要な物理メモリが不足しているため、データストアのインポートに失敗しました。

解決策

別のアプリケーションが使用しているメモリを解放するか、物理メモリを増やします。

エラー メッセージ 10718

無効なデータストアパスが指定されたため、データストアのインポートに失敗しました。データストアパスを確認し、再試行します。

現象

無効なパスのデータストアをインポートできませんでした。

解決策

データストアバックアップフォルダが有効かどうかを確認します。

エラーメッセージ 10719

デスティネーションフォルダとハッシュ/データ/インデックス役割のパス間のデータの整合性が一致しないため、データストアのインポートに失敗しました。パスが対応するフォルダを指していることを確認します。

現象

無効なデータストアパスのデータストアをインポートできませんでした。

解決策

データストアフォルダとハッシュ/データ/インデックス役割のパスを確認します。

エラーメッセージ 10720

無効なデータ役割パスが指定されたため、データストアのインポートに失敗しました。データストアパスを確認し、再試行します。

現象

無効なデータ役割パスのデータストアをインポートできませんでした。

解決策

データ役割フォルダを確認します。

エラーメッセージ 10721

無効なハッシュ役割パスが指定されたため、データストアのインポートに失敗しました。データストアパスを確認し、再試行します。

現象

無効なハッシュ役割パスのデータストアをインポートできませんでした。

解決策

ハッシュ役割フォルダを確認します。

エラーメッセージ 10722

無効なインデックス役割パスが指定されたため、データストアのインポートに失敗しました。データストアパスを確認し、再試行します。

現象

無効なインデックス役割パスのデータストアをインポートできませんでした。

解決策

インデックス役割 フォルダを確認します。

エラー メッセージ 10723

データストア管理 サービスが復旧ポイント サーバ「<parameter>」で開始できません。

現象

データストア管理 サービスを開始できませんでした。

解決策

Windows イベントを確認し、詳細を確認します。

エラー メッセージ 10724

データストア管理 サービスが復旧ポイント サーバ「<parameter>」で停止できません。

現象

データストア管理 サービスを停止できませんでした。

解決策

Windows イベントを確認し、詳細を確認します。

エラー メッセージ 10725

新しいデデュプリケーション データストア「<parameter>」の作成に失敗しました。デデュプリケーション データストアの最大数 (<parameter>) に達しています。

現象

データストアの最大数にすでに達しているため、新しいデデュプリケーション データストアを作成できませんでした。

解決策

デデュプリケーション データストアの最大数に達した場合、新しいデータストアを作成することはできません。

エラー メッセージ 10726

データストアパスが無効なため、データストア「<parameter>」の起動に失敗しました。検証ファイルが存在すること、およびバックアップ デスティネーション フォルダまたはデデュプリケーション フォルダのいずれかに変更がないことを確認します。

現象

一部のコンポーネントが見つからないため、データストアを起動できませんでした。

解決策

データストアフォルダの検証ファイルを確認します。

エラーメッセージ 10727

データストアパスが無効なため、データストアの起動に失敗しました。検証ファイルが存在すること、およびバックアップ デスティネーション フォルダまたはデデュプリケーション フォルダのいずれかに変更がないことを確認します。

現象

一部のコンポーネントが見つからないか、情報が一致しないため、データストアを起動できませんでした。

解決策

データストアフォルダの検証ファイルと設定ファイルを確認します。

エラーメッセージ 10728

<parameter> (「<parameter>」) : データストアは利用できません。

現象

デデュプリケーション データストアは異常な状態で動作しており、サービスを提供できませんでした。

解決策

デデュプリケーション データストア ステータスおよびログを確認し、この異常状態の原因を特定します。問題を解消し、データストアを再起動します。

エラーメッセージ 10729

<parameter> (「<parameter>」) : データストアで問題が発生しています。その結果、リストアジョブのみが許可されます。

現象

デデュプリケーション データストアは異常な状態で動作しており、リストアジョブのみが許可されました。

解決策

デデュプリケーション データストア ステータスおよびハッシュ役割割ログを確認し、この異常状態の原因を特定します。問題を解消し、データストアを再起動します。

エラー メッセージ 10730

<parameter> (「<parameter>」) : <parameter> にアクセスできません。

現象

デデュプリケーション データストアの1つ以上のパスにアクセスできませんでした。

解決策

パスが使用可能かどうかを確認します。

エラー メッセージ 10731

<parameter> (「<parameter>」) : <parameter> を作成できませんでした。エラー= [<parameter>]。

現象

デデュプリケーション データストアは、指定したフォルダの作成に失敗しました。

解決策

指定したフォルダと親フォルダを確認し、表示されたエラーメッセージに従って障害の原因を調べます。

エラー メッセージ 10732

<parameter> (「<parameter>」) : <parameter> にアクセスできません。

現象

デデュプリケーション データストアは、指定したファイルへのアクセスに失敗しました。

解決策

詳細については、RPS のデデュプリケーション データストア ログを確認してください。システムによって提供されるシステム イベント ログで詳細情報を確認してください。

エラー メッセージ 10733

<parameter> (<parameter>) : 役割はすでに実行中で、再起動できません。

現象

デデュプリケーション データストアの指定された役割は別のインスタンスの実行中に起動されています。

解決策

実行中の指定された役割のプロセスが存在するかどうかを確認します。データストア全体が正常に動作している場合は、このメッセージを無視してください。そうでない場合は、データストアを再起動して、正常に機能するようにします。

エラーメッセージ 10734

<parameter> (「<parameter>」) : 初期化に失敗しました。

現象

デデュプリケーション データストアの指定された役割は、初期化に失敗しました。

解決策

詳細については、RPS のデデュプリケーション データストア ログを確認してください。テクニカルサポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10735

<parameter> (「<parameter>」) : 予期しないエラー [<parameter>] です。

現象

内部エラーのため、デデュプリケーション データストアの指定された役割は失敗しました。

解決策

詳細については、RPS のデデュプリケーション データストア ログを確認してください。テクニカルサポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10736

<parameter> (「<parameter>」) : 通信ライブラリの初期化に失敗しました。

現象

デデュプリケーション データストアの指定された役割は、通信ライブラリの初期化に失敗しました。

解決策

詳細については、RPS のデデュプリケーション データストア ログを確認してください。ライブラリファイルを修復するには、製品をアップグレードするか、再インストールします。

エラーメッセージ 10737

<parameter> (「<parameter>」) : メモリ不足です。

現象

デデュプリケーション データ ストアの指定された役割は、メモリの割り当てに失敗しました。

解決策

物理メモリをクリーンアップし、役割に十分なメモリリソースを確保します。

エラー メッセージ 10738

<parameter> (「<parameter>」) : <parameter> を開けませんでした。エラー=[<parameter>]。

現象

デデュプリケーション データ ストアの指定された役割は、指定したファイルを開けませんでした。

解決策

指定したファイルが正常な状態かどうかを確認します。示されたシステム エラーメッセージに従って問題の解決を試みてください。

エラー メッセージ 10739

<parameter> (「<parameter>」) : このファイルの操作(作成、クローズ、読み取り、書き込み)が失敗しました。

現象

指定したファイルに対してデデュプリケーション データ ストアの指定された役割が動作している場合、ファイルシステムによってエラーが報告されます。多くの場合、これはシステムまたはハードウェアの問題を示しています。

解決策

指定したファイルが正常な状態かどうかを確認します。ファイルがリモート共有の場所にある場合は、ネットワークを確認します。システムによって提供されるシステム イベント ログで詳細情報を確認してください。

エラー メッセージ 10740

無効なノード タイプです。クライアント エージェントは、ジョブを続行できません。

現象

ノード タイプを識別できません。ジョブが終了しました。

解決策

ノード タイプはクライアント エージェントでサポートされていません。ノード タイプが有効かどうかを確認します。

エラーメッセージ 10741

ドライブを開けません。(ドライブ=<parameter>、エラー=<parameter>)

現象

ドライブを開けません。ジョブが失敗しました。

解決策

セッションを開くことができるか、ドライブがセッションに存在するかどうかを確認します。

エラーメッセージ 10742

ソースボリュームが空です。

現象

カタログの生成中に、ソースボリュームのファイルまたはフォルダが見つかりません。

解決策

ログメッセージは無視してください。

エラーメッセージ 10743

\$FILE_NAME 属性が見つかりませんでした。

現象

ファイルまたはフォルダのファイル名属性が見つかりません。カタログジョブが失敗する可能性があります。

解決策

セッションが整合性のとれたバックアップで、バックアップソースのファイルシステムに整合性があることを確認します。

エラーメッセージ 10744

データブロックを読み取るためのメモリを割り当てに失敗しました。IndexAlloc エラーが発生しました。

現象

メモリを割り当てられません。ジョブが失敗しました。

解決策

メモリを確認します。メモリを増やすか、空き容量を増やします。

エラー メッセージ 10745

インデックスブロックを正しいボリュームブロックにマップできませんでした。IndexAlloc エラーが発生しました。VCN が見つかりません。(VCN=[virtual cluster number])。

現象

インデックスブロックを正しいボリュームブロックにマップできませんでした。VCN が見つかりません。カタログ ジョブが失敗しました。

解決策

セッションでバックアップされたファイルシステムに整合性がない可能性があります。バックアップで使用するスナップショットの整合性を確認します。検出するソースボリュームに対して chkdsk を実行します。

エラー メッセージ 10746

インデックスの割り当てヘッダ シグネチャが無効です。

現象

インデックスの割り当てヘッダ シグネチャが無効です。カタログ ジョブが失敗しました。

解決策

セッションでバックアップされたファイルシステムに整合性がない可能性があります。バックアップで使用するスナップショットの整合性を確認します。検出するソースボリュームに対して chkdsk を実行します。

エラー メッセージ 10747

SetFilePointer (オフセット=[<parameter>, <parameter>]、ファイル=[<parameter>]、EC=[<parameter>])

現象

オフセットをシークできません。カタログ ジョブが失敗しました。

解決策

chkdsk を実行して、ソースボリュームの不良セクタを検出します。詳細については、Arcserve にお問い合わせください。

エラー メッセージ 10748

マスタ ファイル テーブル (MFT) でファイルレコード セグメントが見つかりませんでした。

現象

マスタファイルテーブルでファイルレコード セグメントが見つかりませんでした。カタログジョブが失敗しました。

解決策

セッションでバックアップされたファイルシステムに整合性がない可能性があります。バックアップで使用されるスナップショットの整合性を確認します。検出するソースボリュームに対して chkdsk を実行します。

エラーメッセージ 10749

属性リストからファイルレコード セグメントのセキュリティ属性が見つかりませんでした。

現象

属性リストからファイルレコード セグメントのセキュリティ属性が見つかりませんでした。カタログジョブが失敗しました。

解決策

セッションでバックアップされたファイルシステムに整合性がない可能性があります。バックアップで使用されるスナップショットの整合性を確認します。検出するソースボリュームに対して chkdsk を実行します。

エラーメッセージ 10750

ファイルの移動に失敗しました。(ソース=[<parameter>]、ターゲット=[<parameter>]、EC=[<parameter>])

現象

ファイルの移動に失敗しました。リストアジョブは成功しましたが、エラーが発生しました。

解決策

次の再起動後にファイルを移動中、API からエラーが報告されました。再起動後にファイルが正しくリストアされたかどうかを確認します。

エラーメッセージ 10751

圧縮レベルを設定するディレクトリを開けませんでした。(ディレクトリ=[<parameter>]、EC=[<parameter>])。

現象

リストアジョブは成功しましたが、エラーが発生しました。圧縮ファイルが圧縮されていない状態でリストアされました。

解決策

Windows エラーレポートのメッセージに示されている解決策に従います。

エラー メッセージ 10752

ディレクトリの圧縮レベルの設定に失敗しました。(ディレクトリ=[<parameter>]、EC=[<parameter>])。

現象

ディレクトリの圧縮レベルの設定に失敗しました。リストアジョブは成功しましたが、エラーが発生しました。圧縮ファイルが圧縮されていない状態でリストアされました。

解決策

Windows エラーレポートのメッセージに示されている解決策に従います。

エラー メッセージ 10753

認識されないファイルシステムです。(ファイルシステム=[<parameter>])

現象

Arcserve UDP によって破棄されます。

解決策

Arcserve UDP によって破棄されます。

エラー メッセージ 10754

DeCompressBuffer エラー。(EC=[<parameter>]、ファイル=[<parameter>])。

現象

リストアジョブに失敗しました。

解決策

セッションが有効で、マウントできないかどうかを確認します。詳細については、Arcserve にお問い合わせください。

エラー メッセージ 10755

ドライブのパーティションの種類が無効です。(ドライブ=[<parameter>])

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

Arcserve UDP は NTFS ボリュームのみをサポートします。詳細については、Arcserve にお問い合わせください。

エラーメッセージ 10756

ドライブのパーティションの種類が無効です。(ドライブ=[<parameter>])。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

Arcserve UDP は NTFS ボリュームのみをサポートします。詳細については、Arcserve にお問い合わせください。

エラーメッセージ 10757

ドライブからの読み取りに失敗しました。(ドライブ=[<parameter>]、EC=[<parameter>])

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

セッションが有効で、マウントできないかどうかを確認します。詳細については、Arcserve にお問い合わせください。

エラーメッセージ 10758

ファイルの GetVHDSector に失敗しました。(ファイル=[<parameter>])

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

セッションが有効で、マウントできないかどうかを確認します。詳細については、Arcserve にお問い合わせください。

エラーメッセージ 10759

イメージ メタ データ ファイルへの書き込みに失敗しました。(EC=[<parameter>]) 。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

Arcserve UDP がインストールされているボリュームに十分な空き容量があるかどうかを確認します。詳細については、Arcserve にお問い合わせください。

エラー メッセージ 10760

ディレクトリ構造 ファイルを書き込めません。(EC=[<parameter>])。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

Arcserve UDP がインストールされているボリュームに十分な空き容量があるかどうかを確認します。詳細については、Arcserve にお問い合わせください。

エラー メッセージ 10761

クラスタ マッピング ファイルへの書き込みに失敗しました。(EC=[<parameter>])。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

Arcserve UDP がインストールされているボリュームに十分な空き容量があるかどうかを確認します。詳細については、Arcserve にお問い合わせください。

エラー メッセージ 10762

ファイル断片のリストア エラー。(EC=[<parameter>]、ファイル=[<parameter>])。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

Arcserve UDP がインストールされているボリュームに十分な空き容量があるかどうかを確認します。詳細については、Arcserve にお問い合わせください。

エラー メッセージ 10763

ローカル ディスク <parameter> にリストアの空き容量が不足しています。空きディスク容量 = <parameter> MB、総ディスク容量 = <parameter> MB。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

リストア デスティネーションに十分な空き容量があるかどうかを確認します。

エラーメッセージ 10764

属性リストからファイルレコード セグメントのリパースポイントが見つかりませんでした。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

リストア デスティネーションに十分な空き容量があるかどうかを確認します。

エラーメッセージ 10765

暗号化ファイルのリストアに失敗しました。(EC=[<parameter>]、リストアに失敗したファイル=[<parameter>]) 。

現象

カタログ ジョブが失敗しました。

解決策

セッションでバックアップされたファイルシステムに整合性がない可能性があります。バックアップで使用されるスナップショットの整合性を確認します。検出するソースボリュームに対して chkdsk を実行します。

エラーメッセージ 10766

リパースポイントのリストアに失敗しました。(EC=[<parameter>]、リストアに失敗したファイル=[<parameter>]) 。

現象

カタログ ジョブが失敗しました。

解決策

セッションでバックアップされたファイルシステムに整合性がない可能性があります。バックアップで使用されるスナップショットの整合性を確認します。検出するソースボリュームに対して chkdsk を実行します。

エラー メッセージ 10767

オブジェクト ID のリストアに失敗しました。(EC=[<parameter>]、リストアに失敗したファイル=[<parameter>])。

現象

カタログ ジョブが失敗しました。

解決策

セッションでバックアップされたファイルシステムに整合性がない可能性があります。バックアップで使用するスナップショットの整合性を確認します。検出するソース ボリュームに対して chkdsk を実行します。

エラー メッセージ 10768

ファイルレコード セグメントのログに記録されたユーティリティ ストリームが見つかりませんでした。

現象

カタログ ジョブが失敗しました。

解決策

セッションでバックアップされたファイルシステムに整合性がない可能性があります。バックアップで使用するスナップショットの整合性を確認します。検出するソース ボリュームに対して chkdsk を実行します。

エラー メッセージ 10769

RAID ボリュームのファイルレベルのリストアが実行できません。このボリュームでは、RAW モード バックアップのみが可能です。(ボリューム=[<parameter>])

現象

指定したボリュームのカタログはスキップされます。

解決策

仕様による動作です。エラーを無視します。

エラー メッセージ 10770

vmdkimgdll.dll で予期しない例外エラーが発生しました。

現象

ジョブが失敗する可能性があります。

解決策

Arcserve UDP がインストールされているボリュームで、拡張子が .dmp のファイルがあるかどうかを確認します。詳細については、Arcserve にお問い合わせください。

エラーメッセージ 10771

バックアップ ボリュームをフリーズできません。ドライブに十分な空き容量がないため、またはディスク非アクティビティ期間のタイムアウト エラーが発生したため、プレビューファイルを作成できません。

現象

ジョブが失敗する可能性があります。

解決策

報告されたエラーコードを確認します。詳細については、Arcserve にお問い合わせください。

エラーメッセージ 10772

ドライブ [`<parameter>`] が存在しません。

現象

リストアのターゲット ボリュームが存在しません。リストア ジョブに失敗しました。

解決策

ボリュームが存在し、書き込み可能かどうかを確認します。

エラーメッセージ 10774

クラスタ マッピング ファイルへの書き込みに失敗しました。ボリュームに十分な空き容量がありません。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

リストア デスティネーションに十分な空き容量があるかどうかを確認します。

エラーメッセージ 10775

仮想マシン `<parameter>` のディスクをセクタあたり 4 KB バイトのディスクジオメトリに調整できませんでした。

現象

ディスクジオメトリを調整できません。

解決策

エラーメッセージを参照し、ファイルがアクセス可能かどうかを確認します。

エラー メッセージ 10776

スクリプト [<parameter>] を仮想マシン [<parameter>] 内で実行するプロセスを開始できませんでした。仮想マシンでスクリプトが実行可能であることを確認してください。

現象

仮想マシン内でスクリプトを実行するプロセスを開始できませんでした。

解決策

仮想マシンが実行されているかどうかを確認してから、インスタント仮想マシンを起動してスクリプトを実行し、結果を参照します。

エラー メッセージ 10777

スクリプト [<parameter>] をマシン [<parameter>] 内で実行するプロセスを開始できませんでした。そのマシンでスクリプトが実行可能であることを確認してください。

現象

マシン内でスクリプトを実行するプロセスを開始できませんでした。

解決策

ソースマシンでスクリプトが実行可能であることを確認してください。

エラー メッセージ 10778

スクリプト [<parameter>] が [<parameter>] 秒以内に終了しないと、タイムアウトになります。

現象

カスタムスクリプトを実行すると、タイムアウトになります。

解決策

タイムアウト値を最大値に増やして再試行します。この状況は、多数の同時ジョブが原因で発生します。また、同時ジョブの数に制限を設定します。

エラーメッセージ 10779

終了コード [<parameter>] がジョブを失敗するように定義されているため、スクリプトの実行に失敗しました。

現象

カスタムスクリプトの実行に失敗しました。

解決策

メッセージを参照してからインスタント VM を実行し、仮想マシンでスクリプトを手動で実行します。

エラーメッセージ 10780

ボリューム [<parameter>] のチェックに失敗しました。バックアップセッションでデータ破損の問題が発生している可能性があります。

現象

ボリュームのチェックに失敗しました。

解決策

エラーメッセージを参照し、復旧ポイントをマウントしてデータの整合性を確認します。

エラーメッセージ 10781

仮想マシン [<parameter>] が [<parameter>] 秒でテストの準備ができるまで待機できませんでした。

現象

指定したタイムアウト値の間に、仮想マシンがアシュアードリカバリテストを完了しませんでした。

解決策

タイムアウト値を最大値に増やして再試行します。この状況は、多数の同時ジョブが原因で発生します。また、同時ジョブの数に制限を設定します。

エラーメッセージ 10782

仮想マシン [<parameter>] の作成に失敗しました。エラー: <parameter>。

現象

仮想マシンの作成に失敗しました

解決策

エラー メッセージを参照して、ESX/ESXi のステータス(ESX/ESXi のデータストア、ネットワーク接続、プロンプト アラートなど)を確認します。

エラー メッセージ 10783

マウントされたボリュームでドライバの挿入を実行するときに、ディレクトリ <parameter> の作成に失敗しました。エラー メッセージ: <parameter>。データ破損の可能性が検出されました。

現象

マウントされたボリュームでドライバの挿入を実行するときに、ディレクトリの作成に失敗しました。

解決策

ボリュームを手動でマウントして、データの整合性の問題を確認します。

エラー メッセージ 10784

NFS データストアの作成に失敗しました。VMware メッセージ: <parameter> (詳細: <parameter>)。

現象

指定した NFS データストアを作成できません。

解決策

エラー メッセージを参照し、ネットワーク接続を検証します。別の回避策として、同じキー名を持つ別の NFS データストアが存在するかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10785

マウント ポイントの下にあるパス [<parameter>] の NFS 共有を作成できません。別のフォルダを選択して再試行します。

現象

このフォルダに NFS 共有を作成できません。

解決策

Microsoft は、マウント ポイント フォルダでの NFS 共有の作成をサポートしていません。別のフォルダを選択してください。

エラーメッセージ 10786

仮想マシン [<parameter>] の削除に失敗しました。エラーメッセージ:
<parameter>。

現象

ジョブの終了時に仮想マシンを削除できません。

解決策

エラーメッセージを参照し、既存の仮想マシンの電源がオフになっているかどうかを確認します。

エラーメッセージ 10787

ドライバ [<parameter>] がインストールされていません。ドライバを手動でインストールするには、次のコマンドを実行してください: [InstantVMDrvInstall.exe -i <parameter>]。

現象

ドライバをロードできません。

解決策

ドライバが正しい証明書によって署名されていません。ドライバが有効な証明書で作成されていることを確認してください。cmd signtool を使用して、ドライババイナリの有効性を確認できます。

エラーメッセージ 10788

ディスクファイル <parameter> のディスクジオメトリの調整に失敗しました。

現象

ディスクファイルのディスクジオメトリの調整に失敗しました。

解決策

詳細については、ログファイルを確認してください。

エラーメッセージ 10789

差分仮想ディスク <parameter> を親ディスクファイル <parameter> で作成できませんでした。エラー: <parameter>。

現象

指定した親ディスクは、差分ディスクを作成できません。

解決策

まず、親仮想ディスクが存在するかどうかを確認します。次に、親ディスクをマウントして、ドライバの競合問題が他のカーネルドライバで発生しているかどうかを確認します。

エラーメッセージ 10790

プロセス [<parameter>] を開始できませんでした。エラーコード: <parameter>。エラーメッセージ: <parameter>。

現象

プロセスを開始できませんでした。

解決策

以下のいずれかまたはすべてを実行します。

1. エラーメッセージを参照します。
2. 親プロセスの権限を確認します。
3. コマンドラインを使用してプロセスイメージを実行し、ライブラリの依存関係の問題を確認します。

エラーメッセージ 10791

ダミー仮想ハード ディスクファイル<parameter>の作成に失敗しました。エラー:<parameter>。

現象

ダミー仮想ハード ディスクファイルの作成に失敗しました。

解決策

この期間、仮想ディスクファイルは削除できません。残ったファイルは、ジョブの終了時に自動的に削除されます。オペレーティングシステムからのエラーメッセージまたはイベントログを参照し、必要な権限を使用してファイルにアクセスできることを確認します。

エラーメッセージ 10792

ルートディレクトリ [<parameter>] は CD-ROM です。

現象

選択したディレクトリは、デスティネーションフォルダの作成に適していません。

解決策

NTFS または ReFS ボリュームに作成された別のフォルダを選択します。

エラーメッセージ 10793

ルート ディレクトリ [<parameter>] はフラッシュ ディスクです。

現象

選択したディレクトリは、デスティネーション フォルダの作成に適していません。

解決策

NTFS または ReFS ボリュームに作成された別のフォルダを選択します。

エラーメッセージ 10794

バイナリファイル [<parameter>] のロードに失敗しました。エラーメッセージ: <parameter>。

現象

DLL バイナリをロードできません。

解決策

エラーメッセージを参照して、DLL バイナリの依存関係を検証します。

エラーメッセージ 10795

復旧 サーバ: [<parameter>] で、ネットワーク ファイルシステム(NFS) の Windows サーバの役割を有効にする必要があります。この機能を有効にしてから再試行してください。

現象

復旧 サーバでネットワーク ファイルシステム(NFS) の Windows サーバの役割が有効になっていません。

解決策

復旧 サーバでネットワーク ファイルシステム(NFS) の Windows サーバの役割を有効にします。

エラーメッセージ 10796

ネットワーク ファイルシステム(NFS) の Windows サーバの役割を復旧 サーバ: [<parameter>] にインストールする必要があります。この機能をインストールしてから再試行してください。

現象

復旧サーバでネットワークファイルシステム(NFS) の Windows サーバの役割がインストールされていません。

解決策

復旧サーバでネットワークファイルシステム(NFS) の Windows サーバの役割をインストールします。

エラー メッセージ 10797

ネットワークファイルシステム(NFS) の Windows サーバの役割を復旧サーバ: [`<parameter>`] で実行している必要があります。この機能を開始してから再試行してください。

現象

復旧サーバでネットワークファイルシステム(NFS) の Windows サーバの役割が実行していません。

解決策

復旧サーバでネットワークファイルシステム(NFS) サービスの Windows サーバの役割を開始します。

エラー メッセージ 10798

ダミー仮想ハード ディスクファイル<parameter> のファイル GUID の取得に失敗しました。エラー: <parameter>。

現象

ダミー仮想ハード ディスクファイルのファイル GUID の取得に失敗しました。データを読み取れません。

解決策

以下の手順を実行します。

1. 復旧ポイントをマウントして、データの整合性を確認します。
2. VMware ベースのジョブについては、対応するライタを無効にするよう Arcserve サポートにお問い合わせください。
3. フルセッション バックアップを実行します。

エラー メッセージ 10799

ダミー仮想ハード ディスクファイル<parameter> のファイル サイズ属性の取得に失敗しました。エラー: <parameter>。

現象

ダミー仮想ハード ディスクファイルのファイルサイズ属性の取得に失敗しました。
データを読み取れません。

解決策

以下の手順を実行します。

1. 復旧ポイントをマウントして、データの整合性を確認します。
2. VMware ベースのジョブについては、対応するライタを無効にするよう Arcserve サポートにお問い合わせください。
3. フルセッション バックアップを実行します。

エラーメッセージ 10800

セッションパスワードが無効です。

現象

指定したセッションパスワードが正しくありません。

解決策

有効なセッションパスワードを入力します。

エラーメッセージ 10801 ~ 10900

このセクションには、以下のエラーメッセージが含まれます。

エラーメッセージ 10801

NFS 共有名 [<parameter>] は、 [<parameter>] にすでに存在します。

現象

異なるパス名で作成された NFS 共有名が VMware ESX サーバにすでに存在します。

解決策

別のフォルダを NFS 共有名として選択します。

エラーメッセージ 10802

ネットワークファイルシステム(NFS) の Windows サーバの役割のインストールに失敗しました。エラー: <parameter>。ネットワークファイルシステムにこの役割を手動で設定し、再試行してください。

現象

ネットワークファイルシステム(NFS) の Windows サーバの役割のインストールに失敗しました。

解決策

ログメッセージを参照するか、サーバウィザードを開いてシステムの再起動が必要かどうかを確認します。

エラー メッセージ 10803

ネットワークファイルシステム(NFS) の Windows サーバの役割を有効にするには、再起動する必要があります。このマシンを手動で再起動し、再試行してください。

現象

ネットワークファイルシステム(NFS) の Windows サーバの役割を有効にするには、再起動する必要があります。

解決策

Windows Server を再起動し、再試行します。

エラー メッセージ 10804

無効なパス: [<parameter>] です。

現象

入力パスが無効です。

解決策

オペレーティングシステムで手動で検索して、入力パスを確認します。

エラー メッセージ 10805

プロキシ サーバ<parameter> に対して実行前チェックを実行できませんでした。仮想ディスクが作成されるフォルダ属性を確認してください。

現象

プロキシ サーバに対して実行前チェックを実行できませんでした。

解決策

暗号化および圧縮されていない別のフォルダを選択してから、再試行します。

エラーメッセージ 10806

NFS ベースのデータストア [<parameter>] を NFS 共有名 [<parameter>] で作成できませんでした。エラーコード: <parameter>。VMware メッセージ: <parameter> (詳細: <parameter>)。

現象

NFS データストアを作成できません。

解決策

エラーメッセージを参照し、ネットワーク接続を検証します。また、同じキー名を持つ別の NFS データストアが存在するかどうかを確認します。

エラーメッセージ 10807

NFS 共有 [<parameter>] (ローカルパス [<parameter>]) の作成に失敗しました。

現象

NFS 共有を作成できません。

解決策

以前のジョブを正常に実行した後に、ボリュームがフォーマットされたかどうかを確認します。フォーマットされている場合、NFS サービスを再起動するか、解決策のトラブルシューティングを参照してください。

エラーメッセージ 10808

バックアップセッションにブート ディスクまたはシステム ディスクが含まれていません。

現象

ブート ボリュームまたはシステム ボリュームがバックアップされていません。

解決策

バックアップジョブでブート ボリュームまたはシステム ボリュームが選択されているかどうかを確認します。

エラーメッセージ 10809

NFS 共有リストの取得に失敗しました。エラーコード: <parameter>。

現象

WMI 操作で NFS 共有リストのフェッチに失敗しました。

解決策

エラー メッセージに従います。

エラー メッセージ 10810

NFS サービスの開始に失敗しました。

現象

NFS サービスを開始できません。

解決策

エラー メッセージを参照してイベントログを検証し、オペレーティング システムからのエラーレポートを確認します。

エラー メッセージ 10811

ホスト [`<parameter>`] の IP アドレスの取得に失敗しました。

現象

ホストの IP アドレスの取得に失敗しました。

解決策

エラー メッセージを参照し、コマンド ライン `ipconfig` を実行して IP アドレスを確認します。

エラー メッセージ 10812

NFS サーバに割り当てられた受信 ルールの更新に失敗しました。

現象

オペレーティング システムのファイアウォールのインバウンド ルールの更新に失敗しました。

解決策

エラー メッセージを参照してイベントログを検証し、オペレーティング システムからのエラーレポートを確認します。

エラー メッセージ 10813

NFS 共有 [`<parameter>`] の権限の更新に失敗しました。

現象

NFS 共有の権限の更新に失敗しました。

解決策

NFS 共有の権限を手動で更新して、プロセスに権限が必要かどうかを確認します。

エラーメッセージ 10814

Windows WMI Network File System Service Provider に接続できませんでした。エラーメッセージ: <parameter>。

現象

WMI 操作は Network File System Service Provider に接続できませんでした。

解決策

エラーメッセージを参照してイベントログを検証し、オペレーティングシステムからのエラーレポートを確認します。次に、WMI プロバイダ サービスを再起動して再試行します。

エラーメッセージ 10815

セッションが無効です。

現象

セッションが無効です。

解決策

セッション パスが利用可能でアクセス可能かどうかを確認します。

エラーメッセージ 10816

<parameter> ジョブがネットワーク通信またはデータ読み取り障害を検出しました。

現象

データストアからのデータの読み取りに失敗しました。

解決策

ログファイルでエラーメッセージを参照し、データストアがネットワークに接続されているかどうかを確認します。

エラーメッセージ 10817

<parameter> ジョブが失敗しました。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

アクティビティ ログを参照し、関連するエラーメッセージに従います。

エラーメッセージ 10818

仮想 ディスク ファイルのマウントに失敗しました。エラーコード: <parameter>。エラーメッセージ: <parameter>。

現象

仮想 ディスクをマウントできません。

解決策

ログ ファイルを参照して、データストアへのデータの読み取りエラーを確認します。次に、対応するセッションをマウントしてデータの整合性を確認します。

エラーメッセージ 10819

<parameter> ジョブを停止できませんでした。

現象

ジョブを停止できません。

解決策

ログ ファイルを参照します。

エラーメッセージ 10821

仮想 マシン [<parameter>] のハートビートが [<parameter>] 秒間検出されません。プランを変更してタイムアウト値を増やしてください。

現象

指定した間隔で仮想 マシンのハートビートを検出できません。

解決策

タイムアウト値を最大値を増やして再試行します。この状況は、多数の同時ジョブが原因で発生します。また、同時ジョブの数に制限を設定します。

エラーメッセージ 10822

仮想 ディスク ファイル [<parameter>] をディスク GUID [<parameter>] で処理できませんでした。エラーメッセージ: バックアップ先からディスク データを読み取れませんでした。

現象

指定期間内にデータの読み取りに失敗しました。

解決策

データストアへのネットワーク接続が正常に動作することを確認します。

エラーメッセージ 10823

ドライバファイル [<parameter>] のロードに失敗しました。エラー: <parameter>。エラーメッセージ: <parameter>

現象

オペレーティングシステムがカーネルドライバをロードできませんでした。

解決策

ドライバファイルのシグネチャを確認し、コマンドラインを使用して手動でドライバをロードしてください。

エラーメッセージ 10824

仮想ディスクファイル [<parameter>] をディスク GUID [<parameter>] で処理できませんでした。エラーメッセージ: <parameter>。

現象

指定期間内にデータの読み取りに失敗しました。

解決策

データストアへのネットワーク接続が正常に動作することを確認します。

エラーメッセージ 10825

重要な Windows システムファイル [<parameter>] のデータ整合性を検証できませんでした。データ破損の可能性が検出されました。

現象

重要な Windows システムファイルのデータ整合性を検証できませんでした。

解決策

バックアップセッションのデータが破損している可能性があります。その結果、オペレーティングシステムの起動に失敗する可能性があります。

エラーメッセージ 10826

Windows レジストリハイブファイルソフトウェアをロードできないため、ドライバの挿入に失敗しました。データ破損の可能性が検出されました。

現象

オペレーティング システムがレジストリハイブ ファイル「ソフトウェア」を認識できません。

解決策

レジストリハイブ ファイルのデータが破損している可能性があります。バックアップされたファイルのデータ整合性を確認します。

エラー メッセージ 10827

Windows レジストリハイブ ファイルシステムをロードできないため、ドライバの挿入に失敗しました。データ破損の可能性が検出されました。

現象

オペレーティング システムがレジストリハイブ ファイル「システム」を認識できません。

解決策

レジストリハイブ ファイルのデータが破損している可能性があります。バックアップされたファイルのデータ整合性を確認します。

エラー メッセージ 10828

仮想マシン [<parameter>] を電源オフにできませんでした。エラー メッセージ: <parameter>。

現象

インスタント VM ジョブがスタンバイ VM の電源を自動的にオフにすると、ハイパーバイザがエラーを報告し、操作が失敗します。

解決策

通常、その時点でネットワークまたはハイパーバイザに一時的なエラーがあるか、スタンバイ VM が正常な状態で実行されていません。詳細については、アクティブ ログを参照してください。VM の電源を手動でオフにしてみてください。

エラー メッセージ 10829

仮想マシン [<parameter>] を電源オンにできませんでした。仮想マシンの電源を手動でオンにしてください。エラー メッセージ: <parameter>

現象

インスタント VM ジョブがスタンバイ VM の電源を自動的にオンにすると、ハイパーバイザがエラーを報告し、操作が失敗します。

解決策

通常、その時点でネットワークまたはハイパーバイザに一時的なエラーがあるか、スタンバイ VM が正常な状態で実行されていません。詳細については、アクティブ ログを参照してください。VM の電源を手動でオンにしてみてください。

エラーメッセージ 10830

ターゲット クラスタ [<parameter>] は存在しません。

現象

インスタント VM ジョブが、指定した VMware クラスタが存在しないことを検出しました。

解決策

インスタント VM ジョブを開始後、多くの場合、クラスタホストをターゲット ハイパーバイザとして選択することになります。クラスタが後で削除された場合、インスタント VM ジョブはこのエラーを報告します。クラスタが存在するかどうかを確認します。または、インスタント VM ジョブを再起動し、別の VMware ホストをターゲット ハイパーバイザとして選択します。

エラーメッセージ 10831

ターゲット データセンター [<parameter>] は存在しません。

現象

インスタント VM ジョブが、指定した VMware データセンターが存在しないことを検出しました。

解決策

インスタント VM ジョブを開始後、多くの場合、VMware データセンターを選択することになります。データセンターが後で削除された場合、インスタント VM ジョブはこのエラーを報告します。データセンターが存在するかどうかを確認します。または、インスタント VM ジョブを再起動して、他のデータセンターを選択します。

エラーメッセージ 10832

ターゲット ESX(i) ホスト [<parameter>] は存在しません。

現象

インスタント VM ジョブが、指定した ESXi ホストが存在しないことを検出しました。

解決策

インスタント VM ジョブを開始後、多くの場合、ESXi ホストをターゲット ハイパーバイザとして選択することになります。ホストが削除されたか後で削除された場合、

インスタント VM ジョブはこのエラーを報告します。ホストが存在するかどうかを確認します。または、インスタント VM ジョブを再起動し、別の VMware ホストをターゲット ハイパーバイザとして選択します。

エラー メッセージ 10833

バックアップ ボリューム [<parameter>] の仮想 ディスクサイズが現在のボリューム [<parameter>] でサポートできる最大ファイルサイズ [4GB] を超えています。ファイルシステムが NTFS または Refs であるボリュームに変更してから、再試行してください。

現象

バックアップ ボリュームの仮想 ディスクサイズが、現在のボリュームでサポートできる最大ファイルサイズを超えています。

解決策

FAT32 ファイルシステムは、最大 4 GB のファイルサイズをサポートします。ファイルシステムが NTFS または ReFS である他のボリュームを仮想 ディスクフォルダとして選択し、インスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10834

バックアップ ボリューム [<parameter>] の仮想 ディスクサイズが、最大ファイルサイズ [<parameter>TB] (現在のボリューム [<parameter>] でサポート可能な値) を超えています。クラスタシステムのサイズが [<parameter>KB] 以上であるファイルシステムをフォーマットしてください。

現象

バックアップ ボリュームの仮想 ディスクサイズが、現在のボリュームでサポートできる最大ファイルサイズを超えています。

解決策

ファイルシステムの最大ファイルサイズは、ボリュームのクラスタサイズによって決まります。ファイルクラスタが現在のボリュームよりも大きい別のボリュームを選択します。または、現在のボリュームをフォーマットし、より大きなクラスタサイズを指定します。次に、インスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10835

仮想 ディスクの VHD フォーマットがサポートできる最大ボリュームサイズは 2 TB です。バックアップされたボリューム [<parameter>] が最大サイズを超えています。Windows 2012 以降で VHDX フォーマットの仮想 ディスクファイルを使用してください。

現象

バックアップされたボリュームが最大サイズを超えています。

解決策

VHD は、最大 2 TB のサイズの仮想ディスクをサポートします。仮想ディスクが 2 TB を超える場合は、ターゲット ハイパーバイザとして Windows 2012 以降のバージョンを選択します。

エラーメッセージ 10836

ターゲット ハイパーバイザ [<parameter>] は、64 ビット オペレーティング システムのゲスト仮想マシンをサポートしません。

現象

ターゲット ハイパーバイザは、64 ビット オペレーティング システムのゲスト仮想マシンをサポートしません。

解決策

一部のハイパーバイザは、64 ビット ゲスト OS の VM をサポートしません。保護されたホストは、64 ビットのゲスト OS を実行します。64 ビット ゲスト OS をサポートする他のハイパーバイザをターゲット ハイパーバイザとして選択します。

エラーメッセージ 10837

ターゲット ハイパーバイザ [<parameter>] は、2 TB 以上のディスク サイズをサポートしません。

現象

ターゲット ハイパーバイザは、2 TB 以上のディスク サイズをサポートしません。

解決策

ターゲット ハイパーバイザとして Windows 2012 以降のバージョンを選択します。

エラーメッセージ 10838

リモート パス [<parameter>] にホスト [<parameter>] から接続できませんでした。リモート パス、ユーザ名、およびパスワードが正しいことを確認してください。

現象

ホストからリモート パスに接続できませんでした。

解決策

共有ネットワークパスが存在し、指定したユーザ名とパスワードでアクセスできることを確認します。パスワードが更新された場合、インスタント VM ジョブを再起動し、新しいパスワードを入力します。

エラー メッセージ 10839

ターゲット ハイパーバイザ [<parameter>] に接続できませんでした。エラー メッセージ: <parameter>

現象

インスタント VM は、指定した VMware または Hyper-V サーバに接続できません。

解決策

インスタント VM 復旧サーバとハイパーバイザサーバ間でネットワーク接続が利用可能かどうかを確認します。ハイパーバイザサーバが有効な状態で実行されているかどうかを確認します。次に、インスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10840

VMWare Server <parameter> にポート <parameter> で接続を確立できませんでした。ホスト アドレス [<parameter>] をプロキシサーバ <parameter> から到達できるようにしてから、再試行してください。

現象

インスタント VM は、指定したホスト アドレスおよびポートで、指定した VMware サーバに接続できません。

解決策

VMware サーバのホスト アドレスおよびポートが正しいことを確認します。インスタント VM 復旧サーバと VMware サーバ間でネットワーク接続が利用可能かどうかを確認します。VMware サーバが有効な状態で実行されているかどうかを確認します。次に、インスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10841

サーバ名 <parameter> (ポート <parameter>) を解決できませんでした。ホスト名がプロキシサーバ <parameter> から解決されていることを確認してください。

現象

インスタント VM がサーバの IP アドレスを解決できません。

解決策

インスタント VM 復旧サーバの DNS 設定を確認します。次に、インスタント VM ジョブを再起動します。

エラーメッセージ 10842

環境設定ファイル [<parameter>] (ノード [<parameter>]) の取得に失敗しました。

現象

インスタント VM は、読み取り用に AdrConfigure.xml を開けません。

解決策

RPS サーバおよびデータストアが実行されているかどうかを確認します。指定した XML ファイルが存在するかどうかを確認します。指定したセッションが使用可能で、削除されていないことを確認します。インスタント VM ジョブを再起動します。

エラーメッセージ 10843

バックアップ情報ファイル [<parameter>] (ノード [<parameter>]) の取得に失敗しました。

現象

ノードのバックアップ情報ファイルの取得に失敗しました。インスタント VM ジョブが、データストアに保存されている BackupInfo.xml を開けません。

解決策

RPS サーバおよびデータストアが実行されているかどうかを確認します。指定した XML ファイルが存在するかどうかを確認します。指定したセッションが使用可能で、削除されていないことを確認します。インスタント VM ジョブを再起動します。

エラーメッセージ 10844

ハイパーバイザ情報の検証に失敗しました。エラーメッセージ: <parameter>

現象

ハイパーバイザ情報の検証に失敗しました。

解決策

ハイパーバイザサーバが有効な状態で実行されているかどうかを確認します。インスタント VM ジョブを再起動します。

エラーメッセージ 10845

vCloud サーバ情報の検証に失敗しました。エラーメッセージ: <parameter>。

現象

廃止されました

解決策

エラー メッセージ 10846

ターゲット ハイパーバイザ [<parameter>] は EFI パーティションからのソース マシン [<parameter>] のブートをサポートしていません。

現象

ターゲット ハイパーバイザは EFI パーティションからのソース マシンのブートをサポートしていません。

解決策

一部のハイパーバイザは、UEFI パーティションからの VM のブートをサポートしていません。UEFI システム ボリュームをサポートする適切なハイパーバイザを選択し、インスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10847

ターゲット 組織 [<parameter>] は存在しません。

現象

廃止されました

解決策

廃止されました

エラー メッセージ 10848

ターゲット 組織 VDC [<parameter>] は存在しません。

現象

廃止されました

解決策

廃止されました

エラー メッセージ 10849

ターゲット vApp [<parameter>] は存在しません。

現象

廃止されました

解決策

廃止されました

エラーメッセージ 10850

仮想マシン [<parameter>] の再設定に失敗しました。エラーメッセージ:
<parameter>

現象

インスタント VM ジョブがスタンバイ VM の設定の変更に失敗しました。

解決策

ハイパーバイザが報告した詳細なエラーメッセージを参照します。ハイパーバイザサーバが有効な状態で実行されているかどうかを確認します。インスタント VM ジョブを再起動します。

エラーメッセージ 10851

仮想マシン [<parameter>] をリセットできませんでした。エラーメッセージ
[<parameter>] を参照します。<parameter>

現象

インスタント VM ジョブがスタンバイ VM を自動的にリセットすると、ハイパーバイザがエラーを報告し、操作が失敗します。

解決策

通常、その時点でネットワークまたはハイパーバイザに一時的なエラーがあるか、スタンバイ VM が正常な状態で実行されていません。アクティブログに詳細なエラーメッセージが表示されます。VM を手動でリセットしてください。

エラーメッセージ 10852

セッション [<parameter>] の取得 (フォルダ [<parameter>]) に失敗しました。セッションが使用可能かどうかを確認してください。

現象

インスタント VM ジョブは、指定したフォルダ内にセッションデータを見つけることができません。

解決策

フォルダが存在するかどうかを確認します。セッションデータが使用可能で、削除されていないことを確認します。削除された場合、別のセッションに基づいてインスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10853

仮想マシン [<parameter>] のスナップショットの作成に失敗しました。エラーメッセージ: <parameter>

現象

インスタント VM ジョブがスタンバイ VM のスナップショットを取得すると、ハイパーバイザがエラーを報告し、操作が失敗します。

解決策

インスタント VM 復旧サーバとハイパーバイザサーバ間にネットワーク接続が存在するかどうかを確認します。また、ハイパーバイザサーバが有効な状態で実行されているかどうかを確認します。次に、インスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 10854

バックアップされたボリューム [<parameter>] のファイルシステム Refs は、Windows 2008 R2 以前ではサポートされていません。Windows の上位バージョンで他のプロキシサーバを使用してください。

現象

バックアップされたボリュームのファイルシステム ReFS は、Windows 2008 R2 以前ではサポートされていません。

解決策

アシュアード リカバリジョブで、復旧サーバの仮想ディスクのファイルシステムを確認する必要があります。復旧サーバが ReFS などのファイルシステムをサポートしていない場合、ジョブは失敗し、エラーが報告されます。指定したファイルシステムをサポートする他のマシンを復旧サーバとして選択し、アシュアード リカバリジョブを再実行します。

エラー メッセージ 10855

バックアップされたボリューム [<parameter>] のファイルシステム Refs の上位バージョンは、Windows 2012 R2 以前ではサポートされていません。ソース Windows バージョンに使用されているものと同じプロキシサーバを使用してください。

現象

バックアップされたボリュームのファイルシステム ReFS の上位バージョンは、Windows 2012 R2 以前ではサポートされていません。

解決策

復旧サーバは、ReFS ファイルシステムの上位バージョンをサポートしません。復旧サーバとして RefS の上位バージョンをサポートするマシンを使用し、アシュアードリカバリジョブを再起動します。

エラーメッセージ 10856

フォルダの圧縮が有効になっているため、フォルダ [<parameter>] に仮想ディスクイメージを作成できません。

現象

圧縮が有効なフォルダに仮想ディスクイメージを作成できません。

解決策

インスタント VM の仮想ディスクフォルダとして圧縮を有効にしていないフォルダを選択し、インスタント VM ジョブを再起動します。

エラーメッセージ 10857

フォルダの暗号化が有効になっているため、フォルダ [<parameter>] に仮想ディスクイメージを作成できません。

現象

暗号化が有効なフォルダに仮想ディスクイメージを作成できません。

解決策

インスタント VM の仮想ディスクフォルダとして暗号化が有効になっていないフォルダを選択し、インスタント VM ジョブを再起動します。

エラーメッセージ 10890

セッション <parameter> のレプリケートに失敗しました(合計サイズ = <parameter>、レプリケート サイズ = <parameter>)。

現象

レプリケーションジョブがセッションのレプリケートに失敗しました。

解決策

現在のレプリケーションジョブのアクティブログ、およびログフォルダ内のファイルレプリケーションジョブログファイルを参照してください。

エラーメッセージ 10896

ノード [<parameter>] のレプリケーションジョブが失敗しました。

現象

レプリケーション ジョブが失敗しました。

解決策

現在のレプリケーション ジョブのアクティブ ログ、およびログ フォルダ内のファイルレプリケーション ジョブ ログ ファイルを参照してください。

エラー メッセージ 10901 ~ 11000

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 10914

ターゲット ハイパーバイザ [<parameter>] は、4 TB 以上のディスク サイズをサポートしません。

現象

VSB ジョブが失敗しました。

解決策

Azure などの一部のターゲット ハイパーバイザ プラットフォームは、4TB 以上のディスク サイズをサポートしません。解決するには、大きなディスクをバックアップ セットから除外します。

エラー メッセージ 10915

一部のファイルのリストアに失敗しました。詳細については、ログ ファイル [<parameter>] を参照してください。

現象

一部のファイルのリストアに失敗しました。

解決策

詳細については、ログ ファイルを参照してください。

エラー メッセージ 10916

Arcserve Cloud への接続中にエラーが発生しました。エラー: [<parameter>]。

現象

<product name> に接続できませんでした。

解決策

<product name> のレプリケーション設定を確認します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10917

Arcserve Cloud からの GDD 設定ファイルの取得に失敗しました。

現象

正常です。製品名を確認します。

解決策

<product name> のレプリケーション設定を確認します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10918

ファイル [<parameter>] のレプリケートに失敗しました。エラー: [<parameter>]。
Cloud Hybrid ストアのディスク空き容量が不足しています。

現象

ファイル [%1!s!] のレプリケートに失敗しました。エラー: [%2!s!]。

解決策

Cloud Hybrid ストアのディスク空き容量が不足しています。Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10919

ソース データ ストアと Cloud Hybrid ストア間でノード データが整合しているため、レプリケーション ジョブがスキップされました。

現象

すべてのバックアップ セッションは、すでに Arcserve Cloud にレプリケートされていません。

解決策

すべてのバックアップ セッションは、すでに Arcserve Cloud にレプリケートされていません。

エラーメッセージ 10920

Cloud Hybrid ストアへのアクセスに失敗しました。

現象

正常です。製品名を確認します。

解決策

<product name> のレプリケーション設定を確認します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10921

Arcserve Cloud への接続中にエラーが発生しました。

現象

レプリケーション ジョブを実行できません。

解決策

<product name> のレプリケーション設定を確認します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10922

ディスク <<disk Id>> の復旧ポイントのダウンロードに失敗しました。

現象

クラウドから復旧ポイントのダウンロードに失敗しました。

解決策

ジョブを再度試します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10923

バックアップ用仮想マシンのディスクに接続できませんでした。%0。

現象

ディスクを仮想マシンに接続できないため、バックアップジョブが失敗しました。

解決策

バックアップジョブを再実行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートに連絡し、必要なログを提供してください。

エラー メッセージ 10924

Microsoft iSCSI Initiator Service が存在しません。サービスをインストールし、再実行してください。%0。

現象

Microsoft iSCSI イニシエータサービスがインストールされていないため、ジョブが失敗しました。

解決策

Microsoft iSCSI Initiator Service がインストールされていません。サービスをインストールして再試行します。

エラーメッセージ 10925

Microsoft iSCSI Initiator Service を起動できません。%0。

現象

Microsoft iSCSI Initiator Service の開始に失敗したため、ジョブが失敗しました。

解決策

Microsoft iSCSI Initiator Service を起動できません。サービスを手動で開始して、ジョブを再試行してください。

エラーメッセージ 10926

ボリュームグループの作成に失敗しました。エラー [%1!s!]。%0。

現象

ボリュームグループを作成できないため、バックアップジョブが失敗しました。

解決策

バックアップジョブを再試行します。問題が解決しない場合は Arcserve サポートに連絡し、NutanixManager ログを提供してください。

エラーメッセージ 10927

ディスクのクローンを作成してボリュームグループに接続できませんでした。エラー [%1!s!]。%0。

現象

ディスクのクローンを作成してボリュームグループに接続できないため、バックアップジョブが失敗しました。

解決策

バックアップジョブを再試行します。問題が解決しない場合は Arcserve サポートに連絡し、NutanixManager ログを提供してください。

エラー メッセージ 10928

プロキシの IQN を取得できませんでした。%0。

現象

プロキシ IQN の取得に失敗したため、ジョブが失敗しました。

解決策

ボリュームグループ iSCSI ターゲットとの接続を確立するためのバックアップ プロキシ IQN を取得できませんでした。Microsoft iSCSI Initiator Service を再起動し、再試行します。

エラー メッセージ 10929

iSCSI クライアントとしてプロキシをボリュームグループに接続できませんでした。エラー [%1!s]。%0。

現象

iSCSI クライアントとしてプロキシをボリュームグループに接続できなかったため、ジョブが失敗しました。

解決策

iSCSI クライアントとしてプロキシをボリュームグループに接続できませんでした。ジョブを再実行します。詳細については、ログを確認してください。問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10930

プロキシは Nutanix クラスタの iSCSI サーバに接続できませんでした。%0。

現象

プロキシが Nutanix クラスタの iSCSI サーバに接続できなかったため、ジョブは失敗しました。

解決策

プロキシは Nutanix クラスタの iSCSI サーバに接続できませんでした。ジョブを再実行します。詳細については、ログを確認してください。問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10931

ボリュームグループの削除に失敗しました。エラー [%1!s]。%0。

現象

ボリュームグループを削除できないため、バックアップジョブで警告が生成されました。

解決策

クリーンアップは、このマシンの次のバックアップジョブの実行時に行われます。Nutanix マネージャログを確認して、問題の正確な根本原因を調べます。

エラーメッセージ 10932

UUID [%s] のボリュームグループの IQN の取得に失敗しました。エラー [%1!s!]. %0。

現象

ボリュームグループの IQN の取得に失敗したため、ジョブが失敗しました。

解決策

ボリュームグループの IQN の取得に失敗しました。ジョブを再実行します。詳細については、ログを確認してください。問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10933

ボリュームグループのディスクをプロキシに接続できませんでした。%0。

現象

ボリュームグループのディスクをプロキシに接続できないため、ジョブが失敗しました。

解決策

ボリュームグループのスナップショット ディスクをプロキシに接続できませんでした。ジョブを再実行します。詳細については、ログを確認してください。問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10935

プロキシから VM スナップショット ディスクを切断できませんでした。次のバックアップでクリーンアップを試行します。%0。

現象

バックアップジョブで、スナップショット ディスクをプロキシから切断できないという警告がレポートされました。

解決策

次のバックアップ ジョブはクリーンアップを実行しようとしています。それでも問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10936

プロキシの %2!d! ディスクを開けませんでした。%0。

現象

バックアップ用に接続されたソース マシンのスナップショット ディスクを開くことができないため、バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

原因は、ユーザまたはクラスタの他の操作によって、ソース VM ディスクがプロキシ マシンから切断された可能性があります。バックアップ ジョブを再実行し、プロキシ からスナップショット ディスクを削除しないことをお勧めします。詳細については、バックアップ ログを確認してください。それでも問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10937

プロキシの %2!d! ディスクを読み取れませんでした。%0。

現象

バックアップ用に接続されたソース マシンのスナップショット ディスクから読み取ることができないため、バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

原因は、ユーザまたはクラスタの他の操作によって、ソース VM ディスクがプロキシ マシンから切断された可能性があります。バックアップ ジョブを再実行し、プロキシ からスナップショット ディスクを削除しないことをお勧めします。詳細については、バックアップ ログを確認してください。それでも問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10938

サーバ %1!s! は AHV ノードではありません。現在、他の種類のノードはサポートされていないため、バックアップ ジョブは失敗します。

現象

クラスタが AHV クラスタでないため、バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

AHV クラスタのノードにのみバックアップ ジョブを設定してください。

エラーメッセージ 10939

クラスタ [%2!s!] の IP アドレス [%1!s!] のプロキシの UUID の取得に失敗しました。エラー [%3!s!]。%0。

現象

ホット モードのバックアップジョブは、指定した UUID のマシンがクラスタ内に見つからないため失敗しました。

解決策

プロキシ マシンがクラスタの外部にある場合、バックアッププラン設定でボリュームグループ (iSCSI) として Nutanix AHV バックアップ方式を変更します。それ以外の場合、ホット モードでのみバックアップを実行する場合は、クラスタ内のマシンの 1 つをプロキシ マシンとして設定します。

エラーメッセージ 10940

プロキシの IP アドレスの取得に失敗しました。%0

現象

プロキシ マシンの IP アドレスを取得できないため、HotAdd モードでのバックアップに失敗しました。

解決策

WinSock DLL が見つからない場合は、プロキシ マシンに Windows ソケットのレジストリエントリ/ソケット DLL が存在しないことを確認し、バージョン 2.2 をサポートする Winsock DLL をダウンロードします。

エラーメッセージ 10941

UUID [%1!s!] のプロキシからスナップショット ディスクを切断できませんでした。エラー [%2!s!]。%0。

現象

バックアップジョブで、スナップショット ディスクをプロキシから切断できないという警告がレポートされました。

解決策

次のバックアップジョブはクリーンアップを実行しようとしています。Nutanix マネージャログを確認して、問題の正確な根本原因を調べます。それでも問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10942

Nutanix クラスタに接続できません。サーバの認証情報が有効であることを確認します。エラー [%1!s!]。%0

現象

クラスタに接続できないため、バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

バックアップ ジョブを再試行します。問題が解決しない場合は Arcserve サポートに連絡し、NutanixManager ログを提供してください。

エラー メッセージ 10943

Nutanix クラスタに接続できません。サーバにアクセスできません。エラー [%1!s!]。Nutanix クラスタがネットワークに接続されており、認証情報が有効であることを確認します。%0。

現象

クラスタに接続できないため、バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

AHV クラスタのネットワーク接続を確認してください。

エラー メッセージ 10944

Nutanix クラスタに接続できません。認証情報が無効または正しくありません。エラー [%1!s!]。%0。

現象

認証情報が無効/正しくないため、バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

有効な/正しい認証情報を入力して、ジョブを再試行してください。

エラー メッセージ 10945

仮想マシンのスナップショットを作成できませんでした。Nutanix クラスタから次のエラーが報告されました: %1!s!。%0。

現象

スナップショットを取得できなかったため、バックアップ ジョブに失敗しました。

解決策

元のディスクが存在せず、参照のみが存在している可能性があります。Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10946

仮想ディスクビットマップの取得に失敗しました。%0。

現象

バックアップジョブは、変更された領域の取得機能がバックアップに使用するブロックの照会に失敗したため失敗しました。

解決策

バックアップジョブを再実行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10947

同じシグネチャを持つ複数のディスクが見つかりました。これは、VM がクローンディスクを持ち、オフライン状態である場合に発生する可能性があります。オフラインディスクをオンラインにして、バックアップを再実行してください。%0。

現象

ソース VM に同じディスクシグネチャを持つ複数のディスクがあるため、バックアップジョブが失敗しました。

解決策

ディスクシグネチャを確認し、ディスクシグネチャが重複しているディスクをオンラインにします。

エラーメッセージ 10948

仮想マシンのアプリケーション整合性のあるスナップショットを取得できませんでした。仮想マシンが、アプリケーション整合性のあるスナップショットを取得するために必要な前提条件を満たしているかどうかを確認します。%0

現象

アプリケーションの一貫したスナップショットを取得できないため、バックアップジョブのスナップショット方式がクラッシュ整合に変更されました。

解決策

アプリケーションの整合性のとれたスナップショットを作成するには、Nutanix のガイドラインを参照してください。

エラー メッセージ 10949

仮想マシン %1!s! は Nutanix クラスタ %2!s! にすでに存在します。この仮想マシンを復旧するには、[上書き]オプションまたは 断新しい UUID の生成]オプションを有効にする必要があります。

現象

ソース VM と同じ ID を持つ VM がターゲット クラスタにすでに存在するため、VM の復旧ジョブが失敗します。

解決策

この仮想マシンを復旧するには、VM の復旧ジョブをサブミットするときに、上書きオプションまたは新しい UUID の生成オプションを有効にしてください。

エラー メッセージ 10950

VM 復旧ジョブは、仮想ディスクを作成できませんでした。

現象

VM 復旧ジョブで、復旧する VM の仮想ディスクを作成してプロキシに接続できませんでした。

解決策

これは複数の理由で発生する可能性があります。リストアジョブを再度サブミットしてください。詳細については、リストアジョブログを確認してください。それでも問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10951

VM 復旧ジョブは新しい仮想マシンを作成できませんでした。

現象

VM 復旧ジョブは新しい仮想マシンを作成できませんでした。

解決策

VM の作成は、主に VM 設定が原因で失敗します。アクティビティログで報告されたエラーを確認してください。詳細については、リストアジョブログを確認してください。それでも問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10952

VM 復旧ジョブは、不明なエラーで新しい仮想マシンを作成できませんでした

現象

VM 復旧ジョブは、不明なエラーで新しい仮想マシンを作成できませんでした。

解決策

VM の作成は、主に VM 設定が原因で失敗します。詳細については、リストアジョブログを確認してください。それでも問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10954

D2D ファイルがジョブ スクリプトに定義されていません。%0。

現象

仮想スタンバイがセッション ディスクファイルを変換せず、サイレント モードで終了します

解決策

バックアップ ジョブのエラーを修正します。

エラーメッセージ 10955

Windows VDS サービスを初期化できません。%0。

現象

仮想スタンバイ モニタの Windows が VDS サービスを初期化できません。

解決策

仮想スタンバイ モニタの Windows VDS サービス エラーを修正します。

エラーメッセージ 10956

ディスクを使用可能にできません。%0。

現象

仮想スタンバイ モニタの Windows VDS サービスが、ディスクをオンラインにできません。

解決策

仮想スタンバイ モニタの Windows VDS サービス エラーを修正します。

エラーメッセージ 10957

ディスクを使用不可にできません。%0。

現象

仮想スタンバイ モニタの Windows VDS サービスが、ディスクをオフラインにできません。

解決策

仮想スタンバイ モニタの Windows VDS サービス エラーを修正します。

エラー メッセージ 10958

ディスクを書き込み可能にできません。%0

現象

仮想スタンバイ モニタの Windows VDS サービスがディスクを書き込み可能にできません。

解決策

仮想スタンバイ モニタの Windows VDS サービス エラーを修正します。

エラー メッセージ 10959

一致するディスクが Nutanix プロキシ マシンに見つかりません。%0

現象

仮想スタンバイ ジョブは、指定した仮想 ディスクを見つけることができません。

解決策

モニタの Windows VDS サービス エラーを修正します。そして、Nutanix サーバの状態を確認します。

エラー メッセージ 10960

Nutanix プロキシ マシンでディスクを開けません。%0

現象

仮想スタンバイ ジョブは、指定した仮想 ディスクを開けません。

解決策

モニタの Windows VDS サービス エラーを修正します。そして、Nutanix サーバの状態を確認します。

エラー メッセージ 10961

Nutanix プロキシ マシンのディスクにデータを書き込めません。%0

現象

仮想スタンバイジョブは、指定した仮想ディスクにデータを書き込むことができません。

解決策

モニタの Windows VDS サービス エラーを修正します。そして、Nutanix サーバの状態を確認します。

エラーメッセージ 10962

OS ディスクがジョブ スクリプトに定義されていません。%0

現象

仮想スタンバイジョブは、スタンバイ VM の OS ディスクを検出できないため、ドライバを挿入できません。

解決策

バックアップジョブにソースノードの OS ディスクが含まれているかどうかを確認します。ない場合は、バックアップタスクに OS ディスクを追加します。

エラーメッセージ 10963

スタンバイ VM のブート ボリュームパスを取得できません。%0

現象

仮想スタンバイジョブがスタンバイ VM のブート ボリュームパスを検出できないため、ドライバの挿入が失敗します。

解決策

バックアップセッションが破損している可能性があります。アシュアード リカバリ IVHD ジョブを実行して、バックアップセッションを検証します。

エラーメッセージ 10964

スタンバイ VM のシステムレジストリをロードできません。%0

現象

仮想スタンバイジョブがスタンバイ VM のシステムレジストリをロードできないため、ドライバの挿入が失敗します。

解決策

バックアップセッションが破損している可能性があります。アシュアード リカバリ IVHD ジョブを実行して、バックアップセッションを検証します。

エラー メッセージ 10965

スタンバイ VM のソフトウェアレジストリをロードできません。%0

現象

仮想スタンバイ ジョブがスタンバイ VM のソフトウェアレジストリをロードできないため、ドライバの挿入が失敗します。

解決策

バックアップ セッションが破損している可能性があります。アシュアード リカバリ IVHD ジョブを実行して、バックアップ セッションを検証します。

エラー メッセージ 10966

ファイル: %1!s! に書き込めません。%0

現象

USB コンバータによって実行された DISM がエラーを返すため、USB のドライバの挿入が失敗します。

解決策

USB モニタの DISM コマンド エラーを修正します。そして、Nutanix ドライバ パッケージを正しいフォルダに配置します。

エラー メッセージ 10967

メタデータをバックアップできません。%0

現象

アカウント ドライブのメタデータのバックアップに失敗しました。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10968

AFRES_AFBKDL_ONEDRIVE_ERR_END_BACKUP_FILES_FAILED。%0

現象

OneDrive ファイルのバックアップに失敗しました。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10969

%1!s! アカウントをバックアップできません。メッセージ [%2!s!]。

現象

アカウントのバックアップに失敗しました。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10970

アカウント %1!s! のメタデータのバックアップに失敗しました。メッセージ %2!s!。%0

現象

アカウントのメタデータのバックアップに失敗しました。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10971

内部エラーです。Arcserve サポートにお問い合わせください。詳細：%1!s!。%0

現象

不明なエラーが発生したため、バックアップに失敗しました。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10972

メタデータ アカウント：%1!s! のドライブ：%2!s! のバックアップに失敗しました。メッセージ %3!s!。%0

現象

アカウントのドライブのメタデータとファイルのバックアップに失敗しました。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10973

DISM からエラーメッセージ：[%1!s!] が返されました。%0

現象

仮想スタンバイジョブによって実行された DISM がエラーを返すため、ドライバの挿入が失敗します。

解決策

仮想スタンバイ モニタの DISM コマンド エラーを修正します。

エラー メッセージ 10974

プロキシが同じクラスタに存在しないため、バックアップを実行できません。プラン設定で Nutanix AHV 転送方式としてボリュームグループ(iSCSI) モードを選択し、バックアップを続行します。

現象

クラスタにプロキシが存在しないため、バックアップジョブが失敗します。

解決策

ボリュームグループ(iSCSI) モードの前提条件が満たされているかどうかを確認してください。バックアップを続行するには、バックアッププラン設定でそれを設定します。最後のケースでは、転送モードの前提条件に従ってプロキシを設定します。

エラー メッセージ 10975

プロキシが同じクラスタに存在しないため、バックアップを実行できません。プラン設定で Nutanix AHV 転送方式としてボリュームグループ(iSCSI) モードを選択し、バックアップを続行します。

現象

クラスタにプロキシが存在しないため、バックアップジョブが失敗します。

解決策

ボリュームグループ(iSCSI) モードの前提条件が満たされているかどうかを確認してください。バックアップを続行するには、バックアッププラン設定でそれを設定します。最後のケースでは、転送モードの前提条件に従ってプロキシを設定します。

エラー メッセージ 10976

現在のプロキシ OS ではボリュームグループ(iSCSI) モードがサポートされていないため、バックアップを実行できません。サポートされているプロキシ OS のバージョンは Windows Server 2008 以降です。

現象

プロキシ OS バージョンが Microsoft iSCSI Initiator サービスをサポートしていないため、バックアップジョブが失敗します。Windows server 2008 以降の OS バージョンがサポートされています。

解決策

サポートされている OS バージョンのプロキシとして別のエージェントを設定します。

エラーメッセージ 10977

ボリュームグループ(iSCSI)モードが現在のプロキシ OS でサポートされていないため、リストアを実行できません。サポートされているプロキシ OS のバージョンは Windows Server 2008 以降です。

現象

プロキシ OS バージョンが Microsoft iSCSI イニシエータ サービスをサポートしていないため、リストアジョブが失敗します。Windows server 2008 以降の OS バージョンがサポートされています。

解決策

OS バージョンをサポートする別のプロキシのエージェントからリストアをサブミットします。

エラーメッセージ 10978

iSCSI データ サービス IP を取得できません。エラー: [%1!s!]. %0

現象

クラスタの iSCSI データ サービス IP の取得中にエラーが発生したため、バックアップジョブが失敗します。

解決策

アクティビティ ログでエラーメッセージを確認して解決可能かどうかを確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10979

iSCSI データ サービス IP を取得できません。エラー: [%1!s!]. %0

現象

クラスタの iSCSI データ サービス IP の取得中にエラーが発生したため、リストアジョブが失敗します。

解決策

アクティビティ ログでエラー メッセージを確認して解決可能かどうかを確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10980

iSCSI データ サービス IP が Nutanix クラスタで設定されていません。クラスタで iSCSI データ サービス IP 設定を完了して、ボリュームグループ(iSCSI) モードでバックアップ ジョブを実行します。

現象

選択した転送モードがボリュームグループ(iSCSI) で、iSCSI データ サービス IP が Nutanix クラスタで設定されていないため、バックアップ ジョブが失敗します。

解決策

クラスタで iSCSI データ サービス IP 設定を完了して、ボリュームグループ(iSCSI) モードでバックアップ ジョブを実行するか、前提条件が満たされている場合は Hotadd モードを使用することもできます。

エラー メッセージ 10981

iSCSI データ サービス IP が Nutanix クラスタで設定されていません。クラスタで iSCSI データ サービス IP アドレス設定を完了して、ボリュームグループ(iSCSI) モードでリストア ジョブを実行します。%0

現象

選択した転送モードがボリュームグループ(iSCSI) で、iSCSI データ サービス IP が Nutanix クラスタで設定されていないため、リストア ジョブが失敗します。

解決策

クラスタで iSCSI データ サービス IP 設定を完了して、ボリュームグループ(iSCSI) モードでバックアップ ジョブを実行するか、前提条件が満たされている場合は Hotadd モードを使用することもできます。

エラー メッセージ 10982

現在のプロキシ OS ではボリュームグループ(iSCSI) モードがサポートされていないため、バックアップを実行できません。サポートされているプロキシ OS のバージョンは Windows Server 2008 以降です。%0。

現象

プロキシ OS バージョンが Microsoft iSCSI Initiator サービスをサポートしていないため、バックアップ ジョブが失敗します。Windows server 2008 以降の OS バージョンがサポートされています。

解決策

サポートされている OS バージョンのプロキシとして別のエージェントを設定します。

エラーメッセージ 10983

ボリュームグループ(iSCSI)モードが現在のプロキシ OS でサポートされていないため、リストアを実行できません。サポートされているプロキシ OS のバージョンは Windows Server 2008 以降です。%0。

現象

プロキシ OS バージョンが Microsoft iSCSI イニシエータ サービスをサポートしていないため、リストアジョブが失敗します。Windows server 2008 以降の OS バージョンがサポートされています。

解決策

OS バージョンをサポートする別のプロキシのエージェントからリストアをサブミットします。

エラーメッセージ 10984

iSCSI データ サービス IP を取得できません。エラー: [%1!s!]。%0

現象

クラスタの iSCSI データ サービス IP の取得中にエラーが発生したため、バックアップジョブが失敗します。

解決策

アクティビティ ログでエラーメッセージを確認して解決可能かどうかを確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 10985

iSCSI データ サービス IP を取得できません。エラー: [%1!s!]。%0

現象

クラスタの iSCSI データ サービス IP の取得中にエラーが発生したため、リストアジョブが失敗します。

解決策

アクティビティ ログでエラーメッセージを確認して解決可能かどうかを確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10986

iSCSI データ サービス IP が Nutanix クラスタで設定されていません。クラスタで iSCSI データ サービス IP 設定を完了して、ボリュームグループ(iSCSI) モードでバックアップ ジョブを実行します。

現象

選択した転送モードがボリュームグループ(iSCSI) で、iSCSI データ サービス IP が Nutanix クラスタで設定されていないため、バックアップ ジョブが失敗します。

解決策

クラスタで iSCSI データ サービス IP 設定を完了して、ボリュームグループ(iSCSI) モードでバックアップ ジョブを実行するか、前提条件が満たされている場合は Hotadd モードを使用することもできます。

エラー メッセージ 10987

iSCSI データ サービス IP が Nutanix クラスタで設定されていません。クラスタで iSCSI データ サービス IP アドレス設定を完了して、ボリュームグループ(iSCSI) モードでリストア ジョブを実行します。%0

現象

選択した転送モードがボリュームグループ(iSCSI) で、iSCSI データ サービス IP が Nutanix クラスタで設定されていないため、リストア ジョブが失敗します。

解決策

クラスタで iSCSI データ サービス IP 設定を完了して、ボリュームグループ(iSCSI) モードでバックアップ ジョブを実行するか、前提条件が満たされている場合は Hotadd モードを使用することもできます。

エラー メッセージ 10988

アプリケーションの権限を確認し、権限が付与されているかどうか、サーバ時間が正しいかどうかを確認します。HTTP ステータスコード: [%1!s!]、エラーコード: [%2!s!]、エラー情報: [%3!s!]、詳細: [%4!s!]。%0

現象

アプリケーションにアクセスする権限がないか、サーバが使用できないため、サーバはエラーを返します。

解決策

Azure AD でアプリケーションの権限を確認します。

エラーメッセージ 10989

アプリケーションの権限を確認し、権限が付与されているかどうか、サーバ時間が正しいかどうかを確認します。HTTP ステータスコード: [%1!s!]、エラーコード: [%2!s!]、詳細: [%3!s!]。%0

現象

アプリケーションにアクセスする権限がないか、サーバが使用できないため、サーバはエラーを返します

解決策

Azure AD でアプリケーションの権限を確認します。

エラーメッセージ 10990

アプリケーションの権限を確認し、権限が付与されているかどうか、サーバ時間が正しいかどうかを確認します。HTTP ステータスコード: [%1!s!]、詳細: [%2!s!]。%0

現象

アプリケーションにアクセスする権限がないか、サーバが使用できないため、サーバはエラーを返します。

解決策

Azure AD でアプリケーションの権限を確認します。

エラーメッセージ 10991

無効なアプリケーション エラーです。アプリケーションが正しく登録されていることを確認します。AppID: [%1!s!]、TenantName: [%2!s!]。%0

現象

トークンを取得できません。詳細についてはメッセージを参照してください。

解決策

Azure AD でアプリケーションの権限を確認します。

エラーメッセージ 10992

アカウントをバックアップできません(データベースへの保存に失敗しました)。

現象

Microsoft 365 アカウントで OneDrive が有効になっていない場合、基本認証を使用してバックアップをリクエストすると、バックアップ ジョブは完了しません。

解決策

先進認証に切り替えます。詳細については、「ソリューションガイド」の「[先進認証](#)」を参照してください。

エラー メッセージ 10994

VM 復旧ジョブは新しい仮想マシンを作成できませんでした。Nutanix AHV サーバシステムから次のエラーが報告されました: %1!s!%0

現象

VM 復旧ジョブは新しい仮想マシンを作成できません。

解決策

VM の作成は、主に VM 設定が原因で失敗します。アクティビティログで報告されたエラーを確認してください。詳細については、リストアジョブログを確認してください。それでも問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 10996

ソースボリューム %1!s! のスナップショットを開けません %0

現象

スナップショットを開けません。

解決策

イベント ログを確認します。

エラー メッセージ 10997

データストア %1!s! の共通フォルダにアクセスできませんでした。%0

現象

共有フォルダにアクセスできません

解決策

エクスプローラの現在の認証情報を使用して、関連する共有フォルダにアクセスできるかどうかを確認します。

エラー メッセージ 10998

RPS サーバ %1!s! からネットワークリストを取得できませんでした。%0

現象

RPS サーバから IP リストを取得できません。

解決策

コンソールから RPS にアクセスできるかどうかを確認します。

エラーメッセージ 10999

バックアッププランに保存されている RPS ネットワーク [%1!s!] が RPS から見つかりません。プランを修正して RPS ネットワークを変更してください。%0

現象

選択したネットワークが RPS 側から見つかりません。

解決策

ネットワークリストが RPS 側で変更されています。たとえば、IP アドレスが変更されています。関連するバックアッププランを変更し、バックアッププランで関連するネットワークアドレスを再設定します。

エラーメッセージ 11000

IP: %1!s! を経由で RPS サーバに接続できません。%0

現象

IP 経由で RPS サーバに接続できません。

解決策

関連する IP が RPS マシンで有効かどうかを確認します。RPS マシンに IP が見つからない場合は、関連するバックアッププランを変更し、バックアッププランで関連する IP アドレスを再設定します。

エラーメッセージ 11001 ~ 11100

このセクションには、以下のエラーメッセージが含まれます。

エラーメッセージ 11001

ディスク-%1!s! の指定ネットワークへの接続がエラー [%2!s!] で失敗しました。%0

現象

指定したバックアップネットワーク経由の接続に失敗しました。

解決策

指定したバックアップ ネットワークが使用可能かどうかを確認し、考えられる理由のエラーコードを確認します。

エラー メッセージ 11002

ディスク %1!s! の指定 ネットワークへの接続に失敗しました。指定したネットワーク 範囲に IP が見つかりませんでした。

現象

指定したネットワークに接続に使用できる IP がありません。

解決策

指定したネットワークに、接続に使用できる IP があるかどうかを確認します。そのような IP がない場合は、指定したネットワークを変更します。

エラー メッセージ 11003

シャドウコピーを保持するためのボリューム容量が不足している可能性があります。%0

現象

スナップショットの取得に失敗しました。

解決策

スナップショットを保持するための十分なディスク容量がありません。関連するボリュームをクリアして、ディスク容量を解放します。

エラー メッセージ 11004

デスティネーション ボリューム サイズ [%1!!64d!]MB が最小 ボリューム サイズ [%2!!64d!]MB 未満です。%0

現象

デスティネーション ボリュームのサイズが最小 ボリュームサイズよりも小さいです。デスティネーションを変更してください。

解決策

デスティネーションとして、より大きなサイズのボリュームを選択します。

エラー メッセージ 11005

ブロックレベルでのボリュームのリストアに失敗しました。%0

現象

ブロックレベルでのボリュームのリストアに失敗しました。

解決策

リストアログを参照してください。

エラーメッセージ 11006

VM は vCenter からインポートされましたが、VMDK IO の特定の IO ネットワークに適切な ESXi IP が見つかりません。vCenter のネットワーク指定機能はサポートされていません。%0

現象

指定したネットワークに vCenter の管理 IP がいないため、バックアップジョブが失敗しました。

解決策

指定したネットワークで vCenter のバックアップを続行するには、指定したネットワークの管理 IP を設定します。エラーの詳細については、アクティビティログを参照してください。

エラーメッセージ 11007

指定したネットワークからフォールバックした後、ESX に接続できませんでした。しばらく待ってから、ジョブのサブミットを再試行してください。%0

現象

指定したネットワークからフォールバックした後、ESXi への接続が失敗したため、バックアップジョブが失敗しました。

解決策

ネットワーク接続を確認し、バックアップジョブを再サブミットします。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 11008

指定したネットワークの ESX に IP %1!s! を使用して接続できませんでした。%0

現象

指定したネットワークによる ESXi への接続に失敗しました。指定したネットワークではバックアップを続行できません。

解決策

指定したネットワークの ESXi 管理 IP がプロキシから到達可能かどうかを確認します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 11009

指定したネットワーク範囲に ESX の IP が見つからなかったため、ジョブを続行できません。%0

現象

指定したネットワークに ESX の管理 IP がないため、バックアップジョブが失敗しました。

解決策

指定したネットワークで ESXi のバックアップを続行するには、指定したネットワークの管理 IP を設定します。

エラーメッセージ 11011

iSCSI ライブラリの初期化に失敗しました。エラーメッセージ [%1!s!]。終了コード [%2!d!]。%0

現象

iSCSI ライブラリの初期化に失敗しました。

解決策

イベント ログとアクティビティ ログで関連するエラーコードを確認します。

エラーメッセージ 11012

iSCSI モードはすべてのディスクに接続できませんでした。接続するディスク [%1!d!]、実際に接続しているディスク数 [%2!d!]。エラーメッセージ [%3!s!]。終了コード [%4!d!]。%0

現象

合計ディスクを接続できませんでした。

解決策

イベント ログとアクティビティ ログで関連するエラーコードを確認します。

エラーメッセージ 11013

deviceID [%1!s!] のディスクプロパティの取得に失敗しました。エラーメッセージ [%2!s!]。終了コード [%3!d!]。%0

現象

ディスクプロパティの取得に失敗しました。

解決策

イベント ログおよびアクティビティ ログで関連するエラー コードを確認し、ターゲット ディスクが接続されていることを確認します。

エラー メッセージ 11014

iSCSI 修飾名を取得できませんでした。エラー メッセージ [%1!s!]。終了コード [%2!d!]。%0

現象

IQN を取得できません。

解決策

イベント ログとアクティビティ ログで関連するエラーコードを確認します。

エラー メッセージ 11015

iSCSI サーバ [%1!s!] に接続できませんでした。エラー メッセージ [%2!s!]。終了コード [%3!d!]。%0

現象

iSCSI サーバに接続できませんでした。

解決策

イベント ログとアクティビティ ログで関連するエラーコードを確認します。

エラー メッセージ 11017

Microsoft iSCSI Initiator サービスを開始できません。エラー メッセージ [%1!s!]。終了コード [%2!d!]。%0

現象

iSCSI サービスを開始できませんでした。

解決策

イベント ログとアクティビティ ログで関連するエラーコードを確認します。

エラー メッセージ 11018

Microsoft iSCSI Initiator サービスが利用できません。サービスをインストールし、再試行してください。エラー メッセージ [%1!s!]。終了コード [%2!d!]。%0

現象

iSCSI initiator サービスが存在しません。

解決策

サービスをインストールして再試行します。

エラー メッセージ 11019

iSCSI ターゲットの取得に失敗しました。エラー メッセージ [%1!s!]。終了コード [%2!d!]。%0

現象

接続した iSCSI ターゲットの取得に失敗しました。

解決策

イベント ログとアクティビティ ログで関連するエラーコードを確認します。

エラー メッセージ 11020

デスティネーション ボリューム %1!s! のロックに失敗しました。%0

現象

デスティネーション ボリュームのロックはリストアに失敗しました。

解決策

リストア ログを参照してください。

エラー メッセージ 11021

ボリュームレプリケーターの初期化に失敗しました。エラーコード = %1!d!%0

現象

このエラーは、ボリュームレプリケーターの初期化が原因で発生します。詳細については、ログ ファイルを参照してください。

解決策

リストア ログを参照してください。

エラー メッセージ 11022

NTFS 以外のソース ボリュームの場合、より小さいデスティネーション ボリュームへのリストアはサポートされません。%0

現象

NTFS 以外のソース ボリュームの場合、より小さいデスティネーション ボリュームへのリストアはサポートされません。

解決策

デスティネーションとして、より大きなサイズのボリュームを選択します。

エラーメッセージ 11023

データストア [%1!s!]: クラウド同期サイクルが失敗しました。%0

現象

クラウド データ ストアのメタデータ ファイルをローカルフォルダからクラウドに同期するサイクルが失敗しました。Â

解決策

この失敗は、ネットワーク障害、クラウド認証情報の問題、ローカルフォルダのスナップショットの問題など、さまざまな要因によって発生する可能性があります。詳細については、データストアインデックスの役割ログを確認してください。

エラーメッセージ 11024

データストア [%1!s!]: 未完了のクラウド同期の復帰サイクルが失敗しました。%0

現象

メタデータ ファイルをクラウドに同期する最後のサイクルが未完了です。中間ステータスから復帰しようとして失敗しました。

解決策

障害は、ネットワークの障害、クラウド認証情報の問題など、さまざまな要因で発生する可能性があります。詳細については、データストアインデックスの役割ログを確認してください。

エラーメッセージ 11025

データストア [%1!s!]: 未完了のクラウド同期のサイクルは再開できませんでした。%0

現象

メタデータ ファイルをクラウドに同期する最後のサイクルが未完了です。更新フェーズを完了するために再開を試みましたが、失敗しました。

解決策

障害は、ネットワークの障害、クラウド認証情報の問題など、さまざまな要因で発生する可能性があります。詳細については、データストアインデックスの役割ログを確認してください。

エラー メッセージ 15000 ~ 15100

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 15000

仮想スタンバイ ジョブが開始しました。

現象

これは情報メッセージです。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 15001

ソース パスは [<parameter>]、デスティネーション ルート パスは [<parameter>] です。

現象

これは情報メッセージです。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 15002

仮想スタンバイ ジョブが完了しました。

現象

これは情報メッセージです。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 15003

仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

現象

エラーが発生したときに仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

ジョブ アクティビティ ログに他のエラー ログが記録されている場合は、詳細を参照してそのエラーを解決します。他のエラーログが見つからない場合は、エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15004

仮想スタンバイ ジョブがキャンセルされました。

現象

仮想スタンバイ ジョブは、ユーザによって、またはデータ ストアの停止によってキャンセルされました。

解決策

以前の仮想スタンバイ ジョブを続行する場合は、再開します。

エラーメッセージ 15005

仮想スタンバイ ジョブでコピーされたデータの合計 <parameter>、経過時間は <parameter>、平均スループットは <parameter> でした。

注：これは情報メッセージです。

エラーメッセージ 15006

このセッションはデスティネーションにすでに存在するため、スキップします。

注：このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラーメッセージ 15007

リモート サーバ [<parameter>] に接続しました。

注：このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラーメッセージ 15008

共有フォルダ [<parameter>] に接続しました。

注：このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラーメッセージ 15009

リモート サーバ [<parameter>]、ポート = <parameter> に接続できませんでした。

注：このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15010

共有フォルダ <parameter>、ユーザ = <parameter> に接続できませんでした。

注：このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15011

ユーザ [<parameter>] 認証 (サーバ [<parameter>]) に失敗しました。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15012

ソース ディレクトリは <parameter> D2D セッションです。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15013

仮想スタンバイは、圧縮ボリュームおよびファイルシステムによって暗号化されたボリュームでの仮想ディスクイメージの作成をサポートしません。(ホスト = <parameter>、ディレクトリ = <parameter>)。

現象

仮想スタンバイは、圧縮ボリュームおよびファイルシステムによって暗号化されたボリュームでの仮想ディスクイメージの作成をサポートしません。

解決策

仮想スタンバイ デスティネーション ディレクトリを、暗号化されていないボリュームで使用可能な非圧縮フォルダに変更します。

エラー メッセージ 15014

圧縮ボリュームの仮想ディスクイメージの作成はサポートしていません(ディレクトリ = <parameter>)。

現象

仮想スタンバイは、圧縮ボリュームおよびファイルシステムによって暗号化されたボリュームでの仮想ディスクイメージの作成をサポートしません。

解決策

仮想スタンバイ デスティネーション ディレクトリを、暗号化されていないボリュームで使用可能な非圧縮フォルダに変更します。

エラーメッセージ 15015

マージが進行中のため、仮想スタンバイジョブを実行できません。ルート = <parameter>。

現象

マージが進行中のため、仮想スタンバイジョブを実行できません。

解決策

マージジョブが完了するまで待ってから、仮想スタンバイジョブを再開します。

エラーメッセージ 15016

十分な空きディスク容量がないため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。マシン = <parameter>、フォルダ = <parameter>

現象

仮想スタンバイジョブは、データ変換を完了するためのディスク空き容量が不足しているため失敗しました。

解決策

仮想スタンバイ デスティネーション ハイパーバイザにより多くの空きディスク容量を追加します。

エラーメッセージ 15017

仮想スタンバイ変換ジョブが中断されました。ユーザまたはセットアップアプリケーションがモニタサーバ [<parameter>] のエージェント Web サービスを停止したため、ジョブが中断されました。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラーメッセージ 15018

モニタサーバがノードと通信できません。モニタサーバとノードがネットワーク経由で通信できることを確認します。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラーメッセージ 15019

データ転送モジュールが予期せず終了しました。必要に応じて Arcserve サポートにお問い合わせください。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15020

リモート デスティネーション [<parameter>] に接続できません。

現象

バックアップ セッションのリモート デスティネーションに接続できません。

解決策

仮想スタンバイ コンバータとログの出力として利用可能なリモート デスティネーション間のネットワーク接続を修正します。次に、仮想スタンバイ ジョブを再開します。

エラー メッセージ 15021

仮想スタンバイ ジョブはスキップされます。

現象

仮想スタンバイ ジョブはスキップされます。

解決策

アクティブな仮想スタンバイ ジョブがある場合、後続の仮想スタンバイ ジョブはスキップされます。何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 15023

<parameter> はネットワークに接続されていません。ネットワークに接続されていることを確認します。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15024

VDDK で不明なエラーが発生しました。Arcserve サポートにお問い合わせください。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15025

ファイル <VMDK FILENAME> が見つかりませんでした。Arcserve サポートにお問い合わせください。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15026

ディスクエラーが発生しました。この問題を解決するには、フルバックアップをサブミットします。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15027

<parameter> へのログインに使用された認証情報が正しくありません。ユーザ名とパスワードが正しいことを確認します。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15028

内部エラーが発生しました。Arcserve サポートにお問い合わせください。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15029

<parameter> に十分な空きディスク容量がありません。続行するには、<parameter> のディスク容量を解放します。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15030

ディスクのファイルが 2 テラバイトを超えています。VMware ファイルシステムは、2 テラバイトを超えるファイルをサポートしません。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15031

ライセンスが <parameter> にインストールされていません。ライセンスがインストールされていることを確認します。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15032

仮想スタンバイは D2D バックアップ セッションを読み取ることができませんでした。セッションにアクセスできないか、破損している可能性があります。この問題を解決

するには、新しいバックアップ セッションを使用して新しいバックアップ ジョブをサブミットします。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15033

ソース セッションの読み取り中にエラーが発生しました。詳細については、<parameter> の仮想スタンバイ ログを参照してください。さらに、「ユーザ ガイド」の「トラブルシューティング」を参照してください。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラー メッセージ 15034

アシュアード リカバリプロセス [InstantVMAgent.exe] がクラッシュしました。

現象

アシュアード リカバリジョブ プロセスがクラッシュしました。

解決策

詳細については、ログを参照してください。

エラー メッセージ 15035

セッションのバックアップ先が無効です。アシュアード リカバリジョブを実行できません。

現象

セッションのバックアップ先が無効です。アシュアード リカバリジョブを実行できません。

解決策

フルバックアップをサブミットし、再試行します。

エラー メッセージ 15036

Hyper-V は、2 テラバイトを超えるディスクを含むソースノードの保護をサポートしません。プランの展開に失敗しました。

現象

現在の Hyper-V サーバが 2 テラバイトを超えるディスクをサポートしていないため、アシュアード リカバリタスクの展開に失敗しました。

解決策

Hyper-V サーバを Hyper-V 2012 以降のバージョンにアップグレードします。

エラーメッセージ 15037

VDDKドライバを [<parameter>] にインストールできませんでした。この問題を修正するには、コンピュータにインストールされている VDDKドライバをアンインストールします。必要に応じて、ターゲット コンピュータで以下のコマンドを(コマンドラインから) 実行できます: `sc delete <parameter>`。VDDKドライバをアンインストールした後にコンピュータを再起動し、アシュアード リカバリ展開を再度実行します。

現象

VDDKドライバのインストールに失敗しました

解決策

コマンド ラインを使用して VDDKドライバを手動でインストールします。

エラーメッセージ 15038

ジョブ ID の生成に失敗しました。エラーメッセージ: <parameter>。

現象

ジョブ ID の生成に失敗しました。

解決策

エラーメッセージに従って再試行します。

エラーメッセージ 15039

セッションの取得に失敗しました。詳細については、ホスト [<parameter>] の Arcserve UDP エージェント ログ ファイルを参照してください。

現象

インスタント VM またはアシュアード リカバリジョブが失敗しました。

解決策

詳細については、ホストのログ ファイルを参照してください。

エラーメッセージ 15040

デスティネーション [<parameter>] からのセッションの取得に失敗しました。デスティネーションが有効で、ユーザ名 [<parameter>] にデスティネーションのアクセス権限があることを確認してください。

現象

デスティネーションへの接続時にセッションを取得できませんでした。

解決策

ネットワーク接続とアカウント認証情報を確認します。

エラー メッセージ 15041

VDDK サービスがマシン [<parameter>] にインストールされており、マシンを再起動する必要があります。マシンの再起動後にアシュアード リカバリジョブを実行してください。

現象

VDDK のインストールのため、プロキシ サーバを再起動する必要があります。

解決策

マシンを再起動します

エラー メッセージ 15042

ライセンスエラー。このノードに必要なライセンスを表示するには、[ヘルプ] -> [アクティベーションとライセンス]に移動してください。

現象

ライセンスの確認に失敗しました。

解決策

[ヘルプ] -> [アクティベーションとライセンス]に移動して、このノードに必要なライセンスを表示します。詳細については、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15043

ライセンスエラー。このノードに必要なライセンスは、<parameter> です。詳細については、[ヘルプ] -> [アクティベーションとライセンス]を参照してください。

現象

ライセンスの検証に失敗しました

解決策

[ヘルプ] -> [アクティベーションとライセンス]に移動して、このノードに必要なライセンスを表示します。詳細については、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15044

ライセンスの確認中にアシュアード リカバリジョブが失敗しました。バックアップ先からのソースノードのマシン情報の取得に失敗しました。

現象

ライセンスの検証に失敗しました

解決策

ネットワーク接続を確認し、ログで詳細メッセージを確認します。

エラーメッセージ 15045

アシュアード リカバリジョブの起動に失敗しました。エラーメッセージ:
<parameter>。

現象

アシュアード リカバリジョブの起動に失敗しました。

解決策

詳細については、ログを参照してください。

エラーメッセージ 15047

ターゲット ハイパーバイザ <parameter> は EFI パーティションからのソースマシン [<parameter>>] のブートをサポートしていません。

現象

ハイパーバイザが EFI パーティションからのブートをサポートしていないため、インスタント VM またはアシュアード リカバリジョブが失敗しました。

解決策

Hyper-V サーバを Windows 2012R2 にアップグレードするか、代わりに ESX サーバを使用します。

エラーメッセージ 15048

ターゲット ハイパーバイザ <parameter>> はソースマシン [<parameter>] のディスクサイズをサポートしていません。AU_ProductName_AR_SHORT ジョブを正常に実行するには、ハイパーバイザを ESX/ESXi 5.5 にアップグレードするか、ソースマシンのディスクサイズをサポートするターゲット ハイパーバイザを選択します。

現象

ディスクサイズを超えたため、アシュアード リカバリジョブが失敗しました。

解決策

ハイパーバイザを ESX/ESXi 5.5 にアップグレードするか、ディスク サイズをサポートするターゲット ハイパーバイザを選択します。

エラー メッセージ 15049

選択したプロキシ サーバが前提条件を満たしていません。エラー メッセージ: <parameter>。

現象

インスタント VM またはアシュアード リカバリジョブが失敗しました。

解決策

選択したプロキシ サーバは操作を実行できません。前提条件を満たすプロキシ サーバを使用します。

エラー メッセージ 15050

ファイル [<parameter>] の読み取りに失敗しました。詳細については、Web サービスのデバッグ ログを確認してください。

現象

インスタント VM またはアシュアード リカバリジョブが XML ファイルの読み取りに失敗しました。

解決策

詳細については、ログを参照してください。

エラー メッセージ 15051

セッション フィルタ情報が設定されていません。プランを再展開して再試行してください。

現象

セッション フィルタが設定されていないため、アシュアード リカバリジョブが失敗しました。

解決策

プランを変更し、セッション フィルタを設定します。

エラー メッセージ 15052

ユーザが指定したセッション情報が正しくありません。

現象

アシュアード リカバリジョブが失敗しました。セッション情報が正しくありません。

解決策

正しいセッション情報を指定します。

エラー メッセージ 15053

アシュアード リカバリジョブはサポートされていません。ソース マシン [<parameter>] のオペレーティング システムが不明です。

現象

ソース マシンが Windows ノードでないため、アシュアード リカバリジョブが失敗しました。

解決策

Windows アシュアード リカバリタスクは Windows 以外のノードをサポートしません。

エラー メッセージ 15054

アシュアード リカバリプロセス [InstantVMAgent.exe] を開始できませんでした。エラー メッセージ: <parameter>。

現象

InstantVMAgent.exe プロセスを開始できませんでした。

解決策

詳細については、ログを参照してください。

エラー メッセージ 15055

XML ファイル [<parameter>] の保存に失敗しました。

現象

XML ファイルの保存に失敗しました。

解決策

詳細については、ログを参照してください。

エラー メッセージ 15056

アシュアード リカバリタスク情報が無効です。プランを再展開してください。

現象

アシュアード リカバリタスクの展開に失敗しました。タスク情報が無効です。

解決策

プランを再展開します。

エラー メッセージ 15060

バックアップジョブの実行に失敗しました。<parameter>。

現象

バックアップジョブを起動できません。

解決策

RPS サーバの RPSWebService.log でエラーメッセージを確認します。エラーが明らかでない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15062

Arcserve UDP エージェント <parameter> に接続できませんでした。サーバが稼働していてアクセス可能であり、エージェント サービスが実行されていることを確認します。

現象

D2D サーバに接続できませんでした。

解決策

ホスト名、ユーザ名、パスワード、ポートが正しく、D2D サーバが実行されていることを確認します。

エラー メッセージ 15063

このサーバのハートビートを一時停止して「<parameter>」をモニタできませんでした。

現象

モニタサーバへのハートビートは、この時点では一時停止できません。

解決策

モニタ サービスが実行されていること、ホストが正しい状態であることを確認してください。

エラー メッセージ 15064

このサーバのハートビートを再開して「<parameter>」をモニタできませんでした。

現象

モニタ サーバへのハートビートをトリガできません。

解決策

モニタ サービスが実行中で、ホストが正しい状態であることを確認します。

エラーメッセージ 15066

データストア「<parameter>」のステータスが「<parameter>」です。理由：
<parameter>。

現象

データストアのステータスがブロックまたは読み取り専用です。

解決策

データストアフォルダがいっぱいになっていないかどうかを確認するか、開発者にお問い合わせください。

エラーメッセージ 15067

データストア「<parameter>」のジョブ モニタ情報の取得に失敗しました。詳細については、Web サービスのデバッグ ログを確認してください。

現象

データストアのモニタ情報の取得に失敗しました。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15068

<parameter> (データストア「<parameter>」) の空き容量/メモリが不足しているため、指定したバックアップ データを保存できない可能性があります。

現象

データストアのステータスが正常ではありません。

解決策

データストアフォルダがいっぱいになっていないかどうかを確認するか、開発者にお問い合わせください。

エラーメッセージ 15071

仮想ネットワークのリストをフェッチできません。

現象

仮想ネットワークのリストをフェッチできません。

解決策

ファイル Webservice.log のログ ファイルに例外がないか確認します。

エラー メッセージ 15072

ブート ボリュームはダイナミック ディスクにあります。FY ブート ボリュームはダイナミック ディスクにありません。

現象

ブート ボリュームはダイナミック ディスクにあります。

解決策

VSB は、ダイナミック ディスクのブート ボリュームをサポートしません。

エラー メッセージ 15073

ディスクをマウントできません。同じシグネチャがすでにマウントされているディスクがあります。

現象

ディスクをマウントできません。

解決策

同じシグネチャを持つディスクがマウントされます。この問題を解決して、ディスクシグネチャの競合を確認します。

エラー メッセージ 15074

セッション <parameter> (サーバ [<parameter>]) のスナップショットにブート ボリュームが見つかりませんでした。

現象

スナップショットにブート ボリュームが見つかりませんでした。

解決策

ブート ボリュームがバックアップされていることを確認します。次に、ログ ファイルに例外があるかどうかを確認します。

エラー メッセージ 15075

ブートまたはシステム ディスクシグネチャの取得に失敗しました。

現象

ディスクシグネチャをフェッチできません。

解決策

ログファイルに例外が表示されているかどうかを確認します。次に、別の仮想マシンにマウントして、ディスクシグネチャを確認します。

エラーメッセージ 15076

Amazon からドライバのダウンロードに失敗しました。ドキュメントを参照して手動でダウンロードしてください。

現象

ドライバはダウンロードされませんでした。

解決策

UDP の対応するログファイルを確認して、その期間の Amazon へのネットワーク接続を確認します。

エラーメッセージ 15077

ボリューム <parameter> へのドライバの挿入が失敗します。

現象

ドライバの挿入を実行できませんでした。

解決策

別の仮想マシンにマウントして、ディスクステータスを確認します。

エラーメッセージ 15078

ブート可能セッション <parameter> (サーバ [<parameter>]) の設定に失敗しました。

現象

サーバのブート可能セッションの設定に失敗しました。

解決策

別の仮想マシンにマウントして、ディスクステータスを確認します。

エラーメッセージ 15079

ブート可能スナップショットの作成に失敗しました。これは、スタンバイ VM [<parameter>] が電源オン状態のためです。スタンバイ VM の電源をオフにし、仮

想スタンバイ ジョブを再作成します。

現象

仮想マシンが電源オフ状態でないため、ブート可能スナップショットの作成に失敗しました。

解決策

変換された仮想マシンのステータスを確認します。

エラー メッセージ 15081

仮想マシン [<parameter>] を電源オンにできませんでした。

現象

仮想マシンの電源オンに失敗しました。

解決策

仮想マシンが正常に起動しませんでした。ハイパーバイザの状態を確認し、より詳細なアクティビティ ログで障害の原因を確認してください。ハイパーバイザ側のメモリ不足が原因である可能性があります。

エラー メッセージ 15082

仮想マシン [<parameter>] のシャットダウンに失敗しました。

現象

仮想マシンのシャットダウンに失敗しました。

解決策

ネットワーク通信エラーを確認するには、ログ ファイルを確認してください。次に、手動で仮想マシンをシャットダウンして、エラー メッセージを確認します。

エラー メッセージ 15083

ボリューム <parameter> へのドライバの挿入が失敗します。

現象

ドライバの挿入を実行できませんでした。

解決策

ログ ファイルに例外が表示されているかどうかを確認します。次に、別の仮想マシンでマウントして、ディスク シグネチャを確認します。

エラーメッセージ 15084

仮想マシン [<parameter>] へのツールイメージのマウントに失敗しました。

現象

統合ツールのISOをマウントできません。

解決策

ログファイルを確認するか、統合ツールを手動でセットアップします。

エラーメッセージ 15085

<parameter>

現象

例外エラーメッセージを受信しました。

解決策

例外メッセージの詳細に従って解決します。

エラーメッセージ 15086

ブートボリュームドライブ文字の取得に失敗しました。

現象

ドライバ文字が見つかりませんでした。

解決策

これはVDDKのエラーである可能性があり、最新のビルドで修正されています。

エラーメッセージ 15087

ライセンスエラー。[ヘルプ] > [アクティベーションとライセンス]に移動して、このノードで必要とされる正確なライセンスを表示してください。

現象

ライセンスの確認に失敗しました。

解決策

[ヘルプ] > [アクティベーションとライセンス]に移動して、このノードで必要とされる正確なライセンスを確認します。適切なライセンスを適用します。

エラー メッセージ 15088

ライセンスエラー。このノードに必要なライセンスは、<parameter> です。詳細については、[ヘルプ] > [アクティベーションとライセンス]に移動してください。

現象

ライセンスの確認に失敗しました。

解決策

[ヘルプ] > [アクティベーションとライセンス]に移動して、このノードで必要とされる正確なライセンスを確認します。適切なライセンスを適用します。

エラー メッセージ 15089

ライセンスの確認中にインスタント VM ジョブが失敗しました。バックアップ先からソースノードのマシン情報の取得に失敗しました。

現象

ライセンスチェック中にバックアップ先からソースノードのマシン情報を取得できませんでした。

解決策

詳細については、エージェント Web サービス ログ ファイルを参照してください。プロキシサーバとバックアップ先間のネットワーク接続を確認し、再試行します。

エラー メッセージ 15090

インスタント VM プロセスがクラッシュしました。

現象

ジョブプロセスがクラッシュしました。

解決策

これは、プロキシサーバが突然再起動した場合に発生する可能性があります。この場合、アクションは必要ありません。またはプロセス自体がクラッシュしました。この場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15091

データの読み取り中にエラーが発生したため、インスタント VM プロセスを終了する必要があります。ネットワーク接続を確認し、[再起動]をクリックして再試行してください。

現象

ジョブが失敗したか、インスタント仮想マシンが使用できません。

解決策

これは、以下の状況で発生する可能性があります。

1. RPS データストアが停止しています。データストアを起動し、再試行します。
2. プロキシ サーバと RPS データストア間のネットワーク接続が利用できません。ネットワークの問題を解決し、再試行します。
3. RPS データストアのプールパフォーマンスが原因で、RPS データストアからデータ読み取りタイムアウトが発生しました。RPS サーバにより多くの CPU/メモリを割り当てるか、データストアメディアとして SSD を使用して再試行します。

エラーメッセージ 15092

<parameter> (<parameter>) を起動できませんでした。詳細については、Arcserve UDP 復旧ポイント サーバのインストールパスの Logs フォルダ内にある RPSWebService.log ファイルを参照してください。

現象

ジョブを開始できませんでした。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15093

<parameter> ジョブ(サーバ<parameter>) を開始できませんでした。

現象

Web サービスの例外のため、ジョブを開始できませんでした。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15094

<parameter> (<parameter>) を実行できません。次のエラーが原因です：
<parameter>。

現象

データストア例外のため、ジョブを開始できませんでした。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15097

データストア「<parameter>」(サーバ「<parameter>」) は <parameter> で、<parameter> (<parameter>) は実行されません。

現象

データストアが実行されていないため、ジョブを開始できませんでした。

解決策

データストアのステータスを確認します。

エラー メッセージ 15099

セッション <parameter> のデータは、少なくともシステム予約済みボリュームとブートボリュームで構成されている必要があります。そうでない場合、変換ジョブは失敗します。

現象

システムボリュームもブートボリュームもバックアップされていないため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

ソースマシンのシステムボリュームとブートボリュームをバックアッププランに追加します。

エラー メッセージ 15100

ブートボリュームはダイナミックディスクにあります。HyperV は、ダイナミックディスクでの仮想スタンバイの作成をサポートしません。ダイナミックディスクをベーシックディスクに変換するか、ESX/vCenter で仮想スタンバイを作成します。

現象

ブートボリュームがダイナミックディスクにあり、ドライバ挿入を実行できなかったため、Hyper-V への仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

この問題は、ダイナミックディスクである仮想ディスクファイルをディスクマネージャにマウントできないという Windows の制限が原因で発生します。仮想スタンバイデスティネーションハイパーバイザを VMware ESX/vCenter に変更します。

エラー メッセージ 15101 ~ 15200

このセクションには、以下のエラーメッセージが含まれます。

エラーメッセージ 15101

Arcserve HA シナリオの状態の取得中にエラーが発生しました。変換ジョブはキャンセルされます。

このメッセージは廃止されました。使用しません。

エラーメッセージ 15102

セッション <parameter> のサイズが <parameter> MB で、デスティネーションで利用可能な空き容量 <parameter> MB よりも大きいため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

現象

仮想スタンバイジョブは、データ変換を完了するためのディスク空き容量が不足しているため失敗しました。

解決策

仮想スタンバイ デスティネーション ハイパーバイザにより多くの空きディスク容量を追加します。

エラーメッセージ 15103

VM [<parameter>] のセッションのクラウドへの変換に失敗しました。内部エラーが発生しました。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

エラーが発生したときに仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

ジョブ アクティビティ ログに他のエラーログが記録されている場合、詳細を参照してそのエラーを解決します。ログが使用できない場合は、エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15104

VM [<parameter>] のセッションの ESX Server [<parameter>] への変換に失敗しました。内部エラーが発生しました。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

エラーが発生したときに仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

ジョブ アクティビティ ログに他のエラー ログが記録されている場合、詳細を参照してそのエラーを解決します。ログが使用できない場合は、エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15105

VM [<parameter>] のセッションの Hyper-V Server [<parameter>] への変換に失敗しました。内部エラーが発生しました。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

エラーが発生したときに仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

ジョブ アクティビティ ログに他のエラー ログが記録されている場合、詳細を参照してそのエラーを解決します。ログが使用できない場合は、エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15106

仮想スタンバイ ジョブのキャンセルに失敗しました。

現象

仮想スタンバイ ジョブをキャンセルできません。

解決策

エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15107

Hyper-V スナップショット <parameter> の削除に失敗しました。

現象

Hyper-V サーバの VM スナップショットの削除中に発生したエラーのため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

ジョブ アクティビティ ログに他のエラー ログが記録されている場合、詳細を参照してそのエラーを解決します。ログが使用できない場合は、エージェント Web サービス

スログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15108

ノード: <parameter> [<parameter>] に接続できませんでした。サーバが稼働しており、アクセス可能であることを確認します。サーバ名、ポート番号、およびプロトコル (http/https) の入力がすべて正しく、Arcserve UDP エージェント Web サービスが指定したホストで起動していることを確認します。

現象

デスティネーション ホストの UDP エージェント サービスに接続できないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

UDP エージェントがデスティネーション サーバにインストールされているかどうかを確認します。VSB タスクで正しいサーバ名、ポート番号、およびプロトコルを指定します。また、コンソールで関連ノードを更新し、プランを再展開する必要がある場合もあります。

エラーメッセージ 15110

ブート ディスクが見つかりませんでした。

現象

ブート ディスクが見つからないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

バックアップ タスクで、ブート ボリュームが保護されているかどうかを確認します。そうでない場合、ブート ボリュームをバックアップ タスクに追加します。ブート ボリュームがすでに保護されている場合は、エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15111

ブート可能仮想ディスクの準備に失敗しました。

現象

仮想スタンバイ ジョブは、ブート可能スナップショットを作成しようとして失敗しました。

解決策

ジョブ アクティビティ ログに他のエラー ログが記録されている場合、詳細を参照してそのエラーを解決します。ログが使用できない場合は、エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15112

ブート可能仮想ディスクを準備するプロセスを開始できませんでした。

現象

仮想スタンバイ ジョブは、ブート可能スナップショットを作成するプロセスを追加しようとして失敗しました。

解決策

Agent tomcat_xxxx.log を参照して詳細を確認し、再試行します。または、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15113

ブート可能スナップショットの作成に失敗しました。スナップショット名は <parameter> です。

現象

仮想スタンバイ ジョブは、ブート可能スナップショットを作成できないため失敗しました。

解決策

ジョブ アクティビティ ログに他のエラー ログが記録されている場合、詳細を参照してそのエラーを解決します。ログが使用できない場合は、仮想スタンバイ モニタ サーバで Web サービス ログ ファイルを参照して、詳細を確認します。ログ ファイルは、「WebService.log」の「<UDP_HOME>\Engine\Logs」フォルダにあります。または、Arcserve サポートにお問い合わせください。Arcserve UDP Virtual Standby to Amazon EC2 は、ブート可能スナップショットの作成に使用する 3 つのパッケージを Amazon からダウンロードする必要があります。最近、Amazon がいずれかのパッケージのダウンロード リンクを変更したため、ダウンロードに失敗しました。Arcserve は、UDP 6.5 update 4 に加えて、新しいダウンロード場所を使用して動作を変更する修正を提供しています。arc_real_lt;aarc_real_ target=arc_real_"_blankarc_real_"arc_real_ href=arc_real_"https://support.arcserve.com/s/article/Virtual-Standby-to-Amazon-EC2-job-failed?language=en_USarc_real_"arc_real_>https://support.arcserve.com/s/article/Virtual-Standby-to-Amazon-EC2-job-failed?language=en_USarc_real_lt;/aarc_real_gt;

エラーメッセージ 15114

フェールオーバージョブスクリプトが存在しないため、ノード [<parameter>] のブート可能スナップショットの作成に失敗しました。

現象

仮想スタンバイジョブは、ブート可能スナップショットの作成時に失敗しました。仮想スタンバイフェールオーバージョブスクリプトが見つかりませんでした。

解決策

このノードのコンソールでプランを再展開します。次に、仮想スタンバイを再開して再試行します。

エラーメッセージ 15115

ストレージ [<parameter>] (ESX ノード [<parameter>]) は、<parameter> より大きな仮想ディスクサイズをサポートできません。ディスクを変換するには、ストレージブロックサイズを <parameter> に変更します。

現象

ESX のデータストアは、このデータストアでサポートされている単一ファイルサイズの最大値より大きい仮想ディスクサイズをサポートできないため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

仮想スタンバイデスティネーションを ESX サーバの別のデータストアに変更し、再試行します。

エラーメッセージ 15116

ESX Server システムは、2TB を超えるディスクサイズをサポートしません。

現象

ESX Server システムが 2 TB を超えるディスクサイズをサポートしていないため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

仮想スタンバイデスティネーションを、2 TB を超えるファイルサイズをサポートする別の ESX サーバに変更し、再試行します。

エラー メッセージ 15117

仮想スタンバイはサーバ [<parameter>] からメタ データをダウンロードできません。サーバ [<parameter>] にアクセスできません。

現象

デスティネーション ESX サーバにアクセスできないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

デスティネーション ESX サーバがオンラインで、サーバから到達可能かどうかを確認します。

エラー メッセージ 15118

仮想スタンバイは、クラウド ストレージサーバからメタ データをダウンロードできません。

現象

Amazon ストレージからメタ データをダウンロードできないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

UDP 復旧ポイント サーバと Amazon S3 ストレージ間のネットワーク接続を確認します。

エラー メッセージ 15119

VM [<parameter>] のセッションを変換しようとしたときに予期しないエラーが発生しました。この問題を解決するには、新しいバックアップをサブミットして仮想スタンバイ ジョブを開始してください。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

予期しないエラーのため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15120

データストア名 [<parameter>] が ESX Server システムに存在しません。既存のデータストア名を使用してプランを再設定します。

現象

仮想スタンバイタスクで設定されたデータストアが ESX Server システムに存在しないため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

既存のデータストア名を使用してプランを再設定し、プランを再展開します。

エラーメッセージ 15121

スタンバイ VM ジョブが失敗し、ペアになっていないスナップショットが作成された可能性があります。この問題は、次の仮想スタンバイジョブで解決されます。

現象

スタンバイ VM のペアになっていないスナップショットが見つかったため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

ペアになっていないスナップショットは、次の仮想スタンバイジョブで削除されます。仮想スタンバイを再開して手動ジョブを今すぐトリガするか、次にスケジュールされている仮想スタンバイジョブを待機します。

エラーメッセージ 15122

ライセンスエラー。[ヘルプ] > [アクティベーションとライセンス]に移動して、このノードで必要とされる正確なライセンスを表示してください。

現象

ライセンスの確認に失敗したため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

正しいライセンスまたは適切なライセンスを指定して、再試行します。

エラーメッセージ 15123

ライセンスエラー。このノードに必要なライセンスは、<parameter> です。詳細については、[ヘルプ] > [アクティベーションとライセンス]に移動してください。

現象

ライセンスの確認に失敗したため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

正しいライセンスまたは適切なライセンスを指定して、再試行します。

エラー メッセージ 15124

仮想スタンバイは、EFI パーティションからブートするソース マシン [<parameter>] をサポートしません。

現象

デスティネーション ハイパーバイザが EFI パーティションからの VM ブートをサポートしていないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

Hyper-V の制限により、仮想スタンバイは UEFI システムをサポートできません。この制限により、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) を使用する仮想マシンはサポートされません。そのため、スタンバイ デスティネーションが Hyper-v サーバである仮想スタンバイ タスクを UEFI システムに展開すると、その展開は失敗します。このシナリオは、Hyper-V サーバ 2008、2008 R2、または 2012 に対して適用されません。

デスティネーション Hyper-V サーバが 2012 R2、ソース ノードが UEFI システムである場合、以下のいずれかかのオペレーティング システムであれば、サーバはサポートされます。

- Windows Server 2012
- Windows Server 2012 R2
- Windows 8 (64 ビット版)
- Windows 8.1 (64 ビット版)

エラー メッセージ 15125

[<parameter>] に接続できません。仮想スタンバイ プランを正しいクラウド 認証情報で更新します。

現象

クラウド サービスに接続できないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

クラウド アカウントを正しいクラウド 認証情報で更新し、プランを展開します。

エラーメッセージ 15126

ESX/VC サーバ [<parameter>] にユーザ名 [<parameter>] で接続できません。正しいユーザ名 / パスワードで仮想スタンバイプランを更新します。

現象

ESX/VC サーバに接続できないため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

ESX/VC サーバの正しいユーザ名とパスワードで仮想スタンバイプランを更新します。

エラーメッセージ 15127

仮想スタンバイサーバが ESX Server/vCenter Server システムと通信できません。ESX Server/vCenter Server システムがネットワークに接続され、アクセス可能であることを確認します。

現象

ESX/VC サーバに接続できないため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

ESX Server/vCenter Server システムがネットワークに接続され、アクセス可能であることを確認します。

エラーメッセージ 15128

ライセンスの取得中に仮想スタンバイ内部エラーが発生したため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。仮想スタンバイログを確認します。

現象

ライセンスの取得中に仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

ジョブアクティビティログに他のエラーログが記録されている場合、詳細を参照してそのエラーを解決します。ログが使用できない場合は、エージェント Web サービスログファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15129

vStorage API ライセンスエラーのため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。新しい vStorage API ライセンスの取得については、アカウント担当者にお問い合わせ

ださい。

現象

ESX/VC サーバにライセンスされている vStorage API 機能がないため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

VMware ESX ライセンスを指定して、ESX サーバの vStorage API ライセンスを有効にします。

エラー メッセージ 15130

アプリケーションがライセンスを取得するために仮想スタンバイに接続できなかったため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。ネットワーク設定を確認してください。

現象

アプリケーションがライセンスを取得するために UDP コンソールに接続できなかったため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

UDP コンソールへのネットワーク接続が使用可能かどうかを確認し、再試行します。

エラー メッセージ 15131

現在のクラウド アカウントには、IAM ユーザ情報の読み取りが許可されていません。

現象

現在のアカウントは Amazon Web サービスからの IAM ユーザ情報の読み取りを許可されていないため、仮想スタンバイジョブは失敗しました。

解決策

UDP ソリューション ガイドを参照して、EC2 に仮想スタンバイの正しい権限を割り当てます。

エラー メッセージ 15132

セッション [<parameter>] はブート可能なセッションではありません。プランでシステム予約済みボリュームとブート ボリュームを少なくとも選択し、新しいフルバックアップをトリガして、両方のボリュームがバックアップされていることを確認します。

現象

バックアップセッションにシステムボリュームとブートボリュームの両方が含まれていないため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

プランでシステムボリュームとブートボリュームを少なくとも選択します。次に、新しいフルバックアップをトリガして、両方のボリュームが確実にバックアップされるようにします。

エラーメッセージ 15133

マシン <parameter> の BLOB スナップショットを削除できませんでした。エラーメッセージ: <parameter>。

現象

Azure ストレージのページ BLOB スナップショットの削除エラーのため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

Microsoft Azure によって返されたエラーメッセージの詳細を参照します。エラーを解決して再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15134

ソースノード [<parameter>] のオペレーティングシステム情報の取得に失敗しました。

現象

ソースノードのオペレーティングシステム情報を取得できないため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

エージェント Web サービス ログ ファイルで詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15135

マシン <parameter> の BLOB スナップショットをリストできませんでした。エラーメッセージ: <parameter>。

現象

Azure ストレージのページ BLOB スナップショットのリストエラーのため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

Microsoft Azure から返されたエラー メッセージの詳細を確認します。エラーを解決して再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15136

BLOB スナップショットに戻せませんでした。ソース マシン: <parameter>、エラー メッセージ: <parameter>。

現象

Azure ストレージのページ BLOB スナップショットに戻すときにエラーが発生したため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

Microsoft Azure から返されたエラー メッセージの詳細を確認します。エラーを解決して再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15137

マシン <parameter> の BLOB スナップショットを取得できませんでした。エラー メッセージ: <parameter>。

現象

Azure ストレージのページ BLOB スナップショットを取得するときにエラーが発生したため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

Microsoft Azure から返されたエラー メッセージの詳細を確認します。エラーを解決して再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15138

VM [<parameter>] の仮想ディスクの削除および追加に失敗しました。

現象

ディスクを VM に接続するときにエラーが発生したため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15140

データ転送スクリプトの作成に失敗しました。

現象

データ転送用のジョブスクリプトの準備中にエラーが発生したため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15140

データ転送スクリプトの作成に失敗しました。

現象

データ転送用のジョブスクリプトの準備中にエラーが発生したため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15141

セッションをロックできませんでした: セッション <parameter> からセッション <parameter>。

現象

仮想スタンバイジョブがセッションをロックできないため失敗しました。

解決策

通常、別のジョブが書き込みロッカーでセッションをロックしたため、仮想スタンバイジョブのロックセッションは失敗します。エージェント Web サービスと Tomcat ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15142

セッション <parameter> から VM [<parameter>] のホストへの変換に失敗しました。

現象

仮想スタンバイジョブがセッションの変換に失敗しました。

解決策

ジョブ アクティビティ ログに他のエラー ログが記録されている場合、詳細を参照してそのエラーを解決します。ログが使用できない場合は、エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15143

VM [<parameter>] スナップショットをストレージに保存できませんでした。

現象

仮想スタンバイ ジョブがスナップショット情報の保存に失敗しました。

解決策

ジョブ アクティビティ ログに他のエラー ログが記録されている場合、詳細を参照してそのエラーを解決します。ログが使用できない場合は、エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15144

VM [<parameter>] のスナップショットを取得できませんでした。スナップショット名は <parameter> です。

現象

VM のスナップショットの作成中にエラーが発生したため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

ジョブ アクティビティ ログに他のエラー ログが記録されている場合、詳細を参照してそのエラーを解決します。ログが使用できない場合は、エージェント Web サービス ログ ファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15145

バックアップ セッションの設定ファイルにアクセスできません。セッションが破棄されたか、セッションが完了していない可能性があります。

現象

バックアップ セッションのバックアップ先 フォルダに設定ファイルが見つからなかったため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

バックアップセッションが正しいか、または完了しているかを確認します。セッションが正しくない場合、フルバックアップをトリガして再試行します。

エラーメッセージ 15146

バックアップセッション <parameter> の設定ファイルの解析に失敗しました。

現象

設定ファイルが正しく解析されなかったため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

バックアップセッションが正しいか、または完了しているかを確認します。セッションが正しくない場合、フルバックアップをトリガして再試行します。

エラーメッセージ 15147

リモート変換 <parameter> の準備中にエラーが発生しました。

現象

RHAによってレプリケートされたバックアップセッション用のVSSスナップショットの準備中にエラーが発生したため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

エージェント Web サービスログファイルを参照して詳細を確認するか、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15148

セッション <parameter> のパスワードが正しくありません。仮想スタンバイから、セッションパスワードをノードリストから設定します。

現象

セッションパスワードが正しくないため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

ノードのノードリストから正しいセッションパスワードを設定します。

エラーメッセージ 15149

エージェントのアカウント [<parameter>] は無効です。

現象

アカウント情報が正しくありません。

解決策

正しいアカウント情報を指定します。

エラー メッセージ 15150

アカウント [<parameter>] はコンバータ [<parameter>] に対して無効です。仮想スタンバイから、コンバータ ホスト リンクをノード リストからクリックし、有効な認証情報を指定します。

現象

コンバータのアカウント情報が正しくありません。

解決策

コンバータ ノードを更新し、正しいアカウント情報を指定します。

エラー メッセージ 15151

HotAdd モードで仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。この障害は、ネットワーク障害または VDDK エラーが原因である可能性があります。<parameter> に所属していないディスクがある場合、切断してネットワーク接続を確認します。次に、新しい仮想スタンバイ ジョブをサブミットします。

現象

HotAdd モードの使用時に仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

仮想スタンバイ コンバータまたはモニタ サーバに属さない仮想ディスクがある場合は、それらを切断してネットワーク接続を確認します。次に、新しい仮想スタンバイ ジョブをサブミットします。

エラー メッセージ 15152

Hyper-V サーバ [<parameter>] は、EFI パーティションから起動する仮想マシンの作成をサポートしていません。

現象

ソース ノードが EFI パーティションから起動しているときに、Hyper-V サーバへの仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

Hyper-V サーバを Windows 2012 R2 にアップグレードするか、代わりに ESX サーバを使用します。

エラーメッセージ 15153

仮想スタンバイジョブが HyperV 操作 [<parameter>] の実行に失敗しました。

現象

Hyper-V 操作の実行中に仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

ネットワークを確認し、Hyper-V ログを参照します。

エラーメッセージ 15154

仮想スタンバイジョブがエラー [<parameter>] でモニタからセッションを取得できませんでした。

現象

モニタからセッションに接続中に、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

ネットワークを確認します。

エラーメッセージ 15155

仮想スタンバイジョブが、このサーバの Hyper-V VM の作成または検索に失敗しました。

現象

仮想スタンバイジョブが Hyper-V VM の作成に失敗しました

解決策

ログで詳細メッセージを確認してください。

エラーメッセージ 15156

ディスクファイルがないため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

現象

ディスクファイルが見つからないため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

スタンバイ VM を削除し、仮想スタンバイジョブを再開します。

エラー メッセージ 15157

仮想スタンバイ ジョブが、[<parameter>] の親 ディスクを見つけられませんでした。

現象

親 ディスクが見つからないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

スタンバイ VM を削除し、仮想スタンバイ ジョブを再開します。

エラー メッセージ 15158

仮想スタンバイ ジョブが、[<parameter>] のスナップショットが見つかりませんでした。

現象

スナップショットが見つからないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

スタンバイ VM を削除し、仮想スタンバイ ジョブを再開します。

エラー メッセージ 15159

仮想スタンバイ ジョブで、HyperV VM の取得に失敗しました。

現象

Hyper-V VM が見つからないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

ネットワークと Hyper-V ステータスを確認します。

エラー メッセージ 15160

スタンバイ仮想マシンは電源オフ状態ではありません。

現象

スタンバイ VM の電源がオンになっているため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

スタンバイ VM の電源をオフにし、仮想スタンバイ ジョブを再開します。

エラーメッセージ 15161

仮想スタンバイジョブは、仮想マシン [<parameter>] から Hyper-V サーバ [<parameter>] にセッションを変換できません。バックアップセッションでシステムディスクが検出されませんでした。

現象

システムディスクがバックアップされていないため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

バックアッププランを変更し、システムディスクを選択してから仮想スタンバイジョブを再開します。

エラーメッセージ 15162

仮想スタンバイジョブが VM [<parameter>] の作成に失敗しました。

現象

VM を作成できないため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

ログを参照します。

エラーメッセージ 15163

バックアップ設定が設定されていません。最初にバックアップ設定を行います。

現象

バックアップ設定が設定されていないため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

バックアッププランを変更し、仮想スタンバイジョブを再開します。

エラーメッセージ 15165

エージェント復旧ポイント [<parameter>] にシステムボリュームが含まれていません。

現象

システムボリュームがセッションデータにバックアップされていないため、仮想スタンバイジョブが失敗しました。

解決策

バックアップ プランを変更し、システム ボリュームを選択してバックアップ ジョブを再度 サブミットします。

エラー メッセージ 15166

<parameter>

現象

例外 エラー メッセージが表示されました。

解決策

解決するには、例外メッセージに従ってください。

エラー メッセージ 15167

バックアップ ファイルが破損しているため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。仮想スタンバイ ジョブを再開するには、手動でフルバックアップをサブミットしてください。

現象

バックアップ ファイルが破損しているため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

新しいバックアップ ジョブを再サブミットします

エラー メッセージ 15168

例外のため、スマート コピー方式の取得に失敗しました。仮想スタンバイ ジョブがキャンセルされました。

現象

スマート コピーの例外のため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

ログを参照します。

エラー メッセージ 15169

メタ データを [<parameter>] アクセスできないサーバ [<parameter>] にアップロードできませんでした。

現象

メタデータのアップロード中に仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

ESX/VC サーバへの接続を確認します。

エラーメッセージ 15170

VMware メッセージ: [<parameter>]。

現象

エラーが発生しました。

解決策

メッセージに従って、ログを参照します。

エラーメッセージ 15172

別の競合するジョブが同じノードで実行されているため、「<parameter>」(データストア「<parameter>」)を実行できませんでした。

現象

別の競合ジョブが実行されているため、ジョブを開始できませんでした。

解決策

何も行う必要はありません

エラーメッセージ 15174

別のレプリケーションジョブが現在このノードで実行されているため、ノード<parameter>のRPSジャンプスタートジョブの起動に失敗しました。

現象

別のジョブが実行されているため、ジャンプスタートジョブを開始できませんでした。

解決策

何も行う必要はありません。

エラーメッセージ 15175

「<parameter>」のレプリケーションジョブが失敗しました。デスティネーションサーバ「<parameter>」に接続できませんでした。

現象

デスティネーションサーバに接続できないため、レプリケーションジョブを開始できませんでした。

解決策

デスティネーションサーバが実行されているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 15176

「<parameter>」のレプリケーション ジョブが失敗しました。デスティネーションサーバ「<parameter>」にプロキシ「<parameter>」経由で接続できませんでした。

現象

デスティネーション サーバにプロキシ経由で接続できないため、レプリケーション ジョブを開始できませんでした。

解決策

プロキシ情報が正しく、デスティネーション サーバが実行されているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 15177

「<parameter>」のレプリケーション ジョブが失敗しました。データストア「<parameter>」の情報をデスティネーション サーバ「<parameter>」から取得できませんでした。

現象

データストア情報の取得に失敗したため、レプリケーション ジョブを開始できませんでした。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15178

「<parameter>」のレプリケーション ジョブが失敗しました。サーバプラン「<parameter>」の情報をデスティネーション サーバ「<parameter>」から取得できませんでした。プランを再展開してください。

現象

ポリシーの取得に失敗したため、レプリケーション ジョブを開始できませんでした。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15179

「<parameter>」のレプリケーション ジョブが失敗しました。サーバ「<parameter>/<parameter>」のバージョンを取得できませんでした。

現象

サーババージョンの取得に失敗したため、レプリケーション ジョブを開始できませんでした。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15180

「<parameter>」のレプリケーション ジョブが失敗しました。プラン「<parameter>」(デスティネーション サーバ「<parameter>」) は一時停止しています。

現象

デスティネーション プランが一時停止しているため、レプリケーション ジョブを開始できませんでした。

解決策

何も行う必要はありません。

エラーメッセージ 15181

「<parameter>」のレプリケーション ジョブが失敗しました。サーバ「<parameter>」のバージョンは、サーバ「<parameter>」より低いです。

現象

ソースとデスティネーションのバージョンが一致しないため、レプリケーション ジョブを開始できませんでした。

解決策

何も行う必要はありません。

エラーメッセージ 15182

「<parameter>」のレプリケーション ジョブをサブミットできませんでした(エラー = <parameter>)。

現象

バックエンドのため、レプリケーション ジョブを開始できませんでした。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15283

Arcserve Backup Client Agent がターゲット ホストにインストールされていないか、実行されていません。

現象

プランの展開にテープへのコピー タスクが含まれていますが、Arcserve Backup クライアント エージェントがターゲット ホストにインストールされていません。

解決策

ターゲット ホストに Arcserve Backup Client Agent をインストールし、再試行します。

エラー メッセージ 15401 ~ 15500

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 15446

選択したサーバに接続できません。

現象

サーバに接続できませんでした。

解決策

サーバにアクセスするための認証情報を確認し、出力ログ メッセージを参照します。

エラー メッセージ 15447

モニタ パスの検証に失敗しました。パス「<parameter>」は無効なパスです。

現象

モニタ パスが無効です。

解決策

指定したパスを確認します。

エラー メッセージ 15448

Esx サーバ: <parameter> に接続できませんでした。

現象

ESX/ESXi サーバに接続できませんでした。

解決策

サーバにアクセスするための認証情報を確認し、出力ログメッセージを参照します。

エラーメッセージ 15449

ソース [<parameter>] およびモニタ [<parameter>] は同じマシンです。

現象

ソースとモニタが同じマシンに存在しないようにする必要があります。

解決策

HA ソリューションの一部として、ソースマシンとモニタを2つのホストに分離してください。

エラーメッセージ 15450

<parameter> からモニタ: <parameter> に接続できませんでした。<parameter>。

現象

モニタサーバに接続できませんでした。

解決策

ファイアウォールが無効になっていて、IP アドレスを使用してモニタにアクセスできることを確認します。また、代わりに IP アドレスを使用します。

エラーメッセージ 15451

スタンバイ VM [<parameter>] はすでにハイパーバイザ [<parameter>] に存在します。この問題を修正するには、VM の名前を変更するか、VM を削除してからプランを再展開します。

現象

現在のプランと同じ名前の別の仮想マシンが存在します。

解決策

プランおよび ESX/ESXi ホストを変更します。

エラーメッセージ 15452

仮想スタンバイジョブスクリプトの更新に失敗しました。

現象

現在の状態ではジョブスクリプトを更新できません。

解決策

ログ ファイルで例外を確認してください。

エラー メッセージ 15453

仮想スタンバイ ジョブ スクリプトの保存に失敗しました。

現象

現在の状態ではジョブ スクリプトを更新できません。

解決策

指定した認証情報が一致しません。ログ ファイルで例外を試行し、親フォルダが存在するかどうかを確認してください。

エラー メッセージ 15454

ハートビートを開始できませんでした。

現象

モニタ サーバへのハートビートをトリガできません。

解決策

モニタ サービスが実行中で、ホストが正しい状態であることを確認します。

エラー メッセージ 15455

最初にバックアップ設定を行ってください。

現象

最初にバックアップ設定を行います。

解決策

プロンプト メッセージに従います。

エラー メッセージ 15456

バックアップ設定でフル マシンを選択してください。

現象

バックアップ設定でフル マシンを選択します。

解決策

プロンプト メッセージに従います。

エラーメッセージ 15457

仮想スタンバイジョブスクリプトの取得に失敗しました。

現象

ジョブスクリプトをフェッチできません。

解決策

webservice.log ファイルでエラーメッセージを確認します。

エラーメッセージ 15458

VM バックアップ情報の取得に失敗しました。

現象

仮想マシンのバックアップ情報をフェッチできません。

解決策

webservice.log ファイルにエラーメッセージがあるかどうかを確認してください。

エラーメッセージ 15459

ソースマシン名の取得に失敗しました。

現象

ソースマシンの名前をフェッチできません。

解決策

仮想マシンが実行中であることを確認してください。

エラーメッセージ 15460

このテキストを削除して、独自の内容で置き換えます。

現象

解決策

エラーメッセージ 15461

バックアップ設定の取得に失敗しました。

現象

バックアップ設定ファイルをフェッチできません。

解決策

ログファイルのエラー メッセージを確認してください。バックアップ ルートフォルダの障害が原因でこの問題が発生する場合があります。接続が利用可能であることを確認してください。

エラー メッセージ 15462

ソース マシンで電子メールアラート設定を設定してください。

現象

これは、電子メールアラートの1つのプロンプト メッセージです。

解決策

プロンプト メッセージに従います。

エラー メッセージ 15463

ソース マシンで Hyper-V の役割が有効になっている場合、仮想スタンバイ サポートは無効になります。

現象

Hyper-V の機能が有効になりました。

解決策

ホスト内の仮想マシンは保護できないため、VSB は Hyper-V の役割が有効になっているソース マシンを保護しません。

エラー メッセージ 15464

モニタ バックエンドに接続できません。再試行してください。

現象

モニタは現在接続できません。

解決策

モニタのサービスが実行されていることを確認します。IP アドレスは、コマンドライン ping で接続できます。

エラー メッセージ 15465

Host-Based VM Backup プロキシ サーバ [<parameter>] およびモニタ [<parameter>] は同じマシンです。バックアップ プロキシ サーバがダウンした場合、コンソールを使用してスタンバイ VM の電源をオンにできませんが、ハイパーバイザ サーバの対応するブート可能スナップショットを使用してスタンバイ VM の電源をオンにすることはできます。

現象

詳細なプロンプト メッセージに従ってください。

解決策

詳細なプロンプト メッセージに従ってください。

エラー メッセージ 15466

リソースプール [<parameter>] をリソースプール参照 [<parameter>] (ESX ホスト [<parameter>]) を使用して取得できませんでした。仮想スタンバイプランを正しいリソースプールで更新します。

現象

現時点でリソース参照のフェッチに失敗しました。

解決策

その間に、エラーメッセージが表示されてリソースが存在するかどうかを確認してください。

エラー メッセージ 15467

VDDKドライバを [<parameter>] にインストールできませんでした。この問題を修正するには、コンピュータにインストールされているVDDKドライバをアンインストールします。必要に応じて、ターゲットコンピュータで以下のコマンドを(コマンドラインから) 実行できます: `sc delete <parameter>`。VDDKドライバをアンインストールした後にコンピュータを再起動し、仮想スタンバイ展開を再度実行します。

現象

メッセージに示されているように、VDDK サービスをインストールできません。

解決策

詳細なプロンプト メッセージに従ってください。

エラー メッセージ 15468

マシン [<parameter>] が仮想スタンバイジョブを実行しているときに、そのインスタンスでは新しい仮想スタンバイプランを適用できません。

現象

ジョブが実行中は設定を行うことはできません。

解決策

現在のジョブが終了するまで待つか、現在のジョブをキャンセルしてください。

エラー メッセージ 15469

マシン [<parameter>] は仮想スタンバイ ジョブを実行中のため、現在仮想スタンバイ設定を削除できません。

現象

ジョブが実行中は設定を行うことはできません。

解決策

現在のジョブが終了するまで待つか、現在のジョブをキャンセルしてください。

エラー メッセージ 15470

VDDK サービスがマシン [<parameter>] にインストールされ、マシンの再起動を要求しています。マシンの再起動後に仮想スタンバイ ジョブを実行してください。

現象

メッセージが示すように、VDDK のインストールには再起動が必要です。

解決策

ホストを再起動してください。

エラー メッセージ 15471

D2D オンデマンド マシン [<parameter>] を仮想スタンバイ モニタとして指定できません。

現象

ハイパーバイザの現在のバージョンは、EFI パーティションをサポートしていません。

解決策

プロンプト メッセージに従ってください。

エラー メッセージ 15472

仮想スタンバイは、EFI パーティションからブートするソース マシン [<parameter>] をサポートしません。

現象

対応する ESX/ESXi または Hyper-V が EFI をサポートしているかどうかを確認してください。

解決策

対応する ESX/ESXi または Hyper-V が EFI をサポートしているかどうかを確認してください。

エラーメッセージ 15473

ソース マシン [<parameter>] のオペレーティング システムが不明です。そのため、仮想スタンバイ ジョブはサポートされません。

現象

メッセージが示すように、Windows の仮想スタンバイ機能は、オペレーティング システムのバージョンを正確に把握している必要があります。

解決策

ホストの情報に接続できません。

エラーメッセージ 15474

マシンにアクセスできません。マシン名が正しくないか、マシンの電源がオフである可能性があります。

現象

メッセージが示すように、ホストに接続できません。

解決策

ホストが実行状態であることを確認してください。

エラーメッセージ 15475

D2D サービスに接続できません。D2D がマシンにインストールされ、実行されていることを確認してください。

現象

D2D サービスに接続できません。

解決策

D2D がマシンにインストールされ、実行されていることを確認してください。

エラーメッセージ 15476

<parameter>

エラー メッセージ 15477

Hyper-V は、2 テラバイトを超えるディスクを含むソース ノードの保護をサポートしません。プランの展開は失敗します。

現象

詳細なプロンプト メッセージに従ってください。

解決策

2TB を超えるディスクがあるかどうか確認してください。

エラー メッセージ 15478

マシン [<parameter>] のディスクのいずれかが 2 テラバイトより大きい場合、変換ジョブは失敗します。

現象

ESX Server は、2 テラバイトを超えるディスクを含む VM をサポートしません。プランの展開プロセスは失敗します。

解決策

2TB を超えるディスクがあるかどうか確認してください。

エラー メッセージ 15479

ESX Server は、2 テラバイトを超えるディスクを含む VM をサポートしません。プランの展開プロセスは失敗します。

現象

ESX Server は、2 テラバイトを超えるディスクを含む VM をサポートしません。

解決策

詳細なプロンプト メッセージに従ってください。

エラー メッセージ 15480

Tomcat Web サーバの Java 最大ヒープ サイズが増加しました。新しい値を適用するには、ノード [<parameter>] の Arcserve UDP エージェント Web サービスを再起動します。

現象

詳細なプロンプト メッセージに従ってください。

解決策

詳細なプロンプトメッセージに従ってください。

エラーメッセージ 15481

復旧ポイントフォルダの設定に失敗しました。

現象

メッセージが示すように、復旧ポイントフォルダを設定できません。

解決策

復旧ポイントパスが有効であることを確認してください。

エラーメッセージ 15482

設定: ネットワークアダプタの種類 [`<parameter>`]、**理由:** ノードのオペレーティングシステムがネットワークアダプタの種類をサポートしていません。**アクション:** [`<parameter>`] に変更します。

現象

別のネットワークアダプタの種類を選択してください。

解決策

ノードのオペレーティングシステムがネットワークアダプタの種類をサポートしていません。

エラーメッセージ 15483

ターゲットハイパーバイザ `<parameter>` は、ソースマシン [`<parameter>`] のオペレーティングシステムをサポートしていません。仮想スタンバイジョブを正常に実行するには、ハイパーバイザをアップグレードするか、ターゲットハイパーバイザをソースマシンのオペレーティングシステムをサポートするハイパーバイザに変更する必要があります。

現象

このオペレーティングシステムはサポートされていません。

解決策

詳細なプロンプトメッセージに従ってください。

エラーメッセージ 15484

ターゲットハイパーバイザ `<parameter>` はソースマシン [`<parameter>`] のディスクサイズをサポートしていません。仮想スタンバイジョブを正常に実行するには、ハイ

パーバイザを ESX/ESXi 5.5 にアップグレードするか、ソース マシンのディスク サイズをサポートするハイパーバイザに変更する必要があります。

現象

ディスク サイズが、ハイパーバイザがサポートできるサイズを超えています。

解決策

詳細なプロンプト メッセージに従ってください。

エラー メッセージ 15485

ターゲット ハイパーバイザ <parameter> は ESX/ESXi 5.5 以降です。VMware VDDK の制限のため、32 ビット ノードは仮想スタンバイ コンバータとして使用できません。仮想スタンバイ ジョブを正常に実行するには、RPS にバックアップを実行するか、ESX/ESXi 5.1 以前への仮想スタンバイ変換を実行する必要があります。

現象

VMware VDDK の制限のため、32 ビット ノードは仮想スタンバイ コンバータとして使用できません。仮想スタンバイ ジョブを正常に実行するには、RPS にバックアップを実行するか、ESX/ESXi 5.1 以前への仮想スタンバイ変換を実行する必要があります。

解決策

VMware VDDK の制限のため、32 ビット ノードは仮想スタンバイ コンバータとして使用できません。仮想スタンバイ ジョブを正常に実行するには、RPS にバックアップを実行するか、仮想スタンバイ変換を実行する必要があります。

エラー メッセージ 15486

ターゲット ハイパーバイザ <parameter> は ESX/ESXi 5.5 以降で、プロキシ モードのモニタとして 32 ビット ノードをサポートしていません。仮想スタンバイ ジョブを正常に実行するには、64 ビット モニタに変更するか、非プロキシ モードを使用する必要があります。または、ESX/ESXi 5.1 以降に仮想スタンバイ変換を実行することもできます。

現象

詳細なプロンプト メッセージに従ってください。

解決策

詳細なプロンプト メッセージに従ってください。

エラーメッセージ 15487

バックアップパスワードが設定されていません。コンソールで、ノード リストからバックアップパスワードを設定します。

現象

セッションパスワードが設定されていないため、ジョブが失敗しました。

解決策

セッションパスワードを設定し、再試行してください。

エラーメッセージ 15488

仮想スタンバイは、圧縮ボリュームおよびファイルシステムによって暗号化されたボリュームでの仮想ディスクイメージの作成をサポートしません。(ホスト = <parameter>、ディレクトリ = <parameter>)。

現象

圧縮ボリュームおよび暗号化ボリュームはサポートされていません。

解決策

圧縮および暗号化属性のない別のボリュームを選択してください。

エラーメッセージ 15489

ノード [<parameter>] の仮想スタンバイタスク設定を展開できませんでした。現時点で、復旧ポイントサーバ [<parameter>] にこのノードで使用できるレジストリ情報がないためです。このノードの最初のレプリケーションジョブの完了後に、仮想スタンバイタスク設定は自動的に展開されます。

現象

ノードがレプリケートされたノードに登録されていないため、タスクの展開に失敗しました。

解決策

詳細なプロンプトメッセージに従ってください。次に、レプリケーションジョブを実行します。これにより、ノードが自動的に登録されます。

エラーメッセージ 15490

仮想スタンバイタスクを Windows 以外のマシンに割り当てることはできません。現在の OS は [<parameter>] です。コンソールノード リスト ビューで OS 情報を確認します。

現象

タスクを Windows 以外のホストに割り当てることはできません。

解決策

Windows 以外の VM、Hyper-V Integration Services がインストールされていない VM、または現在電源オフ状態の VM が考えられます。

エラー メッセージ 15491

仮想スタンバイタスクは、Windows 以外の VM、Hyper-V 統合サービスがインストールされていない VM、または現在電源オフ状態の VM である可能性があるため、エージェントに割り当てることはできません。

現象

メッセージが示すように、タスクを割り当てることはできません。

解決策

Windows 以外の VM、Hyper-V Integration Services がインストールされていない VM、または現在電源オフ状態の VM ではないことを確認してください。

エラー メッセージ 15492

仮想スタンバイタスクは、Windows 以外の VM、Hyper-V 統合サービスがインストールされていない VM、または現在電源オフ状態の VM である可能性があるため、エージェントに割り当てることはできません。この問題を解決するには、Hyper-V VM [parameter] の電源がオンになっていて、Hyper-V 統合サービスがインストールされていることを確認した後に、[ハイパーバイザから更新]からコンソールを使用してノードを更新し、ノード情報を更新します。

現象

メッセージが示すように、タスクを割り当てることはできません。

解決策

この問題を解決するには、Hyper-V VM の電源がオンになっていて、Hyper-V 統合サービスがインストールされていることを確認した後に、[ハイパーバイザから更新]を使用してノードを更新し、ノード情報を更新します。

エラー メッセージ 15493

ユーザ <parameter> は、仮想スタンバイジョブを実行するための十分な権限がない可能性があります。管理者権限のあるユーザをお勧めします。

現象

管理者アカウントを使用します。

解決策

ドメイン管理者グループに属するユーザのアカウントを使用します。

エラーメッセージ 15494

関連するプランがすでに一時停止されているため、仮想スタンバイジョブを一時停止/再開できません。

現象

メッセージが示すように、プランは一時停止されました。

解決策

関連するプランを再開してください。

エラーメッセージ 15495

システム予約済みボリュームおよびブート ボリュームをバックアップ タスクでバックアップする必要があるため、仮想スタンバイはサポートされません。

現象

システム予約済みボリュームおよびブート ボリュームがバックアップされていません。

解決策

OS をブート可能にするために、システム予約済みボリュームとブート ボリュームをバックアップしました。

エラーメッセージ 15496

Microsoft Azure は、ブート ボリュームとシステム ボリュームがソース マシン [`<parameter>`] の異なるディスクにある場合はサポートされません。

現象

システムとブート ボリュームが異なるディスク上にあります。

解決策

Azure は 1 つの OS ディスクのみをサポートします。

エラーメッセージ 15497

Microsoft Azure は、1023 GB を超えるディスク サイズはサポートしていません。

現象

OS ディスク サイズが 1023 GB を超えています。

解決策

OS ディスク サイズが 1023 GB 以下であることを確認します。

エラー メッセージ 15498

<parameter> Web サーバに接続できませんでした。ネットワーク設定を確認してください。

現象

ネットワーク設定への接続に使用するアドレスまたはポートが正しくありません。

解決策

ポートまたはサーバの IP アドレスが正しいことを確認します。

エラー メッセージ 15499

<parameter> Web サービスへのログインに失敗しました。入力した認証情報を確認してください。<parameter>。

現象

指定した認証情報が一致しません。入力された認証情報で Web サービスを正しく認証できません。

解決策

Web サービスへの認証情報が正しいことを確認します。

エラー メッセージ 15560

別のジョブが実行されています。後ほど再試行してください。

現象

別のジョブがすでに実行中です。

解決策

実行中のジョブが終了するのを待ってから、再試行します。

エラー メッセージ 15601 ~ 15700

このセクションには、以下のエラーメッセージが含まれます。

エラー メッセージ 15619

内部エラーです。再試行してください。

現象

内部エラーのため、ジョブを実行できません。

解決策

このエラーは、製品クラウド ライブラリの例外が原因で発生する場合があります。ジョブを再実行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートに連絡して、失敗したジョブのログ ファイルを次から提供します。「<UDP_Installation_Directory>\Engine\Loggs」

エラーメッセージ 15620

内部エラーです。再試行してください。

現象

内部エラーのため、ジョブを実行できません。

解決策

このエラーは、メモリが不足しているか、製品 インストール ディレクトリ内のライブラリが使用できないことが原因で発生する可能性があります。障害発生時により多くのジョブ/プロセスが実行されていてメモリ使用率が高くなった場合は、メモリサイズを増やすか、他のジョブ/プロセスの完了後に再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15621

プロキシ詳細が無効です。確認してください。

現象

正常です

解決策

タスクに設定されたクラウド アカウントの正しいプロキシ詳細(プロキシ サーバ名、ポート、および認証情報)を入力し、再試行します。

エラーメッセージ 15622

クラウドと通信できませんでした。再試行してください。

現象

ジョブの実行時に <productname> と通信できませんでした。

解決策

ネットワーク障害が原因でエラーが発生しました。管理者に連絡してネットワークの中断の問題を解決し、ジョブを再実行します。

エラー メッセージ 15623

サービスを利用できません。再試行してください。

現象

正常です

解決策

詳細については、ログ ファイルを参照してください。しばらく待ってから再試行します。問題が解決しない場合は、<productname for Arcserve Cloud> ベンダにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15624

クラウド プロバイダ エラーです。再試行してください。

現象

正常です

解決策

例外の詳細についてログ ファイルを参照し、再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15625

アクセスが拒否されました。認証情報を確認してください。

現象

クラウド ベンダへのアクセスが拒否されました。

解決策

クラウド ベンダのアカウントの有効期限が切れているか、指定した認証情報が無効です。クラウド ベンダに問い合わせ、アカウントの有効性を確認します。有効なクラウド ベンダ アカウント 認証情報を入力して再試行します。

エラー メッセージ 15626

内部エラーです。再試行してください。

現象

内部エラーのため、ジョブを実行できません。

解決策

エラー/例外の詳細についてログファイルを参照し、再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15627

無効なバケット名が指定されました。適切なバケット名が指定されていることを確認してください。

現象

Amazon クラウドは、指定したバケット名をサポートしていません。

解決策

指定したバケット名は、Amazon クラウド バケットの命名規則に一致しません。詳細については、リンクを参照してください。長さが一致しない場合、ジョブがバケット名に追加したプレフィックスを考慮します。プレフィックスは、タスクの [デスティネーション設定] タブに表示されます。

エラーメッセージ 15628

AccessKey ID が無効です。指定した AWS アクセス キー ID は存在しません。

現象

内部エラーのため、ジョブを実行できません。

解決策

詳細を確認するには、ログファイルを参照してください。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15629

リクエスト時間と現在のサーバ時間の差が大きすぎます。マシンの時間設定が正しいことを確認します。

現象

リクエスト時間が現在のサーバ時間と異なります。

解決策

サーバ時間が現在の時間と同期されていません。現在の時間に従ってサーバ時間を調整し、再試行します。

エラーメッセージ 15630

このアカウントで許可されている最大数を超えるバケットを作成しようとしていません。

現象

バケット数が、Amazon S3 でクラウド アカウントに許可されている上限を超えました。

解決策

デフォルトでは、Amazon S3 はアカウントごとに最大 100 バケットを許可します。一部のバケットを削除して、新しいバケットを作成します。Amazon では、アカウントの制限を変更できます。詳細については、リンクを参照してください。

エラー メッセージ 15631

クラウド設定の初期化に失敗しました。

現象

クラウド セッションを初期化できません。

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15632

予想されるダウンロード サイズとクラウドからの実際のダウンロード サイズが等しくありません。プロバイダの問題です。

現象

正常です。

解決策

再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15633

ライブラリを初期化できませんでした。

現象

製品クラウド ライブラリを初期化できません。

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15634

無効なハンドルです。

現象

正常です。

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15635

プロバイダの追加に失敗しました。

現象

製品はクラウド詳細をキャッシュに追加できませんでした。

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15636

プロバイダトークンが無効です。

現象

正常です

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15637

セッショントークが無効です。

現象

正常です

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15638

プロバイダが使用中です。

現象

クラウド プロバイダを使用できません。

解決策

クラウド プロバイダの詳細は、すでに他のジョブによって使用されています。ログ ファイルを参照します。他のジョブが完了してから再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15639

ProviderInformation.xml ファイルが破損しています。

現象

クラウド プロバイダの詳細を更新できません。

解決策

ProviderInformation.xml ファイルが破損している可能性があります。ログ ファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15640

プロバイダ/プロファイルが使用できません。

現象

クラウド プロバイダの詳細を表示できません。

解決策

ログ ファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15641

プロバイダの表示が終了に達しました。

現象

クラウド ベンダの詳細を表示できません。

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15642

プロバイダがサポートされていません。

現象

クラウド ベンダの名前を識別できません。

解決策

サポートされているクラウド ベンダのリストを確認します。詳細については、リンクを参照してください。

エラーメッセージ 15643

プロバイダ エラーです。

現象

クラウド プロバイダを検索中にエラーが発生しました。

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15644

サーバに接続できませんでした。

現象

<productname> に接続できません。

解決策

<productname> のネットワーク接続とアクセス可能性を確認して、再試行します。

エラーメッセージ 15645

プロバイダの種類が無効です。

現象

プロバイダの種類が無効です。

解決策

クラウド ベンダはサポートされていません。サポートされているクラウド ベンダのリストを確認します。詳細については、リンクを参照してください。

エラーメッセージ 15646

無効なデスティネーション パスです。

現象

正常です。

解決策

正常です。

エラーメッセージ 15647

別のアカウントのバケットがすでに存在します。

現象

バケット名はすでに使用されています。

解決策

Amazon S3 は、アカウント間およびリージョン間で単一の名前空間を使用します。命名規則によって有効であり、自分のアカウントを含む他のアカウントで使用されていない名前を選択します。詳細については、リンクを参照してください。別の一意のバケット名を指定して、再試行します。

エラーメッセージ 15648

ライブラリがローカルレジストリに登録されていません。

現象

必要なメモリを割り当てられません。

解決策

必要な容量がメモリにありません。メモリサイズを増やすか、空き容量を増やして再試行します。詳細については、製品のハードウェア要件を参照してください。

エラーメッセージ 15649

同じ名前のバケットがすでに存在します。別の名前を指定するか、既存のバケットを使用してください。

現象

正常です。

解決策

正常です。

エラーメッセージ 15650

クラウド設定の処理中にエラーが発生しました。

現象

エラーが発生しました。クラウド設定の詳細を処理できません。

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15651

内部エラーです。再試行してください。

現象

内部エラーのため、ジョブを実行できません。

解決策

このエラーは、メモリが不足しているか、製品インストールディレクトリ内のライブラリが使用できないことが原因で発生する可能性があります。障害発生時にメモリ使用率が高くなるため、他のジョブ/プロセスが実行されていたかどうかを確認します。その場合は、他のジョブ/プロセスの実行が停止してから再試行します。それ以外の場合は、メモリサイズを増やします。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15652

プロキシ詳細が無効です。確認してください。

現象

クラウドアカウントに指定したプロキシ詳細が無効です。

解決策

正常です。

エラーメッセージ 15653

クラウドと通信できませんでした。再試行してください。

現象

ジョブの進行中に <productname> と通信できませんでした。

解決策

ジョブの実行中にネットワークの中断が発生しました。ジョブを再実行します。管理者にお問い合わせください。

エラー メッセージ 15654

サービスを利用できません。再試行してください。

現象

クラウド サービスは、ジョブの実行中は使用できません。

解決策

ログファイルを参照します。しばらく待ってから再試行します。問題が解決しない場合は、クラウド ベンダにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15655

クラウド プロバイダ エラーです。再試行してください。

現象

正常です。

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15656

アクセスが拒否されました。認証情報を確認してください。

現象

クラウド ベンダを認証できません。

解決策

クラウド ベンダ アカウントの認証情報が正しくないか、アカウントの有効期限が切れています。有効なクラウド ベンダ アカウント 認証情報を入力して再試行します。問題が解決しない場合は、クラウド ベンダにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15657

内部エラーです。再試行してください。

現象

内部エラーのため、ジョブを実行できません。

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15658

リクエスト時間と現在のサーバ時間の差が大きすぎます。マシンの時間設定が正しいことを確認します。

現象

リクエスト時間が現在のサーバ時間と異なります。

解決策

サーバ時間が現在の時間と同期されていません。現在の時間に従ってサーバ時間を調整し、再試行します。

エラーメッセージ 15659

このアカウントで許可されている最大数を超えるバケットを作成しようとしています。

現象

バケット数が、Amazon S3 でクラウド アカウントに許可されている上限を超えました。

解決策

デフォルトでは、Amazon S3 はアカウントごとに最大 100 バケットを許可します。一部のバケットを削除して、新しいバケットを作成します。Amazon では、アカウントの制限を変更できます。詳細については、リンクを参照してください。

エラーメッセージ 15660

クラウド設定の初期化に失敗しました。

現象

クラウド セッションを開始できません。

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15661

予想されるダウンロード サイズとクラウドからの実際のダウンロード サイズが等しくありません。プロバイダの問題です。

現象

クラウド ベンダは、要求されたサイズのデータを提供しませんでした。

解決策

再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15662

ライブラリを初期化できませんでした。

現象

製品クラウド ライブラリを起動できません。

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15663

無効なハンドルです。

現象

正常です

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15664

プロバイダの追加に失敗しました。

現象

製品はクラウド詳細をキャッシュに追加できませんでした。

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15665

プロバイダトークンが無効です。

現象

製品内部クラウド プロバイダトークンが無効です。

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15666

セッショントークが無効です。

現象

製品内部クラウド セッショントークンが無効です。

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15667

プロバイダが使用中です。

現象

正常です。

解決策

ログファイルを参照します。他のジョブが完了してから再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15668

ProviderInformation.xml ファイルが破損しています。

現象

クラウド プロバイダ詳細の製品内部キャッシュが破損しています。

解決策

ログファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15669

プロバイダ/プロファイルが使用できません。

現象

クラウド プロバイダの詳細は利用できません。

解決策

ログ ファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15670

プロバイダの表示が終了に達しました。

現象

キャッシュに利用可能なクラウド ベンダの詳細がありません。

解決策

ログ ファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15671

プロバイダがサポートされていません。

現象

タスクで設定したクラウド ベンダはサポートされていません。

解決策

サポートされているクラウド ベンダのリストについては、製品のヘルプドキュメントを参照してください。

エラー メッセージ 15672

プロバイダ エラーです。

現象

クラウド プロバイダ エラーです。

解決策

ログ ファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15673

サーバに接続できませんでした。

現象

クラウドに接続できませんでした。

解決策

クラウドに到達できません。クラウドのネットワーク接続性と到達可能性を確認し、再試行します。

エラーメッセージ 15674

プロバイダの種類が無効です。

現象

タスクで設定したクラウドベンダはサポートされていません。

解決策

サポートされているクラウドベンダのリストについては、製品のヘルプドキュメントを参照してください。

エラーメッセージ 15675

無効なデスティネーションパスです。

現象

デスティネーションパスが無効です。

解決策

指定したファイルコピー/アーカイブ先パス(ローカルまたはネットワーク共有)が無効です。有効なデスティネーションパスを指定して、再試行します。

エラーメッセージ 15676

別のアカウントのコンテナがすでに存在します。

エラーメッセージ 15677

ライブラリがローカルレジストリに登録されていません。

現象

メモリの割り当てに失敗しました。

解決策

必要なメモリの割り当てに失敗しました。メモリが不足しています。メモリを増やすか、メモリを解放してから再試行します。詳細については、製品のハードウェア要件を参照してください。

エラー メッセージ 15678

無効なコンテナ名です。確認してください。

現象

Azure クラウドは、指定したコンテナ名をサポートしていません。

解決策

指定したコンテナ名は、Azure クラウド コンテナの命名規則のルールと一致しません。コンテナの命名規則の詳細については、リンクを参照し、それに応じて名前を設定します。長さが一致しない場合、ジョブがバケット名に追加したプレフィックスを考慮します。プレフィックスは、タスクの [デスティネーション設定] タブに表示されます。

エラー メッセージ 15679

AccessKey ID が無効です。指定した AWS アクセス キー ID は存在しません。

現象

内部エラーのため、ジョブを実行できません。

解決策

ログ ファイルを参照します。再試行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15680

同じ名前のコンテナがすでに存在します。別の名前を指定するか、既存のコンテナを使用してください。

現象

正常です

解決策

コンテナに一意の名前を使用して、再試行します。

エラー メッセージ 15681

無効なバケット名です。バケット名の長さは 3 ~ 63 文字である必要があります。

現象

バケット名の文字数が許可されている文字数と一致しません。

解決策

バケット名の長さのルール

- 最小文字数: 3
- 最大文字数: 63

長さが一致しない場合、ジョブがバケット名に追加したプレフィックスを考慮します。プレフィックスは、タスクの [デスティネーション設定] タブに表示されます。

エラーメッセージ 15682

無効なコンテナ名です。コンテナ名の長さは 3 ~ 63 文字である必要があります。

現象

コンテナ名の文字数が、許可されている最小または最大文字数のルールと一致しません。

解決策

コンテナ名の長さの規則は以下のとおりです。

- 許可されている最小文字数は 3
- 許可されている最大文字数は 63

コンテナ名を適宜設定します。

注: ジョブによってコンテナ名にプレフィックスが追加されることを考慮してください。プレフィックスは、タスク設定の [デスティネーション] タブの下に表示されます。

エラーメッセージ 15683

クラウド設定パラメータが無効です。URL とアクセス認証情報を確認し、再試行してください。

現象

正常です。

解決策

クラウドの有効なアクセス認証情報を指定します。互換性のあるクラウドの場合、適切なプロトコル (http/https) を使用した正しいエンドポイント URL が提供されていることも確認します。

エラー メッセージ 15684

クラウド設定パラメータが無効です。URL とアクセス認証情報を確認し、再試行してください。

現象

指定したクラウド エンドポイント URL またはアクセス認証情報が無効です。

解決策

クラウドの有効なアクセス認証情報を指定します。互換性のあるクラウドの場合、適切なプロトコル(http/https) を使用した正しいエンドポイント URL が提供されていることも確認します。

エラー メッセージ 15685

バケット名「<parameter>」は別のリージョンに存在します。

現象

この名前のバケットは、すでに別のリージョンに関連付けられています。

解決策

このバケット名で作成されたクラウド アカウントには1つのリージョンが設定されていますが、バケットはすでに作成され、他のリージョンに関連付けられています。

考えられる解決策は以下のとおりです。

1. 別のバケット名で新しいクラウド アカウントを作成し、設定でこのアカウントを使用します。
2. このバケット名に関連付けられている既存のクラウド アカウントを変更し、正しいリージョンを指定します。

エラー メッセージ 15801 ~ 15900

このセクションには、以下のエラーメッセージが含まれます。

エラー メッセージ 15889

マージ ジョブを開始できませんでした。エラーコードは <parameter> です。

現象

バックエンドからのマージ ジョブの開始に失敗しました。

解決策

Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 15890

マージ ジョブを開始できません。別のジョブが現在実行中です。

現象

別のジョブが現在のノードですでに実行されているため、マージ ジョブを開始できませんでした。

解決策

現在のノードで別のジョブが実行されているかどうかを確認します。

エラーメッセージ 15891

ソース マシン アダプタ情報を仮想スタンバイに同期できませんでした。

現象

ソース マシン アダプタ情報を UDP コンソールに同期できません。

解決策

仮想スタンバイ コンバータから UDP コンソールへの接続を確認します。

エラーメッセージ 15892

この製品のライセンスの有効期限が切れています。バックアップ ジョブを実行できません。

現象

ライセンスの有効期限が切れています。

解決策

ライセンス キーを入力して再試行します。

エラーメッセージ 15901 ~ 16000

このセクションには、以下のエラーメッセージが含まれます。

エラーメッセージ 15901

「<parameter>」のレプリケーション ジョブが失敗しました。^AU_ProductName_CLOUD^ に接続できませんでした。

現象

レプリケーション ジョブが <productname> に接続できません。

解決策

<product name> のレプリケーション設定を確認します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 15902

「<parameter>」のレプリケーション ジョブが失敗しました。^AU_ProductName_CLOUD^ にプロキシ「<parameter>」経由で接続できませんでした。

現象

レプリケーション ジョブがプロキシ経由で <productname> に接続できません。

解決策

<product name> のレプリケーション設定を確認します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください

エラー メッセージ 15904

Nutanix サーバ [%s] は [%s] から接続できません。エラー メッセージ: %s

現象

Nutanix サーバに接続できません。その結果、仮想スタンバイ ジョブが失敗します。

解決策

Nutanix サーバの認証情報、および Nutanix サーバと仮想スタンバイ モニタ間のネットワーク接続を確認します。

エラー メッセージ 15905

バックアップ ジョブを実行できません。Nutanix AHV サーバ [%s] からソケット カウントを取得できません。

現象

ライセンス消費に使用されるソケット数を Nutanix Api からフェッチできませんでした。そのため、バックアップが失敗します。

解決策

Nutanix AHV クラスタが稼働していることを確認します。Nutanix API が REST API から値を返しているかどうかを確認します。

エラーメッセージ 15906

仮想マシンの名前を [%s] から [%s] に変更できません。

現象

仮想マシンの名前を変更できないため、仮想スタンバイジョブが失敗します。

解決策

仮想スタンバイコンバータおよびモニタの webservice.log を確認して、詳細情報を確認します。

エラーメッセージ 15907

仮想マシンの名前を [%s] から [%s] に変更できません。

現象

VM の詳細を取得するために Nutanix AHV クラスタに接続できませんでした。

解決策

Nutanix AHV クラスタが稼働していることを確認します。

エラーメッセージ 15908

VM [%s] のセッションを Nutanix Server [%s] に変換できません。内部エラーが発生しました。Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

不明なエラーのため、仮想スタンバイジョブが失敗します。

解決策

アクティビティログにエラーが記録されているかどうかを確認し、修正します。さらに、仮想スタンバイモニタの webservice.log を確認し、詳細情報を取得して対処します。

エラーメッセージ 15918

クラウドドライバのダウンロード中に md5 不一致が見つかりました。

現象

AWZドライバのダウンロード中に md5 不一致があるため、VSB ジョブが失敗しました。

解決策

仮想スタンバイ ジョブをサブミットして再試行します。それでも問題が解決しない場合は、以下の回避策を試してください。この問題の回避策：

1. リンクをクリックしてドライバをダウンロードします。
2. zip ファイルを展開します。
3. すべてのファイルをフォルダ C:\Program Files\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\CloudDrivers\AmazonEC2 に配置します。
4. ドライバを手動でダウンロードする場合、レジストリキーを有効にしてダウンロードをスキップします。レジストリキーは以下のとおりです。

レジストリパス: HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Arcserve\Unified Data Protection\Engine , key typr: String . キー: skipDriverDownloadForEC2 . 値 : 1

エラー メッセージ 15921

現在のネットワークパフォーマンスが、事前定義したしきい値を下回っています。

現象

現在のネットワークパフォーマンスが事前定義したしきい値よりも遅いため、EC2 への VSB は続行されません。

解決策

ネットワークパフォーマンスを確認して改善し、ジョブを再実行します。この問題の回避策として、以下のレジストリのしきい値を増やすことができます。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Arcserve\Unified Data Protection\Engine\Network [WAN_RTT_Threshold]

デフォルト値は 20 です。

エラー メッセージ 20000 ~ 20100

このセクションには、以下のエラーメッセージが含まれます。

エラー メッセージ 20000

別の場所のファイルコピーのカタログ再同期ジョブがキャンセルされました。

現象

ユーザが別の場所のカタログ再同期をキャンセルしたため、カタログ再同期ジョブが失敗しました。

解決策

ユーザが別の場所のカタログ再同期を意図的にキャンセルしました。

エラーメッセージ 20001

ユーザが <parameter> ジョブをキャンセルしました。

現象

ユーザがアーカイブ ジョブをキャンセルしたため、アーカイブ ジョブが失敗しました。

解決策

ユーザがアーカイブ ジョブを意図的にキャンセルしました。

エラーメッセージ 20002

スケジュールされた <parameter> ジョブをフルに変換しています。 <parameter> デスティネーションが変更されたか、このジョブが最初の <parameter> ジョブであるためです。

エラーメッセージ 20003

デスティネーションは有効な <parameter> デスティネーションではありません。

現象

ファイルアーカイブ先からホスト名または GUID を取得できませんでした。

解決策

正しいファイルコピー デスティネーションが指定されているかどうかを確認してください。設定ウィンドウで指定したネットワークパス、ユーザ名、またはパスワードを確認するか、ネットワーク/ドメインの接続を確認します。

エラーメッセージ 20004

<parameter> ジョブは未完了です。

現象

アーカイブ ジョブのステータスが未完了です。

解決策

このエラーは、パス名が長いファイル、またはアーカイブ先にファイルを作成できないファイルをスキップした場合に発生します。最初のケースでは、ファイル名の長さまたはパスの長さを減らしてアーカイブを行います。2番目のケースでは、アーカイブ先に手動でファイルを作成します。ユーザがファイルを手動で作成できない場合

は、ファイルをスキップするフィルタをファイルアーカイブジョブに追加します。ファイル名は、アクティビティログメッセージで検索できます。それ以外の場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20005

ソースのファイルアーカイブジョブで削除されなかったファイルの総数: <parameter>

現象

ファイルソース削除ジョブ中にソースパスから削除されなかったファイルの数

解決策

削除に失敗したファイル、またはバックアップ後に変更されたファイルの数。ファイルソースの削除ジョブでは、ファイルアーカイブジョブの後、ファイルソースの削除ジョブを実行する前に変更されたファイルは削除されません。変更されたファイルがバックアップされると、次のファイルソース削除ジョブでこれらのファイルが削除されます。ファイルのディレクトリパス/ファイル名が長い可能性があるため、ファイルの削除に失敗する可能性があります。

エラー メッセージ 20006

ファイルコピーの削除ジョブがキャンセルされました。

現象

ユーザがファイルコピーの削除ジョブを意図的にキャンセルしました。

解決策

ユーザがファイルコピーの削除ジョブを意図的にキャンセルしました。

エラー メッセージ 20007

ボリューム [<parameter>] の増分ブロックを生成できませんでした。

現象

ボリュームの Flist の生成に失敗したため、アーカイブジョブが失敗しました。

解決策

アーカイブジョブが、ソースパスリスト(ファイルコピー/アーカイブ設定ウィンドウで指定されたリスト)に含まれるファイル/ディレクトリのリストを取得できませんでした。ネットワークの問題が発生した場合、メークアップジョブが正常に実行されるまで待機します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 20008

現在の <parameter> ジョブが完了していないため、このジョブのメイクアップジョブが作成されます。このメイクアップジョブは 30 分後に実行されます。

現象

ファイルコピージョブが失敗した場合、メイクアップジョブは 30 分後に実行されません。

解決策

失敗したアーカイブジョブのジョブを再実行します。これは、ネットワーク接続の問題など、いくつかのタイミングの問題を解決するのに役立ちます。後続のアーカイブメイクアップジョブで問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 20009

次のスケジュールされた <parameter> ジョブはフルに変換されます。最初の <parameter> ジョブ - ボリューム(<parameter>) であるためです。

エラーメッセージ 20010

<parameter> で選択したソースフォルダは、バックアップ設定には含まれません。

現象

選択したボリュームのファイルコピージョブは実行されません

解決策

選択したボリュームがマシンに存在するかどうかを確認してください。存在する場合は、そのボリュームをバックアップ設定に追加してください。ない場合は、そのボリュームのエントリをファイルコピーソースパスリストから削除してください。それ以外の場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 20011

<parameter> デスティネーションの変更が検出されました。<parameter> ジョブはスキップされます。

エラーメッセージ 20012

増分 <parameter> をスキップします。<parameter> デスティネーションが変更され、増分 <parameter> が次のバックアップでフル <parameter> に自動的に変換さ

れるためです。

エラー メッセージ 20013

マウントポイント フォルダ [<parameter>] を検出しました。このフォルダはバックアップをスキップされます。

現象

アーカイブ ジョブでマウント ポイント フォルダがスキップされました。

解決策

ファイルコピーソース パス リストにマウント ボリューム リストが含まれているかどうかを確認します。ファイルアーカイブ ジョブ設定のファイルコピーソース パス リストからマウント ポイント フォルダ パスを削除してください。

エラー メッセージ 20014

ボリューム <parameter> のハードウェア スナップショットはサポートされていません。

現象

ボリュームのハードウェア スナップショットはサポートされていません。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20015

仮想 ディスク <parameter> のハードウェア スナップショットを処理できません。ソフトウェア スナップショットに切り替えています。デバッグ情報については、<parameter> ログを参照してください。

現象

仮想 ディスクのハードウェア スナップショットを処理できません。

解決策

ソフトウェア スナップショットに切り替えてください。

エラー メッセージ 20016

バックアップ モードが変更されると、増分バックアップは検証バックアップに変換されます。

現象

バックアップモードが変更されると、増分バックアップは検証バックアップに変換されます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20017

ライセンスエラー。新規ライセンスを取得するには、アカウント担当者にお問い合わせください。

現象

ライセンスエラー。

解決策

新規ライセンスを取得するには、アカウント担当者にお問い合わせください。

エラーメッセージ 20018

ライセンスエラー。[ヘルプ] -> [アクティベーションとライセンス]に移動して、このノードで必要とされる正確なライセンスを確認してください。

現象

ライセンスエラー。

解決策

Arcserve UDP コンソールから、[ヘルプ] > [アクティベーションとライセンス]に移動し、このノードに必要な正確なライセンスを見つけます。このジョブが SharePoint Online バックアップに関連している場合は、アカウントに SharePoint サイトの管理者権限があることを確認します。

エラーメッセージ 20019

ブート ボリューム [<parameter>] はミラー ボリュームとして設定されています。そのため、BMR を使用してデータをリストアしようとすると、システムの起動に失敗します。

現象

ブート ボリュームはミラー ボリュームとして設定されています。そのため、BMR を使用してデータをリストアしようとすると、システムの起動に失敗します。

解決策

復旧ポイントを使用して BMR を実行する場合、ブート ボリュームはミラーリングできません。

エラー メッセージ 20020

システム ボリューム [<parameter>] はミラー ボリュームとして設定されています。そのため、BMR を使用してデータをリストアしようとする、システムの起動に失敗します。

現象

システム ボリュームはミラー ボリュームとして設定されています。そのため、BMR を使用してデータをリストアしようとする、システムの起動に失敗します。

解決策

復旧ポイントを使用して BMR を実行する場合、システム ボリュームはミラーリングできません。

エラー メッセージ 20021

すべての仮想 ディスクがバックアップ ジョブから除外されます。その結果、バックアップ ジョブはキャンセルされます。

現象

すべての仮想 ディスクがバックアップ ジョブから除外されます。その結果、バックアップ ジョブはキャンセルされます。

解決策

仮想 ディスクを含めてください。

エラー メッセージ 20022

バックアップする仮想 ディスクがありません。その結果、バックアップ ジョブはキャンセルされます。

現象

バックアップする仮想 ディスクがありません。その結果、バックアップ ジョブはキャンセルされます。

解決策

仮想 ディスクを含めてください。

エラー メッセージ 20023

セッションのマージ プロセスがキャンセルされました。現在のセッション数は <parameter> で、保持数の設定は <parameter> です。

現象

セッションのマージ プロセスがキャンセルされました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20024

変更ブロックトラッキング(CBT)機能は、アップグレードまたは内部エラーのためリセットされました。その結果、冗長データがバックアップされる可能性があります。

現象

変更ブロックトラッキング(CBT)機能は、アップグレードまたは内部エラーのためリセットされました。その結果、冗長データがバックアップされる可能性があります。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20025

変更ブロックトラッキング(CBT)機能が、バックアップするブロックの照会に失敗しました。その結果、Host-Based VM Backup は CBT をリセットし、バックアップの実行を再試行します。

現象

変更ブロックトラッキング(CBT)機能が、バックアップするブロックの照会に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20026

増分バックアップを検証バックアップに変換しています。これは、Hyper-V ホストの変更ブロックトラッキング(CBT)機能が非アクティブであるか、このバックアップジョブの処理が拒否されたためです。

現象

増分バックアップを検証バックアップに変換しています。これは、Hyper-V ホストの変更ブロックトラッキング(CBT)機能が非アクティブであるか、このバックアップジョブの処理が拒否されたためです。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 20027

変更ブロックトラッキング (CBT) 機能がアップグレードしました。その結果、冗長データがバックアップされる可能性があります。

現象

変更ブロックトラッキング (CBT) 機能がアップグレードしました。その結果、冗長データがバックアップされる可能性があります。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 20028

ユーザ <parameter> は、バックアップジョブを実行するための十分な権限がない可能性があります。管理者権限のあるユーザをお勧めします。

現象

ユーザは、バックアップジョブを実行するための十分な権限がない可能性があります。

解決策

管理者権限のあるユーザをお勧めします。

エラー メッセージ 20029

ファイル <parameter> をスキップしています。これは、現在のバックアップセッションの一部です。

現象

ファイルをスキップしています。現在のバックアップセッションの一部です。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 20030

前回の正常なバックアップ以降に Windows フェールオーバークラスタ共有ディスクのステータス変更が検出されました。ボリューム <parameter> のフルバックアップが実

行されます。

現象

前回の正常なバックアップ以降に Windows フェールオーバー クラスタ共有 ディスクのステータス変更が検出されました。ボリュームのフルバックアップが実行されます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 20031

圧縮レベルが変更されたため、フルバックアップに変換しています。

現象

圧縮レベルが変更されたため、フルバックアップに変換しています。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 20032

新しいデータストアがバックアップに使用されたか、バックアッププロキシマシンが変更されたため、現在のバックアップジョブはフルバックアップに変換されます。

現象

新しいデータストアがバックアップに使用されたか、バックアッププロキシマシンが変更されたため、現在のバックアップジョブはフルバックアップに変換されます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 20033

新しいデータストアがバックアップに使用されたため、現在のバックアップをフルバックアップに変換します。

現象

新しいデータストアがバックアップに使用されたため、現在のバックアップをフルバックアップに変換します。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 20034

バックアップ先がデータストアからローカルディスクまたは共有フォルダに変更されたため、現在のバックアップをフルバックアップに変換します。

現象

バックアップ先がデータストアからローカルディスクまたは共有フォルダに変更されたため、現在のバックアップをフルバックアップに変換します。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 20035

バックアップ先がデータストアからローカルディスクまたは共有フォルダに変更されたか、バックアッププロキシマシンが変更されたため、現在のバックアップジョブはフルバックアップに変換されました。

現象

バックアップ先がデータストアからローカルディスクまたは共有フォルダに変更されたか、バックアッププロキシマシンが変更されたため、現在のバックアップジョブはフルバックアップに変換されました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 20036

バックアップ先がローカルディスクまたは共有フォルダからデータストアに変更されたため、現在のバックアップをフルバックアップに変換します。

現象

バックアップ先がローカルディスクまたは共有フォルダからデータストアに変更されたため、現在のバックアップをフルバックアップに変換します。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20037

バックアップ先がローカルディスクまたは共有フォルダからデータストアに変更されたか、バックアッププロキシマシンが変更されたため、現在のバックアップジョブはフルバックアップに変換されました。

現象

バックアップ先がデータストアからローカルディスクまたは共有フォルダに変更されたか、バックアッププロキシマシンが変更されたため、現在のバックアップジョブはフルバックアップに変換されました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20038

セッション [<parameter>] の復旧ポイントのコピーは、すでに完了しているか失敗しています。

現象

復旧ポイントをコピーすると、警告メッセージが表示されます。

解決策

復旧ポイントのコピーは、そのセッションがすでに完了または失敗した場合、その特定のセッションに警告を表示します。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピージョブログを提供してください。

エラーメッセージ 20039

復旧ポイントはすでに<parameter>クラウドにアップロードされています。
<parameter>: <parameter>。

現象

復旧ポイントをクラウドにアップロードすると、警告が表示されます。

解決策

復旧ポイントをクラウドにアップロードすると、復旧ポイントがすでに同じクラウドや同じクラウドバケットにアップロードされている場合に警告が表示されます。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピージョブログを提供してください。

エラー メッセージ 20040

<parameter> のセッションは、<parameter> からユーザによってロックされました。

現象

ジョブがデスティネーションをロックできない場合、復旧ポイントをコピーすると警告が表示されます。

解決策

復旧ポイントのコピーは、セッションが別のユーザによってすでにロックされているため、ジョブがセッションのデスティネーションをロックできない場合に警告を表示します。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピージョブログを提供してください。

エラー メッセージ 20041

セッション [<parameter>] の復旧ポイントのコピージョブがスキップされました。再試行回数が制限を超えています。

現象

復旧ポイントのコピーがスキップされました。

解決策

特定のセッションの最大再試行回数の上限を超えると、復旧ポイントのコピージョブはスキップされます。詳細については、サポートに連絡して復旧ポイントのコピージョブログを提供してください。

エラー メッセージ 20042

ベアメタル復旧情報が見つかりません。コピーされた復旧ポイントは、ベアメタル復旧の実行には使用できません。

現象

ベアメタル復旧情報が見つかりません。

解決策

コピーされた復旧ポイントは、ベアメタル復旧には使用できません。詳細については、サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20043

仮想ディスク <parameter> にボリューム情報は含まれません。次のコピーセッションは仮想ディスクをスキップします。

現象

仮想ディスクのボリューム情報が利用できません。仮想ディスクのコピーをスキップします。

解決策

仮想ディスクのボリューム情報を取得できません。詳細については、サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 20044

復旧ポイントのコピージョブからディスク(<parameter>)のコピーをスキップします。これらのディスクは、ストレージスペースを使用して設定されました。

現象

ストレージスペースを使用して設定されたディスクのコピーをスキップしました。

解決策

復旧ポイントのコピージョブ設定の詳細については、製品マニュアルを参照してください。

エラーメッセージ 20045

<parameter> に十分な空き容量がない可能性があります。少なくとも<parameter> 空き容量を確保してください。

現象

復旧ポイントのコピー先に十分な容量が見つかりませんでした。

解決策

十分な容量を割り当てて、再実行してください。問題が解決しない場合は、サポートに連絡して復旧ポイントのコピージョブログを提供してください。

エラーメッセージ 20046

デスティネーションフォルダへのデータの書き込みに失敗しました。今すぐ再試行します。

現象

デスティネーションフォルダへのデータの書き込みに失敗しました。

解決策

十分な容量を割り当てて、再実行してください。問題が解決しない場合は、サポートに連絡して復旧ポイントのコピージョブログを提供してください。

エラー メッセージ 20047

<parameter> の空き容量が少なすぎるため、バックアップが失敗する可能性があります。空き容量を増やすか、バックアップ先を別のボリュームに変更します。

現象

空き容量が少なすぎるため、バックアップが失敗する可能性があります。空き容量を増やすか、バックアップ先を別のボリュームに変更します。

解決策

ディスクの空き容量を増やします。

エラー メッセージ 20048

ローカル デスティネーション ボリューム <parameter> がスキップされます。

現象

ローカル デスティネーション ボリュームがスキップされます。

解決策

バックアップ先はバックアップをスキップします。

エラー メッセージ 20049

ベアメタル復旧情報の収集に失敗しました。この復旧ポイントを使用してベアメタル復旧を実行することはできません。

現象

ベアメタル復旧情報の収集に失敗しました。この復旧ポイントを使用してベアメタル復旧を実行することはできません。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 20050

ボリューム <parameter> のメタデータのダンプが失敗しました。

現象

ボリュームのメタデータのダンプが失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20051

これは、以前のリリースからのアップグレードです。ブートキットの作成ユーティリティを使用して、現在のリリースから作成された復旧ポイントのベアメタル復旧 (BMR) を実行するために使用するブート可能 BMR ISO イメージを作成します。

現象

これは、以前のリリースからのアップグレードです。ブートキットの作成ユーティリティを使用して、現在のリリースから作成された復旧ポイントのベアメタル復旧 (BMR) を実行するために使用するブート可能 BMR ISO イメージを作成します。

解決策

新しい BMR ISO を作成する必要があります。

エラーメッセージ 20052

ディスク [<parameter>] はバックアップから除外されます。

現象

ディスクはバックアップから除外されます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20053

ディスク [<parameter>] (<parameter> <parameter>: <parameter>) はバックアップから除外されます。

現象

ディスクはバックアップから除外されます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20054

ボリューム [<parameter>] には、データストア [<parameter>] の共通パスが含まれています。その結果、バックアップジョブから除外されます。

現象

ボリュームには、データストアの共通パスが含まれています。

解決策

データストアを含むボリュームはバックアップされません。

エラー メッセージ 20055

ボリューム [<parameter>] には、データストア [<parameter>] のデータファイルパスが含まれています。その結果、バックアップジョブから除外されます。

現象

ボリュームには、データストアのデータファイルパスが含まれています。

解決策

データストアを含むボリュームはバックアップされません。

エラー メッセージ 20056

ボリューム [<parameter>] には、データストア [<parameter>] のハッシュファイルパスが含まれています。その結果、バックアップジョブから除外されます。

現象

ボリュームには、データストアのハッシュファイルパスが含まれています。

解決策

データストアを含むボリュームはバックアップされません。

エラー メッセージ 20057

ボリューム [<parameter>] には、データストア [<parameter>] のインデックスファイルパスが含まれています。その結果、バックアップジョブから除外されます。

現象

ボリュームには、データストアのインデックスファイルパスが含まれています。

解決策

データストアを含むボリュームはバックアップされません。

エラー メッセージ 20058

ボリューム [<parameter>] の物理的な場所を取得できませんでした。このボリュームはバックアップから除外されます。

現象

ボリュームの物理的な場所を取得できませんでした。このボリュームはバックアップから除外されます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20059

仮想ディスク <parameter> の HW スナップショットの作成中に、有効な Flex Clone ライセンスおよびスナップリストライセンスが見つかりませんでした。ソフトウェアスナップショットにフォールバックします。

現象

仮想ディスクの HW スナップショットの作成中に、有効な Flex Clone ライセンスおよびスナップリストライセンスが見つかりませんでした。ソフトウェアスナップショットにフォールバックします。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20060

ボリューム <parameter> (オフセット <parameter>、長さ <parameter> バイト) 内にデータ CRC エラーが見つかりました。

現象

ボリュームにデータ CRC エラーが見つかりました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20061

これは Arcserve UDP Workstation FREE Edition のため、制限付き機能モードで実行されています。完全な機能を備えた Arcserve UDP Workstation Edition にアップグレードするには、Arcserve.com にアクセスするか、パートナー/営業担当者にお問い合わせください。

現象

これは Arcserve UDP Workstation FREE Edition のため、制限付き機能モードで実行されています。

解決策

完全な機能を備えた Arcserve UDP Workstation Edition にアップグレードするには、Arcserve.com にアクセスするか、パートナー/営業担当者にお問い合わせください。

エラー メッセージ 20062

プロセス ID <parameter> のアプリケーションが、<parameter> 秒以内に応答できませんでした。プロセスを停止して、ジョブの実行を再試行してください。

現象

アプリケーションが応答しませんでした。

解決策

プロセスを停止して、ジョブの実行を再試行してください。

エラー メッセージ 20063

プロセス ID <parameter> のアプリケーションが <parameter> 秒以内にタイムアウトになり、プロセスは終了します。

現象

アプリケーションが応答しませんでした。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 20064

Exchange バイナリが仮想マシンから正常に解析されません。その結果、後続の Exchange カタログジョブは失敗します。

現象

Exchange バイナリが仮想マシンから正常に解析されません。その結果、後続の Exchange カタログジョブは失敗します。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20065

プロキシ [<parameter>] の Windows バージョンは仮想マシン [<parameter>] よりも古いバージョンです。この結果、後続の Exchange カタログ ジョブは失敗する可能性があります。この問題を解決するには、関連する Windows Update パッケージをインストールする必要があります。

現象

プロキシの Windows バージョンは、仮想マシンより古いバージョンです。その結果、後続の Exchange カタログ ジョブは失敗する可能性があります。

解決策

この問題を解決するには、関連する Windows Update パッケージをインストールする必要があります。

エラーメッセージ 20066

バックアップ プロキシ ホスト [<parameter>] は 64 ビット プラットフォームにありません。その結果、プランで [カタログの生成] オプションが有効になっている場合、後続の Exchange カタログ ジョブは失敗します。

現象

バックアップ プロキシ ホストは 64 ビット プラットフォームにありません。プランで [カタログの生成] オプションが有効になっている場合、後続の Exchange カタログ ジョブは失敗します。

解決策

64 ビット プラットフォームを使用してください。

エラーメッセージ 20067

データストア <parameter> にある仮想ディスクは、ソフトウェア スナップショットを使用してバックアップされます。ハードウェア スナップショットを利用するには、UDP コンソールでストレージ アレイを設定してください。サポートされるストレージ アレイの最新リストについては、「互換性マトリックス」を参照してください。

現象

データストアにある仮想ディスクは、ソフトウェア スナップショットを使用してバックアップされます。

解決策

ハードウェア スナップショットを利用するには、UDP コンソールでストレージ アレイを設定してください。サポートされるストレージ アレイの最新リストについては、「互換性マトリックス」を参照してください。

エラー メッセージ 20068

データストア <parameter> にある仮想 ディスクは、ソフトウェア スナップショットを使用してバックアップされます。ハードウェア スナップショットを利用するには、UDP コンソールでストレージ アレイを設定してください。サポートされるストレージ アレイの最新リストについては、「互換性マトリックス」を参照してください。

現象

データストアにある仮想 ディスクは、ソフトウェア スナップショットを使用してバックアップされます。

解決策

ハードウェア スナップショットを利用するには、UDP コンソールでストレージ アレイを設定してください。サポートされるストレージ アレイの最新リストについては、「互換性マトリックス」を参照してください。

エラー メッセージ 20069

スナップショットにアプリケーション整合性がないため、アプリケーション メタデータの収集がスキップされました。

現象

バックアップ ジョブは、アプリケーション バックアップではないため、アプリケーション メタデータの収集をスキップしました。

解決策

アプリケーション整合性 バックアップの前提条件については、「UDP ソリューション ガイド」を確認してください。

エラー メッセージ 20070

変更ブロックトラッキング機能は非アクティブで、Hyper-V ホストでリセットされました。

現象

内部エラーのため、変更ブロックトラッキング機能がバックアップ ジョブ中にリセットされました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログとスタブ ログを確認してください。

エラーメッセージ 20071

以前のバックアップの変更ブロックトラッキング機能が失敗しました。その結果、増分バックアップは検証バックアップに変更されます。

現象

前のバックアップジョブ中に変更ブロックトラッキング機能で内部エラーが発生したため、現在のバックアップジョブは検証バックアップジョブに変換されました。

解決策

以前のバックアップジョブのバックアップジョブログおよびスタブログを確認し、詳細情報を取得します。

エラーメッセージ 20072

Hyper-V ホストで変更ブロックトラッキング (CBT) 機能が非アクティブになっているため、現在のバックアップジョブでリセットできません。その結果、次のバックアップジョブが増分バックアップの場合、検証バックアップに自動的に変更されます。

現象

内部エラーのため、変更ブロックトラッキング機能が動作せず、リセットできませんでした。次のバックアップは検証バックアップジョブに変換されます。

解決策

詳細については、バックアップジョブログとスタブログを確認してください。

エラーメッセージ 20073

変更ブロックトラッキング機能は、Hyper-V ホストで非アクティブです。その結果、冗長データがバックアップされる可能性があり、次のバックアップジョブが増分バックアップの場合、検証バックアップに自動的に変更されます。

現象

内部エラーのため、変更ブロックトラッキング機能が動作せず、リセットされました。その結果、現在のバックアップでより多くのデータがバックアップされ、次のバックアップは検証バックアップジョブに変換されます。

解決策

詳細については、バックアップジョブログとスタブログを確認してください。

エラー メッセージ 20074

Hyper-V ホスト内部の CBT 互換性の問題のため、現在のバックアップ ジョブは拒否されました。この Hyper-V ホストを保護するために使用されるすべてのバックアップ プロキシを最新バージョンにアップグレードし、この問題を解決してバックアップを続行してください。

現象

Hyper-V ホストにインストールされている CBT のバージョンがバックアップ プロキシと互換性がないため、バックアップ ジョブを続行できませんでした。

解決策

通常、この問題は、同じ Hyper-V ホストをバックアップするバックアップ プロキシが複数あるが、それらのプロキシに異なるバージョンの UDP エージェントがインストールされている場合に発生する可能性があります。すべてのバックアップ プロキシを同じバージョンにアップグレードする必要があります。

エラー メッセージ 20075

バックアップ ジョブにより、スナップショットの作成中に Hyper-V VSS ライタは VM を保存できませんでした。その結果、バックアップ データの整合性がなくなる可能性があります。

現象

VM のダウンタイムを回避するために、Hyper-V VSS でこれを行う必要がありますが、バックアップ ジョブで VM が保存済みステータスになりませんでした。その結果、バックアップの整合性が失われました。

解決策

アプリケーション整合性バックアップの前提条件については、「UDP ソリューション ガイド」を確認してください。VM が前提条件を満たしていることを確認し、バックアップを再試行します。

エラー メッセージ 20076

仮想マシンは、Hyper-V VSS ライタの必要に応じて VSS スナップショットの作成中に保存されます。

現象

Hyper-V VSS でこの操作を行う必要があるため、バックアップ ジョブで VM が保存済みステータスになりました。

解決策

アプリケーション整合性バックアップの前提条件については、「UDP ソリューション ガイド」を確認してください。VM が前提条件を満たしていることを確認し、バックアップを再実行します。

エラー メッセージ 20077

変更ブロックトラッキング(CBT)機能が失敗しました。バックアップジョブ中に1つ以上のクラスタ化ノードが追加または削除されました。

現象

バックアップ中に変更ブロックトラッキング(CBT)機能で内部エラーが発生しました。

解決策

これは、バックアップジョブの実行中に1つ以上のクラスタ化ノードが追加または削除された場合に、Hyper-V クラスタで発生する可能性があります。

エラー メッセージ 20078

物理ハードディスクのバックアップはサポートされていません。Host-Based VM Backup は、この仮想マシンに接続されているすべての物理ハードディスクをスキップします。

現象

VM に接続されている物理ディスクはバックアップできません。

解決策

UDP エージェントレスバックアップは、VM に接続された物理ディスクをサポートしません。

エラー メッセージ 20079

Hyper-V サーバ <parameter> に接続できませんでした。実行前/実行後コマンドを実行できません。

現象

Hyper-V ホストへの接続時にエラーが発生したため、実行前/後のコマンドを実行できませんでした。

解決策

バックアッププロキシとHyper-V ホスト間のネットワーク接続性を確認します。または、詳細については、バックアップジョブログとスタブログを確認してください。

エラー メッセージ 20080

GUID <parameter> で Hyper-V サーバ <parameter> から仮想マシンの取得に失敗しました。実行前/実行後コマンドを実行できません。

現象

Hyper-V ホストで VM を検索するときにエラーが発生したため、実行前/後のコマンドを実行できませんでした。

解決策

VM が Hyper-V ホストにまだ存在するかどうかを確認します。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログとスタブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20081

仮想マシン ホスト名の取得に失敗しました。実行前/実行後コマンドを実行できません。

現象

VM のホスト名を取得できなかったため、実行前/実行後コマンドを実行できませんでした。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログとスタブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20082

仮想マシンが電源オン状態ではありません。実行前/実行後コマンドを実行できません。

現象

VM の電源がオンになっていないため、実行前/実行後コマンドを実行できませんでした。

解決策

バックアップ ジョブの前に VM の電源をオンにします。

エラー メッセージ 20083

ホスト名 <parameter> を使用して仮想マシンに接続できませんでした。実行前/実行後コマンドを実行できません。

現象

ホスト名で VM にアクセスできなかったため、実行前/実行後コマンドを実行できませんでした。

解決策

バックアッププロキシと VM ホスト間のネットワーク接続性を確認します。または、詳細については、バックアップジョブログとスタブログを確認してください。

エラーメッセージ 20084

予期しない仮想マシン GUID です。実行前/実行後コマンドを実行できません。

現象

VM の GUID が正しくないため、実行前/実行後コマンドを実行できませんでした。

解決策

詳細については、バックアップジョブログとスタブログを確認してください。

エラーメッセージ 20085

予期しない仮想マシン名です。実行前/実行後コマンドを実行できません。

現象

VM の名前が正しくないため、実行前/実行後コマンドを実行できませんでした。

解決策

詳細については、バックアップジョブログとスタブログを確認してください。

エラーメッセージ 20086

仮想マシンのゲスト OS が Windows マシンではありません。実行前/実行後コマンドを実行できません。

現象

VM のゲスト OS が Windows でないため、実行前/実行後コマンドを実行できませんでした。

解決策

このメッセージは、Windows 以外の VM では無視できます。

エラーメッセージ 20087

ゲストオペレーティングシステムの認証情報が指定されていません。実行前/実行後コマンドを実行できません。

現象

ゲスト OS 認証情報が指定されなかったため、実行前/実行後コマンドを実行できませんでした。

解決策

組み込みの管理者認証情報で VM ノードを更新します。

エラー メッセージ 20088

Hyper-V VSS ライタは、この仮想マシンでのデータ整合性スナップショットの作成をサポートしていません。その結果、バックアップデータの整合性がなくなる可能性があります。(アプリケーション整合性のあるスナップショットの作成の詳細については、製品ドキュメントを参照してください)。

現象

バックアップジョブでバックアップ用のデータ整合性のあるスナップショットを取得できなかったため、バックアップされたデータに不整合が生じる可能性があります。

解決策

VM が整合性のあるバックアップをサポートしていることを確認します。アプリケーション整合性バックアップの前提条件については、「UDP ソリューションガイド」を確認してください。

エラー メッセージ 20089

この仮想マシンを処理しているときに、Hyper-V VSS ライタでエラーが発生しました。その結果、バックアップデータの整合性が失われる可能性があります。(Hyper-V VSS ライタ エラーの詳細については、製品ドキュメントを参照してください)。

現象

バックアップジョブで VSS エラーが発生したため、バックアップされたデータに整合性がない可能性があります。

解決策

Windows イベント ログ([Microsoft] -> [Windows] -> [Hyper-V-VMMS] -> [管理者])を確認し、エラーを確認します。

エラー メッセージ 20090

Host-Based VM Backup は VM のホスト名を取得できないため、その結果、統合サービスを VM に展開できません。サービスを手動で展開する方法の詳細については、製品ドキュメントを参照してください。

現象

VM ホスト名が使用できないため、バックアップジョブで VM に統合サービスを展開できませんでした。

解決策

統合サービスがないと、バックアップジョブはアプリケーションメタデータを取得できないため、DBレベルのリストアは使用できません。バックアップジョブログおよびスタブログを確認して、ホスト名が使用できない理由の詳細を確認します。または、統合サービスを手動で展開することもできます(詳細については、「UDPソリューションガイド」を参照してください)。

エラーメッセージ 20091

統合サービスを VM に展開できませんでした。

現象

バックアップジョブで VM に統合サービスを展開できませんでした。

解決策

統合サービスがないと、バックアップジョブはアプリケーションメタデータを取得できないため、DBレベルのリストアは使用できません。詳細については、バックアップジョブログとスタブログを確認してください。または、統合サービスを手動で展開することもできます(詳細については、「UDPソリューションガイド」を参照してください)。

エラーメッセージ 20092

VM のユーザ名が指定されていないため、Host-Based VM Backup は統合サービスを VM に展開できません。サービスを手動で展開する方法の詳細については、製品ドキュメントを参照してください。

現象

バックアップジョブで、認証情報が指定されていない VM に統合サービスを展開できませんでした。

解決策

統合サービスがないと、DBレベルのリストアが利用できないため、バックアップジョブはアプリケーションメタデータを取得できません。解決するには、組み込みの管理者認証情報を使用して UDP コンソールで VM ノードを更新するか、統合サービスを手動で展開します(詳細については、「UDPソリューションガイド」を参照してください)。

エラー メッセージ 20093

プロキシ ホスト [<parameter>] がターゲット クラスタ内のノードであるため、転送可能なスナップショット オプションは無効になっています。

現象

バックアップ プロキシがクラスタ内のノードにあるため、バックアップ ジョブで転送可能なスナップショット オプションを使用できませんでした。

解決策

クラスタの外 部にあるバックアップ プロキシを使用します。

エラー メッセージ 20094

VM を転送 不可能なハード ウェア スナップショットを使用してバックアップします。

現象

転送 不可能なハード ウェア スナップショットがバックアップ ジョブで使用されました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログとスタブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20095

ソフトウェア スナップショットを使用して VM をバックアップします。

現象

ソフトウェア スナップショットがバックアップ ジョブによって使用されました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログとスタブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20096

VM を転送 可能なスナップショットを使用してバックアップします。

現象

転送 可能なスナップショットがバックアップ ジョブによって使用されました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログとスタブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20097

前回のバックアップ以降にディスクが変更されたため、フルバックアップに変換しています。

現象

前回のバックアップ以降にディスクが変更されたため、フルバックアップに変換しています。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 20098

デスティネーション <parameter> にセッション <parameter> と <parameter> をマージするための十分な空き容量がありません。マージは、デスティネーションに十分な容量が解放されるまでスキップされます。

現象

セッションをマージするのに十分な空き容量がデスティネーションにありません。デスティネーションに十分な容量が解放されるまで、マージはスキップされます。

解決策

デスティネーションのディスク容量を解放してください。

エラー メッセージ 20099

ドライブ <parameter> の空き容量が、<parameter> MB 未満です。その結果、バックアップが失敗する可能性があります。

現象

ドライブの空き容量が少なくなっています。その結果、バックアップが失敗する可能性があります。

解決策

ドライブのディスク容量を解放してください。

エラー メッセージ 20100

バックアップジョブがキャンセルされました。

現象

バックアップジョブがキャンセルされました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 20101 ~ 20200

このセクションには、以下のエラーメッセージが含まれます。

エラー メッセージ 20101

バックアップジョブ <parameter> (仮想マシン <parameter> (<parameter>)) がキャンセルされました。

現象

バックアップジョブがキャンセルされました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 20102

バックアップジョブは完了していません。

現象

バックアップジョブは完了していません。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 20103

バックアップジョブはスキップされます。

現象

バックアップジョブはスキップされます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20104

仮想ディスクフォーマットが変更されたため、フルバックアップに変換しています。

現象

仮想ディスクフォーマットが変更されたため、フルバックアップに変換しています。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20105

バックアップの種類が検証バックアップに変更されました。変更トラッキングドライバがインストールされていないか、正しくインストールされていないため、通信できません。

現象

バックアップの種類が検証バックアップに変更されました。変更トラッキングドライバがインストールされていないか、正しくインストールされていないため、通信できません。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20106

復旧ポイント <parameter> でデータの不整合が見つかりました。次回のジョブは検証バックアップジョブに変換されます。

現象

復旧ポイントでデータの不整合が見つかりました。次回のジョブは検証バックアップジョブに変換されます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20107

前回のジョブでデータの不整合が検出されました。ジョブは検証バックアップジョブに変換されます。

現象

前回のジョブでデータの不整合が検出されました。ジョブは検証バックアップジョブに変換されます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 20108

増分バックアップは検証バックアップに変換されます。最後のシステムシャットダウンが予期しないものであったか、一部のリムーバブルデバイスが再接続されたためです。

現象

増分バックアップは検証バックアップに変換されます。最後のシステムシャットダウンが予期しないものであったか、一部のリムーバブルデバイスが再接続されたためです。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 20109

最初のジョブをフルバックアップに変換します。

現象

最初のジョブをフルバックアップに変換します。

解決策

最初のジョブはフルバックアップである必要があります。

エラー メッセージ 20110

最後に成功したバックアップがないため、検証バックアップに変換しています。

現象

最後に成功したバックアップがないため、検証バックアップに変換しています。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20111

検証バックアップに変換されます。最後のセッションのファイルシステムカタログの生成に失敗しました。

現象

検証バックアップに変換されます。最後のセッションのファイルシステムカタログの生成に失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20112

現在のマシンには、代替ハードウェアへのベアメタル復旧のライセンスがありません。

現象

現在のマシンには、代替ハードウェアへのベアメタル復旧のライセンスがありません。

解決策

ライセンスを確認してください。

エラーメッセージ 20113

現在のマシンには、オリジナルへのベアメタル復旧のライセンスがありません。

現象

現在のマシンには、オリジナルへのベアメタル復旧のライセンスがありません。

解決策

ライセンスを確認してください。

エラーメッセージ 20114

NTFS / ReFS 以外のボリューム <parameter> がスキップされ、ファイルシステムは <parameter> です。フルボリューム暗号化 (Windows BitLocker など) がこのボリュームで有効になっている場合、ボリュームのロック解除/復号化を実行して、バックアップを再試行します。

現象

NTFS / ReFS 以外のボリュームはスキップされます。フルボリューム暗号化 (Windows Bitlocker など) がこのボリュームで有効になっている場合、ボリュームのロック解除/復号化を実行して、バックアップを再試行します。

解決策

ボリュームのロックを解除/復号化し、再度バックアップを実行します。

エラー メッセージ 20115

NTFS 以外のボリューム <parameter> がスキップされ、ファイルシステムは <parameter> です。フルボリューム暗号化 (Windows Bitlocker など) がこのボリュームで有効になっている場合、ボリュームのロック解除/復号化を実行して、バックアップを再試行します。

現象

NTFS 以外のボリュームはスキップされます。フルボリューム暗号化 (Windows Bitlocker など) がこのボリュームで有効になっている場合、ボリュームのロック解除/復号化を実行して、バックアップを再試行します。

解決策

ボリュームのロックを解除/復号化し、再度バックアップを実行します。

エラー メッセージ 20116

エージェントレス バックアップ ジョブでアプリケーションを保護するには、Advanced、Premium、または Premium plus ライセンスが必要です。Microsoft SQL Server ライタまたは Microsoft Exchange Server ライタのメタデータは生成されません。

現象

ライセンスエラーです。

解決策

ライセンスを確認してください。

エラー メッセージ 20117

ハードウェア スナップショット オプションを使用したエージェント ベースのバックアップ ジョブには、premium または premium plus ライセンスが必要です。ソフトウェア スナップショットに戻ります。

現象

ライセンスエラーです。

解決策

ライセンスを確認してください。

エラーメッセージ 20118

現在のライセンスでは、過去 7 日間にフルバックアップが実行されていない場合、スケジュールされた増分バックアップが自動的にフルバックアップに変換されます。強制的なフルバックアップを回避するには、ライセンスをアップグレードしてください。

現象

ライセンスエラーです。

解決策

ライセンスを確認してください。

エラーメッセージ 20119

現在のライセンスでは、過去 7 日間にフルバックアップが実行されていないため、エージェントはスケジュールされた検証バックアップをフルバックアップに自動的に変換します。強制的なフルバックアップを回避するには、ライセンスをアップグレードしてください。

現象

ライセンスエラーです。

解決策

ライセンスを確認してください。

エラーメッセージ 20120

スナップショットは、仮想マシンのファイルシステムを静止させずに取得されます。その結果、このスナップショットは、ゲストファイルシステムの整合性のある状態を示すことができません。仮想マシンの電源がオフになった場合、または VMware Tools が利用可能でない場合、静止フラグは無視されます。

エラーメッセージ 20121

ジョブが中止されました。一般タスクプロセスが正常に停止しました。

現象

ジョブが中止されました。一般タスクプロセスが正常に停止しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 20122

デスティネーションフォルダへのデータの書き込みに失敗しました。今すぐ再実行します。

現象

デスティネーションフォルダへのデータの書き込みに失敗しました。

解決策

十分な容量を割り当てて、再実行してください。問題が解決しない場合は、サポートに連絡して復旧ポイントのコピージョブログを提供してください。

エラー メッセージ 20123

RAID 5 ボリューム <parameter> はスキップされます。

現象

RAID 5 ボリュームはスキップされます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 20124

リムーバブルボリューム <parameter> はスキップされます。

現象

リムーバブルボリュームはスキップされます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 20126

データストアでデデュプリケーションが有効になっているため、検証バックアップをフルバックアップに変換しています。

現象

データストアでデデュプリケーションが有効になっているため、検証バックアップをフルバックアップに変換しています。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20127

Host-Based VM Backup で最後のバックアップ後に SCSI コントローラが変更されたため、1 つ以上の SCSI ディスクが適切に除外されない可能性があります。

現象

最後のバックアップ後に SCSI コントローラが変更されたため、1 つ以上の SCSI ディスクが適切に除外されない可能性があります。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20128

セッションが別の操作によってロックされているため、マージセッションはスキップされます。復旧ポイントがマウントされているかどうかを確認し、マウント解除します。

現象

セッションが別の操作によってロックされているため、マージセッションはスキップされます。

解決策

復旧ポイントがマウントされているかどうかを確認し、マウント解除します。

エラーメッセージ 20129

スナップショット <parameter> (ストレージ アプライアンス <parameter>) を削除できませんでした。詳細については、このバックアップジョブに対応する NETAPP プラグインログを参照してください。スナップショットを手動で削除してください。

現象

ストレージ アプライアンスのスナップショットを削除できませんでした。

解決策

詳細については、このバックアップジョブに対応する NETAPP プラグインログを参照してください。スナップショットを手動で削除してください。

エラー メッセージ 20130

ソース ボリューム <parameter> は使用できません。

現象

ソース ボリュームは使用できません。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20131

デスティネーションしきい値のユーザ設定値に達しました。

現象

デスティネーションしきい値のユーザ設定値に達しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20132

デスティネーション <parameter> の空き容量を確認できません。セッション <parameter> と <parameter> のマージをスキップします。

現象

デスティネーションの空き容量を確認できません。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20133

セッション <parameter> で一部のデータブロックが破損している可能性があるため、検証バックアップに変換しています。

現象

セッションで一部のデータブロックが破損している可能性があるため、検証バックアップに変換しています。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20134

VHD でホストされているボリューム <parameter> はスキップされます。

現象

VHD でホストされているボリュームはバックアップできません。

解決策

該当なし

エラーメッセージ 20135

VMware VIX バージョンが 1.1.0 未満です。アプリケーションは、アプリケーション ログの切り捨てと実行前/後のコマンドを実行できません。

現象

(廃止)

解決策

(廃止)

エラーメッセージ 20136

ハードウェア スナップショットは、仮想ディスク <parameter> ではサポートされていません。詳細については、対応するバックエンド ログ ファイルを参照してください。

現象

ハードウェア スナップショットは、仮想ディスクではサポートされていません。

解決策

詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20137

ハードウェア スナップショットは、仮想ディスク <parameter> ではサポートされていません。詳細については、対応するバックエンド ログ ファイルを参照してください。ソフトウェア スナップショットにフォールバックします。

現象

ハードウェア スナップショットは、仮想ディスクではサポートされていないため、代わりにソフトウェア スナップショットを使用します。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20138

ハードウェア スナップショットの削除に失敗しました。次のバックアップ ジョブでは、残ったハードウェア スナップショットの削除が試行されます。詳細については、対応するバックアップ ログを参照してください。

現象

ハードウェア スナップショットの削除中にエラーが発生しました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20139

仮想ディスク <parameter> の HW スナップショットの作成中に、有効な Flex Clone ライセンスが見つかりませんでした。スナップ リストア/LUN クローンを使用して HW スナップショットを作成しようとしています。

現象

仮想ディスクの HW スナップショットの作成中に、有効な Flex Clone ライセンスが見つかりませんでした。スナップ リストア/LUN クローンを使用して HW スナップショットを作成しようとしています。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20140

仮想ディスク <parameter> の HW スナップショットの作成中に、有効な Flex Clone ライセンスが見つかりませんでした。バックアップ プロキシで設定されている場合、Microsoft NFS クライアントを使用しようとします。それ以外の場合は、ソフトウェア スナップショットにフォールバックします。

現象

仮想ディスクの HW スナップショットの作成中に、有効な Flex Clone ライセンスが見つかりませんでした。バックアップ プロキシで設定されている場合、Microsoft NFS クライアントを使用しようとします。それ以外の場合は、ソフトウェア スナップショットにフォールバックします。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラーメッセージ 20141

ノード [<parameter>]、セッション番号 [<parameter>] の復旧ポイントのチェックがキャンセルされました。

現象

復旧ポイントのチェックは、ユーザがキャンセルしました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラーメッセージ 20142

復旧ポイントのチェック結果：ボリューム： [<parameter>]、ファイルシステム： [<parameter>]、ボリュームの種類： [<parameter>]、スキップされました。

現象

復旧ポイントのチェックでボリュームがスキップされました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラーメッセージ 20143

ノード [<parameter>]、セッション番号 [<parameter>] の復旧ポイントのチェックがスキップされました。ゲスト OS に Windows がないか、ボリューム メタデータがバックアップされていません。

現象

VM に Windows ゲスト OS がないため、復旧ポイントのチェックで VM がスキップされました。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラーメッセージ 20144

警告：このバックアップ セッションは、アプリケーションレベルのリストアには使用できません。クライアント バージョンの Microsoft Windows オペレーティングシステムを実行している仮想マシンでは、VMware スナップショット テクノロジは、アプリケーションレベルのリストアを実行するために必要なアプリケーション メタデータを生成しません。アプリケーションレベルのリストアが必要で、リストにある Microsoft Windows オペ

レーティング システムのクライアント バージョンを実行している場合、ローカル エージェント バックアップを実行します。

現象

仮想マシンに Microsoft Windows オペレーティング システムのクライアント バージョンがあるため、VMware スナップショット テクノロジはアプリケーション メタデータを生成せず、アプリケーション レベルのリストアはサポートされません。

解決策

アプリケーション レベルのリストアが必要な場合は、エージェント ベースのバックアップを使用して VM を保護します。

エラー メッセージ 20145

静止 スナップショットの取得に失敗したため、ゲスト 静止なしでスナップショットを取得します。

現象

バックアップ ジョブは静止 スナップショットを取得できなかったため、ゲスト 静止なしでスナップショットを取得しました。

解決策

静止 オプションを使用して vSphere クライアントで手動でスナップショットを作成し、エラーを確認してください。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20146

仮想 ディスク <parameter> が最近追加されたか、仮想 ディスクの全体 サイズが変更されました。Host-Based VM Backup は、仮想 ディスクのフル バックアップを実行します。

現象

仮想 ディスクが新しく追加されたか、前回のバックアップ後にサイズが変更されました。したがって、バックアップではこの仮想 ディスクのフル バックアップが行われませんでした。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラーメッセージ 20147

ゲスト VM 認証情報が空です。そのため、Host-Based VM Backup は VM 内からスナップショット方式を設定する VM ゲスト操作を実行できません。コンソール UI を使用して認証情報を更新してください。

現象

VM ゲスト OS 認証情報が提供されなかったため、バックアップジョブで VM のスナップショット方式を設定できませんでした。

解決策

VM ノードを適切な管理者認証情報で更新していることを確認します。組み込み以外の管理者を使用している場合は、VM 内の UAC を無効にします。UAC を無効にする方法の詳細については、「UDP ソリューションガイド」を参照してください。

エラーメッセージ 20148

ESX サーバのバージョンは 4.x です。ただし、バージョン 1.13.3 以降の VIX がバックアッププロキシマシンにインストールされていません(必須)。そのため、Host-Based VM Backup は VM 内からスナップショット方式を設定する VM ゲスト操作を実行できません。

(廃止)

エラーメッセージ 20149

ESX サーバのバージョンは 4.x です。ただし、バージョン 1.13.3 以降の VIX がバックアッププロキシマシンにインストールされていません(必須)。その結果、Host-Based VM Backup は VM ゲスト操作を実行して VM 内でコマンドを実行することができません。

(廃止)

エラーメッセージ 20150

バックアップジョブは、「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式を使用するように設定されています。ただし、Host-Based VM Backup は必要なツールを VM に展開できなかったため、「VMware Tools」スナップショット方式のみが適用されません。

現象

バックアップ プランは「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式を使用するように設定されていますが、VM へのツールの展開に失敗したため、バックアップ ジョブでこのスナップショット方式を適用するように VM を設定できませんでした。

解決策

VM ノードを適切な管理者認証情報で更新していることを確認します。組み込み以外の管理者を使用している場合は、VM 内の UAC を無効にします。UAC を無効にする方法の詳細については、「UDP ソリューションガイド」を参照してください。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20151

バックアップ ジョブは「VMware Tools」スナップショット方式を使用するように設定されています。ただし、Host-Based VM Backup が VM からツールを展開解除できなかったため、「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式のみが適用されます。

現象

バックアップ プランは「VMware Tools」スナップショット方式を使用するように設定されていますが、VM は「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式で設定されており、バックアップ ジョブは VM にツールの展開を失敗したため、「VMware Tools」スナップショット方式を適用するように VM を再設定できませんでした。

解決策

VM ノードを適切な管理者認証情報で更新していることを確認します。組み込み以外の管理者を使用している場合は、VM 内の UAC を無効にします。UAC を無効にする方法の詳細については、「UDP ソリューションガイド」を参照してください。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20152

Host-Based VM Backup は、「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式に必要なツールを VM に展開できませんでした。

現象

バックアップ ジョブは、VM へのツールの展開に失敗したため、「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式を適用するように VM を設定できませんでした。

解決策

VM ノードを適切な管理者認証情報で更新していることを確認します。組み込み以外の管理者を使用している場合は、VM 内の UAC を無効にします。UAC を無効にする方法の詳細については、「UDP ソリューションガイド」を参照してください。または、詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラーメッセージ 20153

Host-Based VM Backup は、VM ゲスト内から現在のスナップショット方式を検出できませんでした。

現象

バックアップジョブで、VM に設定されたスナップショット方式の検出に失敗しました。

解決策

詳細については、バックアップジョブログを参照してください。

エラーメッセージ 20154

Host-Based VM Backup は、「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式のツールを展開解除して、VM 内から「VMware Tools」スナップショット方式を有効化できませんでした。

現象

バックアップジョブで、「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式を適用しないように VM を再設定できませんでした。

解決策

VM ノードを適切な管理者認証情報で更新していることを確認します。組み込み以外の管理者を使用している場合は、VM 内の UAC を無効にします。UAC を無効にする方法の詳細については、「UDP ソリューションガイド」を参照してください。または、詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20155

VM ゲスト操作が失敗しました。ESX/vCenter がエラーを報告しています：「<parameter>」。

現象

VM のゲスト OS への接続およびゲスト操作の実行中にエラーが発生しました。

解決策

VM ノードを正しい管理者認証情報で更新していることを確認します。組み込み以外の管理者を使用している場合は、VM 内の UAC を無効にします。UAC を無効にする方法の詳細については、「UDP ソリューションガイド」を参照してください。また、詳細については、バックアップジョブログを参照してください。

エラー メッセージ 20156

仮想 ディスク <parameter> は NFS データ ストアにあり、フル ディスクとしてバックアップされます。VMware は、NFS データ ストアにある使用済みディスクブロックを取得できません。ジョブがフルバックアップの場合、ディスク全体がバックアップセッションに含まれます。ジョブが増分バックアップの場合、変更されたデータブロックのみがバックアップセッションに含まれます。

現象

仮想 ディスクが NFS データストアに存在するため、バックアップ ジョブは仮想 ディスクのすべてのデータ ブロックのバックアップを実行しました。

解決策

VMware の制限により、仮想 ディスクが NFS データストアに存在する場合、UDP はフルバックアップ ジョブのときに仮想 ディスクのすべてのデータ ブロックを読み取りません。増分バックアップ ジョブの場合、変更されたデータ ブロックのみがバックアップされます。

エラー メッセージ 20157

バックアップ ジョブで、「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式のツールを展開/展開解除できません。VMware Tools が最新ではありません。

現象

VMware Tools が最新ではないため、バックアップ ジョブで、「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式を適用/適用解除するように VM を再設定できませんでした。

解決策

VM 内の VMware Tools をアップグレードします。

エラー メッセージ 20158

コマンド「<parameter>」がゲスト VM で開始されましたが、タイムアウト前に終了できません。

現象

実行前/実行後コマンドがタイムアウト前に終了できませんでした。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラーメッセージ 20159

1 つ以上の仮想ディスクが除外されているため、Host-Based VM Backup はアプリケーション関連情報を取得しません。

現象

バックアッププランが1 つ以上の仮想ディスクをバックアップジョブから除外するように設定されているため、アプリケーション情報は生成されませんでした。そのため、アプリケーションレベルのリストアは使用できません。

解決策

アプリケーションレベルのリストアが必要な場合は、バックアッププランを変更してディスク除外の設定を解除します。

エラーメッセージ 20160

ボリューム <parameter> をスキップしました。

現象

バックアップ関連ボリュームをスキップしました。

解決策

詳細については、バックアップジョブログを参照してください。

エラーメッセージ 20161

仮想マシンはテンプレートとして設定されているため、ジョブはフルバックアップになり、仮想ディスクはディスク全体としてバックアップされます。

現象

VM テンプレートの場合、バックアップジョブは仮想ディスクのデータブロック全体をバックアップしました。

解決策

これは、テンプレートバックアップの正常な動作です。

エラーメッセージ 20162

ファイルシステム <parameter>、ボリューム <parameter> のビットマップを取得できません。

現象

バックアップ ジョブが関連 ボリュームからファイルシステムのビット マップを取得できなかったため、この復旧ポイントから BMR を実行できません。

解決策

詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20163

アプリケーションは、ストレージ プールに構築されたボリュームのメタデータをバックアップしませんでした。そのため、これらのボリュームのファイルレベルのリストアは実行できません。

現象

バックアップ ジョブがストレージ プールに構築されたボリュームのボリューム メタデータを取得できなかったため、ファイルレベルのリストアはできません。

解決策

これは正常な動作です。

エラー メッセージ 20164

仮想 ディスク <parameter> は仮想 互換性 RAW デバイス マッピング(vRDM) ディスクとして設定され、フル ディスクとしてバックアップされます。VMware は、vRDM として設定されているディスクの使用済みブロックを取得できません。ジョブがフルバックアップの場合、ディスク全体がバックアップ セッションに含まれます。ジョブが増分バックアップの場合、変更されたデータ ブロックのみがバックアップ セッションに含まれます。

現象

仮想 ディスクが vRDM ディスクとして設定されているため、バックアップ ジョブは仮想ディスクのすべてのデータ ブロックのバックアップを実行しました。

解決策

VMware の制限により、vRDM として設定された仮想ディスクの場合、UDP はフルバックアップ ジョブのときに仮想ディスクのすべてのデータ ブロックを読み取ります。増分バックアップ ジョブの場合、変更されたデータ ブロックのみがバックアップされます。

エラー メッセージ 20165

「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式は使用できません。代わりに、「VMware Tools」スナップショット方式が使用されます。

現象

バックアッププランは「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式を使用するように設定されていますが、バックアップジョブはこのスナップショット方式を適用する VM の設定に失敗しました。そのため「VMware Tools」スナップショット方式が使用されます。

解決策

VM ノードを適切な管理者認証情報で更新していることを確認します。組み込み以外の管理者を使用している場合は、VM 内の UAC を無効にします。UAC を無効にする方法の詳細については、「UDP ソリューションガイド」を参照してください。または、詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20166

復旧ポイント <parameter> に「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式が使用されたため、アプリケーションのリストアをサポートできません。

現象

「Microsoft VSS inside VM」スナップショット方式を使用する場合、アプリケーションレベルのリストアは使用できません。

解決策

「VMware Tools」スナップショット方式を使用するようにバックアッププランを変更します。

エラーメッセージ 20167

ボリューム <parameter> の検証バックアップを実行します。前回のシステムシャットダウンが予期しないものであったか、リムーバブルデバイスが再接続されたためです。

現象

ボリュームの検証バックアップを実行します。前回のシステムシャットダウンが予期しないものであったか、リムーバブルデバイスが再接続されたためです。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20168

以前のバックアップに整合性のないデータが含まれているため、増分バックアップは検証バックアップに変換されます。

現象

以前のバックアップに整合性のないデータが含まれているため、増分バックアップは検証バックアップに変換されます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 20169

VM は別のバックアッププロキシによって保護されていますが、変更ブロックトラッキング(CBT)機能では許可されていません。

現象

VM は別のバックアッププロキシによって保護されていますが、変更ブロックトラッキング(CBT)機能では許可されていません。

解決策

プランとノードを確認してください。

エラー メッセージ 20170

一部のファイル/ディレクトリはバックアップされません。詳細については、バックアップログファイルを参照してください。

現象

一部のファイル/ディレクトリはバックアップがスキップされます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 20171

ハードウェアスナップショットに失敗しました。ソフトウェアスナップショットにフォールバックしています。

現象

ハードウェアスナップショットに失敗しました。ソフトウェアスナップショットにフォールバックしています。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20172

仮想ディスク <parameter> のサイズ変更されました。Host-Based VM Backup は、変更ブロックのトラッキング(CBT)機能をリセットし、検証バックアップを自動的に実行します。

現象

仮想ディスクのサイズが変更された場合、変更ブロックのトラッキング(CBT)機能がリセットされ、検証バックアップが自動的に実行されます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20173

システムをシャットダウンしています。

エラーメッセージ 20174

転送可能なスナップショットに失敗しました。ハードウェアスナップショットにフォールバックしています。

現象

転送可能なスナップショットに失敗しました。ハードウェアスナップショットにフォールバックしています。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20175

転送可能なスナップショットに失敗しました。ソフトウェアスナップショットにフォールバックしています。

現象

転送可能なスナップショットに失敗しました。ソフトウェアスナップショットにフォールバックしています。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラー メッセージ 20176

復旧ポイントのデスティネーション [<parameter>] のコピーに、以前にバックアップされたデータが含まれています。セッション番号は、古いバックアップ データにすでに適用されているセッションに基づいて割り当てられます。

現象

復旧ポイントのデスティネーションのコピーに、以前にバックアップされたデータが含まれています。

解決策

CRP は、既存のセッションに基づいてセッション番号を作成します。

エラー メッセージ 20177

バックアップ先 [<parameter>] に、以前にバックアップされたデータが含まれていません。セッション番号は、古いバックアップ データにすでに適用されているセッションに基づいて割り当てられます。

現象

バックアップ先に、以前にバックアップされたデータが含まれています。

解決策

バックアップ ジョブは、既存のセッションに基づいてセッション番号を作成します。

エラー メッセージ 20178

エージェントのアカウント [<parameter>] は無効です。

現象

アカウントが無効です。

解決策

指定したアカウントがシステムで有効かどうかを確認します。

エラー メッセージ 20179

このマシンのマスタ キーが一致しないため、キー マネージメントは無効です。

現象

キー マネージメントが無効です。キー マネージメント関連操作は失敗します。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、ジョブログを参照してください。

エラーメッセージ 20180

キー マネージメント データベースにセッション パスワードを追加できません。(セッション GUID=[<parameter>])。

現象

キー マネージメント データベースにセッション パスワードを追加できません。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、ジョブログを参照してください。

エラーメッセージ 20181

キー マネージメント データベースからセッション パスワードを削除できません。(セッション GUID=[<parameter>])

現象

キー マネージメント データベースからセッション パスワードを削除できません。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、ジョブログを参照してください。

エラーメッセージ 20182

ネットワーク アダプタ [<parameter>] がノード [<parameter>] で検出されました。その結果、このアダプタの TCP セグメンテーション オフロード (TSO) 機能 (別名 Large Send Offload) は、データ破損の可能性を避けるために無効になっています。

現象

ネットワーク アダプタがノードで検出されました。

解決策

TSO 機能は、既知のデータ破損の問題に基づいて、Intel(R) 82574 ネットワークアダプタで無効になります。

エラーメッセージ 20183

ネットワーク アダプタ [<parameter>] がノード [<parameter>] で検出されました。このアダプタはデータ破損を引き起こす可能性があります。この問題を回避するに

は、ネットワークアダプタを変更するか、アダプタのTCPセグメンテーションオフロード (TSO) 機能(別名 Large Send Offload)を手動で無効にします。

現象

ネットワークアダプタがノードで検出されました。

解決策

TSO機能は、既知のデータ破損の問題に基づいて、Intel(R) 82574 ネットワークアダプタで無効になります。

エラーメッセージ 20184

ネットワークアダプタの変更が検出されました: [<parameter>] メディアが切断されました。

現象

ネットワークアダプタが変更されました。

解決策

ネットワークアダプタが変更されます。

エラーメッセージ 20186

仮想マシン <parameter> の復旧ポイントのコピーに失敗しました。セッション番号 <parameter> の復旧ポイントには、ボリューム情報が含まれていません。

現象

復旧ポイントのコピーが失敗しました。

解決策

デバッグログを収集し、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 20187

バックアッププロキシサーバ <parameter> で、ボリューム <parameter> (Arcserve UDP エージェントがインストールされている) が空き容量のしきい値 <parameter> MB に達しました。容量を解放すると、バックアップが停止する可能性があります。

現象

容量しきい値の警告です。

解決策

さらにバックアップを実行するには、より多くの容量が必要です。容量を解放しないと、バックアップが停止する可能性があります。

エラーメッセージ 20190

メールボックス: <parameter> は、メールボックスのストレージ クォータ制限を超えています。一部のアイテムがリストアされない可能性があります。

現象

リストアジョブは未完了でした。

解決策

指定したメールボックスのストレージ クォータ制限を拡大します。

エラーメッセージ 20191

ディスク <parameter> は、<parameter> のローカルボリュームに存在するため削除できません。

現象

解決策

エラーメッセージ 20196

リストアジョブがキャンセルされました。

現象

リストアジョブがキャンセルされました。

解決策

リストアジョブがキャンセルされました。

エラーメッセージ 20197

リストアジョブは未完了です。

現象

リストアジョブは未完了でした。

解決策

リストアジョブは未完了でした。

エラー メッセージ 20198

デバイスを再度開いてみます。

現象

デバイスを再度開いてみます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを参照してください。

エラー メッセージ 20199

ファイルまたはディレクトリがスキップされました。スキップされたファイルまたはディレクトリは、<parameter> を参照してください。

現象

リストアジョブは未完了でした。一部のファイルまたはディレクトリをスキップしました。

解決策

詳細スキップリストのリストアジョブログを参照します。

エラー メッセージ 20200

ボリューム [<parameter>] を修復しています。復旧後にボリュームにアクセスできませんでした。ボリュームにエラーがある可能性があり、chkdsk.exe が起動してボリュームをスキャンします。chkdsk.exe がこのスキャンを完了する前に、コマンドコンソールウィンドウを閉じないでください。

現象

リストアされたボリュームにエラーがあります。

解決策

リストアされたボリュームで chkdsk.exe を手動で実行します。

エラー メッセージ 20201 ~ 20300

このセクションには、以下のエラーメッセージが含まれます。

エラーメッセージ 20201

ラベル付けされておらず、マウントされていないボリュームから元の場所へのファイルのリストアはサポートされていません。そのようなボリュームからリストア ファイルをスキップします。(ボリューム=[<parameter>])。

現象

リストアジョブは未完了でした。

解決策

ラベル付けされておらず、マウントされていないボリュームから元の場所へのファイルのリストアはサポートされていません。

エラーメッセージ 20214

Intel(R) 82574 ネットワーク アダプタが検出されました。このアダプタはデータ破損を引き起こす可能性があります。ネットワーク アダプタを変更するか、アダプタの TCP セグメンテーション オフロード (TSO) 機能 (別名 Large Send Offload) を手動で無効にします。

現象

これは、データ破損を検出する可能性のある危険なハードウェアを示しています。

解決策

メッセージが示すように、リスクを取り除きます。

エラーメッセージ 20215

Intel(R) 82574 ネットワーク アダプタが検出されました。このアダプタの TCP セグメンテーション オフロード (TSO) 機能 (別名 Large Send Offload) は、データ破損の可能性を避けるために無効になっています。

現象

これは、データ破損を検出する可能性のある危険なハードウェアを示しています。

解決策

リスクの高い機能は自動的に削除されました。手動の操作は必要ありません。

エラーメッセージ 20216

アプリケーションのリストアが完了していません。

現象

リストアは未完了でした。

解決策

詳細については、前のエラーメッセージを確認してください。

エラー メッセージ 20217

Microsoft Exchange Server メールボックス データベース: [<parameter>] はバックアップに含まれません。

現象

データベースのリストアがスキップされました。

解決策

リストアする現在のデータベースはバックアップされません。

エラー メッセージ 20218

Microsoft Exchange Server パブリック フォルダ データベース: [<parameter>] はバックアップに含まれません。

現象

パブリック フォルダのリストアがスキップされました。

解決策

リストアされる現在のパブリック フォルダはバックアップされません。

エラー メッセージ 20219

コンポーネント(論理パス=<parameter>、コンポーネント名=<parameter>) が見つかりません。

現象

データベース コンポーネントがスキップされました。

解決策

コンポーネントが存在するかどうかを確認します。

エラー メッセージ 20220

VSS コンポーネント [<parameter>] は、関連ボリューム [<parameter>] がこのバックアップの一部ではないため、バックアップには含まれません。

現象

アプリケーション コンポーネントのバックアップがスキップされました。

解決策

ボリュームにこのコンポーネントが含まれています。バックアップには含まれません。

エラーメッセージ 20221

VSS コンポーネント [<parameter>] は、関連するボリュームが存在しないため、バックアップには含まれません。

現象

アプリケーション コンポーネントのバックアップがスキップされました。

解決策

ボリュームにこのコンポーネントが含まれています。バックアップには含まれません。

エラーメッセージ 20222

リストア中のデータベース: [<parameter>] は、最新の復旧ポイントからのリストアまたはディスクへのリストアのいずれかで、バックアップ後に名前が変更されるか削除されます。

現象

単なる通知メッセージです。

解決策

ユーザが操作する必要はありません。

エラーメッセージ 20223

リストア中のストレージグループ: [<parameter>] は、最新の復旧ポイントからのリストアまたはディスクへのリストアのいずれかで、バックアップ後に名前が変更されるか削除されます。

現象

単なる通知メッセージです。

解決策

ユーザが操作する必要はありません。

エラーメッセージ 20224

Exchange ライタは無効になっています。Exchange サーバ全体はバックアップされません。

現象

Exchange ライタはバックアップされませんでした。

解決策

Exchange をバックアップする場合、Exchange ライタ サービスのステータスを確認します。

エラー メッセージ 20225

Exchange Information Store サービスが実行されていません。アクティブなデータベースはバックアップされません。

現象

アクティブなデータベースはバックアップされませんでした。

解決策

Exchange Information Store サービスを確認します。

エラー メッセージ 20226

Exchange Replication サービスが実行されていません。レプリケートされたデータベースはバックアップされません。

現象

レプリケートされたデータベースはバックアップされません。

解決策

Exchange Replication サービスを確認します。

エラー メッセージ 20227

コンポーネントが選択されていないため、ライタ(名前=[<parameter>]、ID=[<parameter>]) は除外されます。

現象

Exchange ライタはバックアップされませんでした。

解決策

バックアップ対象のコンポーネントが選択されていないか、コンポーネントはスキップされます。

エラー メッセージ 20228

プロバイダは、この時点でリクエストを実行できませんでした。これは一時的な問題である可能性があります。<parameter> 秒後に再試行してください。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

詳細については、イベント ログを確認してください。このメッセージの原因の1つは、ソース ボリューム(64 TB 以上) である可能性があります。このサイズは、VSS スナップショット機能の Microsoft の制限を超えています。ボリューム上のデータで可能な場合、Microsoft Disk Management から 63.9 TB 未満のパーティション サイズにボリュームを縮小すると VSS スナップショットが機能します。

エラー メッセージ 20229

プロバイダが予期しないエラーコードを返しました。これは一時的な問題である可能性があります。 <parameter> 秒後に再試行してください。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

詳細については、イベント ログを確認してください

エラー メッセージ 20230

ボリュームのスナップショット ストレージ領域に十分な空き容量がありません。スナップショット ストレージ領域は、バックアップを続行するために別のボリュームに切り替えられます。(ストレージ容量 = [<parameter>]、ボリューム名 = [<parameter>]) 。

現象

バックアップ ジョブが失敗しました。

解決策

スナップショット用の十分な空き容量がありません。ボリュームの空き容量を増やします。

エラー メッセージ 20231

アプリケーション保護機能がライセンスされていないため、アプリケーション バックアップはスキップされます。

現象

アプリケーションはバックアップされませんでした。

解決策

アプリケーション リストアのライセンスがありません。ライセンスを取得すると、この問題が解決します。

エラー メッセージ 20232

Oracle VSS ライタ サービス「<parameter>」がインストールされていないため、Oracle データベース「<parameter>」はバックアップをスキップします。バックアップする場合は、ライタをインストールし、実行中であることを確認してください。

現象

データベースはバックアップされませんでした。

解決策

記載のサービスをインストールします。

エラー メッセージ 20233

Oracle VSS ライタ サービス「<parameter>」は自動的に開始し、Oracle データベース「<parameter>」をバックアップします。

現象

単なる通知メッセージです。

解決策

ユーザが操作する必要はありません。

エラー メッセージ 20234

Oracle VSS ライタ サービス「<parameter>」は、Oracle データベース「<parameter>」バックアップを完了するために起動する必要があります。

現象

バックアップは失敗しました。

解決策

記載のサービスを起動します。

エラー メッセージ 20235

Exchange ストレージ グループ/データベース [<parameter>] は Active Directory に存在しないため、元の場所へのリストアはスキップされます。

現象

データベースまたはストレージ グループのリストアがスキップされました。

解決策

仕様による動作です。リストアするには、リストアする前にデータベースまたはストレージ グループを作成してください。

エラー メッセージ 20236

Microsoft Exchange ストレージ グループ/データベース <parameter> の元の場所へのリストアはスキップされます。マウント ステータスにあり、[リストア前にデータベースをマウント解除し、リストア後にデータベースをマウントする]オプションがオフになっています。

現象

データベースはリストアされませんでした。

解決策

リストアジョブのサブミット時に、[リストア前にデータベースをマウント解除し、リストア後にデータベースをマウントする]チェック ボックスをオンにします。

エラー メッセージ 20237

Microsoft Exchange ストレージ グループ/データベース [<parameter>] の元の場所へのリストアはスキップされます。マウント ステータスにあり、[リストア前にデータベースをマウント解除し、リストア後にデータベースをマウントする]オプションがオフになっています。

現象

データベースはリストアされませんでした

解決策

リストアジョブのサブミット時に、[リストア前にデータベースをマウント解除し、リストア後にデータベースをマウントする]オプションをオンにします。

エラー メッセージ 20238

SQL サーバは Windows XP ではサポートされていないため、スキップされます。

現象

SQL は Windows XP ではサポートされていません

解決策

仕様による動作です。

エラー メッセージ 20239

ライター「<parameter>」は、エラー ステータスのため、バックアップ処理中にスキップされました。

現象

ライターのバックアップがスキップされます。

解決策

コマンド「vssadmin list writers」でライターの状態を確認し、イベント ログで詳細を確認します。

エラー メッセージ 20240

ボリュームのスナップショット ストレージ領域が NTFS ボリュームにありません。スナップショット ストレージ領域は、バックアップを続行するために別のボリュームに切り替えられます。(ストレージ容量=[<parameter>]、ボリューム名=[<parameter>]) 。

現象

単なる通知メッセージです。

解決策

ユーザが操作する必要はありません。

エラー メッセージ 20241

スナップショットを作成中です。一度に実行できるスナップショット作成操作は1つのみです。<parameter> 秒後に再試行してください。

現象

単なる通知メッセージです。

解決策

ユーザが操作する必要はありません。

エラー メッセージ 20242

SQL ライター サービスがインストールされていません。SQL サーバはバックアップをスキップします。SQL サーバをバックアップする場合は、SQL ライターをインストールし、実行中であることを確認してください。

現象

SQL ライターのバックアップがスキップされました。

解決策

SQL ライタ サービスをインストールして有効にします。

エラーメッセージ 20243

SQL ライタ サービスが自動的に開始し、SQL Server をバックアップします。

現象

単なる通知メッセージです。

解決策

ユーザが操作する必要はありません。

エラーメッセージ 20244

SQL バックアップを完了するには、sqlwriter サービス「<parameter>」を開始する必要があります。

現象

SQL バックアップが失敗しました。

解決策

記載のサービスを起動します。

エラーメッセージ 20245

サービスを開始できません。(EC=[<parameter>]、サービス名=[<parameter>]) 。

現象

リストアは未完了でした。

解決策

詳細については、イベント ログを確認してください。

エラーメッセージ 20246

システムは、I/O 書き込みを保持できませんでした。これは一時的な問題が原因である可能性があります。<parameter> 秒後に再試行してください。

現象

バックアップが失敗する可能性があります。

解決策

詳細については、イベント ログを確認してください。

エラー メッセージ 20247

ライタから再試行可能な問題が報告されました。<parameter> 秒後に再試行してください。数回再試行してもライタがエラーを返し続ける場合は、ライタをホストしているサービスを再起動してみてください。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

記載のサービスを再起動します。

エラー メッセージ 20248

アプリケーション保護機能のライセンスがないため、ライタはこのバックアップジョブからスキップされました。(ライタ名=[<parameter>])。

現象

ライタのバックアップがスキップされます。

解決策

アプリケーション リストアのライセンスがありません。ライセンスを取得すると、この問題が解決します。

エラー メッセージ 20249

<parameter> のセッションをロックできませんでした(詳細情報: <parameter>)。セッションは、<parameter> ジョブ、コンピュータ名: <parameter>、プロセス ID: <parameter> ですすでにロックされています。

現象

セッションのロックに失敗しました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、ジョブ ログを参照してください。

エラー メッセージ 20250

Microsoft Exchange Information Store サービスが実行状態ではありません。

現象

ジョブが失敗しました。

解決策

Microsoft Exchange Information Store サービスを開始します。

エラー メッセージ 20251

ファイルのリストアをスキップします。(ファイル [<parameter>])。

現象

ファイルのリストアをスキップします。

解決策

ファイルはスキップ リストにあるか、システム属性があります。

エラー メッセージ 20252

ディレクトリのリストアをスキップします。(ディレクトリ [<parameter>])。

現象

ディレクトリのリストアをスキップします。

解決策

ディレクトリはスキップ リストにあるか、システム属性があります。

エラー メッセージ 20253

最適化されたリストアを実行します。リストア ジョブが完了したら、リストアされたデータにアクセスする前に、データ デデュプリケーション機能をインストールします。ソース ボリューム <parameter>、デスティネーション ボリューム <parameter>。

現象

フル ボリューム リストアを続行しますが、データ デデュプリケーション機能がインストールされていないと、ファイルにアクセスできません。

解決策

リストア ジョブの完了後にデータ デデュプリケーション機能を有効にします。

エラー メッセージ 20254

NTFS 以外のボリュームへの暗号化ファイル [<parameter>] のリストアをスキップします。

現象

NTFS 以外のボリュームへの暗号化ファイルのリストアをスキップします。

解決策

暗号化されたファイルは、NTFS 以外のボリュームではサポートされていません。

エラー メッセージ 20270

システムの制限として、ファイル [<parameter>] は、ReFS ボリュームにリストアされると圧縮属性を失います。

現象

ReFS ボリューム上のファイル圧縮属性は失われます。

解決策

ReFS ボリュームは圧縮機能をサポートしません。NTFS ボリュームにリストアしてみてください。

エラー メッセージ 20271

システムの制限として、ファイル [<parameter>] は、NTFS ボリュームにリストアされると整合性属性を失います。

現象

NTFS ボリュームでは、ファイル整合性属性が失われます。

解決策

NTFS ボリュームは整合機能をサポートしません。ReFS ボリュームにリストアしてみてください。

エラー メッセージ 20272

代替データストリームファイル [<parameter>] 名前付きファイルの NTFS 以外のボリュームへのリストアをスキップします。

現象

NTFS 以外のボリュームでは、代替データストリームが失われます。

解決策

NTFS ボリュームのみが代替データストリームをサポートします。このファイルを NTFS ボリュームにリストアしてみてください。

エラー メッセージ 20273

[<parameter>] の拡張属性データの NTFS 以外のボリュームへのリストアをスキップします。

現象

NTFS 以外のボリュームでは、拡張データストリームが失われます。

解決策

NTFS ボリュームのみが拡張データストリームをサポートします。このファイルを NTFS ボリュームにリストアしてみてください。

エラーメッセージ 20274

ハード リnk: [<parameter>] の復旧をスキップします。ハード リnkを回復する方法については、製品ドキュメントを参照してください。

現象

ハード リnkの復旧をスキップします。

解決策

ハード リnkを手動でリストアするには、製品ドキュメントを参照してください。

エラーメッセージ 20275

ログファイル [<parameter>] を参照すると、カタログでスキップされたファイルのリストを確認できます。

現象

ログファイルを参照すると、カタログでスキップされたファイルのリストを確認できません。

解決策

ログファイルを参照すると、カタログでスキップされたファイルのリストを確認できません。

エラーメッセージ 20276

セッションがパージされたため、カタログ ジョブはスキップされます。

現象

セッションがパージされたため、カタログ ジョブはスキップされます。

解決策

パージ ジョブを確認してください。

エラーメッセージ 20277

ボリュームがファイルコピーソースであるかどうかを判断するためのボリューム <parameter> の確認に失敗しました。ファイルコピーは無効になります。

現象

ボリュームがファイルコピーソースであるかどうかを判断するためのボリュームの確認に失敗しました。ファイルコピーは無効になります。

エラー メッセージ 20278

ボリュームがファイルコピーソースであるかどうかを判断するためのボリューム <parameter> (マシン <parameter>) の確認に失敗しました。ファイルコピーは無効になります。

エラー メッセージ 20279

カタログ ジョブがキャンセルされました。

現象

カタログ ジョブがキャンセルされました。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20280

現在のジョブ スクリプトが無効です。(セッションが無効です)

現象

現在のジョブ スクリプトが無効です。(セッションが無効です)

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20281

セッションのマージはスキップされます。これらのセッションはページされた可能性があります。

現象

セッションのマージはスキップされます。これらのセッションはページされた可能性があります。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20282

失敗したセッションのマージはスキップされます。これらのセッションはパージされた可能性があります。

現象

失敗したセッションのマージはスキップされます。これらのセッションはパージされた可能性があります。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20283

デデュプリケーション有効ボリューム <parameter> のカタログ ファイルの生成がスキップされます。

現象

デデュプリケーション有効ボリュームのカタログ ファイルの生成がスキップされます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップジョブログを確認してください。

エラーメッセージ 20284

ボリューム <parameter> はデデュプリケーション有効ボリュームのため、ファイルコピーはこのボリュームをスキップします。

現象

ボリュームはデデュプリケーション有効ボリュームのため、ファイルコピーはこのボリュームをスキップします。

解決策

このボリュームをコピーする場合は、デデュプリケーションを無効にしてください。

エラーメッセージ 20285

ボリューム <parameter> はデデュプリケーション有効ボリューム(マシン <parameter>) のため、<parameter> はこのボリュームをスキップします

現象

デデュープ ボリュームのアーカイブ ジョブがスキップされました。

解決策

アーカイブ ソース パス リストにデデュープ ボリューム リストが含まれているかどうかを確認します。含まれる場合、アーカイブ ソース パス リストからデデュープ ボリューム パスを削除してください。

エラー メッセージ 20286

セッションが別の操作によってロックされているため、マージ セッションはスキップされます。復旧ポイントがマウントされているかどうかを確認し、マウント解除します。

現象

セッションが別の操作によってロックされているため、マージ セッションはスキップされます。

解決策

復旧ポイントがマウントされているかどうかを確認し、マウント解除します。

エラー メッセージ 20287

ReFS ボリューム <parameter> のカタログ ファイルの生成はスキップされます。

現象

ReFS ボリュームのカタログ ファイルの生成はスキップされます。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラー メッセージ 20288

ボリューム <parameter> は ReFS ボリュームのため、ファイルコピーはこのボリュームをスキップします。

現象

ボリュームは ReFS ボリュームのため、ファイルコピーはこのボリュームをスキップします。

解決策

根本原因については、内部エラーを参照してください。詳細については、バックアップ ジョブ ログを確認してください。

エラーメッセージ 20289

ボリューム <parameter> は ReFS ボリューム(マシン <parameter>) のため、<parameter> はこのボリュームをスキップします

現象

ReFS ボリュームのアーカイブ ジョブをスキップします。

解決策

アーカイブ ソース パス リストに ReFS ボリューム リストが含まれているかどうかを確認します。含まれる場合、アーカイブ ソース パス リストから ReFS ボリューム パスを削除してください。ファイルアーカイブ ジョブでは、ReFS ボリュームはサポートされません。

エラーメッセージ 20290

<parameter> はボリューム <parameter> (マシン <parameter>) ではサポートされません。

現象

アーカイブはボリュームをサポートしていません。

解決策

アーカイブ ジョブ設定で指定したソース パス リストを確認し、ReFS、デデュプリケーション、マウントしたボリューム パスが含まれているかどうかを確認し、存在する場合は、そのリストを削除します。サポートが必要な場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 20291

ページに失敗したエージェント ノードの総数: [<parameter>]。

現象

これは、失敗したエージェント ノードの総数です。

解決策

これらのノードのエラーの詳細については、他のアクティビティ ログまたはジョブ デバッグ ログを確認してください。

エラーメッセージ 20294

仮想ディスク [<parameter>] を開けませんでした。VMware VDDK エラーが発生しました。エラーメッセージ [<parameter>]。エラーコード [<parameter>]。

現象

VMware VDDK は、VSB が呼び出して .vmdk ファイルを開くと、エラーを報告します。

解決策

VMware サーバが有効な状態で実行されているかどうかを確認します。ネットワーク接続を確認します。レジストリで VDDK NBD モードを強制してみてください。次に、VSB ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 20295

仮想ディスク [<parameter>] の書き込みに失敗しました。VMware VDDK エラーが発生しました。エラー メッセージ [<parameter>]。エラーコード [<parameter>]。

現象

VMware VDDK は、VSB が呼び出して .vmdk ファイルを書き込むと、エラーを報告します。

解決策

VMware サーバが有効な状態で実行されているかどうかを確認します。ネットワーク接続を確認します。次に、VSB ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 20296

仮想ディスク [<parameter>] の書き込みに失敗しました。VMware VDDK エラーが発生しました。エラー メッセージ [<parameter>]。エラーコード [<parameter>]。再試行時間=[<parameter>]。

現象

VMware VDDK は、VSB が呼び出して .vmdk ファイルを書き込むと、エラーを報告します。

解決策

VSB で VDDK の書き込みを再試行します。

エラー メッセージ 20297

オフセット <parameter> でページを更新するためのデータのアップロード中に転送エラーが検出されました。アップロードを再試行します。

現象

Azure への仮想スタンバイ ジョブで、一時的なネットワーク/インターネット エラーにより、ページ BLOB 更新操作が失敗する可能性があります。

解決策

VSB で Azure の BLOB のページのアップロードを再試行します。

エラーメッセージ 20298

ファイル <parameter> は別の操作で使用されています。新しい仮想マシン復旧ジョブを開始します。

現象

ファイルは別のジョブで使用されています。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 20299

ディスクの作成後に物理ディスクのパーティションテーブルが変更されました。仮想マシンから物理ディスクを削除し、再度追加します。

現象

ディスクの作成後に物理ディスクのパーティションテーブルが変更されました。

解決策

VMware VDDK によってエラーが報告されました。ジョブを再度試します。エラーが解決されない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 20300

変更されたブロックのトラッキングが、仮想マシンスナップショットが存在する状態で有効化されました。フルバックアップには、仮想マシンの VMDK ファイルに含まれる使用済みおよび未使用のデータブロックが含まれるようになります。

現象

変更されたブロックのトラッキングが、仮想マシンスナップショットが存在する状態で有効化されました。フルバックアップには、仮想マシンの VMDK ファイルに含まれる使用済みおよび未使用のデータブロックが含まれます。

解決策

このエラーは、VMware CBT の制限です。VM のすべてのスナップショットを削除し、CBT を再度リセットします。

エラー メッセージ 20301 ~ 20400

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 20301

仮想マシン スナップショットが存在するときに変更ブロックのトラッキングが有効化された場合、VMware はフルバックアップに使用されたデータブロックを取得できません。

現象

仮想マシン スナップショットが存在するときに変更ブロックのトラッキングが有効化された場合、VMware はフルバックアップに使用されたデータブロックを取得できません。

解決策

このエラーは、VMware CBT の制限です。VM のすべてのスナップショットを削除し、CBT を再度リセットします。

エラー メッセージ 20302

ボリューム [<parameter>] のファイルシステムは [<parameter>] で、チェック ディスクではサポートされていません。

現象

チェックディスク ツールは、保護されたマシンの指定したボリュームのファイルシステムをサポートしていません。エラーが報告されます。

解決策

AR ジョブは、そのボリュームのチェック ディスク ツールの実行をスキップします。

エラー メッセージ 20307

仮想マシン設定が保存されているパス <parameter> は、クラスタ内のストレージ場所へのパスまたはクラスタに追加できるストレージ場所へのパスではありません。この仮想マシンの可用性を高めるには、このストレージ場所がクラスタ内のすべてのノードで利用可能であることを確認してください。

現象

スタンバイ VM 設定のストレージ場所は、クラスタ内のすべてのノードで使用できるわけではありません。スタンバイ VM はクラスタ内で高可用性ではありません。

解決策

クラスタ内のすべてのノードで使用可能なパスを選択し、インスタント VM ジョブを再起動します。

エラーメッセージ 20308

<parameter> (「<parameter>」) : データ デデュプリケーション容量がフル容量に達しました。メモリサイズまたは SSD サイズを増やしてデータ デデュプリケーション容量を拡張してください。

現象

デデュプリケーション データ ストアのハッシュ役割がフル容量に達しました。

解決策

メモリサイズまたは SSD サイズを増やしてデータ デデュプリケーション容量を拡張します。

エラーメッセージ 20309

<parameter> (「<parameter>」) : データ デデュプリケーション容量がフル容量の <parameter>%% に達しました。メモリサイズまたは SSD サイズを増やしてデータ デデュプリケーション容量を拡張してください。

現象

デデュプリケーション データ ストアのハッシュ役割がフル容量の特定の割合に達しました。

解決策

メモリサイズまたは SSD サイズを増やしてデータ デデュプリケーション容量を拡張します。

エラーメッセージ 20310

<parameter> (「<parameter>」) : 設定されたメモリサイズが物理メモリの合計よりも大きくなっています。後でメモリ不足になる可能性があります。

現象

使用可能な物理メモリが不足しているため、メモリ構成に基づいて指定されたデータストアをサポートできません。

解決策

メモリを増やすか、指定されたデータストアのメモリ要件の設定を変更します。

エラー メッセージ 20311

データストア [<parameter>] は、通常の UDP ジョブを実行するためにビジー状態です。ページとディスク再利用の現在のサイクルでの中断時間の合計は、アクティブな通常の UDP ジョブにより [<parameter>] 日を超えています。UDP ジョブを再スケジュールしてデータストアの負荷を軽減するか、コマンドラインツール #as_gddmgr.exe -Purge Start# を実行して、ページを同時に有効にします。ページを並行して実行すると、通常の UDP ジョブのスループットが低下する可能性があることに注意してください。

現象

指定されたデータストアのジョブのペイロードが高いため、ページとディスク再利用が長時間中断されています。これによって古いデータがデータストアに蓄積し、予想より多くのディスク容量を占有する可能性があります。

解決策

UDP ジョブを再スケジュールしてデータストアの負荷を軽減するか、コマンドラインツール #as_gddmgr.exe -Purge Start# を実行して、ページを同時に有効にします。ページを並行して実行すると、通常の UDP ジョブのスループットが低下する可能性があることに注意してください。

エラー メッセージ 20312

データストア [<parameter>] は、通常の UDP ジョブを実行するためにビジー状態です。ページとディスク再利用の現在のサイクルでの中断時間の合計は、アクティブな通常の UDP ジョブにより [<parameter>] 日を超えています。並列ページが自動的に有効になり、古いデータブロックのディスク容量を解放できるようになりました。ページを並行して実行すると、通常の UDP ジョブのスループットが低下する可能性があることに注意してください。

現象

指定されたデータストアのジョブのペイロードが高いため、ページとディスク再利用が長時間中断されています。データストアに古いデータが蓄積されるのを避けるため、ページは通常の UDP ジョブと並行して有効になっています。

解決策

ページを並行して実行すると、通常の UDP ジョブのスループットが低下する可能性があるため、データストアの負荷を軽減するために UDP ジョブを再スケジュールすることをお勧めします。

エラーメッセージ 20313

ファイル/ディレクトリ<<parameter>> をスキップします。パスが長すぎます。

現象

ジョブは未完了でした。

解決策

仕様による動作です。一部のファイルがスキップされます

エラーメッセージ 20314

以前のリリースからの既存のアクティビティ ログメッセージが <parameter> 検出されました。これらは現在のアクティビティ ログ データベースにはインポートされません。インストール後にインポートするには、Arcserve サポートにお問い合わせください。

現象

UDP アップグレード後にアクティビティ ログが完全にインポートされません。

解決策

インストール後にログをインポートするには、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 20315

ファイルをスキップします。(ファイル=[<parameter>])。<parameter>

現象

ジョブは未完了でした。

解決策

仕様による動作です。リストアの競合オプション設定とオンライン ヘルプを確認し、リストア中にスキップされるファイルを確認します。

エラーメッセージ 20316

RAID/ストライプ ボリュームにはディスクごとに複数のディスク エクステントがあるため、ファイルレベルのリストアは(ボリューム=[<parameter>]) ではサポートされていません。

現象

ジョブは未完了でした。

解決策

仕様による動作です。復旧ポイントをマウントしてリストアを試行します。

エラー メッセージ 20317

システムファイルはスキップされました。必要な場合、ベアメタル復旧 (BMR) オプションを使用してリストアできます。

現象

ジョブは未完了でした

解決策

仕様による動作です。一部のファイルがスキップされます。BMR でこれらのファイルをリストアします。

エラー メッセージ 20318

ディレクトリ<parameter> の作成に失敗しました。エラー メッセージ: <parameter>

現象

インスタント VM では、復旧サーバに複数のフォルダを作成する必要があります。ディレクトリの作成に失敗しました。

解決策

Windows から返されたエラーコードを参照します。親フォルダに、サブフォルダを作成する適切なユーザ権限があるかどうかを確認します。または、他のフォルダを親フォルダとして選択します。インスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 20319

データストア [<parameter>] のマウント解除に失敗しました。エラーコード: <parameter>。エラー メッセージ: <parameter>。

現象

データストアのマウント解除に失敗しました。

解決策

指定した NFS データストアが非アクティブである場合、IVM はマウント解除して新しいデータストアを再作成しようとします。VMWare サーバからのエラーメッセージを参照します。アクティブでない NFS データストアを手動でマウント解除するか、インスタント VM が新しい NFS データストアを作成するように他のパスを選択します。インスタント VM ジョブを再起動します。

エラーメッセージ 20320

ハートビート検出の頻度がタイムアウト値を超えています。タイムアウト値と同じ頻度に設定します。

現象

ハートビート検出の頻度がタイムアウト値を超えています

解決策

インスタント VM ジョブは、内部的に検出頻度をタイムアウト値に設定します。

エラーメッセージ 20321

ハートビートの検出頻度が0秒以下です。デフォルトで頻度を [<parameter>] に設定します。

現象

ハートビートの検出頻度はゼロより大きくなければなりません。それ以外の場合には、エラーが報告されます。

解決策

インスタント VM ジョブは、検出頻度をデフォルト値に設定します。

エラーメッセージ 20322

<parameter> を挿入できませんでした。

現象

挿入できませんでした。ドライバを VM に挿入している間に、インスタント VM ジョブは復旧サーバから VM の仮想ディスクにいくつかのファイルをコピーする必要があります。コピーが失敗すると、エラーが報告されます。

解決策

インスタント VHD に基づいてアシュアード リカバリジョブを実行し、バックアップセッションのブート ボリュームにデータ破損がないことを確認します。復旧サーバでインストールファイルが誤って削除されていないかどうかを確認します。

エラーメッセージ 20323

プロキシサーバがサポートするファイルシステムのバージョンがソースファイルシステムと互換性がないため、誤検出の警告が表示される場合があります。ソースノードと一致する OS バージョンのプロキシサーバを使用してください。

現象

プロキシ サーバがサポートするファイルシステムのバージョンがソース ファイルシステムと互換性がないため、誤検出の警告が表示される場合があります。復旧サーバがファイルシステムをサポートしていない場合、警告が報告されます。

解決策

OS が保護されたマシンのファイルシステムをサポートしている他のマシンを復旧サーバとして使用します。次に、アシュアード リカバリジョブを再起動します。

エラー メッセージ 20324

選択したディスクコントローラは NVME コントローラですが、ソース マシンのオペレーティングシステムにネイティブの NVMe ドライバがありません。オペレーティングシステムがブート可能でない可能性があります。

現象

選択したディスクコントローラは NVME コントローラです。しかし、ソース マシンのオペレーティングシステムには、ネイティブの NVMe ドライバがありません。オペレーティングシステムがブート可能でない可能性があります。

解決策

保護対象マシンの OS がサポートできる他のディスクコントローラを選択します。

エラー メッセージ 20325

データストア [<parameter>] と NFS 共有 [<parameter>] は非アクティブ状態です。マウント解除してください。

現象

NFS 共有のあるデータストアは非アクティブ状態です。

解決策

非アクティブな NFS データストアにはアクセスできません(読み取り/書き込み)。インスタント VM ジョブは自動的にマウント解除し、新しい VM を作成します。

エラー メッセージ 20326

ダイナミックブート ディスクはドライバの挿入時に実行されないため、リモートデスクトップから仮想マシンにアクセスできるとは限りません。ターミナルサービスが実行中で、ファイアウォールが TCP ポート 3389 を許可していることを確認してください。

現象

インスタント VM ジョブでは、ドライバの挿入を実行するためにダイナミックディスクをマウントできません。ターミナルサービスがアクティブ化されていない場合、または

ファイアウォールでポートが設定されていない場合、ユーザはリモート デスクトップからスタンバイ VM にアクセスできません。

解決策

仮想マシンのステータスを確認するには、ターミナルサービスをアクティブにし、保護対象マシンにファイアウォールを正しく設定してください。

エラーメッセージ 20327

ターゲット ESX(i) ホスト [<parameter>] は存在しません。その結果、クラスタ [<parameter>] のランダムな ESX(i) ホストが選択されます。

現象

ESXi ホストがクラスタに存在しない場合。インスタント VM ジョブは、ランダムに1つを選択します。

解決策

インスタント VM ジョブは ESXi ホストを自動的に選択します。

エラーメッセージ 20328

CPU 数 [<parameter>] は、ハイパーバイザ [<parameter>] でサポートされている最大数を超えています。CPU 数は [<parameter>] の最大値に自動的に変更されません。

現象

CPU 数は、ハイパーバイザでサポートされている最大数を超えています。

解決策

インスタント VM ジョブは、スタンバイ VM の CPU 数をハイパーバイザがサポートする最大数に自動的に設定します。

エラーメッセージ 20329

CPU 数 [<parameter>] は無効です。CPU 数は [<parameter>] の最小値に自動的に変更されます。

現象

CPU 数が無効です。

解決策

インスタント VM ジョブを開始し、CPU 数を 0 または負の数に設定すると、警告が報告されます。インスタント VM ジョブは、CPU 数を自動的に 1 に設定します。

エラー メッセージ 20330

メモリサイズ [<parameter>] が最大メモリサイズ [<parameter>] (ハイパーバイザ [<parameter>]) を超えています。

現象

メモリサイズがハイパーバイザの最大メモリサイズを超えています。

解決策

インスタント VM ジョブがスタンバイ VM の電源をオンにしようとします。失敗した場合は、スタンバイ VM のメモリサイズを減らし、電源の再投入を再試行します。

エラー メッセージ 20331

メモリサイズ [<parameter>] が無効です。メモリサイズは自動的に [<parameter>] MB の値に変更されます。

現象

メモリサイズが無効です。

解決策

インスタント VM ジョブを開始し、メモリサイズを 0 または負の数に設定すると、警告が報告されます。インスタント VM ジョブは、メモリサイズを自動的に 1 GB に設定します。

エラー メッセージ 20332

ターゲット ハイパーバイザ [<parameter>] は、ソース マシン [<parameter>] のオペレーティング システムをサポートしていません。

現象

ターゲット ハイパーバイザは、ソース マシンのオペレーティング システムをサポートしていません。

解決策

指定した OS をサポートできる他のハイパーバイザを試してください。

エラー メッセージ 20333

仮想マシン名 [<parameter>] はすでに存在します。名前 [<parameter>] を代わりに使用します。

現象

仮想マシン名はすでに存在します。

解決策

インスタント VM は、スタンバイ VM の新しい名前を作成します。

エラーメッセージ 20334

ターゲット リソースプール [<parameter>] は存在しません。その結果、デフォルトのリソースプールが自動的に選択されます。

現象

インスタント VM ジョブが、VMware サーバの設定されたリソースプールが存在しないことを検出しました。

解決策

代わりに、インスタント VM はデフォルトのリソースプールを選択します。

エラーメッセージ 20335

Windows 7 以降のクライアント Hyper-V は、ホスト マシン <parameter> のインスタント VM によって禁止されておらず、正式にサポートもされていません。テスト結果はユーザの責任で管理してください。

現象

Windows 7 以降のクライアント Hyper-V は、ホスト マシンで禁止されておらず、正式にサポートされていません。テスト結果はユーザの責任で管理してください。

解決策

ターゲットのハイパーバイザが Windows 7 以降のクライアント OS で実行されている場合、警告が報告されます。代わりに、Hyper-V のサーババージョンを選択します。

エラーメッセージ 20336

ソースマシンのブート ファームウェアは EFI です。そのため、レガシー ネットワークアダプタをサポートしない第 2 世代仮想マシンは Hyper-V サーバに作成されます。その結果、レガシー ネットワークアダプタは通常のネットワークアダプタに変更されます。

現象

保護対象マシンのシステムボリュームが UEFI パーティションである場合、インスタント VM は UEFI をサポートするために第 2 世代仮想マシンを選択する必要があります。ただし、第 2 世代の仮想マシンはレガシー NIC をサポートできません。

解決策

インスタント VM は、レガシー NIC ではなく通常の NIC を選択します。

エラー メッセージ 20337

ディレクトリ<parameter> の削除に失敗しました。

現象

ディレクトリの削除に失敗しました。

解決策

スタンバイ VM を停止した後、インスタント VM ジョブは自身で作成した一時ディレクトリを削除しようとします。Windows から返されたエラーコードを参照します。一時ディレクトリを手動で削除します。

エラー メッセージ 20338

システム ボリュームまたはブート ボリュームがダイナミック ディスクにあるため、ドライバの挿入操作はキャンセルされます。

現象

インスタント VM ジョブは、動的仮想ディスクをマウントしてドライバを挿入できません。ジョブがダイナミック ディスクにシステム ボリュームまたはブート ボリュームを検出すると、警告を報告します。

解決策

インスタント VM は、ドライバの挿入を自動的にスキップします。

エラー メッセージ 20339

統合サービスの ISO ファイル [<parameter>] は存在しません。インスタント VM [<parameter>] の開始後は、インストールされません。手動でインストールするには、Microsoft Windows Hyper-V ドキュメントを参照してください。

現象

インスタント VM ジョブが HyperV でスタンバイ VM を開始する場合、スタンバイ VM に HyperV 統合サービス ISO をマウントする必要があります。挿入されたサービスは ISO を読み取り、ドライバを自動的にインストールします。インスタント VM ジョブが ISO ファイルを実行できない場合、警告が報告されます。

解決策

「%Systemroot%\System32\vmguest.iso」ファイルが存在することを確認します。これは、Windows HyperV が提供するシステムファイルです。誤って削除してしまった場合は、他の HyperV マシンからコピーし、スタンバイ VM を再起動します。

エラーメッセージ 20340

Hyper-V 統合 サービスがソース マシンにインストールされていません。

現象

インスタント VM ジョブが Hyper-V 統合 サービスが仮想 マシンにインストールされていないことを検出すると、警告が報告されます。

解決策

インスタント VM ジョブは、サービスを自動的にインストールしようとします。それでも失敗する場合は、サービスを手動でインストールします。

エラーメッセージ 20351

メモリサイズは、2MB の倍数 (Hyper-V の場合) または 4MB (VMware の場合) である必要があります。その結果、メモリサイズは [<parameter>] MB に調整されました。

現象

メモリサイズは、2 MB の倍数 (Hyper-V の場合) または 4 MB (VMware の場合) である必要があります。

解決策

インスタント VM ジョブは、自動的に 2 MB の倍数 (Hyper-V の場合) または 4 MB (VMware の場合) を決定します。

エラーメッセージ 20352

現在のユーザアカウント <parameter> はドメイン アカウントではありません。その結果、クラスタ化された仮想 マシングループは作成されません。

現象

現在のユーザアカウントはドメイン アカウントではありません。

解決策

インスタント VM ジョブの開始時は、ユーザアカウントはドメイン アカウントではありません。ドメイン以外のアカウントは、クラスタ化された仮想 マシングループの作成には使用できません。ドメイン アカウントを使用して、クラスタ化された仮想 マシングループを作成します。

エラー メッセージ 20353

ボリューム <parameter> の現在の空き容量は [<parameter> GB] です。その結果、仮想マシン内で仮想ディスクがいっぱいになった場合、すべての仮想ディスク [<parameter> GB] とメモリスワップファイル [<parameter> GB] を保存するための十分な容量がない可能性があります。

現象

仮想マシン内で仮想ディスクがいっぱいになった場合、すべての仮想ディスクとメモリスワップファイルを保存するための十分な容量がありません。

解決策

スタンバイ VM が実行されているときに、スタンバイ VM によって更新または生成されたディスクデータは、ユーザが指定したボリュームのディスク容量を占有します。スタンバイ VM の仮想ディスクを含む、より大きなサイズの別のボリュームを選択し、インスタント VM ジョブを再起動します。

エラー メッセージ 20358

Exchange Online サーバに接続できませんでした。ネットワークに接続できないか、認証情報が無効です。

現象

Microsoft によって基本認証がすでに無効化されているため、UDP ソースの作成手順で UDP 9.0 は 365 テナントを正しく認識しません。

解決策

UDP に追加する新しいソースには、先進認証のみが推奨されます。

注： Microsoft が基本認証を完全に終了する前の移行フェーズまで、UDP 9.0 では従来の 365 ソースを保護するために基本認証を引き続きサポートします。

エラー メッセージ 20359

SharePoint Online Server に接続できません。

現象

1. プロキシ エージェントが SharePoint Online Server に接続できません。
2. SharePoint Online ノードの追加時に認証情報が無効です。
3. UDP コンソールの SharePoint Online ノードに存在する 1 つ以上の項目が SharePoint Online サーバから削除されました。

解決策

1. この問題は、ネットワーク障害が原因で発生する場合があります。UDP プロキシ エージェントからサイト コレクションの URL にアクセスして、ネットワークの可用性を確認します。
2. アカウントが無効であるかパスワードが正しくないため、SharePoint Online ノードの追加中に入力された認証情報は無効と見なされます。解決するには、UDP プロキシ エージェントからサイト コレクションの URL にアクセスし、UDP コンソールで使用されているのと同じ認証情報を使用して SharePoint Online をバックアップします。以前に認証情報が変更されている場合は、UDP コンソールで SharePoint Online ノードを最新の認証情報で更新します。
3. SharePoint Online サーバから削除された項目が、UDP コンソールの SharePoint Online プランからも削除されていることを確認します。プランから削除するには、削除したアイテムを選択せずに SharePoint Online ノードとプランを開いて保存します。

エラーメッセージ 20360

「WaitForManualCheck」スイッチが有効になっています。検証が完了したら、スイッチを無効にします。

現象

レジストリスイッチが有効な場合、アシュアード リカバリジョブは完了しません。

解決策

アシュアード リカバリジョブを続行するには、レジストリスイッチを無効にします。

エラーメッセージ 20361

前回のバックアップ後にディスクが変更されたか、新規に追加されたため、ボリューム [<parameter>] をフルに変換しています。

現象

正常です

解決策

何も行う必要はありません。

エラーメッセージ 20362

シンボリックリンク/マウント ポイントをスキップしました。詳細については、バックアップ ログ ファイル [<parameter>] を参照してください。

現象

シンボリックリンク/マウント ポイントをスキップしました。

解決策

詳細については、バックアップ ログ ファイル [%1!s!] を参照してください。%0

エラー メッセージ 20363

クラスタ共有 ボリューム [<parameter>] の物理的な場所をフェッチできませんでした。このボリュームはバックアップから除外されます。

現象

クラスタ共有 ボリュームをフェッチできません。CSV をバックアップできません。

解決策

クラスタ共有 ボリュームがすでにシステムに接続されているかどうかを確認します。

エラー メッセージ 20364

アプリケーションはシステム ボリューム <parameter> をバックアップしませんでした。ボリュームが存在する仮想 ディスクがバックアップされなかったためです。

現象

アプリケーションはシステム ボリューム %1!s! をバックアップしませんでした

解決策

ボリュームが存在する仮想 ディスクがバックアップされていません。回避策として、バックアップを実行します。

エラー メッセージ 20365

アプリケーションはボリューム <parameter> をバックアップしませんでした。ブート ボリュームが存在する仮想 ディスクがバックアップされなかったためです。

現象

アプリケーションはブート ボリューム %1!s! をバックアップしませんでした

解決策

ボリュームが存在する仮想 ディスクがバックアップされていません。回避策として、バックアップを実行します。

エラー メッセージ 20366

システム/ブート ボリュームを含む仮想 ディスクは、現在のバックアップ ジョブから除外されます。したがって、この復旧ポイントは、仮想スタンバイ、インスタント VM、

アシュアード リカバリ、およびベアメタル復旧には使用できません。

現象

システム/ブート ボリュームを含む仮想ディスクは、現在のバックアップジョブから除外されます。その結果、復旧ポイントは、仮想スタンバイ、インスタント VM、アシュアード リカバリ、およびベアメタル復旧には使用できません。

解決策

仮想ディスクがバックアップジョブに含まれているかどうかを確認します。

エラーメッセージ 20367

デスティネーション ボリュームがマウント解除されます。

現象

正常です

解決策

特定のシーンでログを確認する必要があります。

エラーメッセージ 20368

デスティネーションボリュームがいっぱいです。

現象

正常です。

解決策

特定のシーンでログを確認する必要があります。

エラーメッセージ 20369

Arcserve Cloud でレプリケーション ジョブがキャンセルされました。

現象

正常です。

解決策

<productname> の動作ステータスを調べるには、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20371

セッション <parameter> のカタログ ファイルのみ Cloud Hybrid ストアにレプリケートされます。

カタログ ファイルのみが Arcserve クラウドにレプリケートされます。

エラー メッセージ 20372

同じ Cloud Hybrid ストアのノードに対して別のジョブが実行されています。

現象

新しいレプリケーション ジョブは開始されませんでした。

解決策

このノードの別のレプリケーション ジョブがすでに実行中です。既存のレプリケーション ジョブを完了させてから、新しいレプリケーション ジョブを再度サブミットします。

エラー メッセージ 20373

Arcserve Cloud でセッションをロックできませんでした。

現象

レプリケーション デスティネーション セッションをロックできません。

解決策

<product name> のレプリケーション設定を確認します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください

エラー メッセージ 20374

Arcserve Cloud で認証プロセスが失敗しました。

現象

認証エラーです。レプリケーション ジョブを実行できません。

解決策

<product name> のレプリケーション設定を確認します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20375

スナップショットは、仮想マシンのファイルシステムを静止させずに取得されます。その結果、このスナップショットは、ゲスト ファイルシステムの整合性のある状態を示

することができません。仮想マシンの電源がオフになっている場合、または NGT (Nutanix ゲスト ツール) が有効ではなく、CVM との通信が利用できない場合、静止フラグは無視されます。

現象

この警告は、特に VM にクラッシュ整合性をとるようにレジストリ設定を行った場合に表示されます

解決策

レジストリキーを無効にして、アプリケーション整合性のあるスナップショットを作成します。

エラーメッセージ 20376

ディスク [%1!s!] (%2!s! %3!d!) は、バックアップから除外されます。

現象

この警告は、ユーザがバックアップ用にディスクを除外するようにプランで設定した場合に表示されます。

解決策

プランの VM の設定を変更して、バックアップのディスクを含めます。

エラーメッセージ 20377

仮想マシンのアプリケーション整合性のあるスナップショットを取得できません。スナップショットをクラッシュ整合性に変換しています。

現象

この警告は、仮想マシンのアプリケーション整合性のあるスナップショットの取得に失敗した場合に表示されます。したがって、バックアップはクラッシュ整合性のあるスナップショットを使用します

解決策

Nutanix ゲスト ツールが VM にインストールされているかどうかを確認してください。CVM と VM 間の通信リンクがアクティブで、アプリケーション整合性のあるスナップショットを使用してバックアップします。

エラーメッセージ 20378

復旧した仮想マシンの電源をオンにできません。[%1!s!]

現象

この警告は、復旧した VM の電源オンに失敗した場合に表示されます。

解決策

アクティビティ ログでエラー メッセージを確認してください。クラスターで手動で VM の電源をオンにしてください。それでも問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20379

iSCSI クライアントとしてプロキシをボリューム グループから切断できませんでした。

現象

この警告は、ボリューム グループが存在しない場合、またはクライアントがボリューム グループに接続されていない場合に表示されます。ボリューム グループの削除中に再試行します。

解決策

ボリューム グループが存在しない場合、失敗する可能性があります。バックアップ用に作成されたボリューム グループを削除しないでください。ボリューム グループの削除中に再試行します。

エラー メッセージ 20380

データストア「%1s!」のハッシュ データベースがないため、再構築を開始していません。%0

現象

ハッシュフォルダがない場合、管理 サービスはハッシュ データベースの再構築を開始します。

解決策

操作は自動的に実行され、データストアの起動後にハッシュ データベースが生成されます。

エラー メッセージ 20401 ~ 20500

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 20401

DISM コマンドを実行して [%1s!] を挿入できません。エラー メッセージ [%2s!]。終了コード [%3!d!]。%0。

現象

仮想スタンバイジョブが DISM コマンドを実行できないため、ドライバの挿入が失敗します。

解決策

仮想スタンバイ モニタの DISM コマンド エラーを修正します。

エラーメッセージ 20403

ストレージ容量が不足しているためリストアできません。%0

現象

ディスクの空き容量が不足しているため、リストアジョブが失敗しました。

解決策

ディスクの空き容量を増やすか、ストレージを拡張します。詳細については、ジョブログを参照してください。

エラーメッセージ 20404

Nutanix ゲスト ツール/NGT がインストールされていません。%0

現象

Nutanix ゲスト ツール/NGT ステータスを取得できません。

解決策

その時点で VM と CVM 間の通信リンクが無効になっていないかどうかを確認します。Nutanix クラスタ管理者にお問い合わせください。

エラーメッセージ 20405

NGT (Nutanix ゲスト ツール) は有効ですが、実行/インストールされていません。%0

現象

VM で Nutanix ゲスト ツールが有効になっていて、VM と CVM 間の通信リンクが無効になっている場合、警告が表示されます。

解決策

仮想マシンに NGT ツールがインストール/実行されていない場合、VM と CVM 間の通信リンクを無効にできます。VM と CVM 間で他の通信問題が発生した可能性があります。Nutanix クラスタ管理者にお問い合わせください

エラー メッセージ 20406

ゲスト VM 認証情報が空です。そのため、実行前チェック、実行前コマンド、アプリケーションレベルのリストア/ログ切り捨てなどの操作は、このノードでは機能しません。コンソール UI を使用して認証情報を更新してください。

現象

VM ゲスト OS の認証情報が提供されていないため、バックアップ ジョブは、VM と通信してアプリケーションのリストアをサポートするために VM 内のアプリケーションの詳細をフェッチできませんでした。

解決策

VM ノードを適切な管理者認証情報で更新していることを確認します。組み込み以外の管理者を使用している場合は、VM 内の UAC を無効にします。UAC を無効にする方法の詳細については、「UDP ソリューションガイド」を参照してください。

エラー メッセージ 20407

クライアントで SMB マルチチャネル機能が有効になっているため、サーバ %1!s! (ネットワーク インターフェース %2!d!) に制約が追加されました。%0

現象

バックアップ ジョブが、クライアントで SMB マルチチャネル機能が有効になっている場合に警告メッセージを報告し、ネットワーク インターフェース インデックスを持つサーバに制約を追加します。

解決策

このメッセージは、データ転送に専用ネットワークを使用するジョブ オプションが選択されたことを示します。新しい SMBMultichannel 制約がプロキシ マシンでバックアップ ジョブによって定義され、バックアップ ジョブが終了するまで制約が保持されます。

エラー メッセージ 20408

ファイル: [%1!s!] を読み取れません。エラー: [%2!s!]。%0

現象

カタログ ファイルを読み取れません。

解決策

詳細については、ログを参照してください。

エラーメッセージ 20501 ~ 20600

このセクションには、以下のエラーメッセージが含まれます。

エラーメッセージ 20501

アカウント %2!s! のドライブ %1!s! のメタデータのバックアップが完了しましたが、警告があります。バックアップ項目: %3!s!、未完了 %4!s!、失敗: %5!s!。%0

現象

一部のファイルのメタデータがバックアップされないため、バックアップドライブは未完了です。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 20502

アカウント %1!s! のメタデータのバックアップが完了しましたが、警告があります。バックアップ項目: %2!s!、未完了 %3!s!、失敗: %4!s!。%0

現象

一部のドライブのメタデータがバックアップされないため、バックアップアカウントは未完了です。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 20503

%1!s! アカウントをバックアップしましたが、警告があります。バックアップ済み: %2!s!、未完了: %3!s!、失敗: %4!s!、ファイルの合計サイズ: %5!s!

現象

一部のファイルまたはメタデータのバックアップが失敗したため、バックアップは未完了です。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 20504

メタデータのバックアップが完了していません。%0

現象

メタデータのバックアップは未完了です。一部のドライブ/ファイルのメタデータが失敗した可能性があります。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20505

AFRES_AFBKDL_ONEDRIVE_WARNING_END_BACKUP_FILES_INCOMPLETE.%0

現象

一部のファイルがバックアップされないため、バックアップ ファイルは未完了です。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20506

ユーザ %2!s! のドライブ %1!s! を削除しましたが、警告があります。削除済み: %3!s!、未完了: %4!s!、未削除: %5!s!。%0

現象

アカウントのドライブの削除に失敗しました。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20507

アカウント %1!s! を削除しましたが、警告があります。削除済みファイル/フォルダ: %2!s!、未完了: %3!s!、失敗: %4!s!。%0

現象

アカウントの削除が未完了です。一部のドライブ/ファイルが削除されない場合があるためです。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20508

アカウント %1!s! のバックアップが完了しましたが、警告があります。バックアップ済みファイル: %2!s!、未完了: %3!s!、失敗: %4!s!、転送サイズ: %5!s!。%0

現象

一部のファイルがバックアップされていないため、アカウントのバックアップが未完了です。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 20509

アカウント %2!s! のドライブ %1!s! のバックアップが完了しましたが、警告があります。バックアップ項目: %3!s!、未完了: %4!s!、失敗: %5!s!。%0

現象

一部のファイルがバックアップされていないため、アカウントのドライブのバックアップが未完了です。

解決策

再度バックアップするか、ログと共にサポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 20510

アプリケーションの権限を確認し、アプリケーションが登録されているかどうかを確認します。アプリケーションに権限を与え、サーバ時間が正しいことを確認します。%0

現象

アカウント リソースにアクセスする権限がありません。

解決策

Azure AD でアプリケーションの権限を確認します。

エラーメッセージ 20511

仮想ディスクサイズが %1!s! から %2!s! に変更されたため、フルバックアップに変換しています。%0

現象

仮想ディスクのサイズが前回のバックアップセッションと異なる場合、ジョブはフルジョブに変換されます。

解決策

これは単なる情報です。

エラー メッセージ 20512

RPS サーバ%1!s! の SMB マルチ チャネル制約の定義に失敗しました。%0

現象

RPS サーバの SMB マルチ チャネル制約の定義に失敗したため、バックアップ ジョブが警告メッセージを報告しました。

解決策

Microsoft SMBMultichannel サービスがプロキシ/エージェント マシンでサポートされ、有効になっていることを確認してから、再試行してください。

エラー メッセージ 20513

Microsoft SMBMultichannel サービスは、現在の Windows バージョンではサポートされていません。バックアップ ジョブは、SMBMultichannel の制約を定義せずに続行します。%0

現象

Microsoft SMBMultichannel サービスは現在の Windows バージョンではサポートされていないため、バックアップ ジョブが警告メッセージを報告しました。バックアップ ジョブは、SMBMultichannel に制約を定義せずに続行します。

解決策

Microsoft SMBMultichannel サービスは、一部のバージョンの Windows ではサポートされていません。これは、Microsoft の制限事項です。

エラー メッセージ 20514

Nutanix Data IP サービスに複数のデータ IP を設定することはできません。このバックアップ ジョブのネットワーク設定の指定は無効になります。%0

現象

Nutanix Data IP サービスに複数のデータ IP を設定できないため、バックアップ ジョブが警告メッセージを報告しました。このバックアップ ジョブのネットワーク設定の指定は無効です。

解決策

AHV 仮想 マシン バックアップトラフィックで指定されたネットワーク機能の使用を有効にするには、バックアップ プロキシと Nutanix クラスタ ISCSI データ サービスの両方が同じネットワークで設定されている必要があります。

エラー メッセージ 20515

ACL を使用してファイルをリストアすると、エラーが発生します。ACL オプションを指定せずにリストアしてください。%0

現象

ACL を使用してファイルをリストアすると、エラーが発生します。

解決策

ACL オプションを指定せずにリストアしてください。

エラー メッセージ 20516

以前のバックアップ スナップショットがクラスタに存在しないため、増分バックアップは検証バックアップに変換されます。%0

現象

VM の以前のスナップショットがクラスタから削除されると、増分バックアップ ジョブは検証バックアップに変換されます。スナップショットは、ノードがプランから削除されたとき、またはユーザの他のアクションにより、製品によって削除される場合があります。

解決策

増分バックアップを実行するために、サードパーティのバックアップ スナップショットがクラスタから削除されていないことを確認します。

エラー メッセージ 20700

UDP コンソールでストレージ アレイを設定して、データストア %1!s! にある仮想ディスクのハードウェア スナップショットを利用します。サポートされるストレージ アレイの最新リストについては、「互換性マトリックス」を参照してください。%0

現象

バックアップ ジョブが失敗します。このメッセージは、

1. ハードウェア スナップショットを使用したバックアップが失敗した場合に、ソフトウェア スナップショットにフォールバックしないようにレジストリ設定を行います。
2. ストレージ アレイを設定していない、ストレージ アレイの詳細が正しく設定していない、または UDP でサポートされていないストレージ アレイを設定しています。

解決策

1. UDP によるハードウェア スナップショットでストレージ アレイがサポートされているかどうかを確認します。
2. ストレージ アレイの詳細がコンソールで設定されているかどうかを確認します。設定されている場合は、指定した詳細が正しいかどうかを確認します。それでも問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20701 ~ 20800

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 20701

仮想マシン上の仮想ディスク(UUID %1!s!) で使用または変更されたブロックを識別できません。すべてのブロックのバックアップを実行しています。%0

現象

仮想マシンの使用/変更ブロックの情報の取得に失敗したため、すべてのデータブロックがバックアップされます。

解決策

バックアップジョブを再実行します。問題が解決しない場合は、Arcserve サポートにお問い合わせください。

エラー メッセージ 20702

バックアップ先 [%1!s!] が RPS [%2!s!] と同じマシンにないため、ネットワークの指定を無効にします。

現象

バックアップ先が RPS と同じマシンにないため、指定したネットワークをサポートしません。

解決策

バックアップ先と RPS は同じマシンにある必要があります。

エラー メッセージ 20703

IP: %1!s! 経由で RPS サーバに接続できません。RPS へのアクセスに [%2!s!] を使用します。

現象

指定したネットワーク経路で RPS サーバに接続できないため、バックアップジョブが警告メッセージを報告しました。引き続き、利用可能なネットワークの IP アドレスを使用して RPS に接続します。

解決策

エージェントレスプロキシ/エージェント マシンと RPS マシン間で、指定したネットワーク接続が利用可能であることを確認します。

エラーメッセージ 20704

指定したネットワーク範囲に ESX の IP が見つかりませんでした。したがって、ネットワーク経路でジョブを続行し、VM のインポートを許可します。%0

現象

バックアップジョブは、VM がインポートされるネットワークで続行されます。このフォールバックは、指定したネットワーク範囲に ESX への管理 IP がいないために発生しました。

解決策

指定したネットワーク範囲内の ESX に管理 IP を設定し、バックアップジョブのサブミットを再試行します。

エラーメッセージ 20705

VM は vCenter からインポートされましたが、VMDK IO の特定の IO ネットワークに適切な ESXi IP が見つかりません。ただし、vCenter %1!s! が選択した ESXi ネットワークを使用してバックアップを続行します。vCenter のネットワーク指定機能はサポートされていません。%0

現象

バックアップジョブは、VM がインポートされるネットワークで続行されます。このフォールバックは、指定したネットワーク範囲に vCenter への管理 IP がいないために発生しました。

解決策

指定したネットワーク範囲内の vCenter に管理 IP を設定し、バックアップジョブのサブミットを再試行します。

エラーメッセージ 20706

ブロックレベルのボリュームリストアがキャンセルされました。デスティネーションボリュームデータが破損している可能性があります。%0

現象

ブロックレベルのボリューム リストアがキャンセルされました。デスティネーション ボリューム データが破損している可能性があります。

解決策

デスティネーション ボリュームを手動でフォーマットします。

エラー メッセージ 20707

Hyper-V サーバ [%2!s!] の指定されたネットワーク [%1!s!] から IP を取得できませんでした。%0

現象

Hyper-V/Hyper-V クラスタ マシンの指定されたネットワークから IP アドレスを取得できなかったため、バックアップ ジョブが警告 メッセージを報告しました。

解決策

指定したネットワーク接続が Hyper-V/Hyper-V クラスタとエージェントレス プロキシ マシン間で利用可能であることを確認します。

エラー メッセージ 20708

オペレーティング システムが検出されないため、ファイルレベルのリストアは実行できません。環境を確認してください。%0

現象

保護されている VM の OS が Windows であっても、Windows 以外の OS として識別されます。したがって、ファイルレベルのリストアは実行できません。

解決策

このアクティビティ ログは、問題が VM 内の何らかの環境問題によって発生したことをお客様に確認するものです。これは、お客様の問題の 1 つとして認識されており、弊社の環境では再現できません。そのため、現在利用可能なソリューションはありません。

エラー メッセージ 20709

Web [%2!s!] のリスト [%1!s!] はアサート リストです。スキップします。%0

現象

アサート リストをスキップします。

解決策

アサート リストをスキップします。

エラーメッセージ 20710

Web [%2!s!] のリスト [%1!s!] はアプリケーション リストです。スキップします。%0

現象

アプリケーション リストをスキップします。

解決策

アプリケーション リストをスキップします。

エラーメッセージ 20711

Web [%2!s!] のリスト [%1!s!] はシステム リストです。スキップします。%0

現象

システム リストをスキップします。

解決策

システム リストをスキップします。

エラーメッセージ 20712

サイト [%1!s!] のリソースにアクセスする権限がありません。%0

現象

現在のユーザには権限がないため、サイトをロードできません。

解決策

サイトの権限リストにユーザを変更または追加します。

エラーメッセージ 20713

Web [%1!s!] のリソースにアクセスする権限がありません。%0

現象

現在のユーザには権限がないため、サイトをロードできません。

解決策

サイトの権限リストにユーザを変更または追加します。

エラーメッセージ 20714

Web [%1!s!] のサブ Web にアクセスする権限がありません。%0

現象

現在のユーザには権限がないため、サイトのサブサイトをロードできません。

解決策

サイトの権限リストにユーザを変更または追加します。

エラー メッセージ 20715

Web [%1!s!] のサブリストにアクセスする権限がありません。%0

現象

現在のユーザには権限がないため、サイトのサブリストをロードできません

解決策

サイトの権限リストにユーザを変更または追加します。

エラー メッセージ 20716

Web [%2!s!] のリスト [%1!s!] にアクセスする権限がありません。%0

現象

現在のユーザには権限がないため、リストをロードできません。

解決策

サイトの権限リストにユーザを変更または追加します。

エラー メッセージ 20717

予期しない例外エラーが発生しました。メッセージ: [%1!s!]。%0

現象

何らかの例外が発生しました。

解決策

メッセージを参照し、必要に応じて Arcserve サポートにお知らせください。

エラー メッセージ 20718

ファイル [%1!s!] の書き込みに失敗しました。ディスクがいっぱいです。ディスクの空き容量を増やしてください。%0

現象

ディスクがいっぱいです。

解決策

ディスクの空き容量を増やします。

エラー メッセージ 25000 ~ 25100

このセクションには、以下のトピックが含まれます。

エラー メッセージ 25000

<parameter> のマージ ジョブを実行できません。別のジョブが実行中です。

現象

別のジョブが現在のノードですでに実行されているため、マージ ジョブを開始できませんでした。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25001

<parameter> のマージジョブを実行できません。別のジョブがすぐに実行されます。

現象

別のジョブが現在のノードに対して実行されようとしているため、マージ ジョブを開始できませんでした。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25002

フェールオーバーが実行中です。現在の仮想スタンバイ ジョブをスキップします。

現象

フェールオーバーが実行されているため、仮想スタンバイ ジョブはスキップされます。

解決策

スタンバイ VM の電源をオフにし、仮想スタンバイ ジョブを再開します。

エラー メッセージ 25003

アシュアード リカバリジョブ [<parameter>] が実行中のため、このジョブをスキップします。新しい使用可能なセッションは、アシュアード リカバリジョブ [<parameter>] でチェックされます。

現象

アシュアード リカバリ ジョブはスキップされます。

解決策

何も行う必要はありません。ジョブは次回実行されます。

エラー メッセージ 25004

ノードの以前のプランの展開が成功していません。

現象

ノードの以前のプランの展開が成功しなかったため、アシュアード リカバリ ジョブはスキップされます。

解決策

プランを再展開し、アシュアード リカバリ ジョブを手動で実行します。

エラー メッセージ 25005

ノードのプラン設定は、正常に展開されずに変更されました。

現象

現在のプランの展開が成功せずに変更されたため、アシュアード リカバリ ジョブはスキップされます。

解決策

プランを再展開し、アシュアード リカバリ ジョブを手動で実行します。

エラー メッセージ 25006

ノードは現在のプランで保護されていません。

現象

ノードがプランで保護されていないため、アシュアード リカバリ ジョブを実行できません。

解決策

ノードの現在のプランを再展開し、アシュアード リカバリ ジョブを手動で実行します。

エラー メッセージ 25007

データストアが停止しているため、アシュアード リカバリ ジョブはキャンセルされません。

現象

データストアが停止したため、アシュアード リカバリジョブがキャンセルされました。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25008

ユーザのアクションにより、アシュアード リカバリジョブがキャンセルされます。

現象

アシュアード リカバリジョブは、ユーザによってキャンセルされました。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25009

ソースノード [<parameter>] は現在別のプランで保護されているか、プランが展開せずに変更されています。アシュアード リカバリジョブはスキップされ、現在のアシュアード リカバリ設定は自動的に割り当て解除されます。このノードのプランを再展開してください。

現象

現在の設定が古いため、アシュアード リカバリジョブはスキップされます。

解決策

プランを再展開します。

エラー メッセージ 25010

ターゲット ハイパーバイザ <parameter> は、ソースマシン [<parameter>] のオペレーティングシステムをサポートしていません。アシュアード リカバリジョブを確実に成功させるには、ハイパーバイザをアップグレードするか、ターゲット ハイパーバイザをソースマシンのオペレーティングシステムをサポートするものに変更します。

現象

アシュアード リカバリジョブが失敗しました。

解決策

現在のハイパーバイザは、ソースノードのオペレーティングシステムをサポートしていません。別のハイパーバイザに切り替えます。

エラー メッセージ 25011

プラン [<parameter>] は一時停止しています。アシュアード リカバリジョブがスキップされました。

現象

プランが一時停止されているため、アシュアード リカバリはスキップされます。

解決策

プランを再開すると、次のバックアップまたはレプリケーション ジョブが完了したときにアシュアード リカバリジョブがトリガされます。

エラー メッセージ 25012

Windows アシュアード リカバリは Windows 以外のノード [<parameter>] をサポートしません。このノードの展開を自動的に解除します。

現象

Windows アシュアード リカバリは Windows 以外のノードをサポートしません。このノードの展開を自動的に解除します。

解決策

Windows アシュアード リカバリタスクは Windows 以外のノードをサポートしません。

エラー メッセージ 25014

プランの展開に失敗しましたが、自動的に再展開されます。

現象

プランの展開に失敗しました。

解決策

プランを手動で再展開します。

エラー メッセージ 25015

プランの展開が失敗し、自動的に再展開できません。

現象

プランの展開に失敗しました。

解決策

プランを手動で再展開します。

エラーメッセージ 25016

プランは変更され、自動的に再展開されます。

現象

プランが変更されました。

解決策

プランを手動で再展開します。

エラーメッセージ 25017

プランの展開が失敗し、自動的に再展開できません。

現象

プランが変更されました。

解決策

プランを手動で再展開します。

エラーメッセージ 25018

プランは自動的に割り当て解除されます。

現象

プランが削除されました。

解決策

何も行う必要はありません

エラーメッセージ 25021

データストアが変更されたため、<parameter> ジョブはキャンセルされます。

現象

データストアが変更されたため、ジョブはキャンセルされます。

解決策

データストアの変更時にジョブをキャンセルします。

エラーメッセージ 25022

データストアが削除されたため、<parameter> ジョブはキャンセルされます。

現象

データストアが削除されたため、ジョブはキャンセルされます。

解決策

データストアの削除時にジョブをキャンセルします。

エラー メッセージ 25023

データストアが停止したため、<parameter> ジョブはキャンセルされます。

現象

データストアが停止されたため、ジョブはキャンセルされます。

解決策

データストアの停止時にジョブをキャンセルします。

エラー メッセージ 25027

保留中の<parameter> ジョブは<parameter> でキャンセルされます。

現象

保留中のジョブは待機キューからキャンセルされます。

解決策

エラー メッセージ 25028

「<parameter>」をモニタするハートビートを実行できませんでした。

現象

モニタ サーバへのハートビートをトリガできません。

解決策

モニタ サービスが実行中で、ホストが正しい状態であることを確認します。

エラー メッセージ 25030

vSphere VM「<parameter>」をモニタ「<parameter>」から登録解除できません。

現象

ネットワークの問題により、モニタ サーバのVM のハートビートを登録解除できません。

解決策

これは、仮想スタンバイタスクの展開解除時に発生します。警告は無視しても問題ありません。

エラーメッセージ 25031

登録されていないため、ノード <parameter> の変換をスキップします。

現象

変換ノードが登録されていません。

解決策

これらのモニタ IP アドレスが接続可能かどうかを確認します。

エラーメッセージ 25032

このジョブはフルバックアップに変換され、新しい復旧セットの開始ポイントとして設定されます。

現象

このジョブはフルバックアップに変換され、新しい復旧セットの開始ポイントとして設定されます。

解決策

フルバックアップに変換され、新しい復旧セットの開始ポイントとして設定されません。

エラーメッセージ 25033

<parameter> (データストア「<parameter>」) には、指定したバックアップデータを保存するのに十分な空き容量/メモリがありますが、最大容量に近づいています。

現象

データストアのステータスが正常ではありません。

解決策

データストアの空き容量を確認します。

エラーメッセージ 25038

サーバ [<parameter>] のネットワークアダプタを追加できません。

現象

サーバのネットワークアダプタを追加できません。

解決策

アダプタを手動で追加し、エラーメッセージのプロンプトに従います。

エラー メッセージ 25039

vmguest.iso を <parameter> に接続できません。

現象

パッケージ vmguest.iso を仮想マシンに接続できません。

解決策

ツールのパスが有効かどうかを確認し、手動で接続して出力エラーメッセージを表示します。

エラー メッセージ 25040

HyperV ハンドラを開けませんでした。

現象

Hyper-V への操作をトリガして操作に失敗しました。

解決策

ログファイルに記録されているエラーメッセージに従います。

エラー メッセージ 25041

ブート ボリューム ディスク <parameter> にドライバを挿入できません。

現象

スナップショットにブート ボリュームが見つかりませんでした。

解決策

まず、ブート ボリュームがバックアップされていることを確認します。次に、例外を確認します。

エラー メッセージ 25042

ブート ボリューム ディスク <parameter> のマウントに失敗しました。

現象

ブート ボリューム ディスクが見つかりませんでした。

解決策

ブート ボリュームが変換またはバックアップされていることを確認し、バックアップ情報を参照します。

エラー メッセージ 25043

サーバ [<parameter>] のすべてのアダプタを削除できません。

現象

アダプタを削除できません。

解決策

ログ ファイルでエラー メッセージを参照し、アダプタを手動で削除してください。

エラー メッセージ 25044

サーバ [<parameter>] の HyperV VM が見つかりませんでした。

現象

仮想マシンが見つかりませんでした。

解決策

仮想マシンの存在を確認し、UDP ログファイルでエラーを参照します。

エラー メッセージ 25045

ネットワーク <parameter> (サーバ [<parameter>]) を指定できません。

現象

仮想ネットワークを指定できません。

解決策

仮想ネットワークが使用可能であることを確認します。

エラー メッセージ 25046

仮想マシン [<parameter>] のシャットダウンに成功しました。

現象

仮想マシンがシャットダウンされます。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25047

VMware Tools のバージョンが古くなっています。

現象

仮想マシンのVMware Tools のバージョンが古くなっています。

解決策

VMware vSphere または Web クライアントを使用して VMware ツールをアップグレードします。

エラー メッセージ 25048

VMware Tools がインストールされていないか、実行されていません。

現象

VMware Tools がインストールされていないか、実行されていません。

解決策

仮想マシンの VMware Tools を手動でインストールします。

エラー メッセージ 25049

ソースマシンは EFI パーティションから起動しています。そのため、レガシー ネットワークアダプタをサポートしない第 2 世代仮想マシンは Hyper-V サーバに作成されます。その結果、レガシー ネットワークアダプタは通常のネットワークアダプタに変更されます。

現象

ソースマシンは EFI パーティションから起動しています。レガシー ネットワークアダプタをサポートしない第 2 世代仮想マシンは Hyper-V サーバに作成されます。その結果、レガシー ネットワークアダプタは通常のネットワークアダプタに変更されます。

解決策

これは単なるメッセージです。何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25050

統合サービスの ISO ファイル [<parameter>] は存在しません。スタンバイ VM [<parameter>] の電源がオンになった後は、インストールされません。

現象

統合サービスパッケージの ISO ファイルが見つかりませんでした。

解決策

Webservice.log ファイルのログ ファイルで例外を探し、パッケージをポイントするパスが有効かどうかを確認します。

エラーメッセージ 25051

ファイルアーカイブ ジョブを実行できるセッションがありません。

現象

使用可能なセッションがないため、ファイルアーカイブ ジョブを開始できませんでした。

解決策

何も行う必要はありません

エラーメッセージ 25052

ファイルコピー ジョブを実行できるセッションがありません。

現象

使用可能なセッションがないため、ファイルコピー ジョブを開始できませんでした。

解決策

何も行う必要はありません。

エラーメッセージ 25053

すでに<parameter> ジョブ(<parameter>) が実行中の場合、新しくサブミットしたジョブは実行されません。

現象

別のジョブがすでに実行されているため、ジョブを開始できませんでした。

解決策

何も行う必要はありません。

エラーメッセージ 25054

データストア「<parameter>」は存在しません。その結果、<parameter> (<parameter>) は実行されません。関連プランに新しいデータストアを含めるよう変更してください。

現象

データストアが存在しないため、ジョブを開始できませんでした。

解決策

プランを変更して新しいデータストアを含めるか、開発者からサポートを受けてください。

エラー メッセージ 25055

RPS にノード情報がないため、アシュアード リカバリテストを実行できません。レプリケーションタスクが選択されている場合、レプリケーション ジョブをサブミットして再構築します。

現象

手動 AR ジョブを実行できません。

解決策

まずレプリケーション ジョブをサブミットし、次に AR ジョブをサブミットします。

エラー メッセージ 25056

復旧ポイントのマージは、<parameter> まで延期されます。

現象

マージ ジョブは、スケジュールされた時間より前に実行することはできません。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25057

<parameter> のマージ ジョブを実行できません。現在の時間がスケジュールされた時間範囲内にありません。

現象

時間範囲が原因でマージ ジョブを実行できません。

解決策

何も行う必要はありません

エラー メッセージ 25058

マージ ジョブが別のジョブで <parameter> 回中断されました。バックアップ設定をチェックして、マージ ジョブを完了するためにバックアップの間に十分な時間があることを確認します。

現象

マージ ジョブが別のジョブによって一時停止されました。

解決策

バックアップ設定を確認し、マージ ジョブを完了するための十分な時間があることを確認します。

エラー メッセージ 25059

データストアが変更または削除されるため、マージ ジョブは自動的に一時停止されます。

現象

データストアが変更または削除されるため、マージ ジョブは自動的に一時停止されます。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25060

データストアが変更され、マージ ジョブが自動的に一時停止されます。

現象

データストアが変更され、マージジョブが自動的に一時停止します。

解決策

何も行う必要はありません

エラー メッセージ 25061

データストアが削除され、マージ ジョブが自動的に一時停止されます。

現象

データストアが削除され、マージ ジョブが自動的に一時停止されます。

解決策

何も行う必要はありません

エラー メッセージ 25062

データストアが停止され、マージ ジョブが自動的に一時停止されます。

現象

データストアが停止され、マージ ジョブが自動的に一時停止されます。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25063

マージ ジョブは手動で一時停止されます。

現象

マージジョブは手動で一時停止されます。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25064

<parameter> ジョブが開始しようとしています。このマージ ジョブは停止します。

現象

マージ ジョブが別のジョブによって一時停止されました。

解決策

何も行う必要はありません

エラー メッセージ 25065

仮想スタンバイ ジョブを終了します(セッションなし)。

注: これは情報メッセージです。

エラー メッセージ 25066

スキップして、バックアップ セッションがブート可能バックアップで構成されているかどうかを確認します。スタンバイ仮想マシンを起動するには、セッション [<parameter>] のデータにブート ボリュームとシステム ボリュームが含まれている必要があります。

現象

スキップして、バックアップ セッションが、ブート ボリュームとシステム ボリュームを必ず含むブート可能バックアップで構成されているかどうかを確認します。

解決策

この問題は、レジストリキー「SkipCheckBackupSessionBootable」が有効になっているために発生します。無効にするには、値を0に変更します。

エラー メッセージ 25067

設定ファイル: <parameter> はセッション <parameter> に存在しません。スキップして、システム予約済みボリュームとブート ボリュームが含まれているかどうかを確認します。

現象

このセッションの adrconfigure.xml ファイルが見つからないため、スキップして、バックアップセッションが、ブート ボリュームとシステム ボリュームを必ず含むブート可能バックアップで構成されているかどうかを確認します。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25068

Arcserve HA シナリオは同期中です。変換ジョブはキャンセルされます。

注: このメッセージは廃止されました。

エラー メッセージ 25069

Arcserve HA シナリオの状態が不明であるため、変換ジョブはキャンセルされます。Arcserve HA シナリオが正常に実行されていることを確認します。

注: このメッセージは廃止されました。

エラー メッセージ 25070

仮想スタンバイジョブのキャンセルを開始しています。

現象

仮想スタンバイジョブをキャンセルしています。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25071

仮想スタンバイジョブが現在実行中です。仮想スタンバイ設定を削除する前にジョブがキャンセルされます。

注: このメッセージは廃止されました。

エラー メッセージ 25072

リソースプール [<parameter>] をリソースプール参照 [<parameter>] (ESX ホスト [<parameter>]) を使用して更新できませんでした。<parameter>

現象

リソースプールの更新中に仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

プランを変更し、新しいリソースプールを選択します。

エラー メッセージ 25073

ユーザ [<parameter>] は、このジョブを実行するための十分な権限がない可能性があります。管理者権限のあるユーザをお勧めします。

現象

VMware への権限が不足しているため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

十分な権限を持つ新しい VMware アカウントを指定します。

エラー メッセージ 25074

リソースプール [<parameter>] をリソースプール参照 [<parameter>] (ESX ホスト [<parameter>]) を使用して取得できませんでした。仮想スタンバイ プランを正しいリソースプールで更新します。

現象

リソースプールの選択中に仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

プランを変更し、新しいリソースプールを選択します。

エラー メッセージ 25075

現在のジョブで仮想スタンバイ ジョブを作成する次のセッションの取得に失敗しました。利用可能なセッションは、次の仮想スタンバイ ジョブ中に変換されません。

現象

新しいセッションの選択中に仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

新しいバックアップ ジョブを再 サブミットします。

エラー メッセージ 25076

エージェント復旧ポイント [<parameter>] には、D2D がインストールされたボリュームが含まれていません。

現象

D2D ボリュームがバックアップではないため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

プランを変更し、バックアップ ジョブを再 サブミットします。

エラー メッセージ 25077

Arcserve HA シナリオが停止しました。

現象

RHA シナリオが停止しているため、仮想スタンバイ ジョブが失敗しました。

解決策

RHA シナリオを開始し、仮想スタンバイ ジョブを再開します。

エラー メッセージ 25078

Arcserve HA シナリオは同期中です。仮想スタンバイ処理が一時停止され、同期処理の完了後に再開されます。

注：このメッセージは廃止されました。

エラー メッセージ 25080

ノード <parameter> には、以前に一時停止されたマージ ジョブがあります。最初に再開されます。以前のマージ ジョブの完了後に、すぐにマージ ジョブをサブミットします。

現象

前に一時停止したマージ ジョブを再開します。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25081

(<parameter>) で始まる夏時間のジョブはスキップされ、メイクアップ ジョブが <parameter> に実行されるようにスケジュールされます。

現象

夏時間のジョブはスキップされます。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25082

失敗したバックアップの再試行プランは無効です。

現象

失敗したバックアップ ジョブの再試行ポリシーは無効です。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25083

失敗したバックアップ ジョブ [jobID=<parameter>] の再試行が最大回数 [<parameter>] を超えています。

現象

再試行回数が、再試行ポリシーで設定された最大回数を超えました。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25084

メイクアップ ジョブは、<parameter> に以前に失敗したバックアップ ジョブ [jobID=<parameter>] でスケジュールされます。

現象

失敗した前回のバックアップ ジョブに対して、メイクアップ ジョブがスケジュールされます。

解決策

失敗したバックアップ ジョブの再試行ジョブをスケジュールします。

エラーメッセージ 25085

次のスケジュールされたバックアップイベントは <parameter> に実行されます。失敗したバックアップの再試行はスキップされます。

現象

次のスケジュールされたバックアップは、再試行ポリシーで設定された分単位で実行されるため、バックアップの再試行ジョブはスキップされます。

解決策

何も行う必要はありません。

エラーメッセージ 25086

未実行のバックアップの再試行プランは無効です。

現象

未実行のバックアップジョブの再試行ポリシーは無効です。

解決策

何も行う必要はありません。

エラーメッセージ 25087

<parameter>「<parameter>」のメークアップジョブがスケジュールされています。

現象

未実行のバックアップジョブに、バックアップジョブの再試行がスケジュールされません。

解決策

何も行う必要はありません。

エラーメッセージ 25089

次のスケジュールされたバックアップイベントは <parameter> に実行されます。
<parameter> バックアップのメークアップ試行はスキップされます。

現象

次のスケジュールされたバックアップは、再試行ポリシーで設定された分単位で実行されるため、バックアップの再試行ジョブはスキップされます。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25090

ジョブは現在実行中です。<parameter> バックアップのメイクアップはスキップされません。

現象

ジョブは現在実行中です。バックアップのメイクアップはスキップされます。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25091

ジョブの再試行プランの読み取りに失敗しました。デフォルト値を使用します。

現象

再試行ポリシーファイルの読み取りに失敗しました。

解決策

再試行ポリシーを削除してから、プランの再展開を試行します。

エラー メッセージ 25092

再試行プランファイルが存在しません。デフォルト値を使用します。

現象

再試行ポリシーファイルが存在しません。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 25093

再試行プラン設定ファイルの保存に失敗しました。

現象

再試行ポリシーファイルの保存に失敗しました。

解決策

開発者の支援が必要です。

エラーメッセージ 25094

サーバプラン「<parameter>」が変更されました。その結果、追加のレプリケーションメークアップジョブは実行されません。

現象

プランが変更されたため、レプリケーションジョブを開始できませんでした。

解決策

何も行う必要はありません。

エラーメッセージ 25095

別のものが実行されているため、仮想スタンバイジョブは<parameter>にスキップされます。

現象

別のものが実行されているため、仮想スタンバイジョブはスキップされます。

解決策

このノードで仮想スタンバイジョブが実行されていないときにメッセージが報告された場合は、RPS サーバで UDP エージェント サービスを再起動し、再実行します。

エラーメッセージ 25097

サーバ使用率アラートの送信に失敗しました。

現象

サーバ使用率電子メールアラートの送信に失敗しました。

解決策

開発者の支援が必要です。

エラーメッセージ 25098

現在実行中のジョブはありません。指定した保存設定に基づいて、マージジョブが開始されます。

現象

現在実行中のジョブはありません。

解決策

マージジョブを開始します

エラー メッセージ 25099

マージ ジョブは手動で一時停止され、手動でのみ再開できます。

現象

前のマージ ジョブが手動で一時停止されているため、マージ ジョブを開始できませんでした。

解決策

何も行う必要はありません。

エラー メッセージ 30916

ボリューム <parameter> ファイルシステムは暗号化されているため、検証をスキップしました。

現象

アシュアード リカバリジョブは、暗号化されているファイルシステムの検証をスキップします。

解決策

アシュアード リカバリジョブは、暗号化されたボリュームのデータをユーザがボリュームの暗号化を無効にしない限り読み取ることができません。

エラー メッセージ 25101

このバックアップ ジョブは、最初のジョブまたは仮想スタンバイ要件を満たすため、フルバックアップ ジョブに変換されます。

現象

このバックアップ ジョブは、仮想スタンバイ要件を満たす最初のジョブであるフルバックアップ ジョブに変換されます。

解決策

仮想スタンバイ要件を満たしているため、フルバックアップに変換します。

エラー メッセージ 25107

ソース ディスクのサイズが増加しました。その結果、最後のセッションからフル変換がトリガされます。

現象

ソース ディスクのサイズが変更されたため、フル変換が発生します。

解決策

該当なし

エラーメッセージ 25111

スタンバイマシンをオンにしてバッチスクリプトを実行し、拡張ネットワークアダプタ (ENA) を使用して Windows Server 2008 R2 のネットワークに接続できるようにします。スクリプトの詳細については、Arcserve マニュアルを参照してください。

現象

Windows Server 2008 R2 の仮想スタンバイマシンの電源をオンにすると、Elastic Network Adaptor (ENA) でサポートされているインスタンスの種類で設定されている場合、AWS マネージメントコンソールにインスタンスの 1/2 チェックが表示されません。詳細については、「Elastic Network Adapter (ENA) がサポートするインスタンスの種類 (<https://docs.aws.amazon.com/AWSEC2/latest/WindowsGuide/enhanced-networking-ena.html>)」を参照してください

解決策

以下の手順に従います。

1. UDP コンソールから、マシン単位でスタンバイをオンにします。
2. Windows マシンのいずれかに AWS CLI をインストールして設定します。
3. FixWindows2008R2InstanceNetworksChecks.bat を実行します。以下のリンク (<https://udpvsb-clouddrivers.s3.amazonaws.com/FixWindows2008R2InstanceNetworksChecks.bat>) からダウンロードできます。

バッチファイルを実行するには、以下のコマンドを使用します。

```
FixWindows2008R2InstanceNetworksChecks.bat instance_id instance_type
```

- instance_type: 環境設定プランで指定されたインスタンスの種類。
- instance_id: AWS 管理コンソールまたは仮想スタンバイアクティビティジョブログから取得できる VSB インスタンスの ID。

エラーメッセージ 30781

サイト [<parameter>] のバックアップに失敗しました。エラーメッセージ: [<parameter>]。

現象

サイトのバックアップに失敗しました。アクセスが拒否されたか、ネットワークの問題が発生する可能性があります。

解決策

アカウントが SharePoint サイト コレクションの管理者であることを確認してください。

エラー メッセージ 30843

ディスク [%1!s!] のサイズが [%2!l64d!] から [%3!l64d!] に変更されました。ページ BLOB [%4!s!] のサイズを変更します。%0

現象

ソース ディスクのサイズが変更されたため、ページ BLOB のサイズが変更されます。

解決策

該当なし

エラー メッセージ 30910 ~ 31000

このセクションには、以下のエラー メッセージが含まれます。

エラー メッセージ 30916

ボリューム <parameter> ファイルシステムは暗号化されているため、検証をスキップしました。

現象

アシュアード リカバリジョブは、暗号化されているファイルシステムの検証をスキップします。

解決策

アシュアード リカバリジョブは、暗号化されたボリュームのデータをユーザがボリュームの暗号化を無効にしない限り読み取ることができません。

エラー メッセージ 30921

ソース ボリューム %1!s! のスナップショットを開けません %0

現象

ボリュームのスナップショットを開くことができなかったため、バックアップに失敗しました。

解決策

バックアップ ジョブを再試行します。詳細については、バックアップ ジョブ ログを参照してください。問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください。

エラーメッセージ 30922

このノードのスキップ CBT は有効な状態です。アプリケーションは、増分バックアップではなく、フルバックアップを実行します。%0

現象

UDP バックアップ プロキシ マシンでレジストリを以下のように設定して CBT を無効にすると、UDP は常に仮想マシンのフルバックアップを実行します。

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Arcserve\ARCserve  
UnifiedDataProtection\Engine\AFBackupDll<VMInstanceUUID>\
```

- キー名: SkipCBT
- 種類: REG_SZ
- 値: 1

解決策

CBT を再度有効にする場合は、レジストリを「0」に設定してください。

エラーメッセージ 30923

このノードのスキップ CBT は無効な状態です。%0

現象

スキップ CBT が有効な状態から無効な状態に変更されると、UDP はフルバックアップ後に仮想マシンの増分バックアップを実行できるようになります。

解決策

該当なし

エラーメッセージ 35115

ソース ディスク [%s] は [%s] から [%s] に変更されました(セッション %s)。

現象

ソース ディスクのサイズ検出が変更されました。

解決策

該当なし

エラーメッセージ 35116

仮想マシンの名前を [%s] から [%s] に変更します。

現象

ソース ディスクのサイズが変更されたことを検出したため、仮想マシンの名前を変更します。

解決策

該当なし

第1章: 一般的なメッセージ

このセクションでは、アクションを必要としない一般的なメッセージについて説明します。

